Dell™ テクノロジガイド

www.dell.com | support.dell.com

メモ、注意、警告

メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Microsoft® Windows Vista® および Windows® XP に関する手順は、それぞれ Windows Vista Ultimate および Windows XP Professional エディションの**デフォルト** ビューによるものです。

メモ：手順は、お使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムのバージョンによって異なる場合があります。

は、Windows Vista Start（スタート）ボタンを表します。

は、Windows XP Start（スタート）ボタンを表します。

2008 年 8 月　　　　Rev. A01

目次

1

情報の検索

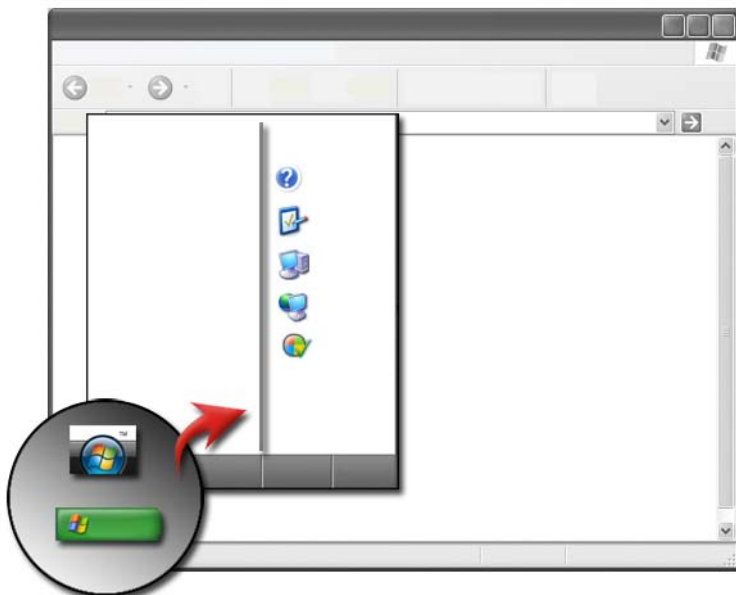
スタートボタン

Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのデスクトップから、Start（スタート）ボタンをクリックして、お使いのコンピュータでの Windows の表示方法や機能を管理するリソース、プログラム、および特定のツールにアクセスすることができます。

Start（スタート）ボタンは、Windows のバージョンによって表示が異なる場合がありますが、常に Windows タスクバーの左側に配置されます。

Start（スタート）ボタンのメニューからアクセスできるものは次のとおりです。

- Microsoft Windows ヘルプとサポート
- コントロールパネル
- 搭載されているハードウェアについての情報
- デバイスマネージャ
- コンピュータにインストールされているプログラム
- ワイヤレスネットワーク
- デルサポートサイト

Microsoft Windows ヘルプとサポート

この情報センターでは、Microsoft Windows についての手順、ヒント、および一般情報が提供され、利用できる機能の使い方についても説明されます。また、お使いのコンピュータおよびコンピュータに搭載されているデバイスのマニュアルにもアクセスできます。Windows ヘルプとサポートにアクセスするには、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）の順にクリックします。

2 実行するトピックやタスクをクリックします。

3 特定のタスクが表示されない場合は、検索オプションを使用します。**Start Search**（検索の開始）フィールドで（Windows XP では **検索**）、質問に関する用語やフレーズを入力して、<Enter> を押すか、矢印または虫メガネをクリックします。

4 質問に関連するトピックをクリックします。

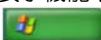
5 画面の指示に従います。

Windows Vista®

基本的なコンピュータの情報

お使いのコンピュータの情報を表示するには、**Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **System**（システム）と クリック します。

Windows® XP

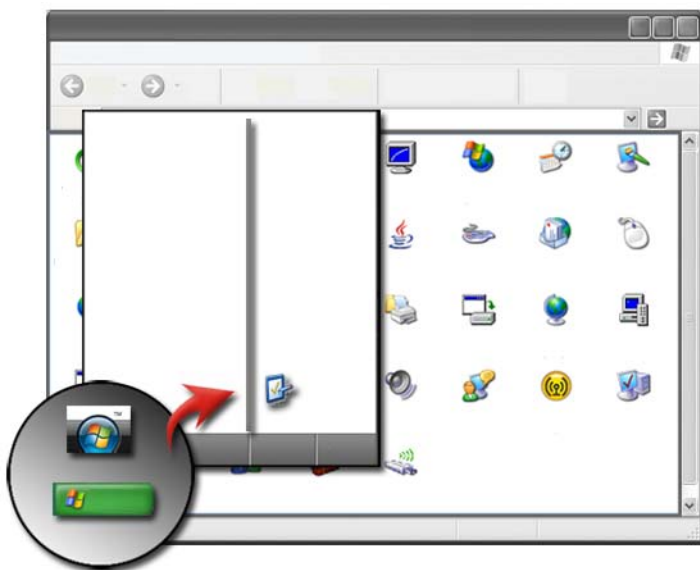
ユーザーズガイド

お使いのコンピュータで利用できる『ユーザーズガイド』を表示するには、**スタート** → **ヘルプとサポート** → Dell **ユーザーズガイドおよびシステムガイド**（**ヘルプトピックを選びます** オプションから）をクリックします。

基本情報

お使いのコンピュータの情報を表示して、問題を診断するには、スタート → **ヘルプとサポート** → **ツール**（**作業を選びます** オプションから）をクリックします。

また、コントロールパネルでは、お使いのコンピュータについてのさらに詳細な情報を表示することができます（24 ページの「コントロールパネル」を参照）。

コントロールパネル

表示機能やコンピュータの機能を管理するには、**Start**（スタート）または → **Control Panel**（コントロールパネル）をクリックします。

詳細情報：Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または →**Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

搭載されているハードウェアについての情報

デバイスマネージャ

お使いのコンピュータに搭載されている全デバイスの一覧を表示し、特定のデバイスの構成方法の詳細を参照するには、デバイスマネージャを使用します。

Windows Vista®

Start（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **System**（システム）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）（**Tasks**（タスク）の下）とクリックします。

Windows® XP

スタート → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** → **システム** → **ハードウェアタブ** → **デバイスマネージャ** の順にクリックします。

> **詳細情報：**コンピュータのハードウェアコンポーネントの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、**View your computer information topic**（お使いのコンピュータ情報の表示）トピックを参照してください。

コンピュータに搭載されているハードウェアデバイス

Start（スタート） または → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Accessories**（アクセサリ）→ **System**（システム）**Tools**（ツール）→ **System Information**（システム情報）の順にクリックします。

Components（コンポーネント）をダブルクリックして、**Components**（コンポーネント）カテゴリを展開します。

デバイスの仕様

1 **Start**（スタート） または → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Accessories**（アクセサリ）→ **System**（システム）**Tools**（ツール）→ **System Information**（システム情報）の順にクリックします。
2 **Components**（コンポーネント）をダブルクリックして、**Components**（コンポーネント）カテゴリを展開します。
3 デバイスカテゴリをクリックして、コンポーネントまたはデバイスの名前、および関連設定と設定情報を示す表を表示します。

システム情報のテキストファイルでのエクスポート

1 **Start**（スタート）または → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Accessories**（アクセサリ）→ **System**（システム）**Tools**（ツール）→ **System Information**（システム情報）の順にクリックします。
2 **File**（ファイル）メニューで、**Export**（エクスポート）をクリックします。
3 **File name**（ファイルの名前）で、ファイル名を入力します。
4 **Save as type**（ファイルの種類）ドロップダウンメニューからファイルの種類を選択します。
5 **Save**（保存）をクリックします。

コンピュータにインストールされているプログラム

Start（スタート）または → **All Programs**（すべてのプログラム）の順にクリックして、利用できるプログラムを表示します。

All Programs（すべてのプログラム）にプログラムが表示されない場合は、次のように **Search**（検索）機能を使用して、特定のプログラムを検索します。

Windows Vista®

1 **Start**（スタート）→**Search**（検索）の順にクリックします。
2 Search（検索）フィールドにプログラムの名前を入力します。
3 <Enter> を押します。

Windows® XP

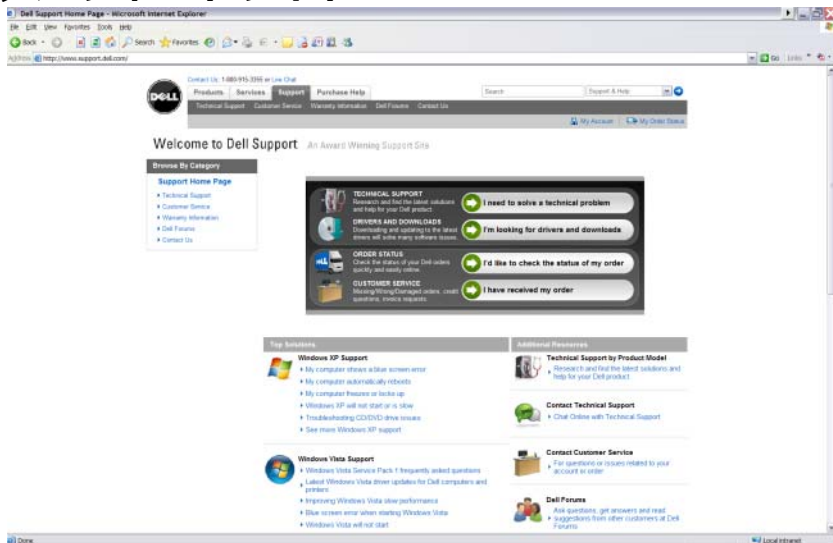
1 **スタート** → **検索** → **ファイル** とフォルダすべて の順にクリックします。
2 プログラムの名前を入力して、**検索** をクリックします。

ワイヤレスネットワーク

以下のソースでは、ワイヤレスネットワークの情報を利用できます。

デバイスガイド	コンピュータに搭載されている特定のワイヤレスカードのデバイスガイドにアクセスするには、**Microsoft Windows ヘルプとサポート**を参照します。デバイスガイドでは、ワイヤレスネットワークへの接続やワイヤレスネットワーク接続の管理についての有用な情報を提供しています。
Windows ヘルプとサポート	ワイヤレスネットワーク設定の一般情報に関しては、**Microsoft Windows ヘルプとサポート**を参照してください。「Networking and the Web（ネットワーク設定およびウェブ）」トピックでは、接続における概要、要件、詳細について、および基本のネットワーク設定のチュートリアルが提供されています。

詳細情報：ワイヤレスネットワークの詳細に関しては、145 ページの「ネットワーク（LAN、ワイヤレス、モバイルブロードバンド）」を参照してください。

デルサポートサイト

Support.jp.dell.com のデルサポートサイトでは、次のようなさまざまな情報が提供されています。

- **テクニカルサポート：**お使いの Dell 製品に関する最新のソリューションおよびヘルプを調べることができます。
- **カスタマーサービス：**Dell 製品に関するご注文状況や引き取りなどのオプションを検討できます。
- **保証情報：**Dell 製品の保証に関する情報があります。
- **困ったときのデルフォーラム：**ディスカッションのフォーラムや Dell 製品に関するサポートの情報があります。
- **お問い合わせ：**デルへのお問い合わせに利用できる各種オプションの情報があります。

テクニカルサポート

- ドライバおよびダウンロード
- エンタープライズリソースセンター
- エクスプレスサービスコードの確認
- 製品マニュアル
- マイシステムリスト
- セキュリティセンター

- サポート履歴およびステータス
- システム設定
- テクニカルサブスクリプション
- トラブルシューティング検索
- Windows Vista Center
- Windows XP サポートセンター
- ワイヤレスサポートセンター

カスタマーサービス

- デルファイナンスサービス
- FAQ 検索
- 請求書
- 欠品、誤品、破損（外損）
- オーダーステータス（お届け予定案内）
- 所有権の移転
- 国際所有権の移転
- 納品書
- 引き取り / 再配達
- Dell ドル / リベートセンター
- システム盗難の報告
- 返品
- 請求書宛先の更新

保証情報

- 期限切れの保証サービス
- 保証の延長とアップグレード
- 所有権の移転
- 国際所有権の移転
- サービス契約および申し込み書
- 保証ステータス

困ったときのデルフォーラム

- サポートフォーラム
- ディスカッションフォーラム

お問い合わせ

- カスタマーサービス
- ファイナンスサポート
- セールスサポート
- テクニカルサポート
- 国際ノートブックサポート

BIOS（セットアップユーティリティ）設定

BIOS とは、コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。一部のハードウェアコンポーネントでは取り外しおよび取り付けの際に、BIOS 設定のアップデートが必要になる場合があります。

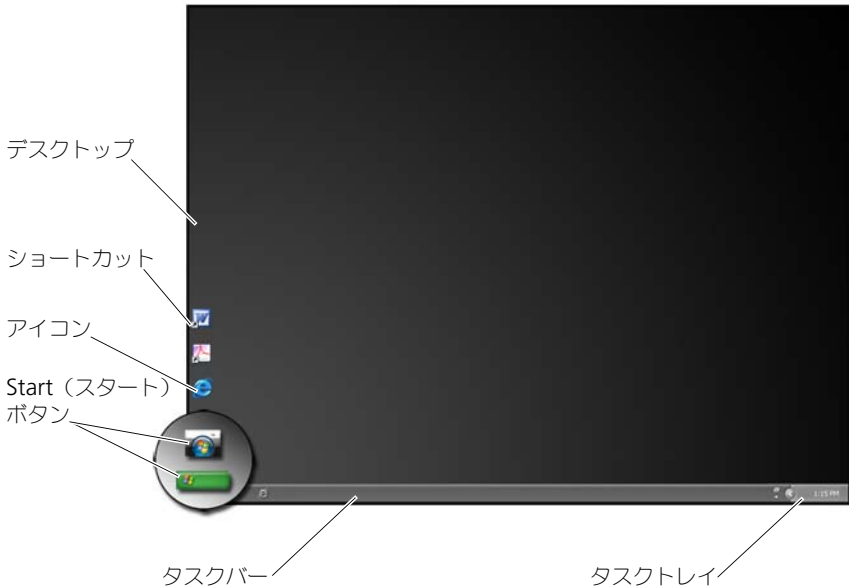
メモ：BIOS を使用してお使いのコンピュータの時間、日付、またはパスワードを変更できますが、オペレーティングシステムが提供するオプションを使用することをお勧めします。

セットアップユーティリティを使用すると、以下の操作を行うことができます。

- コンピュータにハードウェアの取り付け、変更、取り外しを行った後に、システム設定情報を変更する場合。
- パスワードなどのユーザーが選択できるオプションを設定、または変更する場合。
- システムメモリ容量など、コンピュータの現在の設定についての情報の確認。

詳細情報：セットアップユーティリティへのアクセスおよびハードウェアコンポーネントの構成の詳細に関しては、295 ページの「セットアップユーティリティ」を参照してください。

2

Microsoft Windows デスクトップ

概要

Microsoft® Windows® デスクトップは、Windows オペレーティングシステムが起動した後に表示されるディスプレイ画面領域です。デスクトップのコンポーネントには、背景、アイコン、ショートカット、および通常画面の下部にあるタスクバーが含まれます。

詳細情報：Windows デスクトップの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Windows Basics（Windows 入門）」を参照してください。

タスクバー

概要

Windows タスクバーは、通常デスクトップの下部にありますが、移動することもできます。タスクバーでは、デスクトップで開いている最小化ウィンドウ、またはコンピュータ上にある頻繁に使用するプログラム、ファイル、またはユーティリティにすばやくアクセスすることができます。

タスクバーの基本構成は以下のとおりです。

Start（スタート）ボタン	Start（スタート）メニューへアクセスします。これにより、お使いのコンピュータにインストールされているプログラムとシステムユーティリティの一覧が表示されます。Start（スタート）メニューを使用して、ソフトウェアアプリケーションを起動したり、コンピュータの設定を変更したりします。タスクバーの移動やサイズ変更をする場合は、Start（スタート）ボタンも一緒に移動、サイズ変更されます。
Quick Launch（クイック起動）ツールバー	プログラムにすばやくアクセスできるアイコンが表示されます。
タスクバーのボタン領域	開いているアプリケーションプログラムのウィンドウが最小化されたボタンが表示されます。
タスクトレイ	時計およびプログラムと関連付けられているアイコンが表示されます。

詳細情報：Windows デスクトップの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Windows Basics（Windows 入門）」を参照してください。

タスクバーの表示

1 タスクバーの何もない領域で右クリックします。
2 **Properties**（プロパティ）をクリックして、**Taskbar and Start Menu Properties**（タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ）ウィンドウを開きます。
3 **Taskbar**（タスクバー）タブで、**Keep the taskbar on top of other windows**（タスクバーをほかのウィンドウの手前に表示する）を選択します。

アプリケーションおよびファイルを開くと、デスクトップが見えなくなることがあります。開いているウィンドウをすべて一度に最小化してデスクトップを見えるようにするには、次の手順に従ってください。

1 タスクバーの何もない領域にカーソルを置きます。
2 右クリックして、ショートカットメニューを表示します。
3 **Show the Desktop**（デスクトップを表示）をクリックします。

タスクバーのカスタマイズ

1 タスクバーの何もない領域で右クリックします。
2 **Properties**（プロパティ）をクリックして、**Taskbar and Start Menu Properties**（タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ）ウィンドウを開きます。
3 **Taskbar**（タスクバー）タブで設定するボックスをチェックして、タスクバーをカスタマイズします。

タスクトレイで非表示のアイコンの表示

タスクトレイには、プログラムにすばやくアクセスできるアイコンが含まれています。タスクトレイの近くにあるタスクバーの右側の矢印をクリックし、非表示のアイコンを一時的に表示します。必要なアイコンをクリックして、再び表示します。

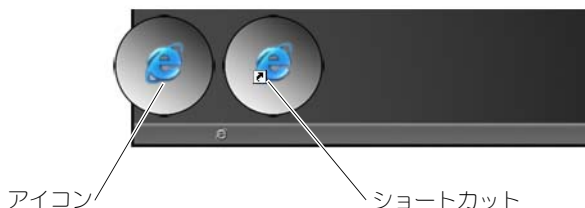
タスクトレイへのアイコンの追加

表示または非表示にするアイコンを選択して、タスクバーをカスタマイズします。

1 タスクバーの何もない領域で右クリックします。
2 **プロパティ** をクリックします。**Taskbar**（タスクバー）タブがデフォルトで開くように設定されています。
3 Windows Vista® を実行しているコンピュータの場合は、**Notification Area**（タスクトレイ）タブを選択します。

   Windows® XP を実行しているコンピュータの場合は、次の手順に進みます。
4 タスクトレイ の **カスタマイズ** ボタンをクリックします。
5 項目を選択してから、その動作を選択します。

6 **OK** をクリックします。

デスクトップアイコンとショートカット

Windows デスクトップに表示されるアイコンは、プログラム、ドキュメント、およびフォルダにすばやくアクセスできるリンクです。アイコンをダブルクリックして、ファイルやフォルダを開いたり、プログラムを実行します。

アイコンには、ショートカットのものと直接リンクのものがあります。

- ショートカットのアイコン — アイコンに矢印が表示されていることで識別されます。ショートカットは、プログラム、ファイル、またはフォルダへのリンクです。ショートカットは、リンクしているアイテムに影響を及ぼすことなく、安全に削除できます。
- プログラムおよびファイルのアイコン — プログラムファイル、ドキュメント、またはフォルダのアイコンには、矢印の絵は含まれません。

> **ヒント：**お使いのコンピュータのパフォーマンスを改善するには、デスクトップにファイルおよびフォルダを配置するよりも、それらのショートカットを作成します。

デスクトップからのアイコンの削除

1 アイコンを右クリックし、**Delete**（削除）をクリックします。

2 **Yes**（はい）をクリックします。

> **ヒント：**矢印が表示されているアイコンを削除すると、単にそのリンクを削除したことになります。矢印が表示されていないアイコンを削除すると、単なるファイルへのリンクではなく、そのファイルやフォルダを削除しています。

詳細情報：Windows デスクトップの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Windows Basics（Windows 入門）」を参照してください。

デスクトップ上のプログラムショートカットの作成と削除

Windows エクスプローラまたはデスクトップを使用して、プログラム、ファイル、またはフォルダへのショートカットを作成できます。

Windows エクスプローラを使用する場合

1 **Start**（スタート）ボタンを右クリックして、**Explore**（エクスプローラ）を選択します。ショートカットを作成するフォルダ、またはファイルに進みます。

2 アイテムを右クリックして、**Send to**（送る）をハイライト表示してから、**Desktop（create shortcut）**（デスクトップ（ショートカットを作成））をクリックします。

デスクトップを使用する場合

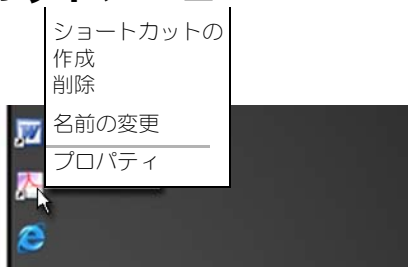
1 デスクトップの何もない領域を右クリックして、**New**（新規作成）をハイライトしてから、**Shortcut**（ショートカット）をクリックします。

2 **Create Shortcut**（ショートカットの作成）ウィンドウで、**Browse**（参照）をクリックし、ショートカットにリンクさせるアイテムの場所へ進みます。

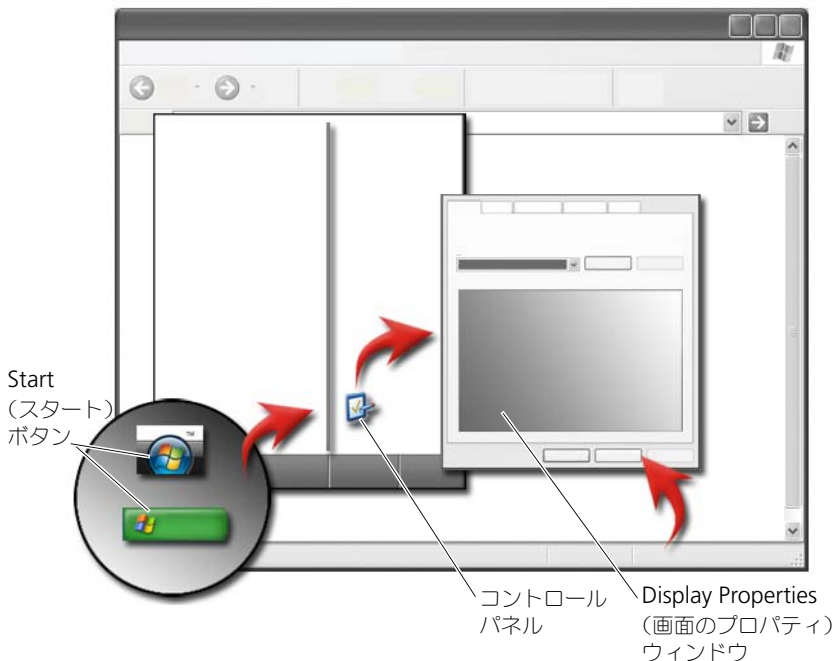
3 ファイルやフォルダをハイライト表示して、**OK** をクリックします。

4 **Next**（次へ）をクリックします。

5 ショートカットに名前を指定してから、**Finish**（完了）をクリックします。

ショートカットメニュー

ファイルやフォルダを含む、Windows デスクトップの多くのコンポーネントに対し、ショートカットメニューを利用できます。これらメニューにより、アイテムの最も一般的なコマンドにすばやくアクセスすることができます。

ショートカットメニューにアクセスするには、アイテムの上にカーソルを配置し、右クリックします（右マウスボタンまたはタッチパッドの右ボタンをクリック）。

デスクトップのデザインの変更

さまざまなコンポーネントを変更して、デスクトップのデザインをカスタマイズできます。これらコンポーネントのほとんどが **Display Properties**（画面のプロパティ）ウィンドウからアクセスできます。

コンピュータのデスクトップのテーマ、解像度、スクリーンセーバー、アイコンサイズとデザイン、およびモニタの設定を **Display Properties Menu**（画面のプロパティメニュー）画面から管理できます。タブを使用して、調整するアイテムを選択します。

Windows Vista®

デスクトップから、次の手順を実行します。

1 デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2 **Personalize**（カスタマイズ）をクリックすると、**Personalize appearance and sounds**（デザインとサウンドのカスタマイズ）ウィンドウが表示されます。
3 使用可能なオプションを確認して、画面の指示に従ってください。

スタートメニューから、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Appearance and Personalization**（デザインとカスタマイズ）の順にクリックします。
2 **Personalization**（カスタマイズ）をクリックします。**Personalize appearance and sounds**（デザインとサウンドのカスタマイズ）ウィンドウが表示されます。
3 使用可能なオプションを確認して、画面の指示に従ってください。

Windows® XP

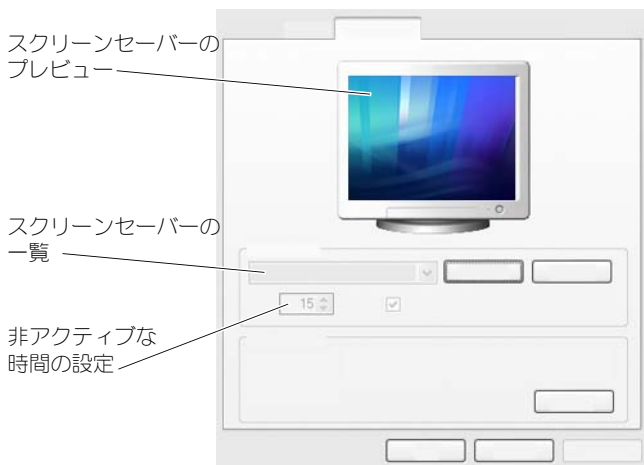
デスクトップから、次の手順を実行します。

1 デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2 **プロパティ** をクリックします。
3 **表示** をクリックします。**画面のプロパティ** ウィンドウが表示されます。
4 使用可能なオプションを確認して、画面の指示に従ってください。

スタートメニューから、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **デスクトップの表示とテーマ** の順にクリックします。
2 **デスクトップの表示とテーマ** ウィンドウが表示されます。
3 使用可能なオプションを確認して、画面の指示に従ってください。

詳細情報：Windows デスクトップの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Windows Basics（Windows 入門）」を参照してください。

スクリーンセーバーのセットアップ

スクリーンセーバーは、コンピュータが特定の時間非アクティブな状態であると表示される動画グラフィックです。非アクティブな時間の長さを設定して、個人的なグラフィックを選択できます。

Windows Vista

1 デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2 **Personalize**（カスタマイズ）をクリックします。**Personalize appearance and sounds**（デザインとサウンドのカスタマイズ）
ウィンドウが表示されます。
3 **Screen Saver**（スクリーンセーバー）をクリックして、スクリーンセーバーを新しく選択します。
4 スクリーンセーバーが表示される前にコンピュータが非アクティブでいる時間の長さを調整します。
5 **OK** をクリックします。

メモ：スクリーンセーバーをアクティブにした後、コンピュータにアクセスするには再度ログインが必要になる場合があります。

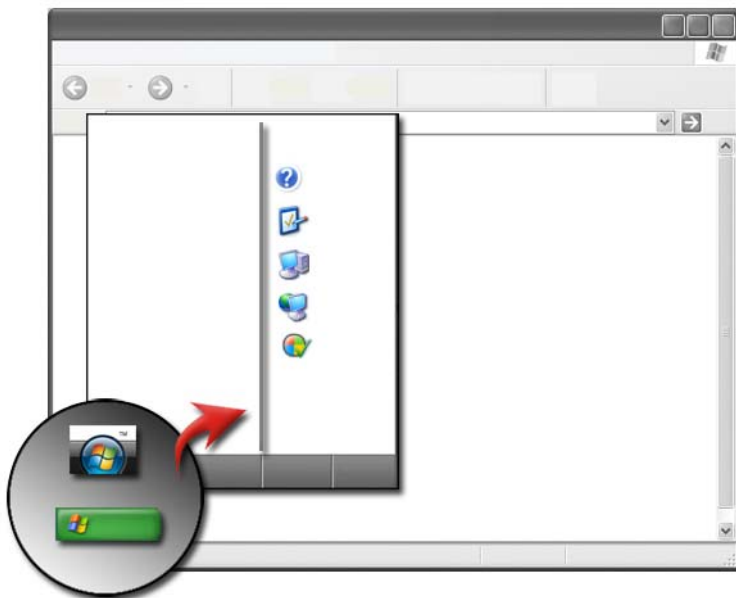
Windows XP

1 デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2 **プロパティ** をクリックします。**画面のプロパティ** ウィンドウが表示されます。
3 **スクリーンセーバー** タブをクリックして、スクリーンセーバーを新しく選択します。

4　スクリーンセーバーが表示される前にコンピュータが非アクティブでいる時間の長さを調整します。

5　**OK** をクリックします。

メモ：スクリーンセーバーをアクティブにした後、コンピュータにアクセスするにはログインが必要になる場合があります。

Start（スタート）ボタン（メニュー）

概要

Start（スタート）ボタンを使用すると、**Start**（スタート）メニューが開き、以下の項目にアクセスできます。

- Control Panel（コントロールパネル）
- Programs（プログラム）
- Files（ファイル）
- Computer settings（コンピュータの設定）
- Tools that monitor your computer's performance（お使いのコンピュータのパフォーマンスを監視するツール）
- Windows Help and Support（Windows ヘルプとサポート）

Start（スタート）メニューで利用できるプログラムは、お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアによって変わります。

Start（スタート）メニューを使用して、コンピュータの再起動やシャットダウンを実行できます。97 ページの「コンピュータのシャットダウン」を参照してください。

詳細情報：Start（スタート）ボタンの詳細に関しては、21 ページの「スタートボタン」を参照してください。

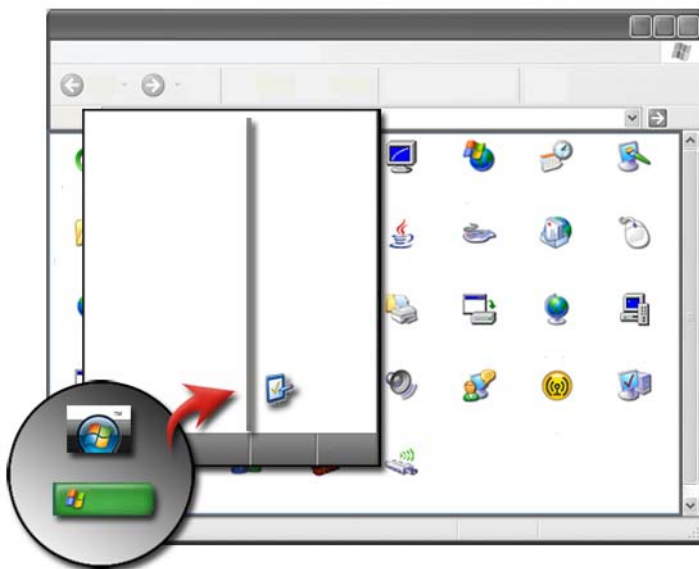
Start（スタート）メニューのカスタマイズ

Taskbar and Start Menu Properties（タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ）ウィンドウで **Start**（スタート）メニューをカスタマイズします。

1 タスクバーの何もない領域で右クリックします。
2 **Properties**（プロパティ）を選択します。**Taskbar and Start Menu Properties**（タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ）ウィンドウが開きます。
3 **Start**（スタート）メニュータブで必要なオプションを選択して、**Start**（スタート）メニューをカスタマイズします。

ヒント：プログラム、フォルダ、またはファイルから **Start**（スタート）ボタンにアイコンをドラッグすることにより、**Start**（スタート）メニューにショートカットを追加できます。

詳細情報：Windows デスクトップの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Windows Basics（Windows 入門）」を参照してください。

コントロールパネル

Control Panel（コントロールパネル）には、お使いのコンピュータを維持しカスタマイズするのに便利なプログラムとツールが含まれています。**Control Panel**（コントロールパネル）では、以下の操作を実行できます。

- Add and monitor hardware（ハードウェアの追加および監視）
- Add or remove programs（プログラムの追加と削除）
- Change hardware settings（ハードウェアの設定の変更）
- Set network and Internet preferences（ネットワークおよびインターネットオプションの設定）
- Customize the appearance of your desktop（デスクトップのデザインのカスタマイズ）
- Set up printers and other devices（プリンタおよびその他のデバイスのセットアップ）
- Perform maintenance to enhance performance（パフォーマンスの拡張を目的としたメンテナンスの実行）

ヒント：カスタマイズ可能なアイテムは、Control Panel（コントロールパネル）画面に一覧表示されます。カーソルを各アイテムの上に配置すると、その機能を説明するポップアップテキストボックスが表示されます。

コントロールパネルへのアクセスと使い方

詳細情報：Windows デスクトップの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Windows 入門」を参照してください。

コンピュータの設定のカスタマイズ

1 **Start**（スタート）または → **Control Panel**（コントロールパネル）の順にクリックします。

2 カテゴリを選択します。必要なツールがどのカテゴリに含まれているかわからない場合は、カテゴリの上にカーソルを配置するとそのポップアップテキストボックスが表示されます。

コンピュータのパフォーマンスの管理

Control Panel（コントロールパネル）には、お使いのコンピュータのパフォーマンスを管理および改善するためのツールが提供されています。ハードディスクドライブ上のスペースを解放する、ハードディスクドライブ上のアイテムを並べ替えてプログラムを高速化する、などを目的としたオプションを使用して、お使いのコンピュータのパフォーマンスを向上させることができます。

関連情報については、123 ページの「メンテナンスタスク（パフォーマンスの改善およびセキュリティ保護）」を参照してください。

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **Performance Information and Tools**（パフォーマンス情報およびツール）の順にクリックします。

2 **Task**（タスク）領域で利用可能なオプションの 1 つを選択し、お使いのコンピュータのパフォーマンスを監視したり、パフォーマンスが向上するように変更を加えたりします。

Windows XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。

2 システムパフォーマンスの評価、イベントの表示、パフォーマンスログの監視、またはコンピュータ管理を実行するためのオプションを 1 つ選択します。

お使いのコンピュータに搭載されている、または取り付けられているデバイスを管理するには、デバイスマネージャを使用します。

ヒント：一般的に、デバイスマネージャにアクセスするには、以下の操作を実行します。

Windows Vista

Start（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **Administrative Tools**（管理ツール）→ **Computer Management**（コンピュータの管理）の順にクリックします。

Windows XP

スタート → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** → **管理ツール** → **コンピュータの管理** の順にクリックします。

または

マイコンピュータ を右クリックして **プロパティ** を選択します。次に **デバイスマネージャ** をクリックします。

3

モニタおよびディスプレイ

詳細情報：コンピュータのモニタ画面の詳細に関しては、コンピュータのマニュアルを参照してください。また、コンピュータで作業するときの安全手順については、コンピュータに付属の安全に関する情報を参照してください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（**www.dell.com¥regulatory_compliance**）をご覧ください。

コンピュータのモニタ画面のクリーニング

デスクトップコンピュータのディスプレイをクリーニングするには、水で湿らせた柔らかい布で画面を拭きます。

ノートブックコンピュータのモニタ画面をクリーニングするには、水か LCD クリーナのいずれかで湿らせた柔らかい布で画面を拭きます。

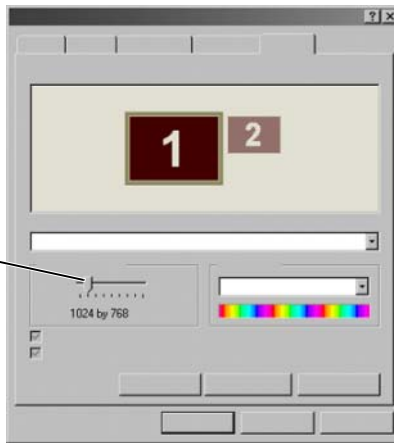
警告：コンピュータのモニタ画面はモニタ用のものではない石鹸水または溶液を使用して拭かないでください。これら溶液により、モニタの反射防止コーティングが損傷する可能性があります。クリーナを直接画面にスプレーしないでください。

画面解像度の調整

画面解像度により、ディスプレイ上の画像の鮮明さが定義されます。解像度を上げると、画面上のアイテムの表示が小さくなります。解像度を下げると、テキストや画像がさらに大きくなります。

ディスプレイ設定を変更する前に、必要な場合に元の設定に戻すことができるように現在の設定を控えておいてください。

メモ：ビデオドライバには、お使いのコンピュータの性能を最大限に活用できるよう設計されているデル推奨ビデオドライバのみをご使用ください。

詳細情報：画面解像度の詳細に関しては、235 ページの「ベンダーのビデオカードのコントロールパネルで表示設定を調整」を参照してください。また、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

ヒント：特定の解像度でプログラムを表示するには、ビデオカードとディスプレイの両方がその解像度をサポートしていて、さらに、必要なビデオドライバがインストールされている必要があります。

Windows Vista®

1. デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2. **Personalize**（カスタマイズ）をクリックします。**Personalize appearance and sounds**（デザインとサウンドのカスタマイズ）ウィンドウが表示されます。
3. **Display Settings**（表示設定）をクリックします。
4. **Display Settings**（表示設定）ウィンドウの **Resolution**（解像度）で、スライドバーを左右に動かして、画面の解像度を上げたり下げたりします。

5 選択した解像度に問題がない場合は **Apply**（適用）をクリック、そうでない場合は手順 4 の操作を繰り返してください。
6 **OK** をクリックします。

Windows® XP

1 デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2 **プロパティ** をクリックします。**画面のプロパティ** ウィンドウが表示されます。
3 **設定** タブを選択します。
4 **画面の解像度** セクションで、スライドバーを左右に動かして、画面の解像度を上げたり下げたりします。
5 選択した解像度に問題がない場合は **適用** をクリック、そうでない場合は手順 4 の操作を繰り返してください。
6 **OK** をクリックします。

トラブルシューティング

テキストがぼやける：画面解像度を現在の設定からお使いのコンピュータおよびディスプレイでサポートされていない設定に変更すると、画像がぼやけて表示されたり、テキストが読みにくくなることがあります。

サポートされていない解像度や色の設定：お使いのコンピュータでサポートされているディスプレイより高い解像度やカラーパレットを選択すると、設定は自動的にサポートされている最も近い値へ調整されます。

最適な表示設定の選択

デフォルトの表示設定は、モニタやモニタ画面に基づいてお使いのコンピュータに設定されます。**Control Panel**（コントロールパネル）から **Display Properties**（画面のプロパティ）ウィンドウにアクセスし、お使いのモニタの解像度を指定して変更します。

外付けの LCD モニタの画面解像度の設定

外付けの LCD モニタをそれらのネイティブな解像度、つまり最適な表示を行う解像度に設定します。詳細については、製造元のマニュアルを参照してください。

ネイティブな解像度を指定できない場合は、モニタを最高の解像度で実行するように設定します。お使いのモニタは低い解像度をサポートできたとしても、表示品質はあまり良いものではありません。

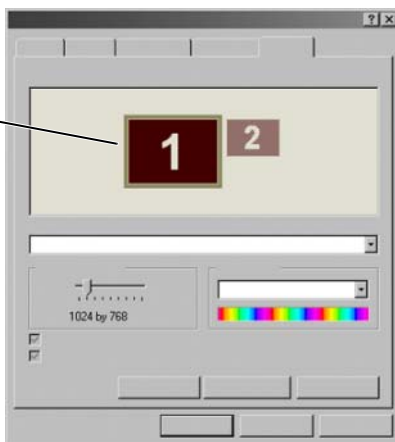
Windows Vista®

1 デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2 **Personalize**（カスタマイズ）をクリックします。**Personalize appearance and sounds**（デザインとサウンドのカスタマイズ）ウィンドウが表示されます。
3 **Display Settings**（表示設定）をクリックします。
4 ドロップダウンメニューで外付けの LCD モニタを選択します。
5 **Display Settings**（表示設定）ウィンドウで **Resolution**（解像度）スライドバーを左右に動かして、外付け LCD モニタのネイティブな解像度に一致する画面解像度を選択します。
6 **OK** をクリックします。

Windows® XP

1 デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2 **プロパティ** をクリックします。**画面のプロパティ** ウィンドウが表示されます。
3 **設定** タブを選択します。
4 ディスプレイドロップダウンメニューで外付けの LCD モニタを選択します。
5 **画面解像度** セクションのスライドバーを左右に動かして、外付けの LCD モニタのネイティブな解像度に一致する画面解像度を選択します。
6 **OK** をクリックします。

マルチモニタの表示設定

デスクトップの規模を拡大して生産性を高めるために、コンピュータに複数のモニタをセットアップすることができます。そうすると、モニタから別のモニタへアイテムを移動したり、複数のモニタにアイテムを拡張したりすることにより、一度に複数のタスクを処理できます。

メモ：お使いのビデオカードは、マルチモニタをサポートしています。マルチモニタのセットアップの要件については、Windows ヘルプとサポートを参照してください。

Windows Vista

1. デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2. **Personalize**（カスタマイズ）をクリックすると、**Personalize appearance and sounds**（デザインとサウンドのカスタマイズ）ウィンドウが表示されます。
3. **Display Settings**（表示設定）をクリックします。
4. モニタアイコンをドラッグして、お使いのモニタの物理的な配置に適合させます。
5. 必要に応じて、次のチェックボックスのいずれか、または両方をオンにします。
   - **This is my main Monitor**（このモニタをメインにする）— メインモニタを設定できます。
   - **Extend the desktop onto this monitor**（Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする）— 画面上のアイテムを代替モニタにドラッグできます。
6. **OK** をクリックします。

Windows XP

1 デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2 **プロパティ** をクリックすると、**画面のプロパティ** ウィンドウが表示されます。
3 **設定** タブを選択します。
4 モニタアイコンをドラッグして、お使いのモニタの物理的な配置に適合させます。
5 必要に応じて、次のチェックボックスのいずれか、または両方をオンにします。
   - **このデバイスをプライマリモニタとして使用する** — プライマリモニタを設定できます。
   - **Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする** — 画面上のアイテムを代替モニタにドラッグできます。
6 **OK** をクリックします。

詳細情報：Display Properties（画面のプロパティ）ウィンドウにアクセスし、マルチモニタを設定する方法の詳細に関しては、41 ページの「コントロールパネル」を参照してください。Control Panel（コントロールパネル）の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で「Windows Basic（Windows 入門）」を参照してください。

明るい環境や光量の少ない環境での環境照明センサーの使い方

メモ：お使いのノートブックコンピュータには、環境照明センサーが装備されていない場合があります。

メモ：環境照明センサーは、お使いのノートブックコンピュータの画面輝度のみを調節します。外付けのモニタまたはプロジェクタの輝度は制御しません。

環境照明センサーは、コンピュータのモニタの前部にあります。このセンサーは、利用可能な環境照明を検知し、モニタの背面ライトを自動的に増減して、環境照明の高低を補正します。

1 環境照明センサー

<Fn> と左矢印キーを同時に押すと、環境照明センサーの機能を有効または無効にすることができます。

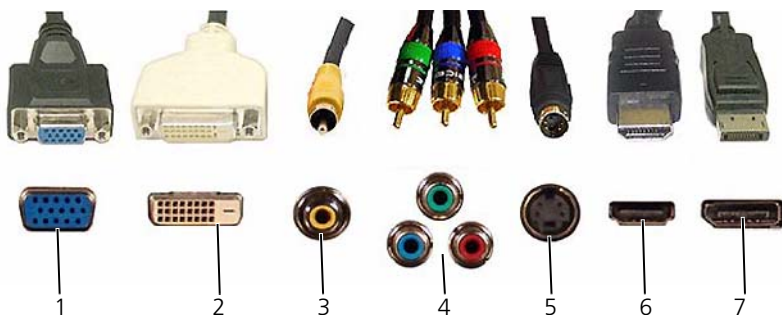
メモ：環境照明センサーを粘着性のラベルで塞がないでください。センサーが塞がれると、センサーが有効な場合に自動的に最小レベルの輝度が設定されます。

メモ：コンピュータをコンセントに接続すると、環境照明センターは無効になります。

モニタの輝度を調節するキーの組み合わせを使用すると環境照明センサーが無効になり、モニタの輝度はキー操作に応じて増減されます。

メモ：コンピュータを再起動すると、環境照明センサーは前の設定（有効または無効）に戻ります。

ケーブルと接続部

どのモニタにも電源用とデータ用に最低 2 本のケーブルが必要です。Dell モニタは、次のデータコネクタの 1 つまたは複数をサポートする場合があります。

	コネクタ	信号のタイプ	オーディオサポート	接続先
1	VGA	アナログ	×	モニタまたはプロジェクタ
2	DVI	デジタル	×	モニタまたはプロジェクタ
3	コンポジット	アナログ	×	ホームエンターテイメントシステム
4	コンポーネント	アナログ	×	ホームエンターテイメントシステム
5	S ビデオ	アナログ	×	• ホームエンターテイメントシステム • モニタ • プロジェクタ
6	HDMI	デジタル	○	• ホームエンターテイメントシステム • モニタ • プロジェクタ
7	DisplayPort	デジタル	○	• ホームエンターテイメントシステム • モニタ • プロジェクタ

これらのポートのピン割り当てに関しては、301 ページの「ポート」を参照してください。

DisplayPort™ - 機能および利点

デルは、大手の PC、グラフィックス、および半導体企業からなるグループと協力し、オープンスタンダードベースで使用料無料の拡張可能インタフェース **DisplayPort** を開発しました。このインタフェースは、外付けのデスクトップモニタと内部のモニタインタフェースの両方に適しています。

内部と外部の信号送信方法を統合することにより、DisplayPort では「ダイレクトドライブ」デジタルモニタの導入が可能であるため、フラットパネルモニタテクノロジを最も効率的にエンドユーザーに提供できます。

DisplayPort は、光ディスクプレーヤー、モバイルデバイス、パーソナルビデオレコーダー、およびテレビのようなハイ・ディフィニッションな内容のアプリケーション間の接続にも適しています。

そのほか、次のような特徴があります。

•WQXGA などの高い解像度（2048x1536 ピクセル）。

• 可変色深度（ピクセル当たりのビット数最大 30 bpp）。

• 最大 120 Hz のリフレッシュレート。

•Blu-ray ディスクコンテンツ対応の HDCP v1.3 をサポート。

• 最大ケーブル長 15 m をサポート。

• 内蔵または外付けスピーカ、マイクロフォン、およびカメラ付きのシステムの双方向オーディオおよびビデオに適応する単一のインタフェースとケーブル。

• デュアルリンク DVI を超えるパフォーマンス（10.6 Gbps 対 9.6 Gbps）

• 高帯域幅オーディオ。

詳細に関しては、**www.displayport.org** を参照してください。

NVIDIA SLI テクノロジと ATI Crossfire テクノロジ

一部のグラフィックス構成では、同一のグラフィックスカード 2 枚以上で構成して、NVIDIA スケーラブルリンクインタフェース（SLI）テクノロジまたは ATI Crossfire テクノロジを有効にすることができます。このようにすると、ゲームや 3D アプリケーションのパフォーマンスが向上します。

これらの技術を使用する利点の詳細に関しては、NVIDIA のウェブサイトおよび ATI のウェブサイトを参照してください。

4

ナビゲーションデバイス（マウス、キーボード、タッチパッド）

マウスやキーボード、タッチパッド、およびポインティングスティック（トラックスティック）を使用して、Microsoft® Windows® デスクトップで利用できる機能から移動および選択を行うことができます。

詳細情報：これらのデバイスの詳細に関しては、コンピュータのマニュアルを参照してください。また、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

マウス

マウスは、一般的に 2 つのボタンとスクロールホイールから構成されています。

- 画面上のアイテムを選択、またはクリックするには、左右のボタンを使用します。
- 画面上のページやウィンドウ内をスクロールするには、スクロールホイールを使用します。スクロールダウンするには、ホイールを下の方向に（自分に向かって）転がします。スクロールアップするには、ホイールを前の方向に（自分と反対に）転がします。

マウスボタンの速度のコントロール

Windows Vista®

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Mouse**（マウス）の順にクリックします。
2 **Mouse Properties**（マウスのプロパティ）ウィンドウの **Button**（ボタン）タブで、スライドバーを使用して適切な速度を選択します。
3 **OK** をクリックします。

Windows® XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **マウス** の順にクリックします。
2 **マウスのプロパティ** ウィンドウの **ボタン** タブで、スライドバーを使用して適切な速度を選択します。
3 **OK** をクリックします。

スクロールホイールの速度のコントロール

Windows Vista®

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Mouse**（マウス）の順にクリックします。
2 **Mouse Properties**（マウスのプロパティ）ウィンドウの **Wheel**（ホイール）タブで、マウスのスクロールホイールの動作オプションを設定します。
3 **OK** をクリックします。

Windows® XP

1. **スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **マウス** の順にクリックします。
2. **ホイール** タブの **スクロール** で、ホイールの 1 目盛りでスクロールする行数を選択するか、**1 画面ずつ** スクロールするをクリックします。
3. **OK** をクリックします。

非オプティカルマウスのクリーニング

画面のカーソル（マウスポインタ）が飛んだり、異常な動きをする場合は、マウスをクリーニングします。

注意 : マウスのクリーニングを行う前に、コンピュータからマウスを取り外します。

1. 薄めたクリーニング液で湿らせた布を使って、マウスの外側を拭き取ります。
2. マウスの底部にある固定リングを左に回し外します。ボールを取り出します。
3. 清潔な、糸くずの出ない布でボールを拭き取ります。
4. ボールケージに軽く息を吹きかけるか、圧縮空気のスプレーを使用して、ほこりや糸くずを取り除きます。
5. ボールケージの中にあるローラーが汚れている場合、消毒用アルコールを軽く浸した綿棒を使って、ローラーの汚れを拭き取ります。
6. ローラーが溝からずれてしまった場合、中央に戻します。綿棒の綿毛がローラーに残っていないか確認します。
7. ボールと固定リングを取り付けます。カチッと所定の位置に収まるまで、固定リングを時計回りに回します。

オプティカルマウスのクリーニング

薄めたクリーニング液で湿らせた布を使って、マウスの外側を拭き取ります。

Bluetooth® 対応ワイヤレスマウスの使い方

Bluetooth 対応デバイスをセットアップする前に、以下の操作を行ってください。

1 Bluetooth アダプタがお使いのコンピュータに既に組み込まれていない場合は、Bluetooth アダプタをお使いのコンピュータに取り付けます。
2 コンピュータが Bluetooth アダプタを検出（発見）できるようにデバイスをセットアップします。手順については、製造元のガイドまたはウェブサイトをチェックしてください。
3 お使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに対応する次のセクションの手順を使用して、デバイスを取り付けます。

Windows Vista

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）とクリックします。
2 **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Bluetooth Devices**（Bluetooth デバイス）とクリックします。
3 変更するデバイスをクリックして、**Properties**（プロパティ）をクリックします。
4 次のうちのいずれか 1 つを実行します。
   - デバイスの名前を変更するには、新しい名前を入力して、**General**（一般）タブをクリックし、**OK** をクリックします。
   - サービスを有効にするには、**Services**（サービス）タブでサービスの隣にあるチェックボックスを選択して **OK** をクリックします。
   - サービスを無効にするには、**Services**（サービス）タブでサービスの隣にあるチェックボックスの選択を外してから **OK** をクリックします。
   - お使いのコンピュータを Bluetooth 対応デバイスで検出可能にするには、**Bluetooth Devices**（Bluetooth デバイス）ダイアログボックスの **Options**（オプション）タブで、**Allow Bluetooth devices to find this computer**（Bluetooth デバイスによるこのコンピュータの検索を許可する）チェックボックスを選択します。
   - コンピュータに接続しようとしている Bluetooth 対応デバイスがある時に通知を受けるようにするには、**Bluetooth Devices**（Bluetooth デバイス）の **Options**（オプション）タブで、**Alert me when a new Bluetooth device wants to connect**（新規の Bluetooth デバイスによる、接続試行時には警告する）チェックボックスを選択します。

Windows® XP

1 Bluetooth 対応アダプタを取り付けるか、Bluetooth 対応アダプタの電源を入れます。
2 マウスの下部にあるボタンを押して、マウスを検出できるようにします。詳細に関しては、マウスのマニュアルを参照してください。
3 **スタート** → **コントロールパネル** → Bluetooth デバイスとクリックします。
4 **デバイス** タブで、**追加** をクリックします。
5 **セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました** チェックボックスを選択して、**次へ** をクリックします。
6 Bluetooth 対応マウスを示すアイコンをクリックして、**次へ** をクリックします。
7 **パスキーを使用しない** → **次へ** とクリックします。パスキー手順に関しては、マウスのマニュアルを確認してください。
8 ウィザードの残りの手順に従います。

詳細情報：デバイスの追加と設定の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

タッチパッド

タッチ入力に指を使用して（コンピュータによっては Tablet PC ペン）、カーソルを移動したり、画面上のオブジェクトを選択することができます。

- カーソルを移動するには、タッチパッド上で指やペンをそっとスライドさせます。
- オブジェクトを選択するには、選択したいオブジェクトにカーソルを動かしてタッチパッドの表面を 1 回軽くたたくか、親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指やペンを離さずに、そのままタッチパッドの表面で指やペンをスライドして選択したオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを動かしてタッチパッドを 2 回たたくか、または親指で左のタッチパットボタンを 2 回押します。

回転スクロール

メモ：お使いのノートブックコンピュータは、回転スクロール機能をサポートしていない場合があります。

回転スクロールを設定するには、デスクトップのタスクトレイで Dell Touch pad（Dell タッチパッド）アイコンをダブルクリックします。

スクロールタブでは、スクロールまたは回転スクロールを有効や無効にしたり、スクロールゾーンの幅およびスクロールスピードを選択できます。

回転スクロールを有効にすると、タッチパッド上で指を反時計回りまたは時計回りに動かすことにより、上下にスクロールできます。

フィンガーズーム

メモ：お使いのノートブックコンピュータは、フィンガーズーム機能がサポートされていない場合があります。

ズーム設定を変更するには、デスクトップのタスクトレイで Dell Touch Pad（Dell タッチパッド）アイコンをダブルクリックします。

ジェスチャ タブでは、フィンガーズーム（指を上下に動かすことでズームインおよびズームアウト）またはピンチズーム（二本の指を開いたり閉じたりすることでズームインおよびズームアウト）を有効および無効にできます。

タッチパッドのクリーニング

1. シャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
2. コンピュータに取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
3. 取り付けられているバッテリを取り外します。
4. 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

タッチポインタの使い方（トラックスティックまたは Tablet PC ペン）

コントロールパネルでのタッチポインタのオンとオフの切り替え

Windows Vista®

1. **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Pen and Input Devices**（ペンと入力デバイス）の順にクリックします。
2. **Touch Pointer**（タッチポインタ）タブで、**Show the touch pointer when I'm interacting with items on the screen**（画面で項目を操作するときにタッチ ポインタを表示する）チェックボックスを選択または選択を解除します。
3. **OK** をクリックします。

Windows® XP

1. **スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **ペンと入力デバイス** の順にクリックします。
2. **タッチポインタ** タブで、**画面で項目を操作するときにタッチ ポインタを表示する** チェックボックスを選択または選択を解除します。
3. **OK** をクリックします。

タスクバーでのタッチポインタのオンとオフの切り替え

1. 指を使用してタスクバーをプレスアンドホールドします。
2. **Tool Bar**（ツールバー）をポイントし、**Touch Pointer**（タッチポインタ）をタップします。
3. タッチポインタをオンまたはオフにするには、タスク バーの **Touch Pointer**（タッチポインタ）アイコンをタップします。

USB ポインティングデバイスの使い方（マウス）

お使いのコンピュータは通常、マウスを USB ポートに接続するとそのマウスを自動検出し、対応するドライバをインストールします。

メモ：一部のマウスはコンピュータによって自動検出されない場合があります。その場合は、適切なドライバを手動でインストールする必要があります。

詳細情報：USB ポインティングデバイスの使い方の詳細に関しては、ポインティングデバイスの製造元のガイドを参照してください。また、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

USB ポインティングデバイスのトラブルシューティング

次の問題のいずれかが発生した場合に、USB ポインティングデバイスを再度有効に設定する必要がある場合があります。

- ポインタが不規則に移動する
- ポインティングデバイスを移動してもポインタが応答しない
- ポインティングデバイスのボタンをクリックしても何も起こらない
- 数分使用するとポインティングデバイスが動かなくなる

USB ポインティングデバイスを再度有効にできない場合は、システムの復元を実行できます。

システムの復元の詳細に関しては、255 ページの「Microsoft® Windows® システムの復元の使い方」を参照してください。

ヒント：それでもポインティングデバイスに問題がある場合は、デバイスのソフトウェアドライバをチェックしてください。ドライバを再インストールする必要がある場合もあります。**77 ページの「デバイスの不具合の原因がデバイスドライバであるかどうかの確認」**を参照してください。

キーボード

お使いのキーボードには、次のようにさまざまな機能を実行する一連の異なるキーが提供されています。

- 文字や数、句読点、および記号の入力を行う英数字キー
- 次のような特定のアクションを実行するコントロールキー：<Ctrl>、<Alt>、<Esc>、および Windows ロゴキー
- 特定のタスクを実行する、<F1>、<F2>、<F3> などのファンクションキー
- 次のようなドキュメントやウィンドウ内でカーソルを移動するナビゲーションキー：<Home>、<End>、<Page Up>、<Page Down>、<Delete>、<Insert >、および矢印キー
- 計算機のように数字がまとめて配置されているテンキーパッド（ノートブックコンピュータのテンキーパッドは、ほとんどの場合、アルファベットキーに統合されています）

キーボードのカスタマイズ

キーボード設定では、次のように調整できます。

- キーボードの文字が次に連続で表示されるまでの待ち時間の変更
- キーボードの文字が連続で表示される時の速度の変更
- カーソルの点滅速度の変更
- 入力言語に関するキー操作のカスタマイズ

Windows Vista

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Keyboard**（キーボード）とクリックします。

2 変更するキーボードの設定を調整して、**OK** をクリックします。

Windows XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **キーボード** の順にクリックします。

2 **キーボードのプロパティ** ウィンドウで、変更するキーボードの設定を調整して、**OK** をクリックします。

バックライト付きキーボード

メモ：コンピュータによっては、バックライト付きキーボード機能がサポートされていない場合があります。

バックライト付きキーボードでは、キー上のすべての記号が照明されるので、暗い環境でもキーを確認できます。

キーボード / タッチパッドの輝度の設定 — <Fn> と右矢印キーを押して、3 つの照明状態を所定の順序で切り替えます。

照明状態は次の 3 つです。

1 キーボード / タッチパッドのフル照明

2 キーボード / タッチパッドの半照明

3 照明なし

キーボードの入力言語の変更

Windows Vista

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Clock, Language, and Region**（時計、言語、および地域）→ **Regional and Language Options**（地域と言語のオプション）の順にクリックします。

2 **Change keyboards or other input methods**（キーボードまたは入力方法の変更）をクリックします。

3 **Keyboards and Languages**（キーボードと言語）タブで、**Change keyboards**（キーボードの変更）をクリックします。

4 **Installed services**（インストールされているサービス）で、**Add**（追加）をクリックします。

5 追加する言語をクリックし、目的のテキストサービスを選択してから **OK** をクリックします。

メモ：Language bar（言語バー）が非表示の場合は、タスクバーを右クリックして **Toolbars**（ツールバー）をポイントしてから **Language bar**（言語バー）をクリックします。

6 language bar（言語バー）の **Input language**（入力言語）ボタンをクリックします。

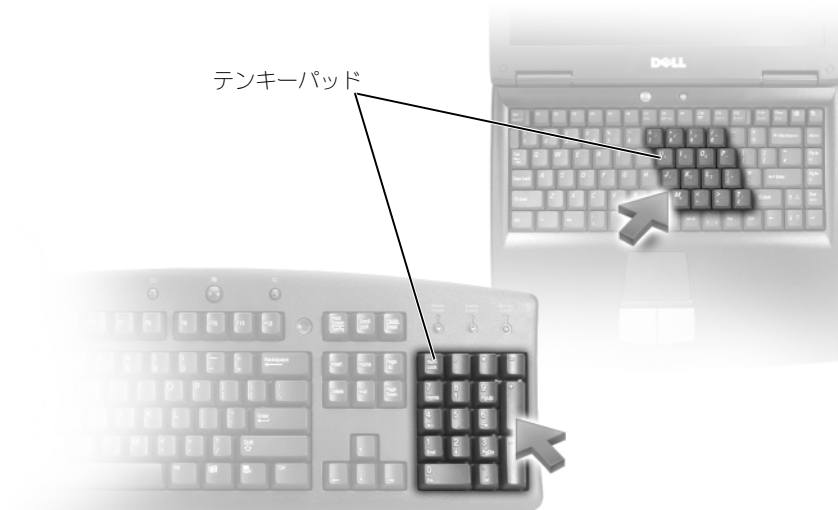
7 使用する入力言語を選択します。

8 **Keyboard layout**（キーボードレイアウト）ボタンをクリックしてから、キーボードのレイアウトを選択します。

Windows XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **日付、時刻、地域と言語のオプション** → **地域と言語のオプション** の順にクリックします。

2 **地域と言語のオプション** ウィンドウの **地域オプション** タブで、言語を選択し、**OK** をクリックします。

ノートブックコンピュータでのテンキーパッドの使い方

ノートブックコンピュータでは、キーボードにテンキーパッドが統合されている場合があります。このキーパッドは、拡張キーボードのキーパッドと対応しています。

- 数字または記号を入力するには、<Fn> を押したまま、目的のキーを押します。
- テンキーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。 のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。
- テンキーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

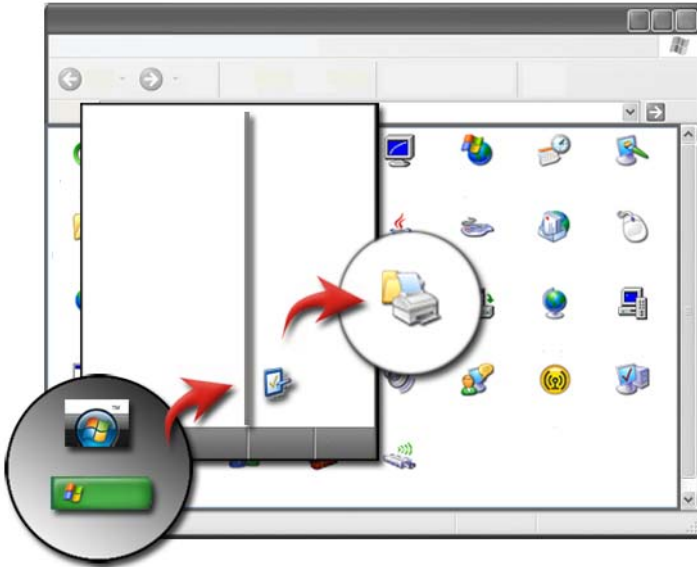
一般的なキーボードショートカット

<Ctrl><Shift><Esc>	**タスクマネージャ** ウィンドウを開きます。
<Fn><F8>	現在使用可能なすべてのディスプレイオプション（たとえば、ディスプレイのみ、外付けモニタまたはプロジェクタのみ、ディスプレイとプロジェクタの両方など）を示すディスプレイアイコンを表示します。目的のアイコンをハイライト表示して、画面をそのオプションに切り替えます。

<Fn> と上矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を上げます。
<Fn> と下矢印キー	内蔵ディスプレイのみの輝度を下げます（外付けモニタには適用されません）。
<Fn><Esc>	省電力モードを起動します。**Power Options Properties**（電源オプションのプロパティ）ウィンドウの **Advanced**（詳細設定）タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます。
<F2>	選択したアイテムの名前を変更します。
<F3>	ファイルまたはフォルダを検索します。
<F4>	Windows エクスプローラのアドレスバーのリストを表示します。
<F5>	アクティブなウィンドウを更新します。
<F6>	ウィンドウ内の、またはデスクトップ上の画面構成要素を順に切り替えます。
<F10>	アクティブなプログラムのメニューバーをアクティブにします。
<Ctrl><c>	選択したアイテムをコピーします。
<Ctrl><x>	選択したアイテムを切り取ります。
<Ctrl><v>	選択したアイテムを貼り付けます。
<Ctrl><z>	操作を元に戻します。
<Ctrl><a>	ドキュメントまたはウィンドウ内のアイテムをすべて選択します。
<Ctrl><F4>	アクティブなウィンドウを閉じます（複数のドキュメントを同時に開くことができるプログラム内で）。
<Ctrl><Alt><Tab>	矢印キーを使用して、開いているアイテム間を切り替えます。
<Alt><Tab>	開いているアイテム間を切り替えます。
<Alt><Esc>	開いた順にアイテムが切り替わります。
<Delete>	選択したアイテムを削除し、そのアイテムをごみ箱へ移動します。
<Shift><Delete>	選択したアイテムをごみ箱へ移動せずに削除します。
<Ctrl> と右矢印キー	カーソルを次の単語の最初に移動します。

<Ctrl> と左矢印キー	カーソルを前の単語の最初に移動します。
<Ctrl> と下矢印キー	カーソルを次の段落の最初に移動します。
<Ctrl> と上矢印キー	カーソルを前の段落の最初に移動します。
<Ctrl><Shift> と矢印キー	テキストブロックを選択します。
<Shift> と矢印キー	ウィンドウ内、またはデスクトップ上で複数のアイテムを選択します。または、ドキュメント内のテキストを選択します。
Windows ロゴキーと <m>	開いているすべてのウィンドウを最小化します。
Windows ロゴキーと <Shift><m>	最小化されたウィンドウを元に戻します。このキーの組み合わせは、Windows ロゴキーと <m> キーの組み合わせを使用する度に、最小化されたウィンドウを元に戻すための切り替えとして作動します。
Windows ロゴキーと <e>	Windows エクスプローラが起動します。
Windows ロゴキーと <r>	**ファイルを指定して実行** ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <f>	**検索結果** ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <Ctrl><f>	**検索結果ーコンピュータ** ダイアログボックスを開きます（ネットワークに接続している場合）。
Windows ロゴキーと <Pause>	**システムのプロパティ** ダイアログボックスを開きます。

5

プリンタ（設定およびドライバ）

プリンタ情報へのアクセス

プリンタについての情報は、**Start**（スタート）ボタンから参照できます。**Start**（スタート）メニューから、**Control Panel**（コントロールパネル）をクリックして、お使いのコンピュータに接続されているプリンタの一覧を含む、コンピュータ上のハードウェアにアクセスします。

ハードウェア固有の情報については、プリンタの製造元のマニュアルを参照してください。

ヒント：Start（スタート）メニューに、プリンタのショートカットを追加します。詳細に関しては、34 ページの「デスクトップアイコンとショートカット」を参照してください。また、Microsoft® Windows® ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

プリンタの設定の変更

プリンタの設定によって、印刷の品質、仕上げのオプション（両面印刷など）、インクまたはトナーの使用、サポートされる用紙サイズなどが決定します。

Windos Vista® の場合

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Printers and Faxes**（プリンタと FAX）の順にクリックします。

Windows® XP の場合

スタート → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **プリンタと FAX** の順にクリックします。

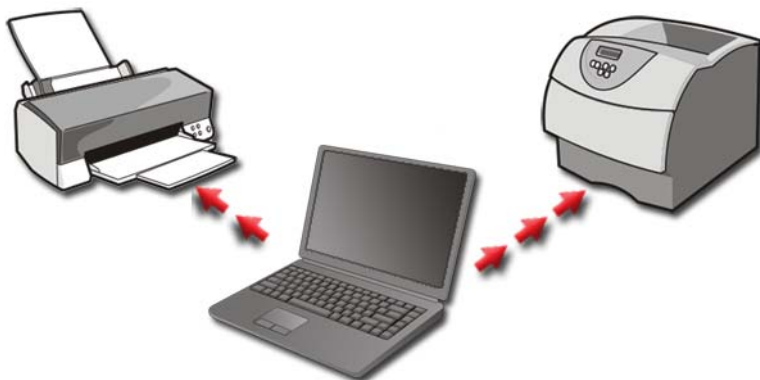
2 利用可能なプリンタの一覧に進み、設定を変更するプリンタを右クリックします。

3 **プロパティ** または **印刷オプション** のいずれかをクリックします。お持ちのプリンタモデルにより、選択できるオプションのタイプは異なります。

- **印刷オプション** では、このウィンドウ内のタブを使用して、画像品質の選択や、色の管理、効果のセットアップを行います。
- **プロパティ** では、このウィンドウ内のタブを使用して、現在の設定の表示やデバイスへの変更を行います。

例：デジタルカメラから写真用紙に写真を印刷する場合は、Quality Type（品質の種類）タブを使用して写真用紙の種類を選択します。

プリンタのセットアップ

1 台または複数のプリンタをお使いのコンピュータに接続したり、1 台または複数のコンピュータをお使いのプリンタに追加したりすることができます。

例：ノートブックコンピュータを仕事場と自宅で使用していると仮定します。両方の場所で印刷を行う場合、コンピュータに両方のプリンタをインストールできます。

プリンタの追加

Windows Vista®

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Printers**（プリンタ）の順にクリックします。

Windows XP の場合

スタート → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **プリンタと FAX** の順にクリックします。

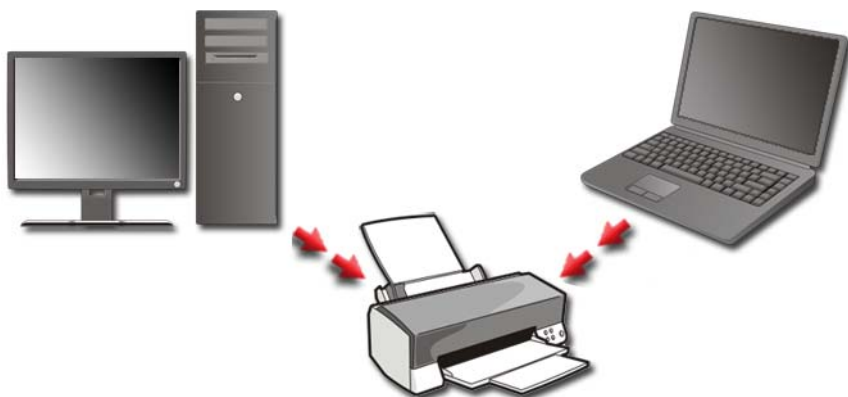
2 **プリンタの追加** をクリックします。

3 **プリンタの追加ウィザード** 画面の指示に従います。

デフォルトプリンタの設定

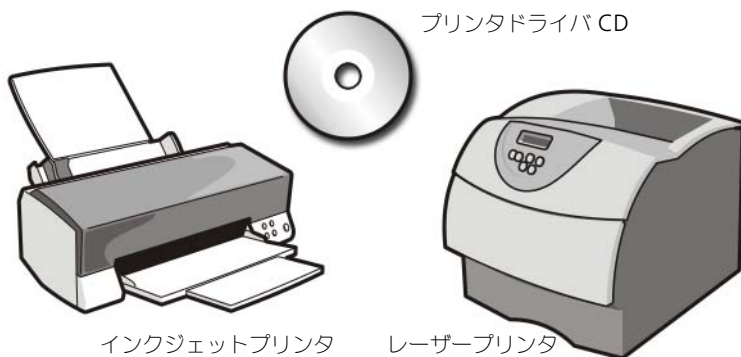
最も頻繁に使用するプリンタをデフォルトプリンタとして設定します。特定のプリンタをデフォルトプリンタとして設定するには、プリンタアイコンを右クリックし、**Set As Default Printer**（通常使うプリンタに設定）を選択します。デフォルトとして選択したプリンタアイコンの上部にチェックマークが表示されます。

ネットワークにおけるプリンタの共有

共有プリンタでは、複数のコンピュータからの入力を受信します。また、共有プリンタは、ネットワークプリンタとも呼ばれます。ネットワーク上の共有プリンタに接続すると、そのプリンタがお使いのコンピュータに取り付けられているように使用できます。

ネットワーク上でプリンタを共有するには、まずお使いのコンピュータにネットワークサービスを追加する必要があります。

ネットワークサービスをインストールする手順については、145 ページの「ネットワーク（LAN、ワイヤレス、モバイルブロードバンド）」を参照してください。お使いのコンピュータをネットワークに接続すると、その接続にプリンタを追加することができます。

詳細情報：ネットワークへの接続の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

プリンタドライバのインストール

ドライバとは、プリンタなどのデバイスを制御するプログラムであり、お使いのコンピュータとプリンタを連動させることを可能にします。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

プリンタドライバは、プリンタと共に CD で出荷されます。

以下の場合には、プリンタドライバのインストール、または再インストールが必要な場合があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいプリンタの接続または取り付け

プリンタドライバをインストールするには、以下の操作を行います。

1 『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。

  『Drivers and Utilities』メディアを初めてお使いになる場合は、手順 2 に進みます。それ以外の場合は、手順 5 に進みます。

2 『Drivers and Utilities』インストールプログラムが起動したら、画面の指示に従います。

メモ：ほとんどの場合、『Drivers and Utilities』プログラムは自動的に起動します。自動的に起動されない場合は、Windows エクスプローラを起動し、メディアドライブのディレクトリをクリックしてメディアの内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。

3 **InstallShield Wizard Complete**（InstallShield ウィザードの完了）ウィンドウが表示されたら、『Drivers and Utilities』メディアを取り出し、**Finish**（完了）をクリックしてコンピュータを再起動します。

4 Windows デスクトップが表示されたら、『Drivers and Utilities』メディアをもう一度挿入します。

5 **Welcome Dell System Owner**（Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます。）画面が表示されたら、**Next**（次へ）をクリックします。

『Drivers and Utilities』プログラムがコンピュータのハードウェアを検出中であるというメッセージが表示されます。

ヒント：お使いのコンピュータで使用されているドライバが、My Drivers—The Resource CD has identified these components in your system（マイドライバ － ResourceCD はシステム上でこれらのコンポーネントを検出しました）ウィンドウに自動的に表示されます。

メモ：『Drivers and Utilities』メニューでは、出荷時にお使いのコンピュータに取り付けられていたハードウェアのドライバのみが表示されます。追加のハードウェアを取り付けた場合、新しいハードウェアのドライバは表示されないことがあります。これらのドライバが表示されない場合、『Drivers and Utilities』プログラムを終了して、すべてのプログラムを終了し、コンピュータを再起動します。デバイスドライバの情報については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

6 再インストールするドライバをクリックし、画面の指示に従います。

特定のドライバが一覧に表示されていない場合は、オペレーティングシステムはそのドライバを必要としません。

6

ドライブおよびメディア

ハードディスクドライブスペースの解放

Microsoft® Windows Vista® では、オペレーティングシステム用として約 1 GB のスペースをハードディスクドライブ上に確保し、残りのスペースを標準動作用としています。

標準動作にどれだけのスペースを利用できるかを確認するには、**Start**（スタート）→ **Computer**（コンピュータ）の順にクリックします。ドライブおよびストレージデバイスの一覧が表示されます。ドライブ C（ハードディスクドライブ）の空きスペースが表示されます。

Shadow Storage（シャドーコピー）

Shadow Storage（シャドーコピー）は、システムの復元の実行用としてハードディスクドライブ上に予約されたスペースです（255 ページの「Microsoft® Windows® システムの復元の使い方」を参照）。

Shadow Storage（シャドーコピー）に使用されるハードディスクドライブのスペース量を確認するには、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Accessories**（アクセサリ）の順にクリックします。
2 **Command Prompt**（コマンドプロンプト）を右クリックします。

3 **Run as administrator**（システム管理者として実行）をクリックします。
4 続行の許可を求めるウィンドウが表示されたら、**Continue**（続行）をクリックします。
5 次のように入力します。

```
vssadmin list shadowstorage.
```

6 **<Enter>** を押します。

Command Prompt（コマンドプロンプト）に、Shadow Storage（シャドーコピー）で使用されるスペース量が表示されます。

Shadow Storage（シャドーコピー）で使用されるハードディスクドライブスペースの削減

1 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Accessories**（アクセサリ）の順にクリックします。
2 **Command Prompt**（コマンドプロンプト）を右クリックします。
3 **Run as administrator**（システム管理者として実行）をクリックします。
4 続行の許可を求めるウィンドウが表示されたら、**Continue**（続行）をクリックします。
5 次のように入力します。

vssadmin resize shadowstorage /On=C: /Maxsize=[Shadow Storage（シャドーコピー）**用に使用される最大スペース**

6 **<Enter>** を押します。
7 **Start**（スタート）→ **Computer**（コンピュータ）→ **Local Disk (C:)**（ローカルディスク（C:））の順にクリックして、Shadow Storage（シャドーコピー）に割り当てられたドライブスペースが少なくなっていることを確認します。

メモ： この保存領域に最適なサイズおよび最小のサイズについては、Windows ヘルプとサポートを参照してください。

ソリッドステートドライブ（SSD）

ソリッドステートドライブ（SSD）は、ソリッドステートメモリを使用して永続データを保存するデータストレージデバイスです。ソリッドステートとは電気用語で、ハードディスクドライブが磁気メディアを使用するのに対し、完全に半導体から構築される電子回路を指します。

フラッシュベースのメモリカードと異なり、SSD はハードディスクドライブをエミュレートするので、ほとんどのアプリケーションで容易に置換することができます。フラッシュメモリの代わりにスタティックランダムアクセスメモリ（SRAM）またはダイナミックランダムアクセスメモリ（DRAM）を使用する SSD は、RAM ドライブと呼ばれることもあります。

メディアドライブのドライバのインストール

ドライバは、お使いのメディアドライブを制御するプログラムです。以下の場合には、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ヒント： 本項で説明するタスクを実行するには、システム管理者権限でログインする必要があります。

デバイスの不具合の原因がデバイスドライバであるかどうかの確認

1 **Start**（スタート） をクリックして、**Computer**（コンピュータ）を右クリックします。
2 **Properties**（プロパティ）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。
3 続行の許可を求めるウィンドウが表示されたら、**Continue**（続行）をクリックします。
4 一覧をスクロールダウンし、デバイスアイコン上の感嘆符（[!] の付いた黄色の円）の付いたデバイスを探します。

   感嘆符がデバイス名の横にある場合は、ドライバの再インストールまたはアップデートが必要とされる可能性があります。

ドライバの以前のバージョンへの置き換え

ドライブのインストールまたはアップデート後にコンピュータに問題が発生した場合は、Windows デバイスドライバのロールバックを使用してください。

1 **Start**（スタート） をクリックして、**Computer**（コンピュータ）を右クリックします。
2 **Properties**（プロパティ）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。
3 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックし、**Properties**（プロパティ）をクリックします。
4 **Drivers**（ドライバ）タブ → **Roll Back Driver**（ドライバのロールバック）をクリックします。

デバイスドライバのロールバックを使っても問題が解決しない場合は、システムの復元（255 ページの「Microsoft® Windows® システムの復元の使い方」を参照）を使用して、新しいデバイスドライバをインストールする前の状態にコンピュータを戻します。

Drivers and Utilities メディアを使用したドライバの再インストール

1 Windows デスクトップが表示されている状態で、『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。

『Drivers and Utilities』メディアを初めてお使いになる場合は、手順 2 に進みます。それ以外の場合は、手順 5 に進みます。

2 『Drivers and Utilities』メディアインストールプログラムが起動したら、画面の指示に従います。

3 **InstallShield Wizard Complete**（InstallShield ウィザードの完了）ウィンドウが表示されたら、『Drivers and Utilities』メディアを取り出し、**Finish**（完了）をクリックしてコンピュータを再起動します。

4 Windows デスクトップが表示されたら、『Drivers and Utilities』メディアをもう一度挿入します。

5 **Welcome Dell System Owner**（Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます）画面で、**Next**（次へ）をクリックします。

コンピュータ上のハードウェアを『Drivers and Utilities』メディアが検出中であるというメッセージが表示されます。

お使いのコンピュータで使用されているドライバが、**My Drivers—The Drivers and Utilities media has identified these components in your system**（マイドライバ － 『Drivers and Utilities』メディアはシステム上でこれらのコンポーネントを検出しました）ウィンドウに自動的に表示されます。

ヒント：追加で取り付けたデバイスのドライバは、『Drivers and Utilities』メディアに含まれていない場合があります。デバイスのドライバの詳細に関しては、そのデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

6 再インストールするドライバをクリックし、画面の指示に従います。

手動でのドライバの再インストール

1 デバイスのドライバをハードディスクドライブにダウンロードします。

2 **Start**（スタート）をクリックして、**Computer**（コンピュータ）を右クリックします。

3 **Properties**（プロパティ）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。

4 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（たとえば、**Audio**（オーディオ）または **Video**（ビデオ））。

5 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
6 **Drivers**（ドライバ）タブ → **Update Driver**（ドライバの更新）→ **Browse my computer for driver software**（コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します）をクリックします。
7 **Browse**（参照）をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
8 該当するドライバの名前が表示されたら、ドライバの名前 → **OK**→ **Next**（次へ）をクリックします。
9 **Finish**（完了）をクリックして、コンピュータを再起動します。

ヒント：デルサポートウェブサイト support.dell.com および『Drivers and Utilities』メディアで、お使いの Dell コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からのドライバをインストールすると、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

ドライブの問題

警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに付属の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

MICROSOFT WINDOWS がドライブを認識しているか確認します — **Start**（スタート）→ **My Computer**（マイコンピュータ）の順にクリックします。ドライブがリストに表示されない場合は、デルにお問い合わせください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

ドライブをテストします —

- 他の CD、DVD、または Blu-ray Disc®（BD）を挿入して、オリジナルのメディアが破損していないことを確かめます。
- 起動可能ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

ドライブまたはディスクをクリーニングします —コンピュータに付属のユーザーマニュアルを参照してください。

スピンドルおよび、またはトレイ付きのドライブの場合は、メディアがスピンドルにきちんとはまっていることを確認します

スロットローディングを使用するドライブの場合は、メディアがスロットに完全に挿入されていることを確認します

ケーブルの接続を確認します

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 270 ページの「Windows ハードウェアのトラブルシューティング」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します — 270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照してください。

光学ドライブの問題

 メモ：高速光学ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともありますが、ドライブやメディアの異常ではありません。

 メモ：国や地域によってディスクフォーマットが異なるため、すべての DVD をお使いの DVD ドライブで再生できるわけではありません。

メディアドライブへの書き込みに関する問題

その他のプログラムを閉じます

書き込み処理速度を低く設定します —お使いの CD、DVD または BD ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

ドライブトレイを出すことができません（スロットローディングではないドライブの場合）

1 コンピュータの電源が切れていることを確認します。
2 クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にあるイジェクト穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
3 トレイが止まるまで、慎重に引き出します。

ドライブから摩擦音またはきしむ音がします

- 音の原因がプログラムであることを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

ハードディスクドライブの問題

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードディスクドライブが高温になっていると、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

チェックディスクを実行します —

Windows Vista®

1 **Start**（スタート） → **Computer**（コンピュータ）の順にクリックします。

   Windows® XP の場合：

   スタート → **My** マイコンピュータ の順にクリックします。

2 **ローカルディスク（C:）**を右クリックします。
3 **Properties**（プロパティ）→ **Tools**（ツール）→ **Check Now**（チェックする）をクリックします。

メモ : User Account Control（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。そうでない場合は、目的の操作を続行するためシステム管理者に連絡します。

4 **Scan for and attempt recovery of bad sectors**（不良なセクタをスキャンし回復する ）にチェックマークを付けてから **Start**（スタート）をクリックします。

RAID を使用した作業

独立ディスクの冗長アレイ（RAID）は、パフォーマンスとデータの冗長性を高めるディスクストレージ構成です。本項では、基本的な 4 つの RAID レベルについて説明します。

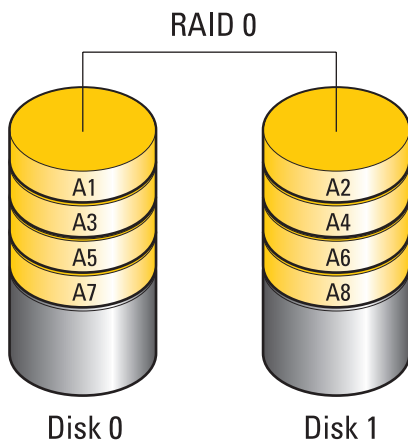
メモ：RAID には、複数のハードディスクドライブが必要です。必要なハードディスクドライブの数は、RAID 構成によって異なります。

- RAID レベル 0 は、高いパフォーマンス（高速スループット）に推奨されます。
- RAID レベル 1 は、高度なデータ保全性を求めるユーザーに推奨されます。
- RAID レベル 0+1 は、高いパフォーマンスとデータの整合性に推奨されます。
- RAID レベル 5 は、高いパフォーマンスとフォールトトレランスに推奨されます。

詳細情報：お使いのコンピュータは他の RAID レベル（5、10、50）をサポートしている場合があります。これらのレベルの詳細に関しては、support.jp.dell.com を参照してください。

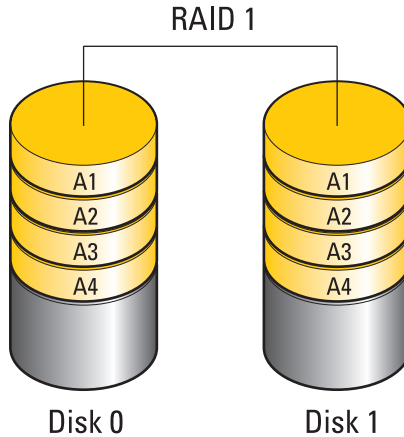
RAID レベル 0

注意 : RAID レベル 0 には冗長性はありません。したがって、1 台のドライブに不具合が発生すると、すべてのデータが失われます。データを保護するため、定期的にバックアップを行ってください。

RAID レベル 0 はデータ ストライピング を使用して、高速のデータアクセスを実現します。データストライピングは、連続するデータセグメント（ストライプ）を複数の物理ドライブに順次書き込むことで、大容量の仮想ドライブを作成します。データストライピングを使うと、1 つのドライブでデータを読み出している間に、別のドライブで次のブロックを探しながら読み出すことができます。

RAID 0 は、両方のドライブの全ストレージ容量を使用します。たとえば、120 GB のハードディスクドライブ 2 台を使用すれば、データの保存に合計 240 GB のハードディスクドライブスペースが使えます。

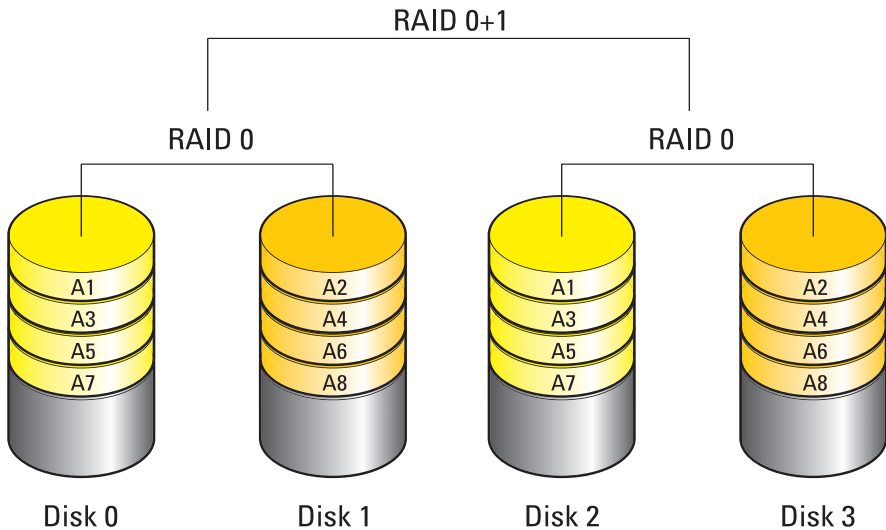
メモ：RAID 0 構成の構成サイズは、最小ドライブサイズにその構成内のドライブの台数を掛けた値になります。

RAID レベル 1

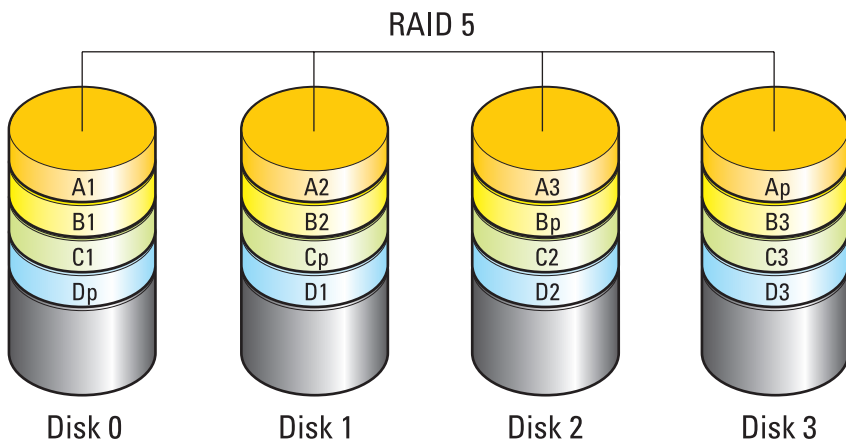
RAID レベル 1 は、データ ミラーリング を使用してデータの整合性を高めます。プライマリドライブに書き込まれたデータは、RAID を構成する他のドライブにも複製、つまりミラーリングされます。RAID 1 ではデータアクセス速度が低下する代わりに、データの冗長性が提供されます。

ドライブが故障すると、読み取り / 書き込み動作は残りのドライブに引き継がれます。交換用のドライブでは、残りのドライブを使ってデータを再構築することができます。

 メモ：RAID 1 構成のサイズは、構成内の最小ドライブのサイズと等しくなります。

RAID Level 0+1 構成

RAID 0+1 アレイでは、2 台のドライブ間でデータをストライピングし、そのストライピングされたデータを別の 2 台のドライブで構成されたもう 1 つのセットにミラーリングすることによって、RAID レベル 0 アレイの高速データアクセスと RAID レベル 1 のミラーリングによるデータ保護（冗長性）の両方を実現します。

ドライブが故障すると、次の読み出し / 書き込み動作は、正常に動作しているもう 1 セットのドライブで行われます。交換用のドライブは、正常に動作しているドライブのデータを使って再構築することができます。また、データはプライマリドライブと追加のドライブで複製されるので、4 台の 120 GB ドライブを用いた RAID レベル 1 構成では、データの保存に使用できるのは最大 240 GB となります。

RAID レベル 5 構成

RAID レベル 5 では、データのパリティを使用します。RAID レベル 5 は、データ情報とパリティ情報の両方を 3 台以上のドライブでストライピングします。これにより、データストライピングがバイトレベルで行われるほか、ストライピングのエラー修正情報（循環パリティ）も提供されます。そのため、高性能と優れたフォールトトレランス（耐故障性）が実現されます。

ドライブが故障すると、次の読み出し / 書き込み動作は、正常に動作しているもう 1 セットのドライブで行われます。交換用のドライブは、正常に動作しているドライブのデータを使って再構築することができます。また、データはプライマリドライブと追加のドライブで複製されるので、4 台の 120 GB ドライブを用いた RAID レベル 1 構成では、データの保存に使用できるのは最大 360 GB となります。

コンピュータを RAID 有効モードに設定する方法

RAID 構成を作成する前に、お使いのコンピュータを RAID 有効モードに設定する必要があります。

1 セットアップユーティリティを起動します（295 ページの「セットアップユーティリティの起動」を参照）。

2 上下矢印キーを押して **Drives**（ドライブ）をハイライト表示し、<Enter> を押します。

3 上下の矢印キーを押して適切なハードディスクドライブをハイライト表示し、<Enter> を押します。

4 左右矢印キーを押して **RAID On**（RAID オン）をハイライト表示し、<Enter> を押します。

5 各ハードディスクドライブに対し、必要に応じてこの手順を繰り返します。

メモ : スペースの未割り当てを回避するため、RAID 構成内のハードディスクドライブは同じサイズにしてください。

6 <Esc> を押し、左右矢印キーを押して **Save/Exit** をハイライト表示し、<Enter> を押してセットアップユーティリティを終了し、起動プロセスを再開します。

RAID の構成

コンピュータの購入時に RAID 構成を選ばなかった場合でも、コンピュータを RAID 構成にすることができます。この操作は、オペレーティングシステムのインストール前またはインストール後に実行できます。

お使いのコンピュータに応じて NVIDIA（86 ページの「NVIDIA ユーティリティの使用」を参照）または Intel（90 ページの「Intel® RAID ユーティリティの使用」を参照）プログラムを使用し、RAID アレイの作成と管理を行います。

NVIDIA ユーティリティの使用

NVIDIA ユーティリティがシステムにインストールされている場合は、その使い方について次の項を参照してください。

- 86 ページの「オペレーティングシステムインストール前の RAID アレイへのドライブの割り当て」。
- 87 ページの「オペレーティングシステムをインストールした状態での RAID アレイへの新しいドライブの割り当て」。
- 88 ページの「RAID アレイの削除」。
- 89 ページの「RAID 構成の変換」。
- 90 ページの「RAID 構成の再構築（RAID 1 のみ）」。

オペレーティングシステムインストール前の RAID アレイへのドライブの割り当て

注意 : 次の手順を実行すると、ハードディスクドライブ上のすべてのデータが削除されます。続行する前に、必要なデータすべてのバックアップを作成してください。

1 お使いのコンピュータ上の該当する各ハードディスクドライブで、RAID を有効にします（85 ページの「コンピュータを RAID 有効モードに設定する方法」を参照）。

2 コンピュータを再起動します。

3 RAID BIOS の起動を求めるプロンプトが表示されたら、<Ctrl> と <n> を押します。

Define a New Array（新しいアレイの定義）ウィンドウが表示されます。

メモ：オペレーティングシステムのロゴが表示された場合は、Microsoft Windows のデスクトップが表示されるのを待って、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

4 <Tab> を押して **RAID Mode**（RAID モード）フィールドに移動します。

RAID 0 構成を作成するには、矢印キーを使用して **Striping**（ストライピング）を選択します。

RAID 1 構成を作成するには、矢印キーを使用して **Mirroring**（ミラーリング）を選択します。

5 <Tab> を押して **Free Disks**（空きディスク）フィールドに移動します。

6 上下の矢印キーを使用して、RAID アレイに含めるハードディスクドライブを選択し、次に右矢印キーを使用して、選択したドライブを **Free Disks**（空きディスク）フィールドから **Array Disks**（アレイディスク）フィールドに移動します。RAID アレイに含める各ディスクについて、これら手順を繰り返します。

メモ：各 RAID アレイでサポートされるドライブの数は、使用するコンピュータの種類によって変わります。

7 ハードディスクドライブをアレイに割り当てたら、<F9> を押します。

Clear disk data（ディスクデータの消去）プロンプトが表示されます。

注意：次の手順で、選択したドライブ上のデータがすべて消去されます。続行する前に、必要なすべてのデータのバックアップを作成してください。

8 選択したドライブからすべてのデータを消去するには、<y> を押します。

Array List（アレイの一覧）ウィンドウが表示されます。

9 セットアップしたアレイの詳細を確認するには、矢印キーを使用して **Array Detail**（アレイの詳細）ウィンドウ内のアレイをハイライト表示し、<Enter> を押します。

Array Detail（アレイの詳細）ウィンドウが表示されます。

メモ：アレイを削除するには、矢印キーを使用してアレイを選択し、<d> を押します。

10 <Enter> を押すと、前の画面に戻ります。

11 RAID BIOS を終了するには、<Ctrl> と <x> を押します。

オペレーティングシステムをインストールした状態での RAID アレイへの新しいドライブの割り当て

1 台または複数のハードディスクドライブを既存の（非 RAID）シングルドライブコンピュータに追加して、新しいドライブを RAID アレイ内に構成する場合にのみ、Nvidia MediaShield を使用して RAID 構成を作成してください。

注意：次の手順を実行すると、ハードディスクドライブ上のすべてのデータが削除されます。続行する前に、必要なすべてのデータのバックアップを作成してください。

1 ハードディスクドライブの RAID を有効にします（85 ページの「コンピュータを RAID 有効モードに設定する方法」を参照）。
2 コンピュータを再起動した後で、Nvidia MediaShield を起動します。
3 **System Tasks**（システムタスク）で **Create**（作成）をクリックします。

   NVIDIA Create Array Wizard（NVIDIA アレイ作成ウィザード）画面が表示され、構成に利用できるディスクが一覧表示されます。
4 **Next**（次へ）→ **Custom**（カスタム）→ **Next**（次へ）とクリックします。
5 ドロップダウンボックスから、RAID 0 の場合は **Striping**（ストライピング）、RAID 1 の場合は **Mirroring**（ミラーリング）を選択します。
6 **Next**（次へ）をクリックします。

   Free Disk Selection（空きディスクの選択）ウィンドウが表示されます。

   メモ：RAID が有効なハードディスクドライブのみが空きディスクとして表示されます。
7 RAID を構成するドライブをクリックして選択し、**Next**（次へ）をクリックし、もう一度 **Next**（次へ）をクリックします。

   メモ：各 RAID アレイでサポートされるドライブの数は、使用するコンピュータの種類によって変わります。

   Clearing System Data（システムデータの消去）ウィンドウが表示されます。

注意：Clear System Data（システムデータの消去）オプションを選択すると、選択したドライブ上のすべてのデータが削除されます。続行する前に、必要なすべてのデータのバックアップを作成してください。

8 **Next**（次へ）→ **Finish**（完了）をクリックすると、RAID 構成が作成されます。

   MediaShield RAID 管理ユーティリティのウィンドウが表示され、取り付けられている他のハードディスクドライブとともにアレイを一覧表示します。

RAID アレイの削除

RAID 1 ボリュームを削除すると、そのボリュームは 2 つの非 RAID ハードディスクドライブにパーティションで分けられ、既存のデータはそのまま残ります。

注意：RAID 0 ボリュームを削除すると、ボリューム上のすべてのデータが消去されます。続行する前に、必要なすべてのデータのバックアップを作成してください。

注意：コンピュータが現在 RAID から起動している場合は、RAID ボリュームを削除すると起動できなくなります。

1 Nvidia MediaShield を起動します。
2 削除するアレイをクリックして選択します。

3 **System Tasks**（システムタスク）ペインで **Delete Array**（アレイの削除）をクリックします。

NVIDIA Delete Array Wizard（NVIDIA アレイ削除ウィザード）画面が表示されます。

4 **Next**（次へ）をクリックします。

削除のマークを付けたアレイの名前とサイズを示す確認画面が表示されます。

5 **Finish**（終了）をクリックすると、RAID 構成が削除されます。

MediaShield RAID 管理ユーティリティのウィンドウが表示され、取り付けられているその他のハードディスクドライブとともに残りのアレイを一覧表示します。

RAID 構成の変換

データを失うことなく、ディスクまたはアレイの現在の状態を（たとえば、ストライプからミラーへ）変更できます。また、既存のアレイにハードディスクドライブを追加することもできます。

アレイが変換されるまでの時間は、プロセッサの速度、使用するハードディスクドライブのタイプとサイズ、オペレーティングシステムなど、いくつかの要因によって左右されます。

注意：アレイで使用する追加のハードディスクドライブは、現在の構成で使用しているどのドライブよりも容量が大きいか、または等しいものを使用してください。

1 RAID 構成で使用するすべてのドライブが RAID 対応モードになっていることを確認します（85 ページの「コンピュータを RAID 有効モードに設定する方法」を参照）。

2 Nvidia MediaShield を起動します。

3 変換するアレイをクリックして選択します。

4 **System Tasks**（システムタスク）ペインで **Convert Array**（アレイの変換）をクリックします。

NVIDIA Convert Array Wizard（NVIDIA アレイ変換ウィザード）画面が表示されます。

5 **Next**（次へ）をクリックします。

6 **RAID Mode Selection**（RAID モードの選択）で、ドロップダウンメニューから **Mirroring**（ミラーリング）または **Striping**（ストライピング）を選択します。

7 **Next**（次へ）をクリックします。

注意：次の手順では、選択したドライブ上のデータがすべて消去されます。続行する前に、必要なすべてのデータのバックアップを作成してください。

8 **Free Disk Selection**（空きディスクの選択）で、アレイに含めるハードディスクドライブの横のチェックボックスをオンにします。

9 **Finish**（完了）をクリックします。

MediaShield RAID 管理ユーティリティのウィンドウが表示され、取り付けられている他のハードディスクドライブとともに、アップグレードまたは移行プロセスの状態が表示されます。

RAID 構成の再構築（RAID 1 のみ）

RAID 1 アレイ内のハードディスクドライブのいずれかに障害が発生した場合は、交換用ドライブにデータを復元することで、アレイを再構築できます。

1 Nvidia MediaShield を起動します。

2 管理ユーティリティウィンドウで、お使いの RAID 構成（**Mirroring**（ミラーリング））をクリックして選択します。

3 **System Tasks**（システムタスク）ペインで、**Rebuild Array**（アレイの再構築）を選択します。

NVIDIA Rebuild Array（NVIDIA アレイ再構築ウィザード）画面が表示されます。

4 **Next**（次へ）をクリックします。

5 横のチェックボックスをクリックして、再構築するハードディスクドライブを選択します。

6 **Next**（次へ）→ **Finish**（完了）をクリックします。

MediaShield RAID 管理ユーティリティウィンドウが開き、再構築の状態を表示します。

メモ : コンピュータはアレイの再構築中も使用できます。

Intel® RAID ユーティリティの使用

Intel ユーティリティがシステムにインストールされている場合は、その使い方について次の項を参照してください。

- 91 ページの「オペレーティングシステムインストール前の RAID 0 または RAID 1 アレイの設定」。
- 92 ページの「オペレーティングシステムをインストールした状態での RAID レベル 0 構成の作成」。
- 92 ページの「オペレーティングシステムをインストールした状態での RAID レベル 1 構成の作成」。
- 93 ページの「1 台のハードディスクドライブに発生した不具合の修復（RAID 1）」。

- 94 ページの「RAID レベル 0 構成への移行」。
- 95 ページの「RAID レベル 1 構成への移行」。

オペレーティングシステムインストール前の RAID 0 または RAID 1 アレイの設定

注意 : 次の手順で RAID 構成を作成すると、ハードディスクドライブのすべてのデータを失います。続行する前に、必要なデータのバックアップを作成してください。

注意 : 次の手順は、オペレーティングシステムを再インストールする場合にのみ実行してください。既存のストレージ構成を RAID レベル 0 構成に移行するときには、この手順を使用しないでください。

1 コンピュータを RAID 対応モードに設定します（85 ページの「コンピュータを RAID 有効モードに設定する方法」を参照）。

2 プロンプトが表示されたら <Ctrl> と <i> を押して、Intel RAID Option ROM ユーティリティを起動します。

3 上下矢印キーを押して **Create RAID Volume**（RAID ボリュームの作成）をハイライト表示し、<Enter> を押します。

4 RAID ボリューム名を入力するかデフォルトのままにし、<Enter> を押します。

RAID 0 の場合

a 上下の矢印キーを押して **RAID0（Stripe）**（RAID 0（ストライプ））を選択します。

メモ : RAID ボリュームに保存する平均ファイルサイズに最も近いストライプサイズを選択します。平均ファイルサイズが分からない場合、ストライプサイズとして 128 KB を選択してください。

b 上下矢印キーを押してストライプサイズを変更し、<Enter> を押します。

RAID 1 の場合

上下の矢印キーを押して **RAID1（Mirror）**（RAID 1（ミラー））を選択します。

5 ボリュームの容量を選択して、<Enter> を押します。

デフォルト値は、使用可能な最大サイズです。

6 ボリュームを作成するには、<Enter> を押します。

7 RAID ボリュームの作成を確定するには、<y> を押します。

8 Intel RAID Option ROM ユーティリティのメイン画面に、正しいボリューム構成が表示されていることを確認します。

9 上下矢印キーを押して **Exit** を選択し、<Enter> を押します。

10 オペレーティングシステムをインストールします（255 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照）。

オペレーティングシステムをインストールした状態での RAID レベル 0 構成の作成

メモ：この操作を行うと、その RAID ドライブ上のすべてのデータが失われます。

1 コンピュータを RAID 対応モードに設定します（85 ページの「コンピュータを RAID 有効モードに設定する方法」を参照）。
2 **Start**（スタート）→ **Programs**（プログラム）→ **Intel(R) Matrix Storage Manager**→ **Intel Matrix Storage Console** の順にクリックします。

   メモ : Actoin（アクション）メニューオプションが表示されない場合、コンピュータは RAID 対応モードに設定されていません。

3 **Action**（アクション）メニューで **Create RAID Volume**（RAID ボリュームの作成）を選択し、RAID ボリュームの作成ウィザードを起動して、**Next**（次へ）をクリックします。
4 **Select Volume Location**（ボリュームの場所の選択）画面で、RAID レベル 0 ボリュームに含める 1 台目のハードディスクドライブを選択してから、右矢印をクリックします。
5 RAID レベル 0 ボリュームに含める 2 台目のハードディスクドライブを選択し、右矢印をクリックします。選択したハードディスクドライブが **Selected**（選択済み）ウィンドウに表示されます。**Next**（次へ）をクリックします。

   メモ : RAID レベル 0 ボリュームに 3 台目のハードディスクドライブを追加するには、3 台目のハードディスクドライブを選択してから上記の手順に従ってください。

6 **Specify Volume Size**（ボリュームサイズの指定）ウィンドウで適切な **Volume Size**（ボリュームサイズ）をクリックして、**Next**（次へ）をクリックします。
7 **Finish**（完了）をクリックしてボリュームを作成するか、**Back**（戻る）をクリックして変更を加えます。

オペレーティングシステムをインストールした状態での RAID レベル 1 構成の作成

メモ：この操作を行うと、その RAID ドライブ上のすべてのデータが失われます。

1 コンピュータを RAID 対応モードに設定します（85 ページの「コンピュータを RAID 有効モードに設定する方法」を参照）。
2 **Start**（スタート）→ **Programs**（プログラム）→ **Intel(R) Matrix Storage Manager**→ **Intel Matrix Storage Console** の順にクリックします。

   メモ : Action（アクション）メニューオプションが表示されない場合、コンピュータは RAID 対応モードに設定されていません。

3 **Action**（アクション）メニューで **Create RAID Volume**（RAID ボリュームの作成）を選択し、RAID ボリュームの作成ウィザードを起動します。

4 最初の画面で **Next**（次へ）をクリックします。

5 ボリューム名を確認し、RAID レベルとして **RAID 1** を選択してから、**Next**（次へ）をクリックして続行します。

6 **Select Volume Location**（ボリュームロケーションの選択）画面で、使用する最初のハードディスクドライブをクリックし、右矢印をクリックします。

7 2 台のドライブが **Selected**（選択済み）ウィンドウに表示されるまで、2 台目のハードディスクドライブをクリックして、**Next**（次へ ）をクリックします。

8 **Specify Volume Size**（ボリュームサイズの指定）ウィンドウで適切な **Volume Size**（ボリュームサイズ）を選択して、**Next**（次へ）をクリックします。

9 **Finish**（完了）をクリックしてボリュームを作成するか、**Back**（戻る）をクリックして変更を加えます。

10 Microsoft Windows の新規 RAID ボリュームでのパーティション作成手順に従います。

1 台のハードディスクドライブに発生した不具合の修復（RAID 1）

メモ：次の手順は、必ず不具合の発生したハードディスクドライブを置き換えた後に実行してください（お使いのコンピュータで対応する「ドライブ」の項を参照）。

1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

2 プロンプトが表示されたら <Ctrl> と <i> を押して、Intel RAID Option ROM ユーティリティを起動します。

3 **DEGRADED VOLUME DETECTED**（劣化したボリュームが検知されました）に、新しい（非 RAID）ドライブが表示されていることを確認してから、<Enter> を押します。

4 **Disk/Volume Information**（ディスク / ボリュームの情報）で、ボリュームの状態が Rebuild となっていることを確認します。

メモ：Rebuild の状態になっているボリュームが、オペレーティングシステム内で再構築されます。

5 上下矢印キーを押して **Exit**（終了）を選択し、<Enter> を押します。

コンピュータでオペレーティングシステムが起動し、自動的に RAID ボリュームの再構築が開始されます。

メモ：コンピュータが RAID 1 ボリュームを再構築している間も、コンピュータを使用できます。

RAID レベル 0 構成への移行

1 コンピュータを RAID 対応モードに設定します（85 ページの「コンピュータを RAID 有効モードに設定する方法」を参照）。

2 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Intel(R) Matrix Storage Manager**→ **Intel Matrix Storage Console** の順にクリックします。

メモ : Action（アクション）メニューオプションが表示されない場合、コンピュータは RAID 対応モードに設定されていません。

3 **Action**（アクション）メニューから **Create RAID Volume From Existing Hard Drive**（既存のハードディスクドライブからの RAID ボリュームの作成）を選択して、移行ウィザードを起動します。

4 **Migration**（移行）ウィザード画面で、**Next**（次へ）をクリックします。

5 RAID ボリューム名を入力するか、デフォルト値をそのまま使用します。

6 ドロップダウンボックスから、RAID レベルとして **RAID 0** を選択します。

7 ドロップダウンボックスから適切なストライプサイズを選択して、**Next**（次へ）をクリックします。

ストライプサイズは、RAID ボリュームに保存する平均ファイルサイズに最も近いサイズにしてください。平均ファイルサイズが分からない場合、ストライプサイズとして 128 KB を選択してください。

8 **Select Source Hard Drive**（ソースハードディスクドライブの選択）画面で、移行するハードディスクドライブをダブルクリックして、**Next**（次へ）をクリックします。

このドライブは、RAID ボリュームに保存するデータまたはオペレーティングシステムファイルが格納されたハードディスクドライブにしてください。

9 **Select Source Hard Drive**（メンバーハードディスクドライブの選択）画面で、ハードディスクドライブをダブルクリックし、ストライプアレイをスパニングするメンバードライブを選択して **Next**（次へ）をクリックします。

10 **Specify Volume Size**（ボリュームサイズの指定）画面で、目的の **Volume Size**（ボリュームサイズ）を選択して、**Next**（次へ）をクリックします。

注意 : 次の手順では、メンバードライブに保存されたすべてのデータが削除されます。

11 **Finish**（完了）をクリックして移行を開始するか、**Back**（戻る）をクリックして変更を加えます。

メモ : 移行プロセス中でも、コンピュータを通常通りに使用できます。

RAID レベル 1 構成への移行

1. コンピュータを RAID 対応モードに設定します（85 ページの「コンピュータを RAID 有効モードに設定する方法」を参照）。
2. **Start**（スタート）→ **Program**（プログラム）→ **Intel(R) Matrix Storage Manager** → **Intel Matrix Storage Console** とクリックして、Intel Storage Utility を起動します。

   メモ：Action（アクション）メニューオプションが表示されない場合、コンピュータは RAID 対応モードに設定されていません。
3. **Action**（アクション）メニューから **Create RAID Volume From Existing Hard Drive**（既存のハードディスクドライブからの RAID ボリュームの作成）を選択して、移行ウィザードを起動します。
4. **Migration**（移行）ウィザード 画面で、**Next**（次へ）をクリックします。
5. RAID ボリューム名を入力するか、デフォルト値をそのまま使用します。
6. ドロップダウンボックスから、RAID レベルとして **RAID 1** を選択します。

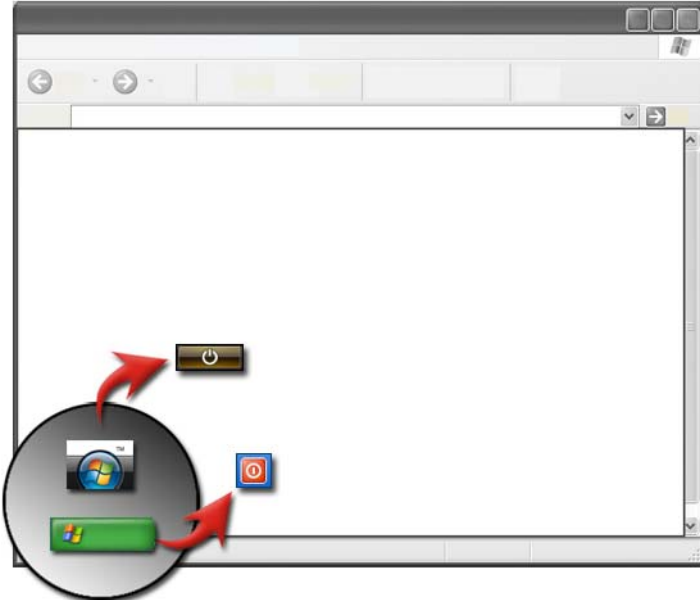
   メモ：ソースハードディスクドライブとして使用するハードディスクドライブ（RAID ボリューム上に残したいデータまたはオペレーティングシステムのファイルが含まれるハードディスクドライブ）を選択します。
7. **Select Source Hard Drive**（ソースハードディスクドライブの選択）画面で、移行するハードディスクドライブをダブルクリックして、**Next**（次へ）をクリックします。

   このドライブは、RAID ボリュームに保存するデータまたはオペレーティングシステムファイルが格納されたハードディスクドライブにしてください。
8. **Select Member Hard Drive**（メンバーハードディスクドライブの選択）画面で、ハードディスクドライブをダブルクリックして、構成内でミラーとして動作させるメンバードライブを選択し、**Next**（次へ）をクリックします。
9. **Specify Volume Size**（ボリュームサイズの指定）画面で、目的のボリュームサイズを選択して、**Next**（次へ）をクリックします。

注意：次の手順では、メンバードライブに保存されたすべてのデータが削除されます。

10. **Finish**（完了）をクリックして移行を開始するか、**Back**（戻る）をクリックして変更を加えます。

    メモ：移行プロセス中でも、コンピュータを通常通りに使用できます。

7

コンピュータのシャットダウン

コンピュータの電源を切る前に、必ず Microsoft® Windows® オペレーティングシステムをシャットダウンしてください。

Windows Vista®

1 開いているファイルをすべて保存して閉じ、プログラムをすべて終了します。
2 **Start**（スタート）をクリックして、ロックボタンの横の矢印にマウスのポインタを合わせます。
3 **Shut Down**（シャットダウン）をクリックします。

Windows® XP

1 開いているファイルをすべて保存して閉じ、プログラムをすべて終了します。
2 **スタート** をクリックし、**終了** オプション を選択します。

3 **コンピュータの電源を切る** ダイアログボックスが表示されます。
4 コンピュータをシャットダウンするには、**電源を切る** ボタンをクリックします。

ヒント：お使いのコンピュータが正常に動作しない場合、Windows を再起動すると、問題が解決することがあります。

詳細情報：Windows でお使いのコンピュータの電源を正しく切る方法の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）またはの → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

メモ：コンピュータの電源を入れると、Windows オペレーティングシステムは、自動的に起動します。

シャットダウンの状態

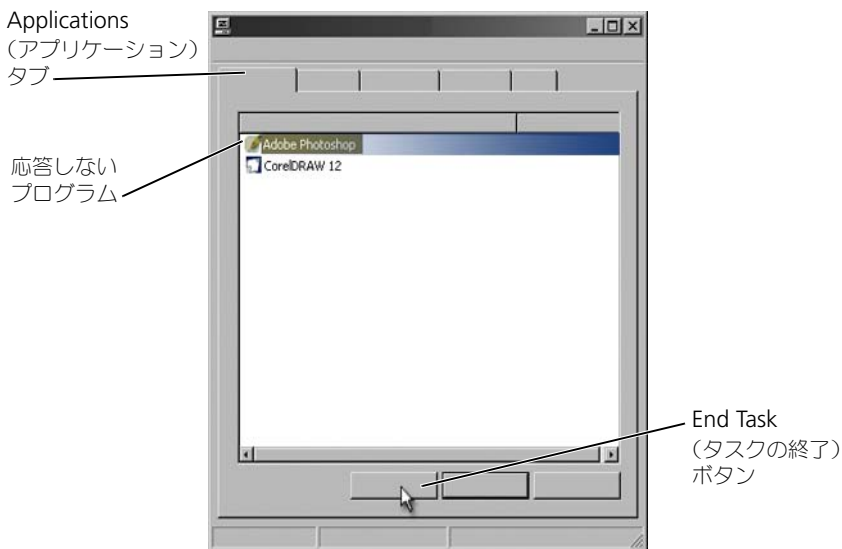
Microsoft® Windows Vista®

スリープ	スリープは省電力状態または省電力モードです。スリープでは、開いているドキュメントとプログラムをすべて保存し、再度作業を開始する際には、コンピュータをすばやく（一般的には数秒以内）フルパワーで復帰させることができます。
シャットダウン	コンピュータの電源を切る必要がある場合に限り shut down（シャットダウン）を使用します。例えば、メモリの追加や、コンピュータを数日使用しない場合などが挙げられます。

Windows® XP

スタンバイ	スタンバイとは、ディスプレイおよびハードディスクドライブの電源が切れている状態です。これにより、コンピュータは少ない電力で稼動します。コンピュータを再び使用する場合には、スタンバイ状態からすばやく復帰し、デスクトップは、スタンバイになる前の状態と全く同じに復元されます。スタンバイでは、デスクトップの状態がディスクに保存されないため、スタンバイ時に停電が発生すると、保存されていない情報を失う可能性があります。

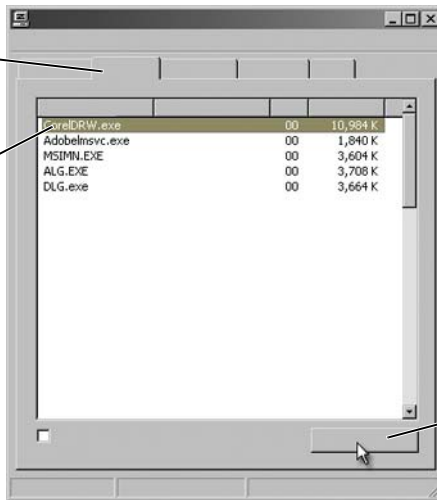
休止状態	休止状態とは、お使いのコンピュータが電源節約のためシャットダウンする状態ですが、シャットダウン時点で、ハードディスクのメモリ内にすべてを保存します。コンピュータを再起動すると、デスクトップは、休止状態になる前の状態と全く同じに復元されます。コンピュータでの作業中に、長時間コンピュータから離れる場合は、休止状態を使用して電源を節約します。
シャットダウン	コンピュータの電源を切る必要がある場合にシャットダウンを使用します。この操作では、コンピュータの電源を安全に切るために、Windows をシャットダウンします。

応答しないプログラムの終了

お使いのコンピュータのプログラムが応答しなくなったり、フリーズしているような場合は、Windows は問題を発見し、自動的に修復を行おうとします。引き続き作業を行うには、プログラムを終了する（終了させる）必要がある場合があります。Task Manager（タスクマネージャ）ユーティリティを使用することにより、プログラムを終了させることが可能です。

1 タスクバーを右クリックして、**Task Manager**（タスクマネージャ）をクリックします。
2 **Task Manager**（タスクマネージャ）ウィンドウが開きます。
3 **Applications**（アプリケーション）タブで、応答しないプログラムを選択し、**End Task**（タスクの終了）をクリックします。

メモ：そのプログラムで保存されていない入力データや変更内容は、消失します。

詳細情報： Task Manager（タスクマネージャ）の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

応答しないプロセスの終了

応答しなくなったプロセスを終了する（終了させる）には、Task Manager（タスクマネージャ）を使用します。プロセスとは、Windows エクスプローラのようなプログラムであったり、MSTask などのサービスである場合があります。

1 タスクバーを右クリックして、**Task Manager**（タスクマネージャ）→ **Processes**（プロセス）タブをクリックします。
2 **Process**（プロセス）タブで応答しないプロセスを選択し、**End Process**（プロセスの終了）をクリックします。

ヒント： プロセスを終了させる際は注意してください。開いているプログラムに関連するプロセスを終了させると、そのプログラムも閉じ、保存されていないデータをすべて失います。システムサービスに関連するプロセスを終了させると、システムの一部が正常に機能しなくなる場合があります。

詳細情報： プロセスが応答しない場合に行う処置の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

ノートブックコンピュータのドッキングおよびドッキングの解除

コンピュータ実行中のドッキング解除（ホットアンドッキング）

Advanced Configuration and Power Interface（ACPI）とは、電源管理の規格であり、これにより、オペレーティングシステムがコンピュータに取り付けられている各デバイスの電源量を制御できるようになります。

お使いのコンピュータが ACPI 対応である場合、コンピュータが動作中でも、開いているアプリケーションやプログラムをシャットダウンせずに、ドッキングを解除することができます。

コンピュータが ACPI 対応であるかを確認するには、以下の操作を行います。

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **System**（システム）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）（Tasks（タスク）の下）の順にクリックします。

2 続行の許可を求めるウィンドウが表示されたら、**Continue**（続行）をクリックします。

3 **System devices**（システムデバイス）を探します。お使いのコンピュータが ACPI 対応である場合は、デバイス名の隣に ACPI が表示されます。

Windows XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス**の順にクリックします。

2 **管理ツール** → **コンピュータの管理** → **デバイスマネージャ** とクリックします。
または
システム → **システムのプロパティ** → **ハードウェア** → **デバイスマネージャ** とクリックします。

3 **システムデバイス** を探します。お使いのコンピュータが ACPI 対応である場合は、デバイス名の隣に ACPI が表示されます。

詳細情報：ノートブックコンピュータのドッキング解除の詳細に関しては、コンピュータに付属のマニュアルと、ドッキングステーションに付属のマニュアルを参照してください。

シャットダウンを行わないドッキングの解除

1 開いているファイルをすべて保存します。
2 **Start**（スタート） → **Undock Computer**（コンピュータのアンドック）をクリックし、コンピュータをドッキング解除できることがシステムで確認されるまで待機します。
3 コンピュータをドッキングステーションから取り外します。

ヒント：
1）バッテリ電源が切れている状態でコンピュータをドッキング解除すると、コンピュータの電源はオフとなり、保存されていないデータはすべて消失します。

2）事前に準備をしない状態で、コンピュータのドッキングを解除しないでください。コンピュータの準備を行う前にドッキングを解除してしまうと、保存されていないデータを失い、コンピュータは数分間、通常の動作状態に戻らない場合があります。

3）ホットアンドッキングが利用できるのは、ACPI 対応のコンピュータのみとなります。

正常にシャットダウンができなかったコンピュータのシャットダウン

正常なシャットダウンができない場合があります。シャットダウンに失敗した際は、プログラムやプロセスがコンピュータをシャットダウンさせないようにしている場合があります。シャットダウンすると、Windows はすべてのプログラムを終了させようとします。プログラムの終了が行われない場合、**Task Manager**（タスクマネージャ）を使用して手動でプログラムおよびプロセスを終了させる必要があります。

停止しているコンピュータや「フリーズした」コンピュータのシャットダウン

Windows Vista

シャットダウンを行おうとすると、画面が暗くなり、コンピュータのシャットダウンを防ぐプログラムが示されることがあります。また、それらプログラムがコンピュータのシャットダウンを防いでいる理由を示す場合もあります。

- すべてのプログラムを強制的に終了し、コンピュータのシャットダウンプロセスを完了するには、**Shut down now**（すぐにシャットダウンする）をクリックします。**Shut down now**（すぐにシャットダウンする）をクリックすると、保存していなかったデータを損失する可能性があります。

または

- シャットダウンを実行しません。**Cancel**（キャンセル）をクリックして、Windows に戻ります。シャットダウンを防いでいるいずれかのプログラムに保存したいデータが含まれている場合は、すぐにそのデータを保存します。その後で、コンピュータをシャットダウンする処理を行います。

詳細情報：コンピュータのシャットダウンの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

Windows XP

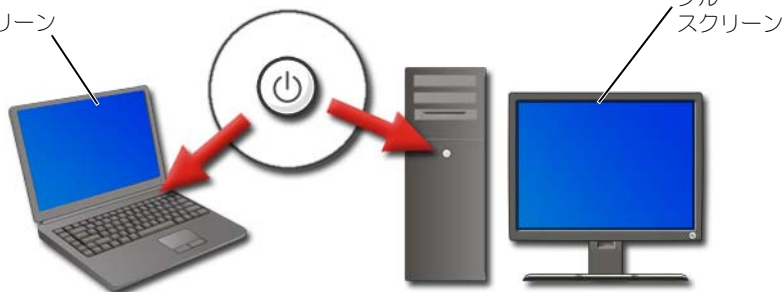
シャットダウンを実行しようとすると、Windows では、**プログラムの終了** ダイアログボックスが表示されることがあります。

- プログラムを終了させるには、**すぐに終了する** をクリックします。プログラムを即座に終了させると、保存されていないデータは消失します。

または

- シャットダウンを実行しません。**キャンセル** をクリックして、Windows に戻ります。シャットダウンを防いでいるいずれかのプログラムに、保存したいデータが含まれている場合は、すぐにそのデータを保存します。その後で、コンピュータをシャットダウンする処理を行います。

コンピュータが応答せず画面が青色（ブルースクリーン）になった場合のシャットダウン

オペレーティングシステムに回復不能なエラーが発生すると、コンピュータにはエラーコードを示すブルースクリーンが表示され、コンピュータのすべての動作が停止します。この時点では、コンピュータの電源をオフにする必要があります。

電源ボタンを 8 秒以上押し続けます。また、ノートブックコンピュータのバッテリを取り外し、再び取り付けることによって、確実に電源をオフにして、電源が戻ったときにコンポーネントがリセットされるようにすることもできます。139 ページの「バッテリの交換」を参照してください。

ヒント：コンピュータが応答せず、エラーメッセージが表示された場合は、そのメッセージを書き留めます。書き留めることにより、後で問題を解決するのに役立ちます。

エラーレポートのダイアログボックスが、コンピュータを再スタートした後に表示されます。表示されたエラーメッセージはすべて書き留めてください。

メモ：アクティブなプログラムに関連するデータのうち、保存されていないものは消失します。

詳細情報：コンピュータのシャットダウンの詳細に関しては、以下を参照してください。

- Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）
- 123 ページの「メンテナンスタスク（パフォーマンスの改善およびセキュリティ保護）」
- システム管理者
- **support.jp.dell.com**

セーフモードでのコンピュータの起動

セーフモードは、お使いのコンピュータを制限付きの状態で起動させる、Windows のトラブルシューティングオプションです。Windows を実行するのに必要な基本のファイルとドライバだけが起動します。

ブルースクリーンでフリーズしている状態の時にシャットダウンを実行した場合、セーフモードでコンピュータを起動すればよい場合があります。

使用している Windows モードを識別するため、「Safe Mode」（セーフモード）という用語が、ディスプレイの隅に表示されます。セーフモードで起動した時に既存の問題が再び発生しない場合は、デフォルトの設定および基本のデバイスドライバが原因ではないとわかります。

セーフモードにアクセスするには、コンピュータが再起動している間に <F8> キーを押し続けます。

停電後のコンピュータの再起動

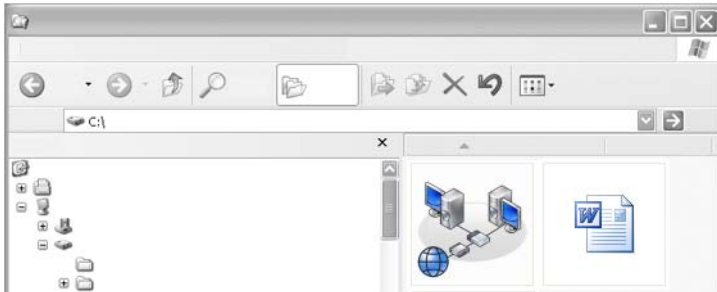
詳細情報：セーフモードの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

停電が発生した場合、コンピュータが再起動し、一連のメッセージを表示する場合があります。

- アプリケーションで作業を行っていた場合は、保存するドキュメントのバージョンの選択を求めるメッセージが表示されることがあります。
- アプリケーションやプログラムを開いていた場合は、プログラムが適切にシャットダウンされなかったことを示すメッセージが表示されることもあります。プログラムをシャットダウンして、コンピュータを再起動しなければならない場合もあります。

詳細情報：お使いのコンピュータの電源オプションを管理する方法の詳細に関しては、以下を参照してください。

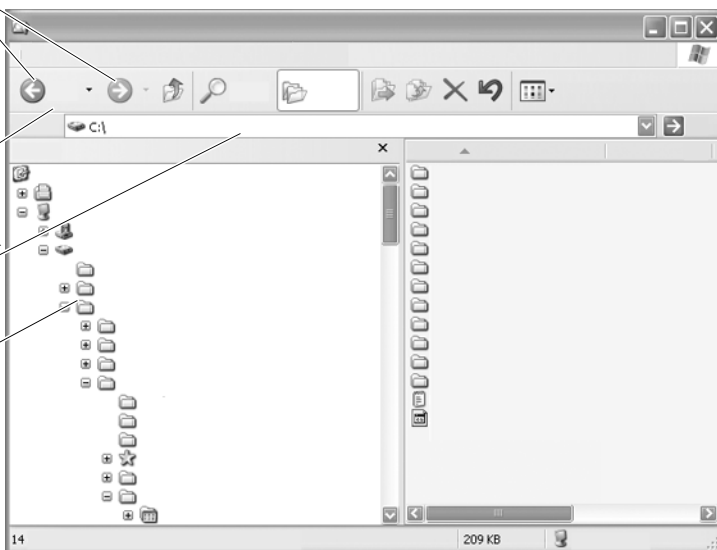
- Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）
- 123 ページの「メンテナンスタスク（パフォーマンスの改善およびセキュリティ保護）」
- 133 ページの「電源（電源設定、電源保護装置 およびバッテリ）」。

8

ファイルおよびフォルダ

ファイルとは、コンピュータ上に保存されている文書、写真、またはグラフィックスを指します。フォルダは、複数のファイルをグループ化したものです。

詳細情報：ファイルおよびフォルダを開く、コピーする、および削除する方法の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

ファイルへの移動

進む / 戻る
ボタン
ツールバー
アドレスバー
フォルダ

お使いのコンピュータで利用できるファイルおよびフォルダを表示、検索するには、Microsoft® Windows® エクスプローラを使用します。

詳細情報：Windows エクスプローラユーティリティの使い方の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

Windows エクスプローラで、以前に表示していたファイルへ移動するには、Address（アドレス）バーの上にある **Forward**（進む）および **Back**（戻る）ボタンを使用します。

ファイルの選択および開き方

ファイルを開くには、まずファイルを選択する必要があります。ファイルを選択するには、ファイル名を一度クリックします。選択したファイルがハイライト表示されます。ファイルを開くには、選択したファイル名をダブルクリックします。

ファイルのグループ選択

グループに含める最初のファイルをクリックします。**<Shift>** キーを押しながら、グループに含める最後のファイルをクリックします。グループ内のすべてのファイルがハイライト表示されます。

複数のファイルのランダムな選択

選択したいファイルをクリックします。<Ctrl> キーを押しながら、ファイルをそれぞれクリックします。選択したファイルがすべてハイライト表示されます。

ファイルを開いて保存する

開くファイルをダブルクリックします。ファイルでの操作が完了したら、**File**（ファイル）→ **Save**（保存）をクリックしてファイルを保存します。ファイルを閉じるには、右上の角にある **X** をクリックします。

メモ：アプリケーションの特定のファイルではなく、アプリケーションの右上の角にある **X** をクリックすると、アプリケーションで開いているファイルがすべて閉じられます。

ヒント：ファイルに別の名前を付けて保存するには、**File**（ファイル）→ **Save As**（名前を付けて保存）をクリックします。File name（ファイル名）ボックスにファイルの名前を入力して、Save（保存）をクリックします。

グラフィックイメージを開く（画像やアート）

写真などのグラフィックをダブルクリックして開くと、そのグラフィックは Windows Picture and Fax Viewer（Windows 画像と FAX ビューア）ウィンドウに表示されます。グラフィックに変更を加えるには、そのグラフィックを作成するのに使用したプログラム内で、または他のグラフィック編集プログラムでグラフィックを開く必要があります。

ファイルの検索

ファイルの保存場所がわからない場合は、**Search**（検索）オプションを使用できます。

ファイルの検索

Windows Vista®

1 **Start**（スタート） → **Search**（検索）をクリックします。
2 **Search Results**（検索結果）ウィンドウで、**All**（すべて）をクリックします。
3 Search（検索）ボックスにファイル名、またはファイル名の一部を入力します。
4 **Search**（検索）ボックスに単語や単語の一部を入力します。
5 **<Enter>** を押すか、拡大鏡をクリックします。

画像を検索するには、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Windows Photo Gallery** とクリックします。

Windows® XP

1 **スタート** → **検索** の順にクリックします。
2 **検索コンパニオン** で、検索を行う項目の種類を選択します。
3 名前を入力して **検索** をクリックします。

ファイル名の変更

オペレーティングシステムやその他のプログラムで動作に必要なファイルの名前は変更できません。

1 名前を変更するファイルを右クリックします。
2 ドロップダウンメニューから **Rename**（名前の変更）をクリックします。
3 ファイルの新しい名前を入力して、<Enter> キーを押します。

ファイルの印刷

1 印刷を行うファイルを開き、**File**（ファイル）→ **Print**（印刷）を選択します。
2 印刷の設定を指定して、**OK** をクリックします。

ファイルの削除

1 削除するファイルをクリックします。
2 **Delete** （削除）キーを押します。**Confirm File Delete**（ファイルの削除の確認）ダイアログボックスが表示されます。
3 選択したファイルが削除されます。

ヒント：ファイルを削除すると、Windows では、そのファイルを元に戻す必要がある場合に備えて、ファイルをごみ箱に置きます。ファイルを永久に削除するには、ごみ箱を空にします。ごみ箱を空にするには、Recycle Bin（ごみ箱）アイコンをダブルクリックして、File（ファイル）メニューから Empty Recycle Bin（ごみ箱を空にする）を選択します。

ファイルの共有

Windows Vista

1 共有する 1 つまたは複数のファイルやフォルダをクリックして、**Share**（共有）をクリックします。

2 **File Sharing**（ファイルの共有）ダイアログボックスで、次のいずれかをクリックします。

- **On the same computer**（同じコンピュータ上）：ファイルを共有するユーザーの名前を入力して、**Add**（追加）をクリックします。
- **On a domain — individuals**（ドメイン上一個人）：テキストボックスの右にある矢印をクリックして、**Find**（検索）をクリックします。ファイルを共有するユーザーの名前を入力して、**Check Names**（名前の確認）をクリックし、**OK** をクリックします。
- **On a domain — everyone**（ドメイン上一全員）：テキストボックスの右にある矢印をクリックして、**Everyone** （全員）をクリックし、**Add**（追加）をクリックします。
- **On a workgroup**（ワークグループ上）：テキストボックスの右にある矢印をクリックして、ユーザーの名前をクリックし、**Add**（追加）をクリックします。

複数のユーザーとファイルを共有するためには、ユーザーアカウントを新しく作成する必要がある場合があります。

3 **Permission Level**（許可レベル）で、ユーザーやグループのそれぞれ隣にある矢印をクリックし、次のような共有の許可を選択します。
   - **Reader**（閲覧者）では、共有ファイルを表示できますが、追加、変更、または削除はできません。
   - **Contributor**（投稿者）では、共有ファイルを表示、追加できますが、変更と削除ができるのは投稿したファイルのみとなります。
   - **Co-owner**（共同所有者）では、共有ファイルを表示、追加、変更、削除できます。

4 **Share**（共有）をクリックします。管理者パスワードまたは確認を求められた場合は、パスワードを入力するか、確認に応じます。

5 続行の許可を求めるウィンドウが表示されたら、**Continue**（続行）をクリックします。

6 フォルダが共有されたという確認を受けたら、共有ファイルへのリンクを共有ユーザーに通知します。

7 **Done**（完了）をクリックします。

メモ：共有ファイルやフォルダの名前を変更する場合は、そのファイルやフォルダを共有しているユーザーに新しい場所へのリンクを通知します。

Windows XP

1 **スタート** → **マイドキュメント** の順にクリックします。

2 共有するファイルやフォルダを選択して、**その他** ボックスの **共有ドキュメント** へドラッグします。

ヒント：フォルダやドキュメントの共有の詳細に関しては、File and Foler Tasks（ファイルとフォルダのタスク）ボックスの下にある Shared Documents（共有ドキュメント）オプションをクリックします。その後で、共有ドキュメントのプロパティウィンドウで、共有とセキュリティ のリンクをクリックします。この操作により、Windows ヘルプとサポート画面が表示されます。

パスワード保護されたファイルの共有

お使いのコンピュータがワークグループに参加している場合、パスワード保護をオン、またはオフにするオプションが用意されています。

パスワード保護をオンにすると、共有するユーザーは、共有ファイルやフォルダにアクセスするために、お使いのコンピュータのユーザーアカウントおよびパスワードが必要になります。

ファイルへのアクセス制限

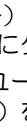
特定のファイルやフォルダに許可を設定して、フォルダやファイルにアクセスするユーザーを制限できます。

1 許可を設定するフォルダやファイルを検索して、そのフォルダやファイル上で右クリックします。
2 グループやユーザーから許可を外すには、**Properties**（プロパティ）→ **Security**（セキュリティ）をクリックして、目的のグループやユーザーをクリックし、**Remove**（外す）をクリックします。

詳細情報：許可設定の詳細に関しては、241 ページの「システム管理者の権限」を参照してください。

新しいコンピュータへのファイルと設定の転送

Windows XP コンピュータから Windows Vista コンピュータへのファイルの転送

1 Windows Vista DVD から Windows XP を実行しているコンピュータに Windows Easy Transfer（Windows 簡易転送）をインストールします。
2 インストールが完了したら、**Start**（スタート）→ **Windows Easy Transfer**（Windows 簡易転送）の順にクリックします。

3 **User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ダイアログボックスで **Continue**（続行）をクリックし、**Windows Easy Transfer** （Windows 簡易転送）ウィザードの手順に従います。

Windows Easy Transfer（Windows 簡易転送）が **Start** （スタート）メニューに表示されていない場合は、次のようにコントロールパネルを使用して、**Windows Easy Transfer**（Windows 簡易転送）ウィザードにアクセスします。

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **Welcome Center**（ウェルカムセンター）→ **Transfer files and settings**（ファイルと設定の転送）の順にクリックします。

2 **User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ダイアログボックスで **Continue**（続行）をクリックし、**Windows Easy Transfer** （Windows 簡易転送）ウィザードの手順に従います。

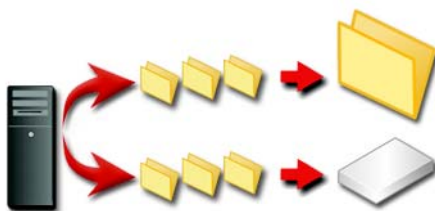
Windows XP コンピュータ間でのファイルの転送

Windows XP で、**ファイルと設定の転送** ウィザードを使用して、元のコンピュータから別のコンピュータへファイルやフォルダを転送するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** の順にクリックします。

2 **ファイルと設定の転送ウィザード** を選択します。

3 ウィザードの手順に従います。

ファイルのバックアップ

コンピュータ全体を、または特定のファイルやフォルダのみをバックアップすることができます。

Windows Vista

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **Welcome Center**（ウェルカムセンター）→ **Transfer files and settings**（ファイルと設定の転送）の順にクリックします。

2 **Back up files**（ファイルのバックアップ）または **Back up computer**（コンピュータのバックアップ）をクリックします。

3 **User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ダイアログボックスで **Continue**（続行）をクリックし、**Back up Files**（ファイルのバックアップ）ウィザードの手順に従います。

Windows XP

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **バックアップ** の順にクリックします。

2 **バックアップまたは復元ウィザード** で、**詳細モード** をクリックします。

3 **バックアップ** タブ → **ジョブ** → **新規** とクリックします。

4 **バックアップを行うドライブ、フォルダ、またはファイルのチェックボックスをクリックして選択します** で、バックアップするファイルやフォルダの左にあるチェックボックスを選択して、指定します。

5 **バックアップ先** で、次の手順のいずれかを実行します。

- ファイルおよびフォルダをファイルにバックアップする場合は、**ファイル** をクリックします。このオプションは、デフォルトで選択されています。
- ファイルおよびフォルダをテープにバックアップする場合は、テープデバイスをクリックします。

6 **バックアップを格納するメディア名またはファイル名** で、次の手順のいずれかを実行します。

- ファイルおよびフォルダをファイルにバックアップする場合は、バックアップファイル（.bkf）のパスとファイル名を入力するか、**参照** ボタンをクリックしてファイルを検索します。
- ファイルおよびフォルダをテープにバックアップする場合は、使用するテープをクリックします。

7 **ツール** メニューをクリックしてから **オプション** をクリックして、バックアップタイプおよびログファイルタイプなどの目的のバックアップオプションを指定します。

8 バックアップオプションを指定したら、**OK** をクリックします。

9 **バックアップの開始** をクリックして、**バックアップジョブ情報** ダイアログボックスに変更を加えます。データ検証やハードウェア圧縮などの詳細なバックアップオプションを設定する場合は、**詳細設定** をクリックします。詳細なバックアップオプションを設定したら、**OK** をクリックします。

10 バックアップ操作を開始するには、**バックアップの開始** をクリックします。

事前に設定を行った場合のバックアップの実行

バックアップの手順を事前に設定した場合、設定に変更を加えないのであれば、単に **バックアップまたは復元ウィザード** にアクセスして、**次へ** をクリックして、**完了** をクリックします。ウィザードにより、オプションが表示された後で、バックアッププロセスが開始します。

非表示のドライブでのバックアップの実行

メモ：「非表示」のドライブでバックアップを実行することはできません。

この状況でバックアップを行う場合は、まず最初に非表示のドライブを表示する必要があります。これには、ドライブを非表示にするときに使用したプログラムを開き、ドライブが表示されるようにします。

ファイルの復元

コンピュータ全体を、またはコンピュータ上にあるファイルおよびフォルダだけを復元することができます。

Windows Vista

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **Backup and Restore Center**（バックアップと復元センター）の順にクリックします。

2 **Restore files**（ファイルの復元）、または **Restore computer**（コンピュータの復元）のいずれかをクリックします。

3 **User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ダイアログボックスで **Continue**（続行）をクリックし、**Restore Files**（ファイルの復元）ウィザードの手順に従います。

Windows XP

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **バックアップ** の順にクリックします。

2 **詳細モード** をクリックします。

3 **メディアの復元と管理** タブで、復元するファイルおよびフォルダを選択します。
4 バックアップファイルおよびフォルダを保存する場所を選択します。
5 既存のファイルを同じ名前で置き換えるかどうかを選択します。
6 **復元の開始** をクリックします。

9

アプリケーションの管理（プログラム）

お使いのコンピュータへのアプリケーションのインストール

Microsoft® Windows® での CD または DVD からのアプリケーションのインストール

1 CD または DVD をお使いのコンピュータに挿入します。
2 画面の手順に従います。

   管理者パスワードまたは確認を求められた場合は、パスワードを入力するか、確認に応じます。

   アプリケーションがインストールされない場合は、インストールディスクでアプリケーションのセットアップファイルを検索します。これらは、通常、**setup.exe** または **install.exe** という名前です。

インターネットからのアプリケーションのインストール（ダウンロード）

1 お使いのウェブブラウザで、アプリケーションへのリンクをクリックします。

   管理者パスワードまたは確認を求められた場合は、パスワードを入力するか、確認に応じます。

2 **開く** または **実行** をクリックして、画面の手順に従います。
または

保存 をクリックして、お使いのコンピュータにインストールファイルをダウンロードし、ウィルスをスキャンします。アプリケーションをインストールするには、該当のファイルをダブルクリックし、画面の手順に従います。

注意：インターネットからアプリケーションをダウンロードおよびインストールする場合は、アプリケーションの発行元やそのアプリケーションを提供しているウェブサイトが信用できることを確認してください。

ネットワークからのアプリケーションのインストール

このトピックは、お使いのコンピュータがネットワークに接続されている場合のみ適用されます。お使いのコンピュータがネットワークに接続されていない場合は、**Get Programs Online**（プログラムをオンラインで取得）（Windows Vista）などのように、選択するオプションが異なる場合があります。

Windows Vista®

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Programs**（プログラム）の順にクリックしてから、**Get Programs**（プログラムをオンラインで取得）をクリックします。
2 一覧からアプリケーションを選択して、**Install**（インストール）をクリックします。
3 画面の手順に従います。

プロンプトが表示された場合は、システム管理者パスワードを入力するか、確認を行います。

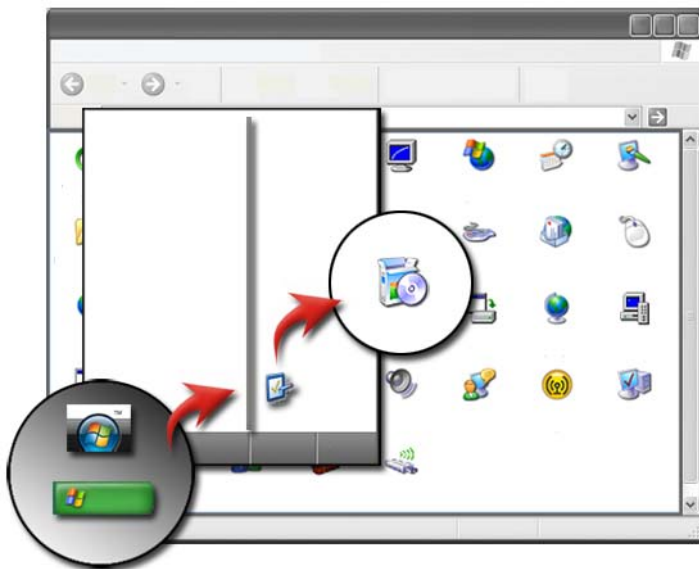
Windows® XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プログラムの追加と削除** の順にクリックします。
2 **プログラムの追加** をクリックします。

3 ネットワーク管理者により利用できるプログラムが項目ごとに分類されている場合は、追加したいプログラムを参照するために **カテゴリ** で他のオプションを選択する必要がある場合があります。

4 一覧からアプリケーションを選択して、**追加** をクリックします。

5 画面の手順に従います。

コンピュータからのアプリケーションの削除

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Programs**（プログラム）→ **Programs and Features**（プログラムと機能）とクリックします。

2 削除するアプリケーションを選択し、**Uninstall**（アンインストール）をクリックします。

プロンプトが表示された場合は、システム管理者パスワードを入力するか、確認を行います。

Windows XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プログラムの追加と削除** の順にクリックします。

2 **プログラムの削除** をクリックし、削除するアプリケーションを選択します。
3 **削除** をクリックします。

> **ヒント：**単にプログラムを削除しても、お使いのコンピュータからそのプログラムは完全に削除されません。プログラムの追加と削除ユーティリティを使用する以外の方法で、コンピュータからプログラムを削除すると、他のプログラムで必要なドライバを誤って削除する場合があります。

応答しないアプリケーションの終了

アプリケーションが応答しない場合、Windows では自動的に問題を検出して修復を行います。

また、次のようにタスクマネージャでアプリケーションを終了する（または閉じる）ことも可能です。

1 タスクバーを右クリックして、**Task Manager**（タスクマネージャ）を選択します。
2 **Windows Task Manager**（Windows タスクマネージャ画面）の **Applications**（アプリケーション）タブで、応答しないアプリケーションをクリックしてから **End Taks**（タスクの終了）をクリックします。

10

メンテナンスタスク（パフォーマンスの改善およびセキュリティ保護）

メンテナンスタスクの実行によるコンピュータの速度の向上およびセキュリティ保護

コンピュータは、使用しているうちに動作が遅くなりだす場合があります。パフォーマンスが遅くなる原因には、次のようなものが挙げられます。

- 整理されていないファイル
- 不必要なソフトウェア
- 使用されていないネットワークドライブ
- スタートアップ時に自動的に実行されるプログラムの過多

さらに、ウィルスは深刻なダメージを引き起こし、コンピュータのパフォーマンスを著しく下げる可能性があります。

次のような標準のメンテナンスタスクを実行すると、コンピュータを保護し、稼動年数を増やして、パフォーマンスを改善することができます。

- コンピュータおよびコンポーネントのクリーニング
- ディスクデフラグ
- ウィルスおよびスパイウェアのスキャン

コンピュータのオペレーティングシステムのツールを利用して、コンピュータのパフォーマンスを管理および改善することができます。このマニュアルは、提供されているオプションの概要として使用してください。

詳細情報：メンテナンスタスクの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

コンピュータのクリーニング

作業を開始する前に

コンピュータに付属している Dell™ の安全情報にある、安全にお使いいただくための注意をお読みください。

コンピュータの電源を切り、コンセントからプラグを抜きます。ノートブックコンピュータの場合は、バッテリをすべて取り外します。

コンピュータのクリーニング

コンピュータをクリーニングするには、コンピュータ、キーボード、モニタのプラスチック部分を水で湿らせた柔らかい布で拭きます。

エアゾールの入ったクリーナや可燃性の液体、またはその他スプレー式クリーナは使用しないでください。コンピュータまたはキーボード内部に水滴を落とさないようにしてください。

詳細情報：お使いのコンピュータの個々のコンポーネントのクリーニングについては、55 ページの「ナビゲーションデバイス（マウス、キーボード、タッチパッド）」を参照してください。

光学ドライブおよび光学ドライブメディアのクリーニング

注意：光学ドライブのレンズをクリーニングする場合は、必ず圧縮空気を使用し、圧縮空気製品に同梱の手順に従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

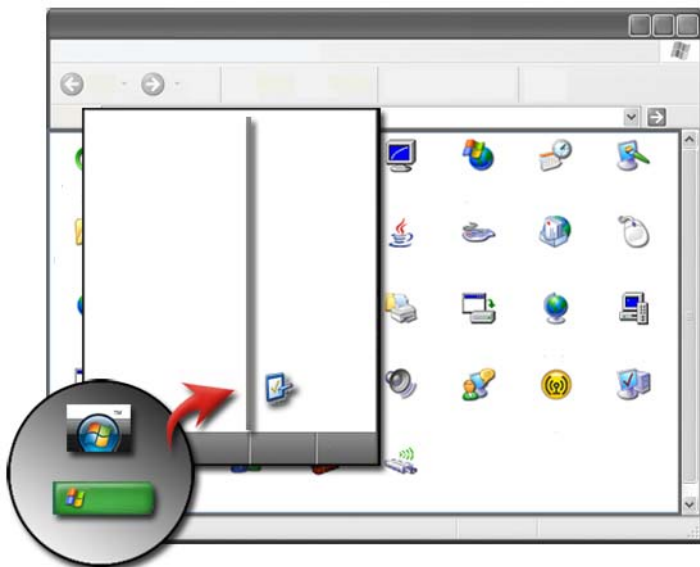
光学メディアでスキップが生じるなどの再生品質の不具合がある場合には、メディアを掃除します

1 ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。

注意：円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷を付ける恐れがあります。

2 柔らかく、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中央から外側の縁に向かって放射状にそっと拭きます。

頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹸の希釈溶液で試してください。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

コンピュータのパフォーマンスの管理

コントロールパネルでは、コンピュータのパフォーマンスを管理および改善するツールが用意されています。

Windows Vista®

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）をクリックします。

2 **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **Performance Information and Tools**（パフォーマンス情報とツール）とクリックします。

3 **Tasks**（タスク）エリアから次のオプションを使用して、コンピュータのパフォーマンスを高めます。

Manage startup programs（スタートアッププログラムの管理）— パフォーマンス改善のため、スタートアッププログラムのいくつかを無効にします。

Adjust visual effects（視覚効果の調整）— パフォーマンスを最適化するため、メニューおよびウィンドウの表示方法を変更します。

Adjust indexing options（インデックスオプションの調整）— コンピュータ上で目的のものを発見しやすくするインデックスオプションです。

Adjust power settings（電源設定の調整）— 電源に関連する設定を変更して、コンピュータがさらに効率よく省電力設定から復帰するようにします。ノートブックコンピュータの場合は、バッテリの使用量を調整します。

Open Disk Cleanup（ディスククリーンアップを開く）— ハードディスクドライブ上の不必要なファイルまたは一時ファイルを削除して、コンピュータの保存領域を増やします。

Advanced tools（アドバンスツール）— Event Viewer（イベントビューアー）および System Information（システム情報）などの詳細なシステムツールにアクセスします。

Windows® XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** → **管理ツール** の順にクリックします。
2 次の中からいずれかのオプションを選択し、メンテナンスを実行して、コンピュータのパフォーマンスを改善します。

コンポーネントサービス — システムサービス、イベントビューアー、およびお使いのコンピュータで実行しているその他の処理状況を監視するシステムツールです

コンピュータの管理 — デバイスマネージャ、ディスクデフラグ、ディスクの管理、およびその他ストレージなどのシステムツールや、サービスシステムユーティリティへのアクセスを提供します

イベントビューアー — セキュリティ、アプリケーション、およびシステムイベントを表示して、エラーや不具合の領域をチェックするアドバンスシステムツールです

ローカルセキュリティポリシー — パスワード、ローカルポリシー、ローカルキーポリシー、ソフトウェア制限、および ＩＰ セキュリティポリシーにおけるシステムセキュリティの管理とアップデートを行うアドバンスセキュリティツールです

パフォーマンス — システムパフォーマンスを監視して不具合を検出します。

詳細情報：使用していないアプリケーションを削除して、ハードディスクドライブのスペースを管理する方法の詳細に関しては、121 ページの「コンピュータからのアプリケーションの削除」を参照してください。

パフォーマンス調整

セットアップユーティリティを使用したパフォーマンス調整

一部の Dell システムでは、セットアップユーティリティの Advanced（詳細設定）ページにある設定から、コンピュータのパフォーマンスを手動で調整できる拡張オプションやコントロールにアクセスできます。

注意 : パフォーマンスに関連するパラメータを設定する場合、セットアップユーティリティのすべてのパラメータを変更できるアクセス権を使用します。このような設定を不適切に変更したり、インストールされているコンポーネントの許容範囲外のオプションを選択すると、システムが不安定になったり、コンポーネントの寿命が短くなったり、コンポーネントが完全に損傷するおそれがあります。

セットアップユーティリティにアクセスする方法については、295 ページの「セットアップユーティリティ」を参照してください。

ソフトウェアを使用したパフォーマンス調整

NVIDIA Enthusiast System Architecture（ESA）は、リアルタイムの監視と、コンピュータの温度、電源、音響、および動作の特性を制御するための PC プロトコルです。

お使いのコンピュータに ESA と互換性のあるコンポーネントが装備されいる場合、そのコンポーネントのパフォーマンスを監視し、カスタマイズするためのアプリケーションが事前にインストールされています。

ESA の詳細に関しては、**nvidia.com/object/nvidia_esa.html** を参照してください。

NVIDIA Performance

NVIDIA Performance アプリケーションは、NVIDIA nTune アプリケーションで以前提供されていた多くの機能を NVIDIA Control Panel の Performance セクションに統合します。

メモ：NVIDIA Control Panel の **Performance** セクションを使用する際は、エンドユーザーライセンス契約への同意が必要な場合があります。

Device Settings

アプリケーションの起動時に、CPU、ビデオカード、メモリ、システム基板、シャーシコンポーネントなどの、取り付けられている ESA 互換デバイスが検出されます。

Device Settings のインタフェースでコンポーネントを選択すると、そのコンポーネントに利用できる設定やオプションが表示されます。上級ユーザーは、これらのオプションを手動で調整して、お使いのシステムのパフォーマンスをカスタマイズできます。これらの設定は、後で呼び出せるようにプロファイルに保存できます。

注意 : パフォーマンスに関連するパラメータを設定する場合、セットアップユーティリティのすべてのパラメータを変更できるアクセス権を使用します。このような設定を不適切に変更したり、インストールされているコンポーネントの許容範囲外のオプションを選択すると、システムが不安定になったり、コンポーネントの寿命が短くなったり、コンポーネントが完全に損傷するおそれがあります。

Dynamic BIOS Access

NVIDIA Control Panel のこのセクションでは、Windows のユーザーインタフェースを使用して利用可能な BIOS 設定を変更できます。オプションや設定に対する変更内容は、次回起動時に反映されます。

View System Information

NVIDIA Control Panel のこのセクションでは、システムとインストールされているドライバのバージョン情報を確認できます。この情報は、詳細な調査やテクニカルサポートのために、ファイルに保存できます。

Profile Policies

Profile Policies セクションでは、**Device Settings** セクションで保存したプロファイルを使用するタイミングと方法を定義できます。

LED Control

LED Control セクションでは、シャーシの LED の色と強さをカスタマイズできます。また、このインタフェースを使用して、LED を作成および保存し、そのカスタマイズした LED を適用することもできます。

NVIDIA Monitor

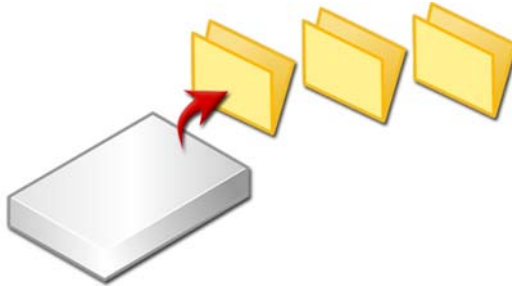
NVIDIA Monitor アプリケーションを使用して、お使いのコンピュータ内にある互換コンポーネントのパフォーマンスを監視、追跡、および記録できます。

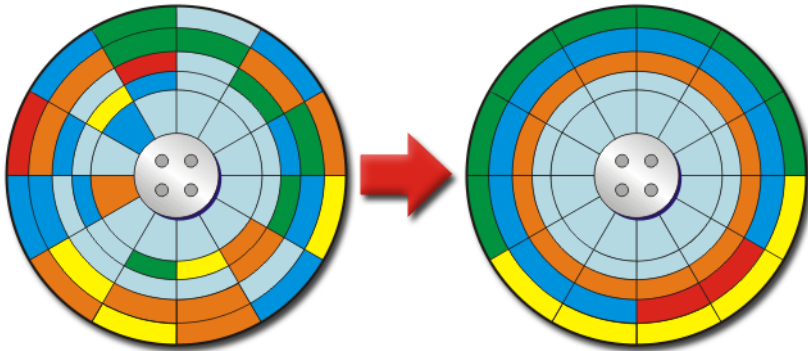
記録されたデータは、時系列的なシステムのパフォーマンスの追跡に使用できるようになるほか、システム設定に加えられた変更の効果を評価するためにも使用できます。

NVIDIA Monitor アプリケーションの起動時に、CPU、ビデオカード、メモリ、システム基板、シャーシコンポーネントなどの、取り付けられている ESA 互換デバイスが検出されます。インタフェースでコンポーネントを選択すると、そのコンポーネントの動作特性についてリアルタイムのデータが表示されます。特性には、電圧、ファン速度、使用状況、温度などがあります。

NVIDIA Monitor は次のようにカスタマイズできます。

- モニタ、グラフ、ログの重要パフォーマンス特性を選択します。
- 記録間隔とパフォーマンスのしきい値を設定します。
- ユーザー定義のイベントを設定して記録します。
- アプリケーションのキーストロークをカスタマイズします。

ハードディスクドライブのクリーニング

1 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Accessories**（アクセサリ）→ **System Tools**（システムツール）→ **Disk Cleanup**（ディスククリーンアップ）とクリックします。
2 **Disk Cleanup**（ディスククリーンアップ）では、クリーンアップを実行した場合にドライブ上にどれだけの空き領域が作成されるかを計算します。
3 **OK** をクリックします。

ハードディスクドライブのデフラグ

ハードディスクドライブのデフラグを実行して、コンピュータのパフォーマンスを改善することができます。この操作により、プログラムがより高速に実行され、ファイルはさらに素早く開けるようになります。

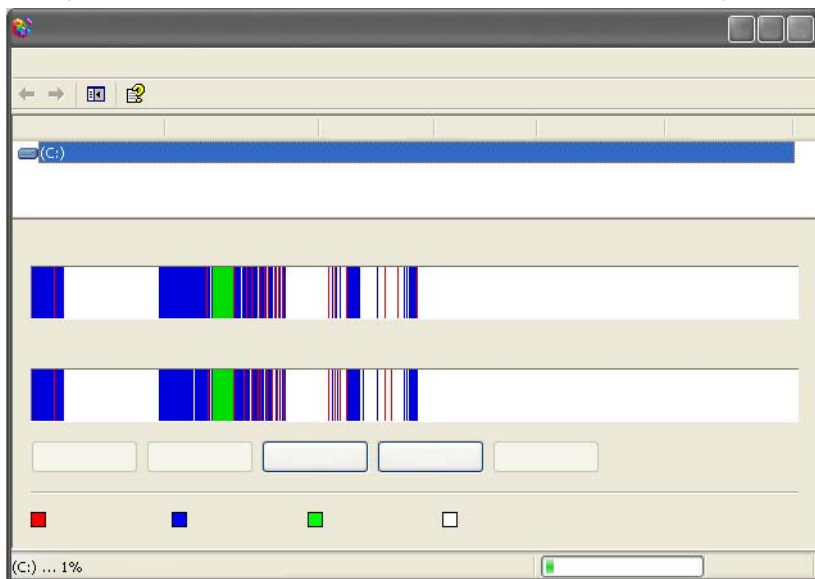
ヒント：ハードディスクドライブをデフラグする理由
フラグメント化されたハードディスクドライブは、ディスク上の多くのさまざまな場所にファイルのフラグメントを保存します。コンピュータは、ディスク中を検索して、完全なファイルを取得する必要があります。ディスクデフラグでは、フラグメント化されているファイルすべてのパーツをひとつの場所に統合します。これにより、コンピュータがファイルのすべてのパーツを検索して開くまでに費やす時間が減ります。

Windows では、ハードディスクドライブのデフラグを実行する前に、ディスクを分析して、デフラグの必要があるかを決定します。この手順は、少なくとも 1 週間に 1 回実行する必要があります。

メモ：この手順を定期的に実行すると、デフラグの処理はたった 5 分から 10 分で行えます。

1 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Accessories**（アクセサリ）→ **System Tools**（システムツール）→ **Disk Defragmenter**（ディスクデフラグ）とクリックします。

   Disk Defragmenter（ディスクデフラグ）ウィンドウが開きます。このウィンドウには、コンピュータ上のハードディスクドライブの一覧と共にストレージ容量および空き領域の量が表示されます。

2 デフラグを行うドライブを選択し、**Analyze**（分析）をクリックして、ディスクをデフラグする必要があるか確認します。**Defragment**（最適化）をクリックして、処理を実行し、ディスクをデフラグします。

メモ：デフラグ処理を行っている間は、コンピュータを使用しないでください。

ディスクエラーの検出および修復

1 **Start**（スタート）→ **My Computer**（マイコンピュータ）の順にクリックします。
2 **File**（ファイル）メニューで、**Properties**（プロパティ）を選択します。
3 **Tools**（ツール）タブで、**Check Now**（チェックする）をクリックします。
4 実行する処置を選択したら、**Start**（開始）をクリックします。

ウィルスおよびスパイウェアのスキャン

コンピュータウィルスおよびスパイウェアは、コンピュータ内部に潜んでファイルを壊し、ユーザーの気付かない間に、または同意を得ることなく、コンピュータから情報を収集するソフトウェアです。

コンピュータウィルスはコンピュータのパフォーマンスに影響を与え、データを破壊する可能性があります。コンピュータがインターネットにアクセスする場合は、アンチウィルスプログラムおよびアンチスパイウェアプログラムをインストールします。

詳細情報：ウィルスからコンピュータを保護する詳細に関しては、173 ページの「ウィルス」を参照してください。

Windows Defender は以下の操作を行うアンチスパイウェアアプリケーションです。

- コンピュータのハードディスクドライブでスパイウェアに感染している場所をチェックします
- ハードディスクドライブ上の全ファイルでスパイウェアをチェックします
- 現在実行している全プログラムでスパイウェアをチェックします

詳細情報：Windows Defender の詳細に関しては、Microsoft ウェブサイト（**www.microsoft.com**）で、「Using Windows Defender（Windows Defender の使い方）」を検索してください。アンチウィルスソフトウェアの詳細については、インターネットで「アンチウィルスソフトウェア」を検索してください。

11

電源（電源設定、電源保護装置およびバッテリ）

電源オプションの設定

Windows Vista®

電源プランの使い方

Windows Vista では、3 つの電源プランを提供しています。これらのプランを使用するか、あるいは必要に応じて設定することも可能です。電源プランでは、エネルギーの節約やシステムパフォーマンスの最大化、またはそれら両方の均衡を保つことによって、お使いのコンピュータの電源使用方法を管理します。あらかじめ設定されている電源プランは以下のとおりです。

- **Balanced**（バランス）では、必要に応じてフルパフォーマンスを提供し、非アクティブな状態の間は電源を節約します。
- **Power saver**（省電力）では、バッテリの寿命を最大化するため、システムパフォーマンスを下げることにより、電源を節約します。
- **High performance**（高パフォーマンス）では、プロセッサの処理速度をアクティビティに合わせ、パフォーマンスを最大にすることで、最高レベルのパフォーマンスを実現します。

電源プランを選択するには、以下の操作を行います。

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **Power Options**（電源オプション）の順にクリックします。

2 使用するオプションをクリックします。

詳細情報：電源プランの詳細については、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

電力管理の状態

スリープ

スリープでは、開いているドキュメントおよびプログラムを保存し、再度作業を開始する際にコンピュータをすばやく完全に復帰させるようにして、電源を節約します。

お使いのコンピュータをスリープに設定するには、以下の操作を行います。

- **Start**（スタート）をクリックして、**Lock**（ロック）ボタンの矢印アイコンにポインタを移動します。次に **Sleep**（スリープ）をクリックします。

  または

- 電源管理のオプションの設定内容に応じ、次の方法のいずれかを使用してコンピュータをスリープに設定することも可能です。
  - 電源ボタンを押します。
  - ノートブックコンピュータのディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。

コンピュータを復帰させる方法は、電源管理のオプションの設定内容に応じて、次の操作を行います。

- 電源ボタンを押します。

  または

- ノートブックコンピュータのディスプレイを開きます。

休止状態

休止状態では、システム情報をハードディスクドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意： お使いのコンピュータが休止状態モードに入っている場合、コンピュータからデバイスまたはドッキングデバイスを取り外すことはできません。

バッテリの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

手動で休止状態モードを起動するには、以下の操作を行います。

- **Start**（スタート）をクリックして、**Lock**（ロック）ボタンの矢印アイコンにポインタを移動します。次に **Hibernate**（休止状態）をクリックします。
  または
- 電源管理のオプションの設定内容に応じ、次の方法のいずれかを使用してコンピュータをスリープに設定することも可能です。
  - 電源ボタンを押します。
  - ノートブックコンピュータのディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。

メモ：PC カードや ExpressCard によっては、休止状態から復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードを外して取り付けなおすか、コンピュータを再スタート（再起動）してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。

詳細情報：電源プランの詳細については、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

Windows® XP

電源設定の変更

1. **スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** → **電源オプション** の順にクリックします。
2. **電源オプションのプロパティ** ウィンドウで、次の情報を変更して、お使いのコンピュータに最適なサポートを行うことができます。
   - **電源設定** — コンピュータにあらかじめ指定されている設定を選択します。
   - **アラーム** — バッテリ電源が低下、または切れた場合のアラームを設定します（ノートブックコンピュータ）。
   - **電源メーター** — 利用できるバッテリ電源を表示します（ノートブックコンピュータ）。
   - **詳細設定** — 電源設定のオプションを詳細に設定します。
   - **休止状態** — 休止状態の有効化、無効化を選択します。

詳細情報：Windows での電源オプションの設定の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**スタート** または → **ヘルプとサポートをクリック**）を参照してください。

省電力モード

スタンバイモード

スタンバイでは、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでおくと（タイムアウト）、ディスプレイとハードディスクドライブの電源を切ることによって電力を節約します。スタンバイを終了すると、コンピュータはスタンバイに入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意：スタンバイのときに AC 電源が切れたりバッテリを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

スタンバイに入るには、以下の操作を行います。

- **Start**（スタート）→ **Turn off computer**（終了オプション）→ **Stand by**（スタンバイ）とクリックします。

  または

- 電源管理オプションの設定内容に応じて、次の方法のいずれかを使用することも可能です。
  - 電源ボタンを押します。
  - ノートブックコンピュータのディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。

スタンバイを終了するには、電源管理のオプションの設定内容に応じて、次の操作を行います。

- 電源ボタンを押します。

  または

- ノートブックコンピュータのディスプレイを開きます。

休止状態モード

休止状態では、システム情報をハードディスクドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。休止状態から復帰すると、コンピュータは休止状態に入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意： お使いのコンピュータが休止状態モードに入っている場合、コンピュータからデバイスまたはドッキングデバイスを取り外すことはできません。

バッテリの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態に入ります。

手動で休止状態に入るには、以下の操作を行います。

- **Start**（スタート）→ **Turn off computer**（終了オプション）とクリックします。<Shift> キーを押しながら、**Hibernate**（休止状態）をクリックします。

  または

- 電源管理オプションの設定内容に応じ、次の方法のいずれかを使用して、休止状態に入ることも可能です。
  - 電源ボタンを押します。
  - ノートブックコンピュータのディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。

メモ：PC カードや ExpressCard によっては、休止状態から復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードを外して取り付けなおすか、コンピュータを再スタート（再起動）してください。

休止状態から通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。

電源保護装置

お使いのコンピュータに供給される電源の障害、または変動により、コンピュータがクラッシュしたり、場合によっては、コンピュータに修復不可能な損傷を与える可能性があります。サージプロテクタや、電源ラインコンディショナ（回線調整装置）、無停電電源装置を使用して、コンピュータを保護します。

サージプロテクタ　電源ラインコンディショナ（回線調整装置）　無停電電源装置

サージプロテクタ

雷雨時や、停電後に発生する可能性がある電圧変動によるコンピュータへの損傷を避けるには、コンピュータの電源ラインをサージプロテクタまたはサージプロテクタを装備している電源タップに差し込みます。

サージプロテクタの製造業者によっては、特定の種類の損傷に対して保証範囲を設けています。サージプロテクタを選ぶ際は、装置の保証書をよくお読みください。ジュール定格が高いほど、デバイスをより保護できます。ほかの装置と比較して有効性を判断するには、ジュール定格を比較します。

注意 : ほとんどのサージプロテクタには、電力の変動または落雷による電撃に対する保護機能はありません。お住まいの地域で雷が発生した場合は、電話線を電話ジャックから抜いて、さらにコンピュータをコンセントから抜いてください。

サージプロテクタの多くは、モデムを保護するための電話ジャックを備えています。モデム接続の手順については、サージプロテクタのマニュアルを参照してください。

注意 : すべてのサージプロテクタが、ネットワークアダプタを保護できるわけではありません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックから抜いてください。

電源ラインコンディショナ（回線調整装置）

注意 : 電源ラインコンディショナには、停電に対する保護機能はありません。

電源ユニットにおける電圧の上昇および低下を補正し、コンピュータへの電力潮流のピークを減らすには、お使いのコンピュータの電源ラインを電源ラインコンディショナ（回線調整装置）に差し込みます。電源ラインコンディショナ（回線調整装置）は、継続的にバッテリを充電し、装置にバッテリ電源を供給し続けることから、一般的な無停電電源装置とは異なります。

無停電電源装置（UPS）

注意 : データをハードディスクドライブに保存している間に電力が低下すると、データを損失したりファイルが損傷したりする恐れがあります。

メモ : バッテリの最大駆動時間を確保するには、お使いのコンピュータのみを UPS に接続します。プリンタなどその他のデバイスは、サージプロテクションの付いた別の電源タップに接続します。

無停電電源装置（UPS）では、電源変動および電源障害に対する保護を行います。UPS 装置は、AC 電源が切れた際に、接続されているデバイスへ一時的に電力を供給するバッテリを備えています。バッテリは AC 電源が利用できる間に充電されます。

バッテリの駆動時間についての情報、および装置が UL（Underwriters Laboratories）規格に適合しているか確認するには、UPS 製造業者のマニュアルを参照してください。

ノートブックコンピュータのバッテリ

コンピュータの性能を最大に保ち、BIOS の設定を保持するため、ノートブックコンピュータは、常にメインバッテリを搭載した状態でお使いください。バッテリベイにはバッテリが 1 つ、標準で搭載されています。

ノートブックコンピュータを始めて使用する場合

電源メーターアイコン

コンピュータを初めて使用する時は、バッテリが十分に充電されていない場合に備えて、AC アダプタを使用してコンピュータをコンセントに接続します。最良の結果を得るには、バッテリがフル充電されるまで、AC アダプタを使ってコンピュータを動作させせます。バッテリの充電状態を表示するには、タスクバーの Power Meter（電源メーター）アイコンを確認します。

メモ：バッテリ電源を保持するために、CD または DVD への書き込時にはコンピュータをコンセントに接続します。

バッテリ寿命の維持

充電を保持できるバッテリの駆動時間は、ノートブックコンピュータの使用方法によって異なります。バッテリの駆動時間が大幅に減少するのには、以下の要因が挙げられます。

- 光学ドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、PC カード、ExpressCard、メディアメモリカード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または複雑な 3D グラフィックスアプリケーションなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用している場合
- 最大のパフォーマンスモードでコンピュータを実行している場合（コンピュータパフォーマンスを最適に調整する方法については、「Maintaining Your Computer」（コンピュータのメンテナンス）を参照）。

バッテリの使用頻度や使用状況により、バッテリの寿命は時間と共に減少します。コンピュータの寿命がある間でも、新しいバッテリを購入する必要が発生する場合もあります。

ノートブックコンピュータのバッテリの寿命を維持する方法の詳細に関しては、143 ページの「Dell™ ControlPoint Power Manager」を参照してください。

バッテリの交換

警告：適合しないバッテリを使用すると、発火や爆発の危険が大きくなります。交換するバッテリは、必ずデルが販売している専用のものをお使いください。バッテリはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。
お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリを使用しないでください。

警告：バッテリを家庭用のごみと一緒に廃棄しないでください。不要になったバッテリは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（個人のお客様：044-556-4298、企業のお客様：044-556-3481）へお問い合わせください。コンピュータに同梱されている安全に関する情報の「バッテリの廃棄」を参照してください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

警告：バッテリの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 ℃ を超える場所に置いたりしないでください。バッテリはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリ、または漏れているバッテリの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。

警告：この手順を開始する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタを電源コンセントおよびコンピュータから取り外して、モデムを壁のコネクタおよびコンピュータから取り外し、コンピュータからその他のすべての外付けケーブルを外します。

注意：コネクタへの損傷を防ぐため、すべての外付けケーブルをコンピュータから外してください。

バッテリは、ノートブックコンピュータによって異なります。ノートブックコンピュータのバッテリを取り替える必要がある場合は、次の基本手順に従ってください。

1 コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。
2 コンピュータの電源が切れていることを確認します。
3 コンピュータ底部のバッテリベイラッチリリースをスライドさせ、ベイからバッテリをスライドさせて取り出します。

4 新しいバッテリを、カチッと音がして所定の位置に収まるまでスライドさせて、ベイに差し込みます。

バッテリの充電チェック

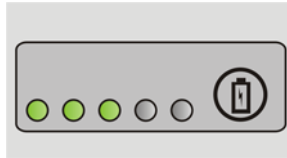
次の方法のいずれかを使って、コンピュータのバッテリ充電をチェックできます。

Microsoft Windows 電源メーター

電源メーターは、バッテリの充電残量が示します。バッテリの電源残量をチェックするには、タスクバーの Power Meter（電源メーター）アイコンをダブルクリックします。

バッテリの充電量ゲージ

バッテリの駆動時間は、その充電回数よって異なります。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリの充電機能またはバッテリ性能は次第に低下します。つまり、バッテリに「充電済み」のステータスが表示されても、充電容量、すなわちバッテリの性能は低下したままの場合があります。

バッテリの充電量

バッテリの充電量をチェックするには、バッテリの充電ゲージにあるステータスボタンを短く押して、充電レベルライトを点灯させます。各ランプはバッテリの総充電量の約 20 % を表します。

例 : バッテリの充電残量が 60 % なら、ランプが 3 個点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリの充電残量は 0 です。

バッテリ性能のチェック

バッテリ性能をチェックするには、バッテリ充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押し続けます。

どのライトも点灯しない場合、バッテリの機能は良好で、初期の充電容量の 80 % 以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。

ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリの充電容量は 60% 以下になっていますので、バッテリを交換することをお勧めします。

バッテリの低下警告について

注意 : データの損失およびデータ破損を防ぐため、バッテリの低下を知らせる警告が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。コンピュータをコンセントに接続するか、2 つ目のバッテリをメディアベイに取り付けます（オプションがある場合）。バッテリの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

ノートブックコンピュータでは、バッテリの全充電量の約 90 % を消費した時点で警告が表示されます。バッテリを 2 つ使用している場合は、両方のバッテリを合わせた充電量に対して警告が行われます。バッテリの充電残量が非常に少なくなると、コンピュータは自動的に休止状態モードに入ります。

詳細情報：Windows の電源管理オプションでバッテリアラームの設定を変更する詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。133 ページの「電源オプションの設定」も参照してください。

Windows の電源管理オプションで、バッテリアラームの設定を変更できます（133 ページの「電源オプションの設定」を参照）。

バッテリ電源の節約

ノートブックコンピュータのバッテリ電源を節約するには、次の操作を行います。

- 駆動時間は、バッテリが使用および充電される回数によって大きく異なるため、コンピュータはできるだけコンセントに接続して使用します。
- コンピュータの電力消費をカスタマイズする Microsoft Windows Power Options（電源オプション）を使用して、電源管理を設定し、電力消費を最適化します（133 ページの「電源オプションの設定」を参照）。
- コンピュータを長い時間離れて操作を行わない場合は、スリープ電源状態を使用します。

バッテリの充電

コンピュータをコンセントに接続したり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリを充電し、その充電量を保持します。

メモ：Dell™ ExpressCharge™ を使用して、完全に切れてしまったバッテリを充電するには、コンピュータの電源が切れている場合で 80 % の充電に約 1 時間、100 % の充電に約 2 時間かかります。コンピュータの電源が入っている場合は、充電時間は長くなります。バッテリを充電したまま、コンピュータをそのままにしておいても問題ありません。バッテリの内部回路によって過剰充電が防止されます。

バッテリがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリが充電されない場合があります。

緑色と橙色のライトが交互に点滅している場合は、バッテリが高温すぎて充電を開始できないことを示します（ライトの色はバッテリによって異なります）。コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリを室温に戻します。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を継続します。

メモ：バッテリの充電中もコンピュータを操作できます。ただし、バッテリが十分に充電されるまではバッテリ電源を使用してコンピュータを操作しないでください。

バッテリの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリを取り外してください。バッテリは、長期間保管していると放電してしまいます。長期間保管後にコンピュータをお使いになる際は、バッテリを完全に再充電してください。

米国運輸省（DOT）によるノートブックのバッテリ規制

2008 年 1 月 1 日付けで、米国 DOT では、予備（ばらの状態）のリチウムバッテリを預け入れ荷物の中に入れることを禁じています。Dell ノートブックにバッテリを取り付け、ノートブックの電源をオフにしていれば、預け入れ荷物にバッテリを入れることができます。

ヒント：バッテリの充電を無効にするには、Dell ControlPoint の Battery Charge Disable（バッテリ充電の無効化）機能を使用してください。この機能は、機内などのバッテリ充電が禁止されている場所で役立ちます。

Dell™ ControlPoint Power Manager

ノートブックコンピュータ用の Dell ControlPoint Power Manager には、Dell ControlPoint（DCP）アプリケーションからアクセスできます。Dell ControlPoint アイコンはタスクバーに表示されます。Dell ControlPoint のヘルプおよび追加機能とオプションにアクセスするには、アイコンをクリックします。

All Day Battery（全日バッテリ）モードまたは Extended Battery Life（拡張バッテリ駆動時間）モードで利用できるオプションを使用して、お使いのノートブックコンピュータのバッテリ駆動時間を最適化することができます。

詳細情報：Dell ControlPoint アプリケーションの使い方については、ControlPoint のメイン画面から利用できる Help（ヘルプ）を参照してください。

12

ネットワーク（LAN、ワイヤレス、モバイルブロードバンド）

LAN　　　　ワイヤレス LAN

概要

コンピュータネットワークにより、お使いのコンピュータとインターネット、その他のコンピュータ、またはプリンタなどの周辺機器間が接続されます。たとえば、自宅または小規模オフィスでネットワークをセットアップすると、次の操作を行うことができます。

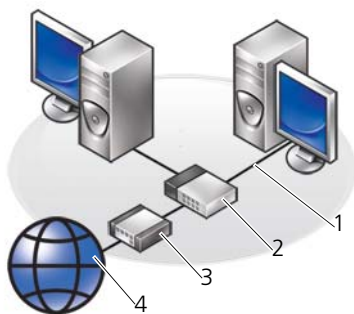
- 共有プリンタへの印刷
- その他のコンピュータ上のドライブおよびファイルへのアクセス
- ファイルの共有
- その他のネットワークの参照
- インターネットへのアクセス

ブロードバンドモデムおよびネットワークケーブルを使用して、ローカルエリアネットワーク（LAN）をセットアップできます。または、ワイヤレスルーターまたはアクセスポイントを使用して、ワイヤレス LAN（WLAN）をセットアップすることも可能です。

ネットワーク接続ウィザードは、コンピュータネットワークのセットアップおよびその他のネットワークへの接続処理をガイドします。

Intel® Active Management Technology（Intel AMT または iAMT®）では、ネットワーク化されたコンピュータの管理を行う拡張ツールを提供しています。この Intel AMT ソフトウェアは、一部の Dell コンピュータで利用できます。163 ページの「Intel® Active Management Technology を使用したネットワークコンピュータの管理」を参照してください。

詳細情報：ネットワークの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）またはの → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

ローカルエリアネットワーク（LAN）

1	ケーブル	2	ルーター
3	モデム	4	インターネット

ローカルエリアネットワーク（LAN）では、互いに接続されているネットワークケーブルを介して、2 台以上のコンピュータを接続します。このタイプのコンピュータネットワークは、一般的に狭い範囲に適用されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN（ワイドエリアネットワーク）を構成できます。

LAN のセットアップに必要なもの

- インターネットアクセスが設定されているケーブルまたは DSL ブロードバンドモデム ブロードバンド接続の詳細については、147 ページの「ブロードバンドアクセス」を参照してください。

- ルーター — ルーターは、ネットワーク上のコンピュータと周辺機器を互いに接続します。それにより、コンピュータでは、ブロードバンドモデムを介してインターネットアクセスを共有することが可能です。ルーターには複数のポートが装備されており、コンピュータまたはプリンタなどの周辺機器 1 台に対し 1 つのポートを使用します。
- ネットワークケーブル — CAT 5 または CAT 5e ケーブルのいずれかを使用します。
- ネットワークインタフェースカード

ブロードバンドアクセス

ブロードバンドアクセスでは、ダイアルアップアクセスよりも非常に高速なデータ転送率を提供します。ブロードバンドアクセスは、特に、大きなデジタル写真画像の電子メール送信や、音楽のダウンロード、またはストリーミング映像の表示に適しています。

ブロードバンドアクセスに必要なもの

- ISP により提供されている特定の 2 種類のブロードバンドアクセス（ケーブル および DSL）から選択を行うことができます。DSL ブロードバンドアクセスは、電話会社により提供されていますが、場所によっては利用できないこともあります。ケーブルテレビを利用できる場合は、ケーブルプロバイダを介してケーブルブロードバンドアクセスを利用できます。
- ブロードバンドアクセスを利用するには、お使いのコンピュータやコンピュータネットワークをケーブルモデムや DSL モデムに接続する必要があります。ブロードバンドモデムを各自で購入するか、月々のサービス料に設備費を追加して、ISP のモデムを使用することもできます。
- コンピュータに、ネットワークインタフェースカードを取り付ける必要があります。
- 既存の電話線、またはケーブルテレビの線を使用して、ブロードバンドサービスを利用します。新しい線を引く必要はありません。

新しい LAN のセットアップ

次の手順は、標準的な LAN をセットアップするための一般的なガイドラインです。特定の詳細については、ルーターに付属のマニュアルを参照してください。

ハードウェアのセットアップ

1. インターネットサービスプロバイダ（ISP）に連絡して、お使いのブロードバンドモデムの接続要件に関する情報を入手します。
2. ブロードバンドモデムを介してインターネットアクセスができるかを確認します。

3　お使いのルーターに必要なソフトウェアをインストールします。ルーターには、インストールメディアが同梱されている場合があります。そのメディアには、通常インストールおよびトラブルシューティングの情報が含まれています。ルーター製造元から提供される手順に従って、必要なソフトウェアをインストールします。

ネットワークへの接続

お使いのコンピュータの **Control Panel**（コントロールパネル）から、**Network and Internet connections**（ネットワークとインターネット接続）→ **Network and Sharing Center**（ネットワーク共有センター）とクリックします。

ネットワーク接続ウィザードが自動的に起動します。または、接続やネットワークをセットアップするオプションをクリックする必要がある場合もあります。

実際の手順は、お使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムによって変わる可能性があります。画面の指示に従います。

> **詳細情報：**お使いのコンピュータをネットワークに接続する詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

ワイヤレス LAN（WLAN）

1	ルーター	2	モデム	3	インターネット

ワイヤレス LAN（WLAN）では、ネットワークケーブルを互いに接続するのではなく電波を介して、複数のコンピュータ間とインターネットを接続します。

ワイヤレス LAN では、無線通信デバイス（アクセスポイントまたはワイヤレスルーター）により、ネットワークコンピュータおよび周辺機器を接続し、インターネットやネットワークへのアクセスを提供します。アクセスポイントまたはワイヤレスルーターとコンピュータ内のワイヤレスネットワークカードは、電波を介して各自のアンテナからデータをブロードキャストして通信します。

詳細情報：WWAN の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。また、お使いのコンピュータにワイヤレスカードが付属していた場合は、そのワイヤレスカードの『デバイスガイド』を参照してください。

ワイヤレス LAN のセットアップに必要なもの

- ブロードバンドインターネットアクセス（ケーブルまたは DSL など）
- ブロードバンドモデム
- ワイヤレスルーター
- ワイヤレス LAN に接続させる各コンピュータに、ワイヤレスネットワークカード、内蔵ワイヤレスアダプタ、またはワイヤレス USB アダプタ

  149 ページの「お使いのワイヤレスネットワークカードの確認」を参照してください。
- ネットワーク（RJ-45）コネクタ搭載のネットワークケーブル

お使いのワイヤレスネットワークカードの確認

お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードが取り付けられているか、およびそのカードタイプを確認するには、コンピュータを注文した際に受け取った注文情報をチェックするか、デバイスマネージャを使用します（24 ページの「デバイスマネージャ」を参照）。

Windows Vista

1 **Start**（スタート）をクリックし、**Computer**（コンピュータ）を右クリックして、**Properties**（プロパティ）を選択します。
2 **Tasks**（タスク）から **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。
3 **Network Adapters**（ネットワークアダプタ）をクリックします。

Windows XP

1 **スタート** をクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、プロパティ を選択します。

2 **ハードウェア** タブをクリックします。

3 **デバイスマネージャ** → **ネットワークアダプタ** とクリックします。

ワイヤレスネットワークカードのソフトウェアおよびドライバの再インストール

ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーマニュアルの手順に従ってください。

お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプを確認してから、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** でカード名を検索します。

詳細情報：お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプを確認する方法の詳細に関しては、149 ページの「お使いのワイヤレスネットワークカードの確認」を参照してください。

新しいワイヤレス LAN（WLAN）のセットアップ

1 インターネットサービスプロバイダ（ISP）に連絡して、お使いのブロードバンドモデムの接続要件に関する情報を入手します。

2 ワイヤレスインターネット接続をセットアップする前に、ブロードバンドモデムを経由して有線でインターネットにアクセスできる状態にあることを確認してください。

3 お使いのワイヤレスルーターに必要ないずれかのソフトウェアをインストールします。ワイヤレスルーターには、インストールメディアが同梱されている場合があります。そのメディアには通常、インストールおよびトラブルシューティングの情報が含まれています。ルーター製造元から提供される手順に従って、必要なソフトウェアをインストールします。

ワイヤレス LAN への接続

メモ：次のネットワークについての手順は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カードまたは携帯製品には適用されません。

本項では、ワイヤレステクノロジを使用したネットワークへの接続に関する一般的な手順について説明します。特定のネットワーク名や設定の詳細は異なります。

詳細情報：お使いのコンピュータをワイヤレス LAN に接続する方法の詳細に関しては、お使いのコンピュータに付属の『デバイスガイド』を参照するか、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

Windows Vista®

1 **Start**（スタート） → **Network**（ネットワーク）とクリックします。
2 **Network**（ネットワーク）フォルダの上部にあるナビゲーションバーで、**Network and Sharing Center**（ネットワークと共有センター）をクリックします。
3 **Task**（タスク）で、**Connect to a network**（ネットワークに接続）をクリックします。
4 リストから目的のネットワークを選択し、**接続** をクリックします。

Windows® XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **ネットワークとインターネット接続** → **ネットワーク接続** の順にクリックします。
2 **ワイヤレスネットワーク接続** → **利用できるワイヤレスネットワークの表示** とクリックします。
3 リストから目的のネットワークを選択し、**接続** をクリックします。

メモ：利用できる選択の内容は、スタート メニューで行った設定や変更内容によって異なる場合があります。

メモ：セキュアパブリックネットワークを選択すると、プロンプトが表示された際にネットワークの WEP または WPA 暗号化キーを入力する必要があります。

これ以降は、選択したワイヤレスネットワークの範囲内でコンピュータにログオンすると、常に同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワークで接続されていることが通知されます。

メモ：コンピュータがネットワークに接続するのに数分かかる場合があります。

セキュアワイヤレスネットワークへの接続（WEP または WPA キーの使用）

セキュアネットワークを選択すると、プロンプトが表示された際に、ネットワークの WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。この値は、お使いのネットワーク固有であり、ワイヤレスルーターの設定時に設定されています。この情報は、ネットワーク管理者から取得することも可能です。

パブリックワイヤレス LAN への接続（ホットスポット）

パブリックワイヤレスネットワークに接続する場合は、150 ページの「ワイヤレス LAN への接続」で説明されている手順に従ってください。このネットワークがセキュアなものである場合、利用可能なネットワークのリストに追加して、暗号化キーを入力します。

コンピュータによっては、パブリックワイヤレス LAN がお使いのコンピュータの範囲内にあることを示すポップアップが表示される場合があります。

ヒント：1 回目は、パブリックワイヤレスネットワークに接続する手順に従ってください。その後、同じワイヤレスネットワークの範囲内に入れば、常にお使いのコンピュータがそのネットワークを検出し、接続を行います。

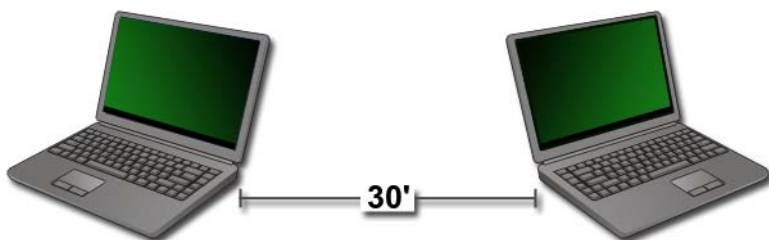
ワイヤレススイッチを備えたワイヤレスカードの有効化と無効化

ノートブックコンピュータによっては、ワイヤレススイッチが装備されているものもあります。このスイッチを使用して、ワイヤレスカードのオンとオフを切り替えることができます。

メモ：コンピュータの出荷時に、ワイヤレススイッチはデフォルトでオフに設定されます。ワイヤレスネットワークを検出し、接続するには、ワイヤレススイッチをオンにする必要があります。

コンピュータによっては、ワイヤレススイッチを使ってワイヤレスネットワークを取り込むことも可能です。ワイヤレススイッチを適所にスライドさせて、そのまま数秒間維持します。その他のコンピュータでは、取り込み用の別のボタン、またはスイッチを使用する場合があります。

詳細情報：お使いのコンピュータにワイヤレススイッチが装備されているか、およびスイッチがどこに配置されているかは、お使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。

アドホックネットワーク

アドホックネットワークとは、近い距離にある 2 台以上のコンピュータをルーターやアクセスポイントを使用しないで接続するシンプルなネットワークです。アドホックネットワークは、一般的にファイルの共有やゲームに使用されます。Dell ワイヤレスプリンタでは、アドホックネットワークを使用して、プリンタ用にワイヤレスアダプタを設定するものもあります。

Windows Vista オペレーティングシステムでは、ネットワークのセットアップに便利な、使いやすいウィザードが提供されています。

1 Network and Sharing Center（ネットワークと共有センター）から、**Tasks**（タスク）→ **Setup a connection or network**（接続またはネットワークのセットアップ）とクリックします。

2 **Set up a wireless ad hoc (computer-to-computer) network**（ワイヤレスアドホック（コンピュータ相互）ネットワークを設定します）→ **Next**（次へ）とクリックします。

   Set up a wireless ad hoc network information（ワイヤレスアドホックネットワークをセットアップします）情報画面が表示されます。この画面では、アドホックネットワークについての説明と、お使いのコンピュータは、接続する他のコンピュータから約 9 m 以内に配置する必要があることを表示します。

3 設定を開始するには、**Next**（次へ）をクリックします。

4 画面の指示に従います。

ヒント：アドホックネットワークは、ネットワークに別のコンピュータが少なくとも 1 台参加するまで、アクティブになりません。

モバイルブロードバンド（またはワイヤレスワイドエリアネットワーク）ネットワーク

モバイルブロードバンドネットワークは、ワイヤレスワイドエリアネットワーク（WWAN）とも呼ばれる高速デジタルセルラーネットワークで、一般的に 100 ～ 1000 フィートまでの距離をカバーし、ワイヤレス LAN よりもはるかに広い地理的範囲にインターネットアクセスを提供します。

お使いのコンピュータが携帯電話データのサービスエリア内にある限り、モバイルブロードバンドネットワークへのアクセスを維持できます。サービスエリアの詳細に関しては、ご利用のサービスプロバイダにお問い合わせください。

メモ：お使いの携帯電話から電話をかけることができても、その場所が必ずしも携帯電話データのサービスエリア内にあるとは限りません。

詳細情報：モバイルブロードバンドネットワーク（ワイヤレスワイドエリアネットワーク）の詳細に関しては、次のリソースを参照してください。

- Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）
- お使いのコンピュータに付属していたモバイルブロードバンドカードの『デバイスガイド』
- カードを別途購入した場合は、カードに付属していたメディアの『デバイスガイド』

モバイルブロードバンドネットワーク接続の設定

メモ：お使いのコンピュータによって、モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカードのいずれかを使用してモバイルブロードバンドネットワーク接続を設定できます。ただし、両方のカードは使用できません。

モバイルブロードバンドネットワーク接続をセットアップするには、次のものが必要です。

- モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカード（お使いのコンピュータの構成による）
- 有効なモバイルブロードバンド ExpressCard またはご利用のサービスプロバイダからの有効な加入者識別モジュール（SIM）
- モバイルブロードバンドカードユーティリティ（コンピュータ購入時にカードも購入していれば、既にコンピュータにインストールされています。コンピュータとは別にカードを購入した場合は、カードに付属のメディアに収録されています）

  このユーティリティが破損したり、コンピュータから削除された場合は、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）、または、カードを別に購入した場合は、そのカードに付属のメディアを参照してください。

モバイルブロードバンドカードの確認

1. **Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックします。
2. **Computer Information**（コンピュータの情報）を検索して、**Tools**（ツール）か **System Information**（システム情報）を使用して、お使いのコンピュータの情報を表示し、問題を診断します。

ヒント：モバイルブロードバンドカードは、通常、Windows ヘルプとサポートの **Modems**（モデム）の下に表示されます。

モバイルブロードバンドネットワークへの接続

メモ：以下の手順は、モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカードのみに適用されます。ワイヤレステクノロジ搭載の内蔵カードには適用されません。

モバイルブロードバンドサービスの有効化

インターネットに接続する前に、お使いのセルラーサービスプロバイダを介してモバイルブロードバンドサービスを有効にする必要があります。

詳細情報：Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティの使い方の詳細に関しては、以下を参照してください。

- 通常、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）またはスタートボタン → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で利用できるユーザーズガイド
- デルサポートウェブサイト **support.jp.dell.com** から入手できるユーザーズガイド
- カードをコンピュータと別に購入した場合は、お使いのモバイルブロードバンドカードに含まれていたメディアで利用できるユーザーズガイド

Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティを使用したネットワークの管理

1 Windows タスクトレイにある Dell Mobile Broadband Card Utility（Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティ）アイコンをクリックしてユーティリティを実行します。

2 **Connect**（接続）をクリックします。

3 画面の手順に従って、ユーティリティでネットワーク接続を管理します。

ヒント：デルでは、モバイルブロードバンドをはじめる簡単な方法をご用意しています。**Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Dell Wireless**（Dell ワイヤレス）→ **Dell Wireless Broadband**（Dell ワイヤレスブロードバンド）の順にクリックし、画面の手順に従います。

WiMAX

メモ：WiMAX は、一部のコンピュータではサポートされていません。

WiMAX（Worldwide Interoperability for Microwave Access）は、標準ベースの電気通信技術で、ワイヤレスデータを提供します。

WiMAX では、ケーブルや DSL のような有線ブロードバンドの代わりとして、ラストマイルブロードバンドアクセスの提供が可能です。IEEE 802.16 標準に基づく WiMAX は、WirelessMAN とも呼ばれ、基地局との直接的な見通し内環境を必要とせずに固定接続およびポータブル接続を実現します。モバイルワイヤレスブロードバンドは、近い将来サポートされることが見込まれています。

WPAN

 メモ：WPAN は、一部のコンピュータではサポートされていません。

ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク（WPAN）は、個人の作業場所を中心としたワイヤレスデバイスの相互接続に役立ちます。

WPAN テクノロジは、短距離での通信をサポートします。新しい標準 IEEE 802.15 の基礎として使用されている Bluetooth は、WPAN の一例です。

ネットワークの管理

ネットワークのセキュリティ保護

ネットワークおよびコンピュータを外部の侵入から保護するには、ハッカーやスパイウェア、およびプライバシーの侵害からネットワークを保護するために利用できるインターネット対策をインストールします。

ルーターのセキュリティ保護	ネットワークのルーターが保護されていないと、ハッカーはブロードバンドインターネット接続を介してお使いのコンピュータにアクセスすることができます。 ネットワークのセキュリティを向上するには、ネットワークの名前とシステム管理者パスワードをルーター設定ソフトウェアで固有の値に変更し、システム管理者パスワードを定期的に変更します。 ルーターをセットアップしたら、データの暗号化を有効にします。ルーターでデータの暗号化をセットアップするには、お使いのルーターの設定用ソフトウェアを使用してください。

ファイアウォールのセットアップ	ファイアウォールは、ネットワークの外側からの不正アクセスからネットワーク内のコンピュータを保護するのに有用です。また、ファイアウォールによっては、スパイウェアソフトがインターネットを介して不正な第三者へ情報を送信する場合にあるような、ネットワーク内部からの不正な情報の転送を制限するものもあります。 Windows Vista および Windows XP オペレーティングシステムには、ファイアウォールが組み込まれています。Windows ファイアウォールが有効であることを確認するには、次の操作に従ってください。 1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Network and Internet Connections**（ネットワークとインターネット接続）の順にクリックします。 2 **Windows Firewall**（Windows ファイアウォール）アイコンを選択します。 3 **Firewall**（ファイアウォール）オプションが無効となっている場合は、このオプションを選択してファイアウォールを有効にします。
最新ソフトウェアの使用	ソフトウェア会社では、各製品を定期的にアップデートして、セキュリティの修正を行います。お使いのインターネットブラウザおよびオペレーティングシステムの最新バージョンをネットワーク上のすべてのコンピュータにインストールして、定期的にアップデートを確認します。

ワイヤレス LAN（WLAN）のセキュリティ保護

デフォルトのルーターシステム管理者パスワード設定およびデフォルトのワイヤレスネットワーク名（SSID）の変更	お使いのワイヤレスルーターでは、システム管理者パスワードおよびワイヤレスネットワーク名（Service Set Identifier （SSID））を使用します。これらは、ルーターの製造元により初期値に設定されています。 ワイヤレスネットワークのセキュリティを向上させるために、ネットワークの名前とシステム管理者パスワードをルーター設定ソフトウェアで固有の値に変更し、システム管理者パスワードを定期的に変更します。

暗号化のセットアップ	ワイヤレスルーターのセットアップ時に、データの暗号化を有効にします。最も一般的な暗号化標準は以下のとおりです。 • Wired Equivalency Privacy（WEP） • Wireless Protected Access（WPA） • Wireless Protected Access 2（WPA2） WPA および WPA2 暗号化は、暗号化キーが動的に変化するため、パスワード基準のシステムよりも安全性が高いです。 ネットワーク上のハードウェアはすべて同じ暗号化基準をサポートする必要があります。 ルーターでデータの暗号化をセットアップするには、お使いのルーターの設定用ソフトウェアを使用してください。
MAC フィルタのセットアップ	MAC フィルタを使用するためにワイヤレスルーターを設定すると、ルーターは指定された MAC アドレスを持つワイヤレスアダプタへのアクセスを制限します。 1 **Command Prompt**（コマンドプロンプト）ウィンドウを開いて、`ipconfig/all` と入力します。 2 ワイヤレスネットワークの接続で、12 文字の 16 進数で示されている **Physical Address**（物理アドレス）のメモをとります。この値がコンピュータのワイヤレスアダプタに割り当てられている MAC アドレスです。 3 ネットワーク内の各コンピュータに手順 1 および手順 2 を繰り返し、コンピュータ固有のワイヤレスアダプタの MAC アドレスを取得します。 4 ワイヤレスルーターの設定プログラムを実行して、MAC フィルタオプションを有効にします。（このオプションは、「アクセスコントロール」といった用語で設定されている場合もあります。） 5 手順 2 および手順 3 で取得した MAC アドレスを入力します。

ワイヤレスネットワークをセットアップする際は、ネットワーク内の各ワイヤレスデバイスに同じ暗号化タイプおよび暗号化キーを指定します。

パブリック Wi-Fi ネットワーク（ホットスポット）の使用時のセキュリティの確保

お使いのコンピュータをパブリックワイヤレスネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータのネットワーク設定を構成して、セキュリティリスクを減らします。

ソフトウェアのアップデート	パブリックワイヤレスネットワークを使用する前に、お使いのオペレーティングシステムおよびセキュリティソフトウェアを、最新のセキュリティパッチとウィルス情報でアップデートします。
ファイアウォールの使用	Windows Vista または Windows XP オペレーティングシステムを使用している場合は、Windows ファイアウォール機能が有効になっているかを確認します。245 ページの「ファイアウォールを使用したコンピュータの保護」を参照してください。 お使いのオペレーティングシステムにファイアウォールが含まれていない場合は、統合インターネットセキュリティソフトウェアパッケージ、または最低でも独立式のファイアウォールソフトウェアを購入してインストールします。
ファイルとプリンタの共有の無効化	パブリック Wi-Fi ネットワーク接続を使用する前に、ファイルとプリンタの共有を無効にします。 1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）をクリックします。 2 **Security Center**（セキュリティセンター）アイコンをダブルクリックして、**Windows Firewall**（Windows ファイアウォール）オプションをクリックします。 3 **Windows Firewall Settings**（Windows ファイアウォール設定）ダイアログボックスの **Exceptions**（例外）タブを選択します。 4 **File and Printer Sharing**（ファイルとプリンタの共有）のチェックを外してから、**OK** をクリックします。
Windows ネットワークセキュリティ設定を公共の場所向けに設定	初めてワイヤレスネットワークへ接続する際に、お使いのコンピュータにネットワークの種類を指定してから、それに応じてファイアウォールの設定を行う必要があります。セキュアネットワークではない公共の場所の場合は、**Public Place**（公共の場所）オプションを選択します。
Virtual Private Network（VPN）または安全なホットスポットワイヤレスサービスプロバイダと契約	パブリックワイヤレスアクセスを頻繁に使用する場合は、Virtual Private Network（VPN）サービス、または安全なホットスポットワイヤレスサービスを契約してください。
パブリックワイヤレス LAN からは、オンラインの金融関連ウェブサイトにアクセスしない	前述のガイドラインにしたがっている場合でも、パブリックワイヤレス LAN の使用時に、オンラインの銀行や証券のウェブサイトにアクセスしないでください。

Dell Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータでネットワークを検出する

コンピュータによっては、ワイヤレススイッチが装備されているものもあります。お使いのコンピュータにワイヤレススイッチが搭載されているかどうか、またはその場所については、お手元のマニュアルの「お使いのコンピュータについて」を参照してください。

ワイヤレススイッチでは、Dell Wi-Fi Catcher ネットワークロケータを使用して、特に近辺のワイヤレスネットワークを取り込みます。

ワイヤレスネットワークの取り込み

コンピュータによっては、ワイヤレススイッチを使用して、近辺のワイヤレスネットワークを取り込むことができます。ワイヤレスネットワークを取り込むには、ワイヤレススイッチを適所にスライドさせて、そのまま数秒間維持します（152 ページの「ワイヤレススイッチを備えたワイヤレスカードの有効化と無効化」を参照）。

その他のコンピュータでは、取り込み用の別のボタン、またはスイッチを使用する場合があります。ワイヤレススイッチやボタンの使い方に関しては、マニュアルに記載された手順に従ってください。

Wi-Fi Catcher ネットワークロケータは、スイッチが有効で、Wi-Fi ネットワーク接続の制御が設定されてる限り、コンピュータが電源が入っている入っていない、またはスリープモードであるという状態に関係なく機能します。

 メモ：このライトはコンピュータの電源がオフのときだけ点灯します。

ネットワークロケータの有効化

コンピュータがお手元に届いたとき、Wi-Fi Catcher ネットワークロケータは無効かつ設定されていない場合があるため、まずスイッチを有効にし、Wi-Fi ネットワーク接続を制御するよう設定する必要があります。このタスクには、以下を使用できます。

- Dell ControlPoint Connection Manager
- セットアップユーティリティから利用できるシステム BIOS（295 ページの「セットアップユーティリティ」を参照）

Dell ControlPoint Connection Manager

Dell ControlPoint Connection Manager には、Dell ControlPoint（DCP）アプリケーションからアクセスできます。

Dell ControlPoint Connection Manager とは、コンピュータ上のひとつの場所から、ネットワーク全体を管理することができるネットワーク接続アプリケーションです。ControlPoint Connection Manager を使用して、次のようなネットワークタイプを管理できます。

- Wi-Fi
- モバイルブロードバンド
- ダイヤルアップ
- Ethernet（または「有線」）
- Bluetooth および UWB
- GPS

ControlPoint Connection Manager にアクセスして、お使いのコンピュータの Wi-Fi ネットワークロケータを有効にして、機能の設定を行うには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの ControlPoint アイコン（DCP アイコン）をクリックします。**Dell ControlPoint** ウィンドウが表示されます。
2. **Connection Manager**（接続マネージャ）をクリックします。**Connection Manager Overview**（接続マネージャの概要）ウィンドウが表示されます。
3. Connection Manager Overview（接続マネージャの概要）ウィンドウから、**Manage Connections**（接続の管理）を選択して、手順に従います。

ヘルプを参照するには、Connection Manager（接続マネージャ）のヘルプ **?**（疑問符）をクリックします。

詳細情報：Dell ControlPoint アプリケーションの使い方に関しては、ControlPoint のメイン画面から利用できるヘルプを参照してください。

Intel® Active Management Technology を使用したネットワークコンピュータの管理

ネットワーク管理者がネットワークコンピュータの管理を行えるように、デルでは、特定のシステムに、Intel® Active Management Technology（Intel AMT または iAMT®）を採用しています。システム管理者は、このテクノロジによって次の操作を実行できます。

- コンピュータの電源が入っているかどうかに関わらず、ネットワーク上のコンピュータ資産を発見および管理する。
- オペレーティングシステムに障害が発生した後でもシステムの修復をリモートで行う（ソフトウェアまたはオペレーティングシステムに不具合が発生した場合に、Intel AMT を使用して、コンピュータへ修復を目的としてリモートアクセスできます）。
- ネットワークでソフトウェアとウィルス保護を最新の状態に保ちながら、侵入しようとする脅威からネットワークを保護する。

Intel® Active Management Technology の使用方法の詳細に関しては、『Dell™ システム管理者ガイド』を参照してください。このガイドは、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** から入手できます。

13

インターネットへの接続

概要

インターネットとは、世界中の（個人および組織ユーザーの両方に対する）コンピュータネットワークを接続する電子通信ネットワークです。インターネットは、世界中に及ぶ広範囲なコンピュータおよびサーバーの集まりをサポートするものであり、ハイパーテキストリンク、またはハイパーリンクと呼ばれるプロセスを通じて、相互にリンクするドキュメントや情報ページ（ウェブページ）が含まれています。

世界中のコンピュータ上に保存され、インターネットを介してアクセスできるこれら電子ドキュメントにより、ウェブ（World Wide Web）が構成されています。

インターネットへの接続に必要なもの

メモ：ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、およびインターネットサービスプロバイダ（ISP）が必要です。ISP では、次のようなインターネット接続オプションを 1 つまたは複数提供します。

- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。
- 衛星テレビシステムを通じて高速のインターネットアクセスを提供する衛星モデム接続。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL、ケーブル、衛星モデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- ワイヤレスワイドエリアネットワーク（WWAN）またはモバイルブロードバンドテクノロジでは、広帯域の携帯電話技術を使用してインターネットに接続します。
- ワイヤレスローカルエリアネットワーク（WLAN）接続では、通信に高周波電波を使用します。一般に、ワイヤレスルーターは、コンピュータにインターネット信号を送信するブロードバンドケーブル、または DSL モデムに接続されます。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。

DSL、ケーブル、または衛星モデム接続を使用している場合、セットアップの手順についてはご契約の ISP または携帯電話サービスにお問い合わせください。

インターネットサイト表示のためのウェブブラウザ

インターネットを表示するには、ウェブページを表示するソフトウェアアプリケーション（プログラム）のウェブブラウザが必要です。ウェブページには、ハイパーテキストマークアップ言語（html）を使用するテキスト、グラフィックス、音、および映像が含まれています。ウェブページには、ドキュメントがインターネット上の別の場所に保存されていても、ドキュメント間を移動できるリンクが含まれています。

ウェブサイトは、個人、または組織が保持するウェブページがまとめられたものです。

ハイパーリンクが設定されたウェブページは、ウェブブラウザで読むことができます。さまざまなウェブブラウザが利用可能です。一般に使用されているブラウザは、Internet Explorer です。

1. 特定のウェブサイトを表示するには、Internet Explorer アイコンをクリックして、Internet Explorer を開きます。
2. ブラウザが開いたら、ブラウザウィンドウの上部にあるアドレスバーをクリックして、ウェブアドレスを入力します。

ウェブアドレス

ウェブアドレス、または uniform resource locator（URL）は、ウェブサイトの場所を示しています。インターネット上のウェブページはそれぞれに URL を持っています。ウェブアドレスは一般的に **http://www.dell.com** のような形式をとります。

詳細情報：インターネットおよびさまざまなインターネット接続形式の詳細に関しては、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** で情報を検索してください。

インターネット接続のセットアップ

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、およびインターネットサービスプロバイダ（ISP）が必要です。

デスクトップ上にある既存の ISP のショートカットを使用してインターネット接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 Microsoft® Windows® デスクトップで ISP のアイコンをダブルクリックします。
3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

メモ：ご契約の ISP 情報をご用意ください。ISP に登録していない場合は、インターネットに接続するウィザードを利用すると簡単に登録できます。

デスクトップに ISP のアイコンがない場合、または別の ISP でインターネット接続をセットアップしたい場合は、次の手順を行います。

Windows Vista®

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Network and Internet**（ネットワークとインターネット）の順にクリックします。
3 **Network and Sharing Center**（ネットワークと共有センター）の **Connect to the Internet**（インターネットに接続する）をクリックします。

   Connect to the Internet（インターネットに接続する）ウィンドウが表示されます。

4 以下のように、希望する接続方法によって **Broadband**（ブロードバンド（PPPoE）、**Wireless**（ワイヤレス）、または **Dial-up**（ダイヤルアップ）をクリックします。

- DSL モデム、ケーブルテレビモデム、または衛星モデムを使用する場合は、**Broadband**（ブロードバンド）を選択します。
- ワイヤレス LAN カードを使用してワイヤレス接続を使用する場合は、**Wireless**（ワイヤレス）を選択します。
- ダイヤルアップモデムや Integrated Services Digital Network（ISDN）を使用する場合は、**Dial-up**（ダイヤルアップ）を選択します。

メモ : どの接続タイプを選択すべきか分からない場合は、**Help me choose**（選択についての説明を表示します）をクリックするか、ご契約の ISP にお問い合わせください。

5 画面の指示に従って、ISP から提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

Windows® XP

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 **スタート** → **コントロールパネル** → **ネットワークとインターネット接続** の順にクリックします。

3 **インターネット接続のセットアップや変更を行う** をクリックします。

4 **設定** をクリックします。**新しい接続ウィザード** ウィンドウが表示されます。

5 **次へ** をクリックします。**インターネットに接続する** を選択し、**次へ** をクリックします。

6 **接続を手動でセットアップする** をクリックし、**次へ** をクリックします。

7 以下のように、希望する接続方法によって **ブロードバンド**（PPPoE）、**ワイヤレス**、または **ダイヤルアップ** をクリックします。

- DSL モデム、ケーブルテレビモデム、または衛星モデムを使用する場合は、**ブロードバンド** を選択します。
- ワイヤレス LAN カードを使用してワイヤレス接続を使用する場合は、**ワイヤレス** を選択します。
- ダイヤルアップモデムや Integrated Services Digital Network（ISDN）を使用する場合は、**ダイヤルアップ** を選択します。

メモ : どの接続タイプを選択すべきか分からない場合は、**選択についての説明を表示します** をクリックするか、ご契約の ISP にお問い合わせください。

8 画面の指示に従って、ISP から提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

インターネットへの接続に関する問題のトラブルシューティング

インターネットへの接続において問題がある場合は、ご契約しているインターネットサービスプロバイダの情報や接続用ハードウェアに同梱されていた情報を参照してください。

過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できなくなった場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

ウェブブラウザの設定

ブラウザの設定を変更して、ウェブブラウザを便利に安全に調整することができます。たとえば、Internet Explorer の設定を変更するには、次の手順を実行します。

- Internet Explorer を開いて、**Tools**（ツール）→ **Internet Options**（インターネットオプション）をクリックします。

  または

- **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Network and Internet Connections**（ネットワークとインターネット接続）→**Internet Options**（インターネットオプション）とクリックします。

Internet Options（インターネットオプション）ウィンドウが表示されます。このウィンドウを使用して、次のような特定の機能の設定を行います。

- ブラウザのホームページ
- ウェブページのデザイン
- ブラウザ履歴
- ユーザー補助オプション

ブラウザホームページの設定

ブラウザのホームページ（最も頻繁に使用するページ）を設定すると、Internet Explorer を開く度に同じページが表示されます。

1. **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Netowork and Internet Connection**（ネットワークとインターネット接続）→**Internet Options**（インターネットオプション）とクリックします。
2. Internet Explorer を使用する度に最初に開くサイトのウェブアドレスを入力します。

ブラウザにおけるウェブページの表示方法の設定

ウェブページの一般的なデザインは、色、言語、フォントおよびユーザー補助機能を使用して変更できます。

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Nework and Internet Connection**（ネットワークとインターネット接続）→ **Internet Option**（インターネットオプション）とクリックします。
2 ウェブページのデザインを制御するボタンを探します。変更を行う機能のボタンをクリックします。

色	色の選択ウィンドウから、テキスト、背景、およびハイパーリンクを変更できます。デフォルトは、黒色のテキスト、白色の背景、青色のハイパーリンク（表示済みのものは紫色）のシンプルな Windows の色設定が指定されています。 1 **Use Windows Colors**（Windows の色を使用する）のデフォルトチェックボックスのチェックを外すと、色のフィールドがグレー表示でなくなります。 2 テキストカラーパレットをクリックすると、色のボックスが利用できるようになります。 3 **OK** をクリックします。 **メモ：**テキストと背景の色を似たような色に変更すると、テキストが大変読みづらくなります。 **メモ：**ウェブページによっては、各ユーザーの設定よりも優先される色設定が事前に設定されているものもあります。
言語	特定の文字を適切な言語で表示するために言語を設定できます。
フォント	フォントとは、テキストのサイズ、形式、およびスタイルを示します。目的のフォントを選択します。
テキストサイズ	次のキーでテキストサイズを大きく、または小さくします。 <Alt> と <v> を押します。 **Text Size**（テキストサイズ）をクリックすると、サイドメニューで最も大きいサイズから小さいサイズまで即座に調整できるようになります。 最も大きなサイズにテキストを変更してもウェブページ上のテキストが読みづらい場合は、ウィンドウの右側の下部にある **Zoom**（拡大）機能を試してください。

拡大	拡大機能を使用して、画面上のすべてのサイズを調整します。 拡大するには、<Ctrl> キーを押しながら、プラス（+）キーを押します。 縮小するには、<Ctrl> キーを押しながら、マイナス（–）キーを押します。

ブラウザの表示履歴の記録方法を設定して領域を空ける

Internet Explorer では、次に同じウェブページを訪問した際にグラフィックスのダウンロード処理を高速化するために、訪問したウェブサイトのログを保存します。その履歴ログが使用する領域の量を削除、または減らすことができます。

1. **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Network and Internet Connections**（ネットワークとインターネット接続）→ **Internet Options**（インターネットオプション）とクリックします。
2. 閲覧履歴のファイルを削除するには、**Delete**（削除）をクリックします。または、領域の量を最小限にするには、**Settings**（設定）をクリックします。
3. ファイルサイズ（メモリ内の MB 数）を減らすか、または閲覧履歴の情報保存日数を減らして、情報保存に使用する領域を制限します。

インターネットウィンドウを開く数を制限してコンピュータの速度を上げる

タブの使用により、同じブラウザウィンドウで同時に複数のウェブページを開くことができます。Internet Explorer のインスタンスを複数同時に実行させる必要はありません。

タブ機能で開くプログラムの数を制限することにより、コンピュータの処理の速度を上げます。

1. **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Network and Internet Connection**（ネットワークとインターネット接続）→ **Internet Option**（インターネットオプション）とクリックします。
2. **Tabs**（タブ）セクションで、**Settings**（設定）をクリックします。
3. **Enable Tabbed Browsing**（タブ閲覧の有効化）の隣にあるチェックボックスをクリックして選択します。
4. **Enable Quick Tabs** （クイックタブの有効化）チェックボックスをクリックして選択します。このオプションにより、開いているすべてのタブの画像が表示されます。

5 **Always open pop-ups in a new tab**（ポップアップを常に新しいタブで開く）をクリックします。
この操作で、広告が新しいアドレスへリダイレクトせずに現在使用しているウェブブラウザで開くようになります。

6 **Open links from other program**（その他のプログラムからリンクを開く）セクションでは、**A new tab in the current window**（現在のウィンドウに新しいタブを開く）をクリックします。この操作で、新しいブラウザを開かずに新しいタブにハイパーリンクが開きます。

視力に障害がある方のためのユーザー補助オプションの使い方

視力に障害をお持ちの場合は、特定のウェブページ上の色やフォントを無視して、個人のウェブページの設定に優先するユーザー補助メニューを使用できます。

いずれかのラジオボタンをクリックして、ユーザー補助機能を有効にするか、さらに詳細なスタイルシート機能を使用します。スタイルシート機能では、ウェブページすべてに対して、事前に形式を設定したスタイルシートを使用できるようになります。

インターネットセキュリティおよびプライバシー保護

インターネットアクセス時のコンピュータのセキュリティの向上

インターネットセキュリティを向上することはきますが、それにより利用できるすべての機能を参照することができなくなります。ただし、インターネットセキュリティの設定を低くして、すべてを表示すると、コンピュータが危険にさらされます。

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Network and Internet Connections**（ネットワークとインターネット接続）→ **Internet Options**（インターネットオプション）とクリックします。

2 **Security**（セキュリティ）タブを開きます。

3 インターネットアイコンがハイライト表示されている状態で、このゾーンのセキュリティレベルを示す縦のスライドバーを使用して、インターネットウェブサイトのセキュリティを上げたり、下げたりします。

セキュリティ ページでその他のアイコンをクリックすると、追加のセキュリティオプションが開きます。

1 これら見出しのいずれかで **Site**（サイト）をクリックして、信用するサイトや制限するサイトを追加します。
   - 信用されたサイトはリストに追加されるため、それらサイトからの情報は安全であると判断されます。
   - 制限されたサイトでは、コンピュータに損害を与える可能性があるウェブサイトを追加できます。
2 サイトのウェブアドレスを入力して、**OK** をクリックします。

インターネットアクセス時のプライバシー保護

プライバシーは、他のウェブページがコンピュータにどのような影響を与えるのかに関係します。ウェブサイトを訪問する度に、ウェブページとコンピュータブラウザ間である量の相互作用が発生します。

ウェブサイトによっては、その他のウィンドウにポップアップ広告が表示されることもがあります。ウェブサイトへの訪問により、cookie がコンピュータに保存されて、トラックされることもあります。

次の操作でセキュリティとプライバシーを保護します。

アンチウィルスおよびアンチスパイウェア保護プログラムの使用	174 ページの「アンチウィルスプログラムの使い方」および 176 ページの「スパイウェアおよびマルウェアの感染防止」を参照してください。
ファイアウォールのインストール	174 ページの「ファイアウォール」を参照してください。
スパムおよびフィッシング詐欺からの保護	177 ページの「スパム」および 177 ページの「フィッシング詐欺」を参照してください。
ポップアップおよび cookie の制御	178 ページの「ポップアップの制御」および 183 ページの「Cookie のブロックおよび削除によるプライバシーの保護」を参照してください。
安全なショッピング技術の使用	178 ページの「インターネットでの安全なショッピング」を参照してください。

ウィルス

ウィルスとは、データおよびシステムプログラムに損害を与え、安全情報を危険にさらしてコンピュータを攻撃するプログラムです。これらウィルスは、ダウンロードしたファイルや、E- メールの添付ファイルで受信したファイルに付属してくる場合があります。

アンチウィルスプログラムの使い方

アンチウィルスプログラムを使用して、ウィルスからコンピュータを保護します。一般的なアンチウィルスプログラムは、Norton AntiVirus および McAfee VirusScan です。これらプログラムは両方とも、定期的にコンピュータのウィルスをチェックして、疑いのあるプログラムやデータを隔離します。

アンチウィルスプログラムは、**デルサポートサイト support.jp.dell.com** から入手できます。

アンチウィルスプログラムのアップデート

新しいウィルスが毎日発見されているため、お使いのアンチウィルスプログラムを最新の状態にしておきます。お使いのアンチウィルスプログラムのアップデートを定期的にチェックします。アンチウィルスプログラムによっては、インターネットに接続すると自動的にアップデートを行うことができるものがあります。

ファイアウォール

ファイアウォールは、Windows オペレーティングシステムにおける追加のセキュリティ機能です。ファイアウォールは、さまざまな信用レベルを持つデータがコンピュータネットワークを通過できるように設定されているソフトウェアデバイスです。

ファイアウォールの基本タスクは、さまざまな信用レベルのコンピュータネットワーク間におけるトラフィックの流れを管理することです。

 例： コンピュータネットワークの一般例は以下の通りです。

- インターネット（信用されていないゾーン）
- 内部ネットワーク（信用が高いタイプのゾーン）

ファイアウォールをセットアップするには、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Network and Internet Connections**（ネットワークとインターネット接続）→ **Internet Options**（インターネットオプション）とクリックします。
   または
   Start（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Security Center**（セキュリティセンター）→**Windows Firewall**（Windows ファイアウォール）とクリックします。

2. **Change Settings**（設定の変更）をクリックします。**Windows Firewall Settings**（Windows ファイアウォール設定）ウィンドウが表示されます。

   General（全般）タブには、**On**（有効）および **Off**（無効）の 2 つの設定が表示されます。左側のシールドには、チェックマークが付いた緑色のアイコン（**On**（有効））が、または x が付いた赤色 のアイコン（**Off**（無効））が表示されます。

   Windows ファイアウォールを **On**（有効）（推奨）に設定すると、その他のオプションを選択できます。**Don't allow exceptions**（例外を許可しない）チェックボックスを使用できるようになります。

3. セキュリティ設定を上げるには、**Don't allow exceptions**（例外を許可しない）チェックボックスにチェックを入れます。Windows ファイアウォールは、プログラムをブロックする度にメッセージを通知します。

Windows Fire Wall（Windows ファイアウォール）ウィンドウには、セキュリティ設定をカスタマイズできる複数のタブが提供されています。

General （全般）タブ	**General**（全般）タブには、**On**（有効）および **Off**（無効）の 2 つの設定が表示されます。Windows ファイアウォールを **On**（有効）（推奨）に設定すると、**Don't allow exception**（例外を許可しない）の選択ができるようになります。
Exception （例外）タブ	**Exception**（例外）タブでは、Windows ファイアウォールによる干渉、またはプログラムをブロックしたメッセージの通知を行わずに、特定のプログラムの種類を操作できるようにします。
Advanced （詳細設定）タブ	**Advanced**（詳細設定）タブでは、さらに特定の設定を行うことができます。 • **Network Connection Settings**（ネットワーク接続の設定）タブでは、いずれかの、またはすべての利用可能な接続タイプに適用される Windows ファイアウォールのオプションが提供されています。 • **Security Logging**（セキュリティのログ）設定では、ドロップされたパケットすべてのログや、成功した接続すべてのログを指定したファイルに保存することができます。 • **Internet Control Message Protocol**（ICMP）設定では、ネットワーク上のコンピュータ間でエラーおよびステータス情報を相互に共有できます。 • **Default Settings**（規定の設定）では、Windows ファイアウォールの設定を完全に復元できます。このオプションにより、ファイアウォールはデフォルト設定の状態に戻ります。

ヒント：Windows ファイアウォールをオンにするには、お使いのコンピュータにシステム管理者としてログオンする必要があります。

スパイウェアおよびマルウェア

スパイウェア は、消費者をトラックして、特定のターゲットに狙いを定めた広告を行うのに使用される一種のコンピュータプログラムです。また、スパイウェアは、各コンピュータで保護されていない個人の情報を発見するのにも使用されます。

マルウェア とは、コンピュータ上のデータやハードディスクドライブを破壊することを目的に作成されたソフトウェアです。マルウェアの中には、押したキーをすべて記録することによって、クレジットカードナンバーや銀行の取引情報を収集できるものもあります。

スパイウェアおよびマルウェアは、コンピュータに害を与えたり、コンピュータの情報を危険にさらす可能性があります。

さまざまな症状により、スパイウェアの感染が示されます。次のような症状をチェックします。

- コンピュータのパフォーマンスが遅い
- 通常のタスクが完了するのに時間がかかる
- ウェブブラウザのホームページが変わる
- インターネットに接続していなくてもポップアップが表示される

スパイウェアおよびマルウェアの感染防止

お使いのコンピュータがスパイウェアおよびマルウェアに感染することを防ぐさまざまなオプションを利用できます。たとえば、アンチスパイウェアプログラムを使用して、コンピュータを保護し、チェックまたはクリーンアップを実行することができます。お使いのアンチスパイウェアプログラムが常に最新の状態であることを確認してください。

ヒント：ファイルをダウンロードする際は、信用できるウェブサイトを使用してください。インターネットで無償のファイルを取得する場合は注意してください。

詳細情報：Windows Vista に準拠したアンチスパイウェアおよびアンチマルウェアプログラムの詳細に関しては、Microsoft ウェブサイト（**microsoft.com**）で Microsoft カタログを参照してください。

詳細情報：スパイウェアおよびマルウェアの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で次のトピックを参照してください。

- 「Remove spyware from your computer」（コンピュータからスパイウェアを削除する）
- 「Using anti-malware software to help protect your computer（アンチマルウェアソフトを使用してコンピュータを保護する）」
- 「When to trust a website」（ウェブサイトの信用条件）

スパム

スパムとは、チェーンレターや広告などを含む、迷惑メールメッセージを示します。アンチスパムプログラムを入手して、受信するスパムの数を減らすことができます。ただし、これらプログラムは完全ではないため、通常の E- メールメッセージをブロックしてしまう可能性があります。

アンチスパムプログラムはデルのウェブページから入手してください。

フィッシング詐欺

フィッシング とは、信頼できる企業から送信されたような、一見合法的な E- メールやテキストメッセージで情報を盗もうとする詐欺行為を示す用語です。クレジットカード番号などの個人情報を要求する E- メールやウェブサイトには注意してください。

フィッシングフィルタを設定して、フィッシング詐欺から保護してください。

メモ：このフィルタを使用するには、Internet Explorer のバージョン 7 が必要となります。

1. Internet Explorer を開いて、**Tools**（ツール）→ **Phishing Filter**（フィッシングフィルタ）とクリックします。
2. **Turn on the Automatic Website Check**（ウェブサイトの自動チェックを設定）をクリックして選択します。
3. **Phishing Filter Settings**（フィッシングフィルタの設定）をクリックします。フィルタにより、インターネットオプションの **Advanced**（詳細設定）タブが開き、選択可能な設定を行います。

インターネットでの安全なショッピング

詐欺行為の危険性を回避したり、簡単にアイテムを交換または返品するには、信頼できるオンラインストアと取引をすることが重要です。そのオンラインストアについて詳しくない場合は、他のカスタマによるストアの評判や批評を読みます。

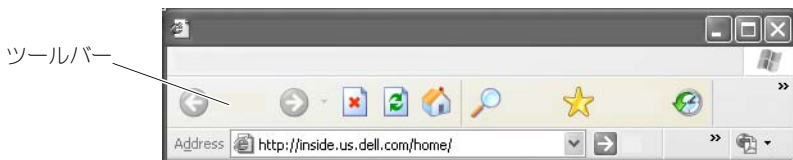
オンラインショッピングを安全で確実なものにするには、次の予防措置をとります。

- 小売店のウェブサイトの信頼度を検証する
- 有名なショッピングサイトかどうか
- そのウェブサイトがインターネットの信用組織に属しているか
- そのウェブサイトに関係のある人物と電話やその実際のメールアドレスで連絡をとることができるか
- 製品情報や可用性が率直および誠実に表示されているか
- 注文はどのくらい早く処理されるか
- 送料は妥当か
- 適切な返品または交換条件を提示しているか
- ウェブサイトはユーザーおよび支払いデータに関して暗号化を使用しているか
- ウェブサイトに品質シールがあるか これらシールは、セキュリティ基準において外部評価が実施されていることを示します。

ポップアップの制御

1. **Internet Options**（インターネットオプション）ウィンドウで、**Privacy**（プライバシー）タブをクリックします。
2. **Pop-up blocker**（ポップアップをブロックする）の隣のボックスにチェックが入っていない場合、ポップアップブロッカーは無効となっています。

   ボックスにチェックが入っている場合は、ポップアップブロッカーが有効になっており、**Settings**（設定）をクリックして、ポップアップブロッカーの詳細機能にアクセスできます。
3. **Settings**（設定）をクリックします。
4. 特定のウェブサイトのポップアップを許可する例外領域にウェブアドレスを入力します。
5. **Notifications and Filter level**（通知とフィルタレベル）セクションで、ポップアップがブロックされた際に音を出したい場合や情報バーを表示させたい場合に、2 つのボックスにチェックを入れます。
6. **Filter level**（フィルタレベル）ドロップダウンメニューで、**Low**（低）、**Medium**（中）、または **High**（高）設定を選択して、プライバシーの程度を制御します。

不要なツールバーの制御

ツールバーは、ブラウザの上部に配置されており、ウェブページ間を移動するのに役立ちます。これらツールバーの多くは便利ですが、多数表示すると、ウェブサイトを表示するのに使用するブラウザの実サイズが小さくなってしまう場合があります。

1 **View**（表示）をクリックします。
2 **Toolbars**（ツールバー）をクリックします。その他のメニューが表示され、ブラウザで利用できるツールバーがすべて示されます。ツールバーの隣のチェックは、そのツールバーが現在有効になっていることを示します。
3 ツールバーをクリックして、有効または無効にします。

コンテンツアドバイザおよびペアレンタルコントロール

Internet Explorer では、インターネットからのコンテンツをブロックする機能があります。

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Network and Internet Connections**（ネットワークとインターネット接続）→ **Internet Options**（インターネットオプション）とクリックします。
2 **Contents**（コンテンツ）タブを開きます。
3 タブの一部にある **Content Advisory**（コンテンツアドバイザ）で、**Enable**（有効にする）をクリックします。

ウェブサイトにアクセスするのにパスワードを要求することによって、特定のコンテンツタイプをブロックすることができます。選択を行う前にオプションの下にある説明を参照してください。

お気に入りウェブサイトのブックマークの作成

頻繁に訪れるウェブサイトのブックマークを作成することによって、後でまた訪問する場合のためにそのアドレスを保存します。

Internet Explorer で、**Favorites**（お気に入り）メニューを使用し、頻繁に訪れるウェブサイトのブックマークを作成します。追加するウェブページで、**Favorites**（お気に入り）→ **Add to Favorites**（お気に入りに追加）とクリックします。

お気に入りのブックマークのリストをフォルダに整理するには、次の手順を実行します。

1 **Favorites**（お気に入り）→ **Organize Favorites**（お気に入りの整理）とクリックします。
2 新しいフォルダを作成するには、**Create Folder**（フォルダの作成）をクリックします。
3 お気に入りリストの表示を変更するには、フォルダやページをハイライト表示させて、**Rename**（名前の変更）をクリックします。
4 ページをフォルダに移動するには、フォルダやページをハイライト表示させて、**Move to Folder**（フォルダへ移動）をクリックします。
5 お気に入りをリストから削除するには、フォルダやページをハイライト表示させて、**Delete**（削除）をクリックします。

お気に入りリストを表示するには、**Favorites**（お気に入り）メニューをクリックすると、ドロップダウンリストに以前に選択したお気に入りがすべて表示されます。また、この機能は、<Alt> と <a> キーを一緒に押しても実行できます。

インターネットで情報の検索

インターネット上で、ウェブアドレスがわからない状態で、情報（ウェブページ）を検索する必要がある場合は、検索エンジンを使用して情報の検索を行うことができます。

検索エンジンは多くの中から選択できます。検索エンジンは、それぞれに特色を持っています。各検索エンジンの使い方については、その検索エンジンのヘルプセクションを参照してください。

1 一般的な検索エンジンにアクセスして、検索を行う用語や用語の組み合わせを **Search**（検索）フィールドに入力します。
2 <Enter> を押すか、**Go**（開始）または **Search**（検索）（検索エンジンによって異なります）をクリックします。

関連するウェブページの一覧が検索フィールドの下に表示されます。

ヒント：情報を検索する際は、検索を絞り込みできるように、綴りが正確であるか、および関連する具体的な用語を使用しているかを確認します。多くの検索エンジンでは、検索の絞込みのために詳細検索機能が提供されています。

インターネット通信プロトコル（TCP/IP）の設定の変更

インターネットでは、特定の通信プロトコルを使用して情報を共有します。選択したウェブサイトを（ウェブページにアクセスするために）クリックすると、次のような通信プロトコルを通じてお使いのコンピュータに情報が送信（ダウンロード）されます。

TCP/IP（Transmission Control Protocol（TCP）および Internet Protocol（IP））TCP/IP 用にお使いのコンピュータの設定を変更する必要がある場合があります。

詳細情報：TCP/IP の設定の詳細に関しては、ご契約しているインターネットサービスプロバイダから配布されたマニュアルを参照してください。また、インターネットの設定の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

ウェブページの印刷

多くのウェブサイトでは、印刷がしやすいように印刷用のページが用意されています。ページを利用できない場合は、次の手順を実行します。

1 **File**（ファイル）クリックします。

2 **Print Preview**（印刷プレビュー）をクリックして、印刷物の表示と確認を行います。現在表示されているページの形式と、実際に印刷されるものが異なる場合があります。

Print Preview（印刷プレビュー）画面では、次のようなその他の機能を利用できます。

- 同時に複数のページを表示させるには、最初のドロップダウンメニューをクリックします。
- フレームからフレームに移動するには、2 つ目のドロップダウンメニューをクリックします。多くのウィンドウが別のセクション（フレーム）に分割されているので、印刷されるセクションが、その他のブラウザから離れたフレームに配置されることがあります。
- 特定のページを拡大、または縮小するには、3 つ目のドロップダウンメニューをクリックします。

空き容量の作成とコンピュータの保護

ブラウザ履歴の削除

ブラウザでは、訪問したウェブサイトをすべて記録しています。この機能は、同じウェブサイトへ移動する時間を少なくすることを目的としています。ただし、これにより、セキュリティが危険にさらされたり、コンピュータのパフォーマンスにさえ影響を及ぼす可能性があります。ブラウザ履歴を削除することにより、その危険性を低下させ、コンピュータ上の履歴ファイルのサイズを減らすことができます。

1. **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Network and Internet Connections**（ネットワークとインターネット接続）→ **Internet Options**（インターネットオプション）とクリックします。
2. ブラウザ履歴セクションで、**Delete**（削除）をクリックします。

インターネット一時ファイルの削除

ファイルをコンピュータにダウンロードすると、一時ファイルのスペースへ保存されます。これらファイルが大量に保存されると、コンピュータのリソースに損失を与える可能性があります。一時ファイルを定期的に削除することにより、コンピュータのパフォーマンスと速度を向上することができます。

1. ウェブブラウザを開き、**Internet Options**（インターネットオプション）のタブを指定します。
2. **Temporary Internet Files**（インターネット一時ファイル）セクションで、**Delete Files**（ファイルの削除）ボタンをクリックします。

一時ファイルフォルダのサイズの縮小

Internet Explorer では、訪問したウェブサイトのログと、インターネット一時ファイルの保存スペースが確保されています。その履歴ログが使用する一時ファイルの領域の量を削除、または減らすことができます。

1. Internet Explorer で、**Internet Option**（インターネットオプション）タブをクリックします。
2. 閲覧履歴のファイルを削除し、**Settings**（設定）をクリックして、スペースを最小化します。
3. メモリ内の MB 数を減らすか、または閲覧履歴の情報保存日数を減らして、情報保存に使用する領域を制限します。

Cookie のブロックおよび削除によるプライバシーの保護

Cookie とは、ウェブサイトを訪問した際にコンピュータ上へ保存される小さなマーカー（コードの一部）です。インターネット上の企業は、cookie を使用して、各社ウェブサイトへのアクセスをトラックします。

Cookie によっては、単にウェブサイトを使いやすくするだけのものもあります。たとえば、cookie では、ウェブサイトのパスワード情報を保存することができるため、パスワードを入力する必要があるのは、そのウェブサイトに初めて訪れた時だけとなります。一方で、cookie を介して個人情報が営利目的に利用され、ユーザーのプライバシーが侵害される可能性があります。

インターネットブラウザを開いて、**Options**（オプション）タブをクリックし、ウェブブラウザの履歴で cookie を削除します。**Delete Cookies**（Cookie の削除）ボタンを探して、クリックします。

たとえば、Internet Explorer で cookie を削除するには、次の手順を実行します。

1. Internet Explorer を開きます。
2. **Tools**（ツール）タブ → **Internet Options**（インターネットオプション）とクリックします。
3. **Temporary Internet Files**（インターネット一時ファイル）セクションで、**Delete Cookies**（Cookie の削除）ボタンをクリックします。

また、次のようにプライバシーの設定を上げて、コンピュータに保存される cookie の数を制限することも可能です。

1. **Internet Options**（インターネットオプション）ウィンドウで、**Privacy**（プライバシー）タブをクリックします。
2. プライバシーの設定を上げて、許可する cookie の数を減らすには、縦のスライドバーを上に移動します。または、プライバシーの設定を下げて、cookie がウェブページとインターネットブラウザ間を自由に通過できるようにするには、縦のスライドバーを下に移動します。
3. すべての cookie をブロックするには、スライドバーを一番上に移動して、**OK** をクリックします。

ヒント：cookie をブロックすると、一部のウェブページが正しく表示されなくなる可能性があります。一部の Web サイトでは、ユーザー名、パスワードなどの情報が cookie に格納されます。その cookie を削除した場合、そのサイトに次回アクセスしたときに、個人情報を再入力する必要が生じます。

14

E- メール

新しい E- メールアカウントのセットアップ

インターネット接続および E- メールサービスを使って、インターネット上で家族、友達、および同僚と E- メールメッセージを交換することができます。

ほとんどのサービスプロバイダの E- メールソフトウェアには、インターネットに接続して、E- メールアカウントをセットアップできるインターネット接続ウィザードが提供されています。

インターネットサービスプロバイダ（ISP）、またはローカルエリアネットワーク（LAN）管理者からの次の情報が必要となります。

- アカウント名およびパスワード
- 受信および送信 E- メールサーバーの名前

メモ：Windows Mail および **Outlook Express** は、それぞれ Windows Vista® および Windows® XP のデフォルトの E- メールアプリケーションです。

詳細情報：E- メールの使い方の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Getting started with e-mail（E- メールをはじめるには）」を参照してください。

Windows Vista®

Windows Mail（Windows メール）のアカウントを追加または削除するには、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート） → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Windows Mail** とクリックします。
2 **Tools**（ツール）→ **Accounts**（アカウント）をクリックします。
3 **Add**（追加）または **Remove**（削除）をクリックして、追加または削除するアカウントのタイプを選択し、**Next**（次へ）をクリックしてからオンラインの手順に従います。

Windows® XP

Outlook Express で E- メールのアカウントを追加または削除するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **Outlook Express** の順にクリックします。
2 **ツール** → **アカウント** をクリックします。
3 **インターネットアカウント** ダイアログボックスで、**追加** または **削除** をクリックします。
4 **メール** を選択して インターネット接続ウィザード を開き、手順に従って E- メール、またはニュースサーバーの接続を構築します。

E- メールメッセージの管理と整理

E- メールメッセージの管理および整理には、多くのオプションを利用できます。たとえば、複数の E- メールフォルダをセットアップしたり、E- メールのルールおよびフィルタを設定したり、迷惑メールを削除できます。

Windows Vista

E- メールフォルダを追加するには、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート） → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Windows Mail** とクリックします。
2 **File**（ファイル）→ **Folder**（フォルダ）→ **New**（新規）とクリックします。
3 **Folder name**（フォルダ名）ボックスにフォルダの名前を入力します。
4 **Select the folder in which to create the new folder**（フォルダを新規作成するフォルダの選択）リストで、新しいフォルダを保存するフォルダをクリックします。

詳細情報：フォルダの削除や切り替えの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

E- メールのルールを作成するには、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート） → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Windows Mail** とクリックします。

2 ルールのベースとするメッセージをクリックします。

3 **Message**（メッセージ）→ **Create Rule from Message**（メッセージからルールの作成）とクリックします。

その後で、多くのオプション（「ルール」）から選択を行うことができます。これにより、今後、ルールのベースとして使用した **E-** メールに適合する「状態」の **E-** メールを新しく受信した場合にその **E-** メールをどのように処置するかを管理できます。

例：Where the from line contains（差出人にユーザーが含まれている場合）条件 を使用して、特定のエンティティから受信した（または **From**（差出人）フィールドに指定した言葉が含まれる）メッセージすべてを指定した E- メールフォルダに自動的にソートおよび保存できるように、ルールを設定できます。

詳細情報：E- メールのルールの変更、またはダウンロードした E- メールメッセージにルールを適用する方法の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Organize e-mail using rules and folders（ルールとフォルダを使用した E- メールの整理）」を参照してください。

E- メールのメッセージを削除するには、次の手順を実行します。

1 削除するメッセージを選択し、**Delete**（削除）をクリックします。
2 複数のメッセージを選択する場合は、<Ctrl> キーを押したまま削除する各メッセージをクリックします。次に、**Delete**（削除）をクリックします。

Windows XP

E- メールフォルダを追加するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **プログラム** → **Outlook Express** の順にクリックします。
2 **ファイル** → **フォルダ** → **新規作成** とクリックします。
3 **フォルダ** 名のテキストボックスに名前を入力し、新しいフォルダの場所を選択します。

E- メールのルールを作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **プログラム** → **Outlook Express** の順にクリックします。
2 メインウィンドウで E- メールメッセージを選択します。
3 **メッセージ** ウィンドウで、**メッセージからルールの作成** をクリックします。

   これにより、**差出人** のユーザー名をベースにした単純な E- メールルールが作成されます。ただし、メッセージからのその他の情報は、ルールに含まれません。

E- メールのメッセージを削除するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **プログラム** → **Outlook Express** の順にクリックします。
2 メッセージリストで、メッセージをクリックしてハイライト表示します。
3 ツールバーで、**削除** をクリックします。

詳細情報：Outlook Express の詳細に関しては、Outlook Express ヘルプを参照してください。

E- メールのセキュリティ保護

受信した E- メールメッセージが安全であるかを確認する以下のオプションを利用できます。

- E- メールサービスで、適切なセキュリティレベルを設定する（172 ページの「インターネットアクセス時のコンピュータのセキュリティの向上」を参照）。
- スパムの削除。

- ウィルスおよびフィッシングに対する保護。
- E- メールの添付ファイルを開封しない。

詳細情報：E- メールメッセージのセキュリティ保護の詳細に関しては、E- メールサービスプロバイダのマニュアルを参照してください。

スパムの削減

受信する E- メールをソートするには、E- メールソフトウェア（Windows Vista の場合は Windows Mail、または Windows XP の場合は Outlook Express）のセキュリティレベルを適切に設定します。

Windows Vista

1. **Start**（スタート） → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Windows Mail** とクリックします。
2. **Tools**（ツール）→ **Junk e-mail Options**（ジャンク E- メールオプション）とクリックします。
3. 次の中から、目的の保護レベルを選択します。
   - **No Automatic Filtering**（自動フィルタなし）。ジャンク E- メールメッセージを完全にブロックしたくない場合にこのオプションをクリックします。ただし、Windows Mail では、**Blocked Senders**（ブロックする差出人）リスト内のドメイン名や E- メールアドレスのメッセージは引き続きブロックします。
   - **Low**（低）。ジャンク E- メールメッセージの受信が少ないため、最も明白なジャンク E- メールメッセージだけをブロックしたい場合にこのオプションをクリックします。
   - **High**（高）。大量のジャンク E- メールメッセージを受信しているため、できるだけそれらをブロックしたい場合にこのオプションをクリックします。ただし、ジャンク E- メールフォルダのメッセージを定期的にチェックして、一緒に移動した可能性がある正当な E- メールメッセージがないことを確認します。
   - **Safe List Only**（安全リストのみ）。**Safe Senders**（安全な差出人）リストのユーザー、またはドメイン名からのメッセージだけを受信したい場合にこのオプションをクリックします。**Safe Senders**（安全な差出人）リストに存在しないユーザーやドメイン名からの E- メールメッセージは、ジャンク E- メールメッセージとして扱われるため、メッセージを受信したいユーザーとドメイン名がすべて **Safe Senders**（安全な差出人）リストに含まれていることを確認している場合にのみこのオプションを選択します。

詳細情報：E- メールメッセージのスパムの削減の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Block spam and other unwanted e-mail」（スパムおよびその他の迷惑 E- メールのブロック）を参照してください。

Windows XP

1 **スタート** → **プログラム** → **Outlook Express** の順にクリックします。
2 **ツール** → **オプション** → **セキュリティ** タブをクリックします。
3 **イメージのダウンロード** で、**HTML E- メール内の画像およびその他外部コンテンツをブロックする** をクリックします。

詳細情報：E- メールメッセージのスパムの削減の詳細に関しては、Outlook Express ヘルプの「Viewing e-mail images that are blocked」（ブロックされた E- メール画像の表示）を参照してください。

ウィルスとフィッシング

次のオプションから選択して、E- メールメッセージをウィルスおよびフィッシングから保護することができます。

- アンチウィルスプログラムのインストール。
- E- メールメッセージをプレーンテキストで読む。
- 添付ファイルが安全なソースから送信されたものであるかを確認する。
- 拡張子 **.exe** の添付ファイルを開かない。

詳細情報：ウイルス保護の詳細に関しては、246 ページの「アンチウイルスソフトウェアの使い方」を参照してください。

E- メールの添付ファイルのブロック

E- メールサービスには、一般的に E- メールウィルスを広めるファイルタイプを自動的にブロックするものもあります。添付ファイルがブロックされると、それを知らせる **Information**（情報）バーが表示され、ブロックされた添付ファイルが一覧で表示されます。

その他の E- メールサービスでは、ブロックするファイルタイプを選択できます。

詳細情報：E- メールの添付ファイルの詳細に関しては、E- メールサービスプロバイダのヘルプ情報を参照してください。

E- メールメッセージの表示

1 デスクトップのアイコンをクリックするか、**Start**（スタート） → **All Programs**（すべてのプログラム）とクリックして、E- メールサービスの名前（たとえば、Windows Mail または Outlook Express など）をクリックして、E- メールサービスを開きます。

2 目的のメッセージが含まれているメールフォルダ（**Inbox**（受信トレイ）など）をクリックします。

3 メッセージを表示するには、メッセージリスト内のメッセージをクリックします。

詳細情報：Windows Mail で E- メールを表示する詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「View e-mail messages in Windows Mail（Windows Mail での E- メールメッセージの表示）」を参照してください。

E- メールの送信

E- メールメッセージを作成したら、その E- メールメッセージを受取人に送信する準備をします。

Windows Vista

1 **Start**（スタート） → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Windows Mail** とクリックします。

2 **File**（ファイル）→ **New**（新規）→ **Mail Message**（メールメッセージ）とクリックし、新しいメッセージの作成ウィンドウを開きます。

3 **To**（宛先）ボックスで、主要な受取人それぞれの E- メールアドレスを入力します。
4 **Subject**（件名）ボックスに、メッセージの件名を入力します。
5 メインメッセージウィンドウ内でクリックして、メッセージを入力します。
6 メッセージをすぐに送信するには、**Send**（送信）をクリックします。

詳細情報：Windows Mail で E- メールを送信する方法の詳細に関しては、ヘルプとサポート（**Start**（スタート）またはまたは → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Write an e-mail message（E- メールメッセージを書く）」を参照してください。

Windows XP

1 **スタート** → **プログラム** → **Outlook Express** の順にクリックします。
2 ツールバーで、**メールの作成** とクリックします。
3 **宛先** ボックスで、受取人の E- メール名を入力します。
4 **件名** ボックスで、メッセージのタイトルを入力します。
5 メッセージを入力してから、ツールバーの **送信** をクリックします。

詳細情報：Outlook Express で E- メールを送信する詳細に関しては、Outlook Express ヘルプで「To send an e-mail message（E- メールメッセージを送信するには）」を参照してください。

連絡先グループの作成（メーリングリスト）

E- メールを複数の受取人に送信する場合には、連絡先グループ（メーリングリスト）が便利です。連絡先グループとは、E- メールアドレスの一覧です。連絡先グループを作成することにより、E- メールを 1 つ作成して、それを複数の受取人に送信することができます。

Windows Vista

1 **Start**（スタート） → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Windows Contacts** とクリックします。

2 ツールバーで、**New Contact Group**（新しい連絡先グループ）をクリックして、**Group Name**（グループ名）ボックスに名前を入力してから、**Contact Group**（連絡先グループ）タブおよび **Contact Group Details**（連絡先グループの詳細）タブのボックスに入力します。すべてのボックスに入力する必要はありません。作成する新しい連絡先グループについて、必要な情報だけを入力します。

3 次のいずれかの方法で、連絡先を連絡先グループに追加します。
   - 既存の連絡先からグループにそれぞれ連絡先を追加するには、**Add to Contact Group**（連絡先グループに追加）をクリックします。
   - 連絡先を新しく作成して、連絡先グループに追加するには、**Create New Contact**（連絡先の新規作成）をクリックします。
   - 新しいユーザーを個別の連絡先には追加せずに、連絡先グループに追加するには、**Contact Name**（連絡先名）および **E-Mail**（E- メール）ボックスに適切な情報を入力してから、**Create for Group Only**（グループだけに作成）をクリックします。

4 連絡先グループの作成が完了したら、**OK** をクリックします。

詳細情報：E- メールメッセージの作成の詳細に関しては、ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Create contact groups (mailing lists)（連絡先グループ（メーリングリスト）の作成）」を参照してください。

Windows XP

1 **スタート** → **プログラム** → **Outlook Express** の順にクリックします。

2 **アドレスブック** で、グループを作成するフォルダを選択します。ツールバーの **新規** をクリックしてから、**新しいグループ** をクリックします。

3 **プロパティ** ダイアログボックスが開きます。**グループ名** ボックスに、グループの名前を入力します。

4 次のいずれかの方法で、連絡先を連絡先グループに追加します。

- **アドレスブック** の一覧からユーザーを追加するには、**メンバーの選択** をクリックし、**アドレスブック** の一覧から名前をクリックします。
- アドレスブックに名前を追加せずに、ユーザーをグループへ直接追加するには、**プロパティ** ダイアログボックスの下半分の箇所にユーザー名および E- メールアドレスを入力してから、**追加** をクリックします。
- グループおよびアドレスブックの両方にユーザーを追加するには、**新しい連絡先** をクリックして、適切な情報を入力します。
- ディレクトリサービスを使用するには、**メンバーの選択** をクリックしてから、**検索** をクリックします。ドロップダウンリストから、テキストボックスの最後にある、ディレクトリサービスを選択します。
  アドレスを検索して選択すると、自動的にアドレスブックに追加されます。

5 グループが定義されるまで、追加操作をそれぞれ繰り返します。

E- メールメッセージのバックアップ

ディスクスペースが増大する（または空き容量を増やす）場合に保護として、E- メールメッセージやその他のファイルをバックアップすることができます。

Windows Vista

1 **Start**（スタート） → **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **Backup and Restore Center**（バックアップと復元センター）とクリックします。

2 **Back up files**（ファイルのバックアップ）をクリックしてから、ウィザードの手順に従います。管理者パスワードまたは確認を求められた場合は、パスワードを入力するか、確認に応じます。

詳細情報：E- メールメッセージのバックアップの詳細に関しては、ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）で、「Back up your files（ファイルのバックアップ）」を参照してください。

Windows XP

1 **スタート** → **プログラム** → **Outlook Express** の順にクリックします。
2 E- メールフォルダを選択します。
3 **ファイル** → **フォルダ** → **圧縮** とクリックします。
4 フォルダをバックアップするには、フォルダをバックアップフォルダ、光学メディア、またはネットワークドライブにコピーします。Outlook Express の E- メールフォルダには、**.dbx** の拡張子が付きます（たとえば、**Sent Items.dbx**）。

詳細情報：E- メールメッセージのバックアップの詳細に関しては、Outlook Express ヘルプで「To compact and back up e-mail folders（E- メールフォルダの圧縮およびバックアップ）」を参照してください。

15

マルチメディア（CD/DVD、5.1 オーディオ、MP3、テレビ、デジタルカメラ、およびプロジェクタ）

概要

ほとんどの Dell コンピュータには、データ、音楽、またはビデオに使用できる CD/DVD プレーヤーまたはレコーダーが搭載されています。コンピュータによっては、デジタルカメラ、プロジェクタ、MP3 プレーヤー、およびテレビなどのその他のメディアデバイスにも接続できます。デジタル写真の表示および印刷、CD や DVD の再生、オリジナル CD の作成、ラジオの視聴、および MP3 などのポータブルメディアデバイスへのファイルのコピーを行うことができます。

詳細情報：コンピュータをテレビに接続し、接続タイプに基づいた表示設定の調整を行う方法の詳細に関しては、209 ページの「コンピュータのテレビへの接続と表示設定の調整」を参照してください。

CD、DVD、および Blu-ray Disc™ メディア

一部のコンピュータには、次の操作用のメディアボタンが装備されています。

- さまざまなメディアの再生
- データの転送およびバックアップ
- エンターテイメント

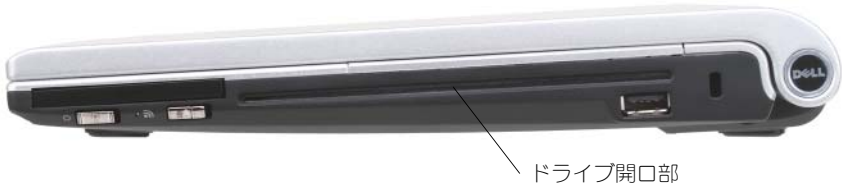
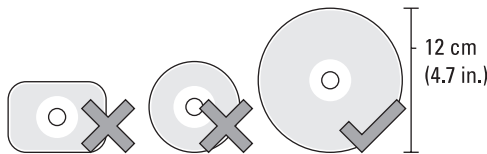
これらのボタンの使用方法に関しては、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

CD、DVD、または Blu-ray Disc メディアの再生

スピンドルおよび（または）トレイ付きのドライブの場合

1. ドライブの取り出しボタンを押します。
2. トレイの中心にラベルの貼られている側を上にしてメディアを置き、スピンドルにカチッとはめます。またはスピンドルがない場合はメディアをトレイの上にのせます。
3. トレイをドライブに押し戻します。
4. マルチメディアボタンが装備されているコンピュータの場合は、**再生** ボタンを押します。

   コンピュータによっては、自動再生選択ウィンドウが起動します。開いて表示する、または開いてデータの転送を行うなど、実行するタスクに対応する機能を選択します。

スロット付きのドライブの場合

注意：サイズや形状が標準外のディスク（ミニ CD やミニ DVD を含む）は、ドライブ損傷の原因となるので使用しないでください。

メモ：CD や DVD の再生または記録中は、コンピュータを動かさないでください。

1 プリインストールされた CD を取り出すには、取り出しボタンを押してください。取り出しボタンを場所は、コンピュータに付属のマニュアルで確認してください。
2 ラベル側を上にして、ディスクをドライブのスロットに挿入します。
3 マルチメディアボタンが装備されているコンピュータの場合は、**再生** ボタンを押します。

   コンピュータによっては、自動再生選択ウィンドウが起動します。開いて表示する、または開いてデータの転送を行うなど、実行するタスクに対応する機能を選択します。

データを保存またはコピーするメディアをフォーマットするには、お使いのコンピュータに付属のメディアのソフトウェアを参照してください。

メモ：メディアをコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

CD、DVD、または Blu-ray Disc メディアのコピー

1 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ <your CD/DVD software>（お使いの CD/DVD ソフトウェア）→ **Projects**（プロジェクト）→ **Copy**（コピー）とクリックします。
2 ディスクをコピーします。

シングルディスクドライブの場合は、次の手順を実行します。

a ソースディスクをドライブに挿入します。

b 設定が正しいことを確認してから、オンラインの手順に従います。

コンピュータがソースディスクを読み取り、ハードディスクドライブの一時フォルダにそのデータをコピーします。

c プロンプトが表示されたら、ドライブに未使用のディスクを挿入して、**OK** をクリックします。コンピュータが、一時フォルダのデータを未使用のディスクにコピーします。

デュアルディスクドライブの場合は、次の手順を実行します。

a ソースディスクのドライブを選択します（その後、ディスクを挿入します）。

b 2 つ目のディスクドライブに未使用のディスクを挿入して、ディスクをコピーする手順に従います。

コンピュータが、ソースディスクのデータを未使用のディスクにコピーします。ソースディスクのコピーが完了したら、自動的にイジェクトされます。

ヒント：お使いの CD/DVD 作成ソフトウェアを起動して、<create CD/DVD>（CD/DVD の作成）プロジェクトを開き、Microsoft® Windows® エクスプローラを使用してファイルをディスクへドラッグ＆ドロップします。

- 記録の練習には、未使用のディスクを使用してください。
- お使いの CD/DVD ソフトウェアではオーディオ DVD を作成できない場合があります。お使いのコンピュータにインストールされているメディアソフトウェアについては、製造元の手順をウェブサイトで参照してください。
- Roxio ソフトウェアをインストールしている場合は、www.sonicjapan.co.jp の Roxio ウェブサイトを参照してください。また、その他の情報については、blu-raydisc.com の Blu-ray Disc™ Association ウェブサイトを参照してください。

5.1 オーディオ

メモ：5.1 オーディオは、一部のコンピュータではサポートされていません。

5.1 は、多くのサラウンドサウンド構成におけるオーディオチャネルの数を表しています。**5** は、5 つの主要オーディオチャネル、すなわちレフトフロント、センターフロント、ライトフロント、レフトサラウンド、およびライトサラウンドを表し、**1** はローフリケンシーエフェクト（LFE）チャネルを表しています。

5.1 信号は、光学メディアまたは衛星テレビチャネルで使用されます。

5.1 オーディオ接続のセットアップ

5.1 オーディオ接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

Start（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Additional Options**（その他のオプション）の順にクリックします。**IDT Audio Control Panel**（IDT オーディオコントロールパネル）を実行します。**Jacks**（ジャック）タブには、3 つのコネクタアイコンがあります。指示に従って、セットアップを完了させてください。

1 マイクロフォンアイコンをクリックして、**Device: Rear Speakers**（デバイス：背面スピーカ）を選択し、背面スピーカケーブルをオーディオ入力 / マイクロフォンコネクタに差し込みます。

2 中央のヘッドフォンアイコンをクリックして、**Device: Center/LFE Speaker**（デバイス：センター /LFE スピーカ）を選択し、センター / ウーハースピーカケーブルを中央のオーディオ出力 / ヘッドフォンコネクタに差し込みます。

3 右側のヘッドフォンアイコンをクリックして、**Device: Front Speaker**（デバイス：フロントスピーカ）を選択し、フロントスピーカケーブルを右側のオーディオ出力 / ヘッドフォンコネクタに差し込みます。

ポータブルメディアデバイス（MP3 プレーヤー）

詳細情報： お使いのコンピュータへのポータブルメディアデバイスの接続、およびポータブルメディアデバイス（MP3 プレーヤー）の再生の詳細に関しては、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。また、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Using Windows Media Player（Windows Media Player の使い方）」を参照してください。

コンピュータへのポータブルメディアデバイス（MP3 プレーヤー）の接続

メディアデバイスをコンピュータに接続するには、メディアデバイスに付属の手順に従ってください。

お使いのポータブルメディアデバイスとメディアプレイヤーの互換性を確認するには、お使いのメディアデバイスに付属の手順を参照してください。また、windowsmedia.com ウェブサイトも参照してください。

ポータブルメディアデバイスと Windows Media Player の同期化セットアップ

Windows Media Player を使用して、お使いのメディアライブラリからポータブルメディアデバイスへデジタルメディアファイルを同期させます。

ポータブルメディアデバイスにコピーするファイルを保持するための十分な空き容量がある場合は、メディアプレイヤーは 自動的に お使いのメディアライブラリと同期します。その後は、ポータブルメディアデバイスをお使いのコンピュータに接続すると、メディアプレイヤーによってデバイスがアップデートされます。

ポータブルメディアデバイスの記憶容量がコピーするファイルを保持するのに十分なサイズではない場合、メディアプレイヤーは手動同期にデフォルト設定されます。この時点で、ファイルをデバイスから手動で削除し、選択したコピーするファイルを変更する必要があります。

メディアプレイヤーでは、同期操作を自動と手動に切り替えることができます。

ポータブルメディアデバイスの初めてのセットアップ

メディアデバイスを初めて接続する際は、メディアデバイスの記憶容量によって、メディアプレイヤーでデバイスが最適に動作する同期機能を選択します。

1 ポータブルメディアデバイスを起動してから、デバイスをコンピュータに接続します。プロンプトが表示されたら、Windows Media Player を使用して、デバイスを同期するオプションを選択します。

2 次のうちのいずれか 1 つを実行します。

- メディアプレイヤーが自動的にデバイスを同期するよう選択した場合は、**Finish**（完了）をクリックします。**Finish**（完了）をクリックすると、メディアプレイヤーはライブラリ全体とポータブルメディアデバイスを同期化します。その後は、ポータブルメディアデバイスをコンピュータに接続するたびに、自動的に同期します。
- メディアプレイヤーが自動的にデバイスを同期するよう選択した場合は、**Finish**（完了）をクリックします。次に、**Sync**（同期）タブでファイルを選択し、同期をとるリストを再生します。

オーディオおよびビデオファイルのポータブルメディアデバイスへのコピー

Copy to CD or Device（CD またはデバイスにコピー）機能を使用して、オーディオおよびビデオファイルを **Media Library**（メディアライブラリ）からポータブルメディアデバイス、またはストレージカードにコピーします。

また、インターネットからダウンロードした、または CD からポータブルメディアデバイスにコピーしたライセンス付きファイルをコピーすることも可能です。ライセンス付きファイルをコピーするには、ポータブルメディアデバイスで、ハードウェアのシリアルナンバーが必要となる場合があります。コンテンツプロバイダではファイルの所有権と再生権を定めており、ファイルによってはポータブルデバイスにコピーした後で再生できない場合があります。

ファイルをポータブルメディアデバイスにコピーすると、**Items to Copy**（コピーするアイテム）ウィンドウの **Status**（ステータス）列に、**Inspecting**（検査中）、**Converting/Converted**（変換中 / 変換終了）、**Copying**（コピー中）、**Complete**（完了）などのステータス情報が表示されます。

Dell Travel Remote を使用したメディアの再生

Dell Travel Remote は、Windows Vista Media Center の制御を目的としており、特定のコンピュータでのみ利用できます。

1 コイン型電池をリモートコントロールに取り付けます。
2 Windows Vista Media Center を起動します。
3 リモートコントロールボタンを使用して、メディアを再生します。

詳細情報：Dell Travel Remote の詳細に関しては、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** を参照してください。また、Dell Travel Remote に付属の手順を参照してください。

コンピュータの音量の調整

1 タスクバーの **Volume**（音量）アイコンを右クリックします。
2 **Open Volume Mixer**（ボリュームミキサーを開く）をクリックします。
3 スライドバーをクリックして上下にドラッグし、音量を上げたり、下げたりします。

メディアソフトウェアからの S/PDIF デジタルオーディオの有効化

コンピュータに DVD ドライブが搭載されており、デジタルオーディオ（S/PDIF）を利用できる場合は、DVD 再生用のデジタルオーディオを有効にできます。

1 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）をクリックして、DVD プレーヤーのリンクをクリックします。
2 DVD ドライブに DVD を挿入します。

   DVD の再生が始まった場合は、停止ボタンを押します。

3 **Settings**（設定）→ **DVD** → **DVD Audio Setting**（DVD オーディオ設定）とクリックします。
4 **Speaker Configuration**（スピーカ設定）設定の横にある矢印をクリックしてオプションをスクロールし、**SPDIF** オプションを選択します。
5 **Back**（戻る）ボタンを一度クリックし、もう一度 **Back**（戻る）ボタンをクリックしてメインメニュー画面に戻ります。

Windows オーディオドライバでの S/PDIF デジタルオーディオの有効化

1. タスクバーの **Volume**（音量）アイコンを右クリックします。
2. **Volume Control**（ボリュームコントロール）ウィンドウで、**Options**（オプション）→ **Advanced Controls**（トーン調整）→ **Advanced**（詳細設定）とクリックします。
3. チェックボックスをクリックして **S/PDIF Interface**（S/PDIF インタフェース）を有効にします。
4. **Close**（閉じる）→ **OK** をクリックします。

Cyberlink（CL）ヘッドフォンのセットアップ

メモ：CL ヘッドフォン機能は、お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合にのみ有効です。

お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合、DVD 再生用ヘッドフォンでデジタルオーディオを有効にできます。

1. **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）をクリックして、お使いのコンピュータの DVD プレーヤーのオプションをクリックします。
2. DVD ドライブに DVD を挿入します。

   DVD の再生が始まった場合は、停止ボタンを押します。
3. **Settings**（設定）→ **DVD** → **DVD Audio Setting**（DVD オーディオ設定）とクリックします。
4. **Speaker Configuration**（スピーカ設定）設定の横にある矢印をクリックしてオプションをスクロールし、**Headphones**（ヘッドフォン）を選択します。
5. **Audio listening mode**（サラウンド）設定の横にある矢印をクリックしてオプションをスクロールし、**CL Headphone**（CL ヘッドフォン）をクリックします。
6. **Dynamic range compression**（ダイナミックレンジ圧縮）オプションの横にある矢印をクリックし、最適なオプションを選択します。
7. **Back**（戻る）ボタンを一度クリックし、もう一度 **Back**（戻る）ボタンをクリックしてメインメニュー画面に戻ります。

コンピュータでのデジタルカメラの使い方

デジタルカメラをコンピュータで使用する場合には、次の中から 1 つまたは複数のタスクを実行できます。

- カメラのピクチャの表示およびダウンロード
- ピクチャの修正および特殊効果の追加
- ピクチャの印刷
- ピクチャの整理
- スライドショーの作成

詳細情報：お使いのコンピュータでデジタルカメラを使用する方法の詳細に関しては、カメラに付属のマニュアルを参照してください。また、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、デジタルカメラのトピックを検索してください。

Windows Media Player の使い方

Windows Media Player は、マルチメディアファイルの再生、記録、管理を行う Microsoft 社製のソフトウェアです。Windows Media Player は、以下の操作を含むさまざまなアクティビティに使用できます。

- オーディオファイルおよびビデオファイルを含むデジタルメディアファイル、CD、DVD、その他のメディアファイルおよび形式の再生
- CD から音楽をコピーするのと同様に、独自の CD および DVD を焼く（作成）
- ラジオの視聴
- デジタルメディアファイルの検索および管理
- ポータブルデバイスへのファイルのコピーと同期化
- デジタルメディアオンラインのショッピング

詳細情報：Windows Media Player の使い方の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

16

コンピュータのテレビへの接続と表示設定の調整

TV チューナーカードを使用した、コンピュータからテレビへのアクセス

TV チューナーカード（専用のビデオアダプタ）を使用して、お使いのコンピュータでテレビを表示および録画することができます。TV チューナーカードは、お使いのビデオカードの代わりに使用するか、ビデオカードと一緒に使用します。

お使いのコンピュータでのテレビの視聴と録画の詳細については、TV チューナーカードに付属のマニュアルを参照してください。

テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続

コンピュータをテレビに接続するにはさまざまな方法があります。以下の方法で接続できます。

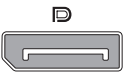
- VGA
- 同軸ケーブル
- S ビデオ、S ビデオ / コンポジット、S ビデオ / コンポーネント
- DisplayPort™
- デジタルビデオインタフェース（DVI）またはハイデフィニションマルチメディアインタフェース（HDMI）

さらに、ビデオ接続を可能にするオーディオ接続方法は、標準のアナログ RCA ジャックと光ケーブルを使用した S/PDIF デジタルオーディオやマルチチャネルデジタルオーディオでは異なります。

これらビデオおよびオーディオの接続オプションはコンピュータとテレビによって異なります。お使いのコンピュータとテレビの背面と側面をそれぞれ確認し、利用できるオプションタイプを決定します。

これらビデオやオーディオの接続で使用できる選択肢を理解するには、非常に多くの情報を検索する必要がある場合があります。

お使いのコンピュータやテレビに付属のマニュアルを参照してください。インターネットで参照できるチュートリアルを利用することも可能です。

既に所有しているものと必要なものの確認

お使いのコンピュータをテレビやスピーカに接続する前に、以下を確認する必要があります。

- コンピュータやテレビで利用できるコネクタのタイプ
- 専用アダプタの有無（コンポジット、コンポーネント）
- 接続に必要なケーブルのタイプ
- 実行する作業の内容

この情報を用意しておくことにより、正しいコネクタやアダプタ、およびケーブルを使用して、正確に接続することができます。

コンピュータのコネクタの識別

お使いのコンピュータには、さまざまなビデオ出力コネクタや TV 出力コネクタが装備されている場合があります。

コネクタ	説明 / 機能
	S ビデオコネクタでは、テレビ / デジタルオーディオアダプタケーブルを使用して、デジタル / オーディオ対応デバイスを接続できます。
	DVI コネクタでは、フラットパネルモニタやテレビなど、外付けの DVI 互換モニタを接続できます。DVI コネクタは、DVI-D（デジタル専用）、DVI-A（高解像度アナログ）、DVI-I（デジタルとアナログ）に利用できます。 **メモ :** DVI-A、DVI-D、および DVI-I コネクタは、互換性がありません。ケーブルはそれぞれ専用のものを使用します。お使いのコンピュータでサポートされている形式を確認してください。
	DisplayPort を使用して、コンピュータとホームシアターシステムを接続することができます。詳細に関しては、53 ページの「DisplayPort™ - 機能および利点」および 314 ページの「DisplayPort™」を参照してください。

コネクタ	説明 / 機能
	HDMI コネクタでは、外付けの HDMI 互換モニタやテレビを接続できます。HDMI は、1 本のケーブルで非圧縮のビデオとマルチチャネルオーディオを伝送します。 **メモ：**DVI と HDMI は互換性があり、コンバータケーブルを利用できます。お使いのコンピュータに HDMI コネクタが装備されておらず、テレビに DVI コネクタがない場合は、お使いのコンピュータの DVI コネクタに DVI/HDMI コンバータケーブルを使用して、テレビの HDMI ポートのコネクタに接続します。 DVI コネクタはオーディオ信号を伝送しないため、オーディオ用のケーブルを別に接続する必要があります。
	VGA コネクタでは、外付けの VGA 互換モニタを接続できます。
	オーディオコネクタは、標準オーディオや S/PDIF デジタルオーディオ、またはマルチチャネルアナログオーディオへ接続できます。
	ヘッドフォン / ライン入力コネクタでは、ヘッドフォンをお使いのコンピュータへ接続できます。また、このコネクタで標準オーディオをスピーカに接続することも可能です。

ヒント：オーディオを確認してください。お使いのコンピュータのスピーカ以外で音を出す場合は、オーディオケーブルを接続します。

S ビデオケーブルは、通常映像のみを伝送します。ただし、S ビデオ TV 出力コネクタで接続する特定のコンポーネントアダプタにスピーカ接続用のオーディオポートが含まれている場合があります。

テレビのコネクタの識別

テレビには、S ビデオコネクタ、DVI コネクタ、HDMI コネクタ、または VGA コネクタなど各種の入力接続が装備されているものがあります。さらに、これらの各接続タイプに対し、複数のアクセスポートを持っているテレビもあります。

メモ：お使いのテレビで利用できる接続タイプを確認するには、テレビに付属のマニュアルを参照してください。

お使いのコンピュータをテレビに接続するには、選択したコンピュータのビデオ出力ポート（S ビデオ、VGA、DVI または HDMI）と対応するテレビのビデオ入力コネクタを接続する必要があります。

詳細に関しては、テレビに付属のマニュアルを参照してください。

ケーブルとアダプタの適切な組み合わせの確認

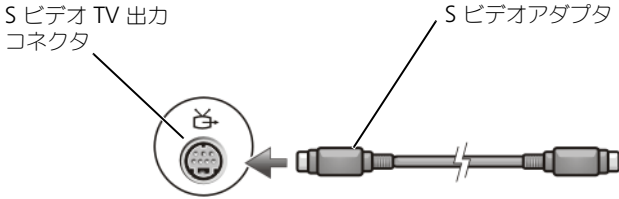
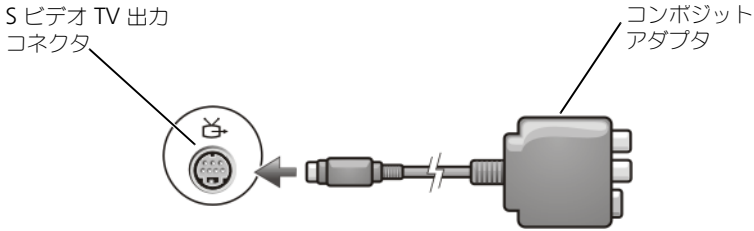
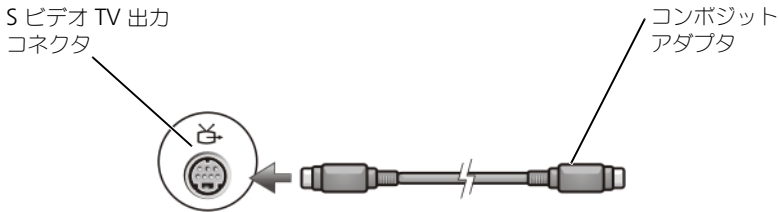
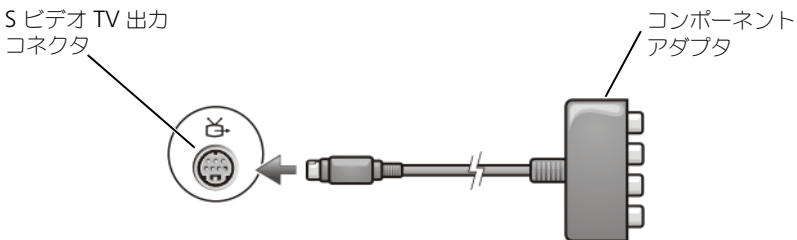
お使いのコンピュータとテレビで利用できるポートを確認したら、ケーブルとアダプタの適切な組み合わせを決定します。

- ビデオアダプタとケーブル
  - VGA コネクタと VGA ケーブル
  - 標準の S ビデオコネクタと S ビデオケーブル
  - コンポジットビデオケーブル付属のコンポジットアダプタ
  - コンポーネントビデオケーブル付属のコンポーネントアダプタ
  - DVI ケーブルまたは DVI/HDMI コンバータケーブル付属の DVI コネクタ
  - HDMI ケーブルまたは DVI/HDMI コンバータケーブル付属の HDMI コネクタ
  - DisplayPort ケーブルまたは DisplayPort/DVI コンバータケーブル付属の DisplayPort コネクタ
- オーディオアダプタとケーブル
  - 標準アナログオーディオ
  - S/PDIF デジタルオーディオ
  - マルチチャネルアナログオーディオ

お使いのコンピュータおよびテレビで利用できるコネクタによって、さまざまな構成でコンピュータをテレビに接続できます。

メモ：テレビまたはその他のオーディオデバイスとコンピュータを接続するビデオケーブルとオーディオケーブルは、お使いのコンピュータには付属していない場合があります。ケーブルおよびテレビ / デジタルオーディオアダプタは、デルから購入できます。

メモ：ビデオまたはオーディオアダプタやケーブルがお使いのコンピュータに同梱されていた場合は、それらを使用してください。アダプタやケーブルは他のコンピュータのものと入れ替えたりしないでください。

標準 S ビデオアダプタ

マルチポートコンポジットアダプタ

シングルポートコンポジットアダプタ

コンポーネントアダプタ

ケーブル

テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの物理的な接続

コンピュータをテレビやオーディオデバイスに接続する場合は、次のいずれかの組み合わせでビデオケーブルとオーディオケーブルをコンピュータに接続することをお勧めします。

<table>
<tr><th colspan="2">可能な構成に関するクイックリファレンス</th></tr>
<tr><td colspan="2">メモ : これら構成はお使いのコンピュータやテレビでサポートされているものとされていないものがあります。
メモ : お使いのコンピュータやテレビに付属のマニュアルを参照してください。</td></tr>
<tr><td>Configuration</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>S ビデオ
• 標準オーディオ搭載の S ビデオアダプタ
• S ビデオアダプタおよびマルチチャネルアナログオーディオアダプタ</td><td>標準
一般に利用が可能で、接続が容易</td></tr>
<tr><td>コンポジットビデオ
• 標準オーディオ搭載のコンポジットアダプタ
• S/PDIF デジタルオーディオ搭載のコンポジットアダプタ
• マルチチャネルアナログオーディオアダプタ付属のコンポジットアダプタ</td><td>可能
コンポーネントビデオや S ビデオより画質が悪い可能性がある</td></tr>
<tr><td>コンポーネントビデオ
• 標準オーディオ搭載のコンポーネントアダプタ
• S/PDIF デジタルオーディオ搭載のコンポーネントアダプタ
• マルチチャネルアナログオーディオアダプタ付属のコンポーネントアダプタ</td><td>推奨</td></tr>
<tr><td>DVI ビデオ(デジタルビデオインタフェース)
• 標準オーディオ搭載の DVI アダプタ</td><td>可能
コンポーネントビデオより画質が悪い可能性がある</td></tr>
<tr><td>DisplayPort
• 標準オーディオ搭載の DisplayPort/DVI コンバータ</td><td>推奨</td></tr>
<tr><td>HDMI ビデオ
• 標準オーディオ搭載の HDMI/DVI コンバータ</td><td>最適
利用できない場合がある</td></tr>
</table>

基本の接続手順の実行

1 使用する接続タイプを決定します。
2 ビデオとオーディオの正しいアダプタとケーブルを持っているか確認します。
3 テレビ、オーディオデバイス、コンピュータの電源を切ります。
4 選択した接続タイプに基づいて、ビデオのアダプタとケーブルを接続します。
5 選択したビデオ接続に適切なオーディオケーブルを接続します。
6 テレビと接続したいずれのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れます。
7 コンポーネントドングルの AV 5 や AV 6 などテレビの入力ビデオ信号モードを適切に選択します。入力ビデオモードは接続タイプと適合させます。219 ページの「テレビメニューから正しい入力信号の選択」を参照してください。また、テレビに付属のマニュアルも参照してください。
8 コンピュータの電源を入れます。
9 コンピュータとテレビをビデオケーブルとオーディオケーブルで接続すると、コンピュータでテレビを操作することが可能になります。

   表示の設定には以下のようにさまざまな方法を利用できます。

   • **ベンダーのビデオカードコントロールパネル — 推奨**

     オペレーティングシステムのコントロールパネルから、**Display**（画面）→ **Settings**（設定）→ **Advanced**（詳細設定）とクリックします。

     次に、ビデオカードベンダーのタブを選択します。表示されるビデオカードのコントロールパネルを使用して、表示設定を選択します。

   • **ファンクションキーの組み合わせ —** 表示設定の選択に使用できますが、表示設定を行った後で表示を切り替えるのに最適です。

     目的の表示設定を選択するには、<Fn> と <F8> を押します。

   • **オペレーティングシステムの画面のプロパティメニュー —** 表示設定の選択に使用できますが、ビデオカードのベンダー設定とコンフリクトを起こす場合があります。

     Control Panel（コントロールパネル）から、**Display Properties**（画面のプロパティ）→ **Settings** （設定）とクリックします。

ベンダービデオカードのコントロールパネルによっては、テレビの表示設定を調整できる TV セットアップウィザード が提供されているものがあります。

コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認するには、以下の項目を参照してください。

- 219 ページの「テレビメニューから正しい入力信号の選択」
- 229 ページの「コンピュータとテレビの画面表示の有効化」

10 テレビ（**画面のプロパティ** メニューでは 2 番目のモニタとして表示）を以下のように機能するようにセットアップします。

- クローン（コンピュータモニタと同じディスプレイとして表示）
- 拡張画面（コンピュータモニタの表示領域を拡大）
- プライマリモニタ（場合によってこのオプションの選択は不可）

11 テレビメニューにアクセスして、セットアップした物理的な接続に対応する入力信号を選択します。219 ページの「テレビメニューから正しい入力信号の選択」を参照してください。

12 S/PDIF デジタルオーディオを使用している場合は、コンピュータで S/PDIF デジタルオーディオを操作できるようにします（204 ページの「メディアソフトウェアからの S/PDIF デジタルオーディオの有効化」と 205 ページの「Windows オーディオドライバでの S/PDIF デジタルオーディオの有効化」を参照）。

ヒント

処置	注意
表示設定の調整	ビデオカードベンダーのコントロールパネルを使用して、表示設定を行います。これは、ビデオカードやテレビの画面解像度の調整に最も良い方法です。
テレビとコンピュータの電源が切れている間の接続	1 コンピュータおよびテレビの電源を切ります。 2 コンピュータとテレビを接続します。 3 テレビの電源を入れます。 4 次に、テレビとの接続を検出できるように、コンピュータの電源を入れます。コンピュータはテレビを利用可能な外付けのディスプレイとして認識します。
S/PDIF — お使いのコンピュータがサポートしているかを確認	S/PDIF デジタルオーディオを選択する前に、お使いのコンピュータで S/PDIF を使用できるかを確認します。

複数のコネクタ — オーディオとビデオをまとめる	複数のビデオコネクタとオーディオコネクタを利用できるテレビに接続する場合、オーディオケーブルをビデオケーブルと同じコネクタの列に接続します。 たとえば、テレビの AV5 にビデオコネクタとオーディオコネクタの列があり、AV6 にも同じ列がある場合、ビデオとオーディオの両方が AV5 または AV6 のどちらかに（AV5 と AV6 の両方ではなく）接続されていることを確認します。

テレビメニューから正しい入力信号の選択

テレビに複数の入力コネクタがある場合は、通常テレビメニューでは、以下の操作が可能です。

- 物理的な接続タイプに対応する入力ソースの選択
- イメージおよびオーディオ設定の調整
- その他のオプションの選択

 詳細情報：入力設定の詳細に関しては、利用できる設定について、テレビに付属のマニュアルを参照してください。

テレビのメニューにアクセスし、テレビとコンピュータの接続方法によって、入力信号に対応するソースを選べるオプションを選択します。

 メモ：テレビのリモートコントロールからテレビメニューにアクセスできる場合もあります。「メニュー」とラベルされたボタンでリモートコントロールが使えるか確認します。**メニュー** ボタンを押し、テレビの入力信号を指定できる機能を選択します。

コンピュータからテレビに接続した入力方式に対応する入力信号のソースを選択します。たとえば、テレビメニューでは画面に次のように表示されます。

テレビメニューの例

入力選択
背面 1. VGA 2. HDMI 1 3. HDMI 2 4. テレビ 5. デジタルテレビ 6. AVI（コンポジット 1） 7. AV2（コンポジット 2） 8. AV3（S ビデオ 1） 9. AV4（S ビデオ 2） 10. AV5（コンポーネント 1） 11. AV6（コンポーネント 2） 12. AV7（コンポーネント 3） 13. AV8（S ビデオ 3） 入力表示 <-- すべて利用可能 -->

例：S ビデオケーブルをコンピュータからテレビに接続している場合、S ビデオケーブルをテレビの背面にある **S ビデオ 1** とラベルされた S ビデオ接続に挿入してから、8 番の AV3 オプション（S ビデオ 1）を選択します。

テレビが信号を認識しない場合の処置

1. テレビの電源を切ります。
2. S ビデオケーブルをテレビから外します。
3. テレビの背面にある **S ビデオ 1** の接続を確認します。
4. S ビデオケーブルを **S ビデオ 1** の正しい場所へ再度接続します。
5. テレビの電源を入れます。
6. テレビメニューにアクセスし、8 番の AV3 オプション （**S ビデオ 1**）を選択します。

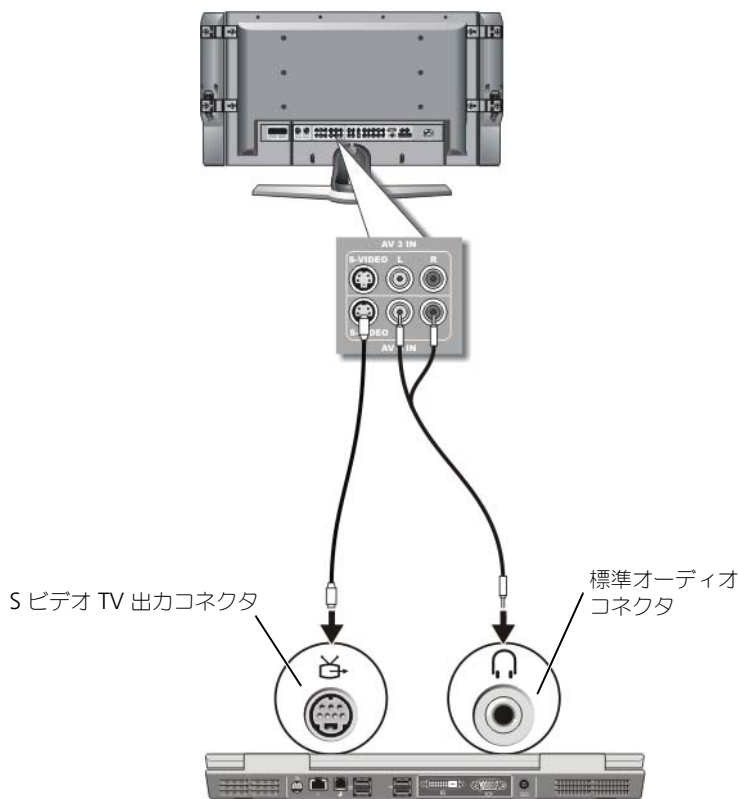
7 コンピュータの **Display Properties Menu**（画面のプロパティ）メニューにアクセスします。
8 ベンダーのビデオカードのタブを選択します。
9 ベンダーのビデオカードのコントロールパネルを使用して、対応する表示設定を選択します。

詳細情報：ビデオカードのコントロールパネルの使い方の詳細に関しては、237 ページの「ビデオカードウィザードを使用した表示設定」を参照してください。

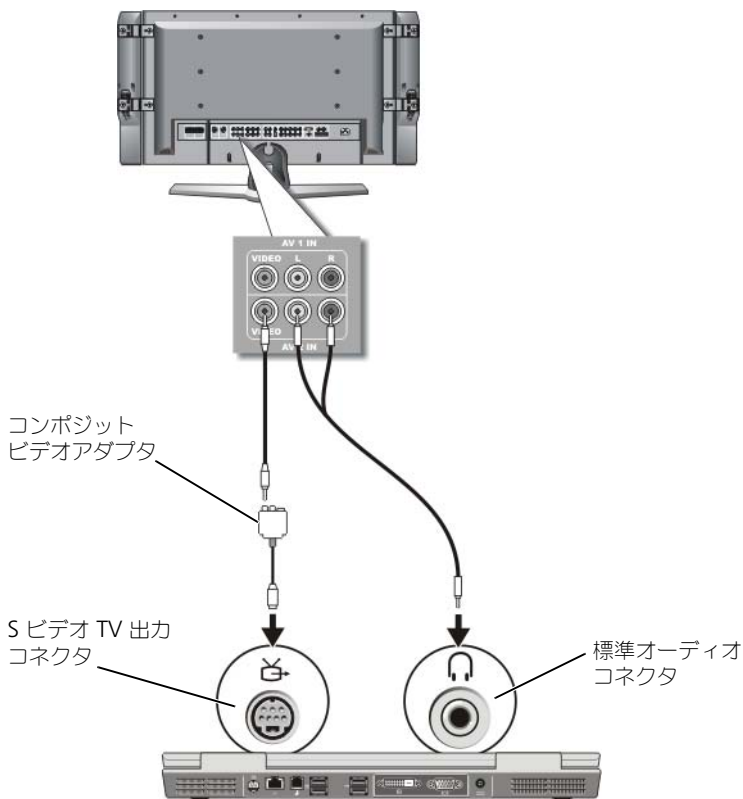
推奨される接続設定の評価

S ビデオと標準オーディオ

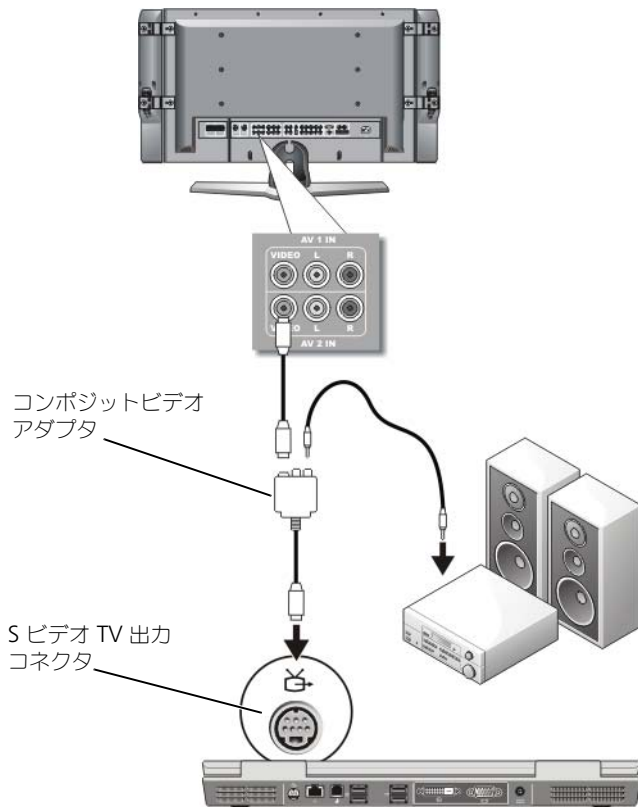
S ビデオ TV 出力コネクタ

標準オーディオ
コネクタ

メモ：お使いのテレビまたはオーディオデバイスが S ビデオ対応で、S/PDIF デジタルオーディオ対応ではない場合、S ビデオケーブルを直接、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに（テレビ / デジタルオーディオアダプタケーブルを使用しないで）接続できます。

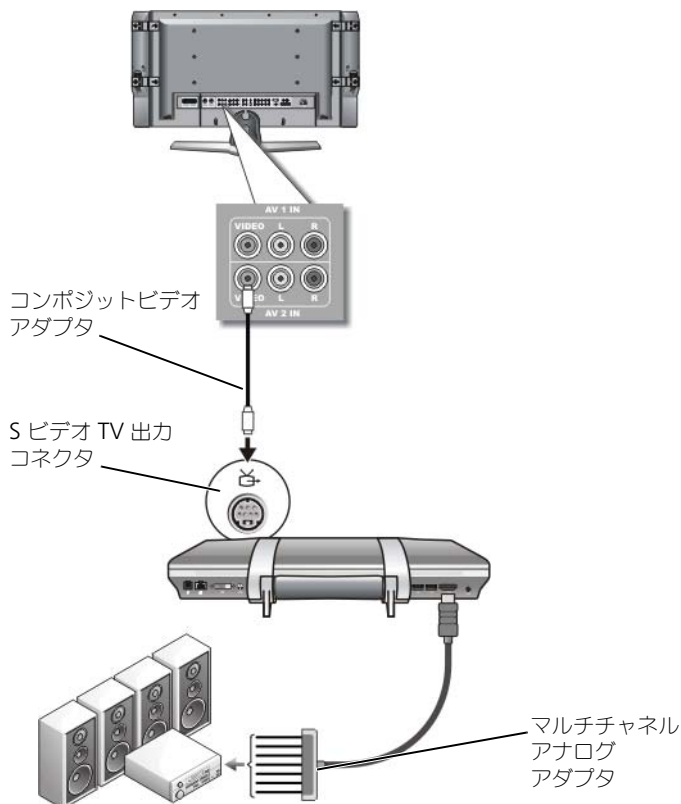
1 S ビデオケーブルの一端をコンピュータの S ビデオ出力コネクタに差し込みます。
2 S ビデオケーブルのもう一方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。
3 コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。
4 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

コンポジットビデオと標準オーディオ

メモ：コンポジットビデオアダプタは、コンピュータによってシングルポート、またはマルチポートドングルのどちらかになります。コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

1. コンポジットビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
2. コンポジットビデオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタのコンポジットビデオ出力コネクタに差し込みます。
3. コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
4. コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。
5. もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

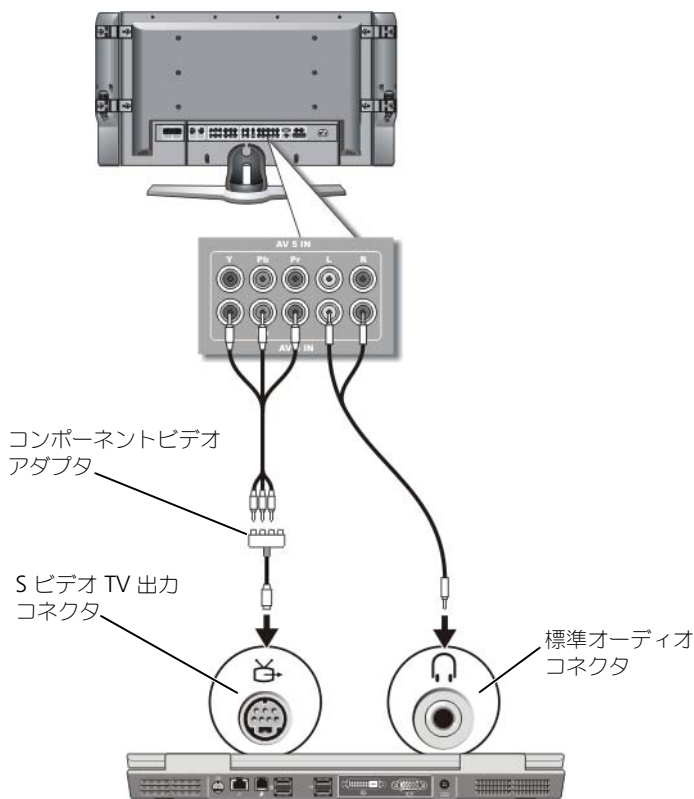
コンポジットビデオと S/PDIF デジタルオーディオ

メモ：コンポジット S ビデオアダプタは、コンピュータによってシングルポート、またはマルチポートドングルのどちらかになります。詳細に関しては、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

1 コンポジット S ビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
2 コンポジットビデオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
3 コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
4 S/PDIF デジタルオーディオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタの S/PDIF オーディオコネクタに差し込みます。
5 デジタルオーディオケーブルのもう一方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスの S/PDIF 入力コネクタに差し込みます。

コンポジットビデオおよびマルチチャネルアナログオーディオ

メモ：以下のように、特定のコンピュータのみに、マルチチャネルアナログオーディオアダプタドングルが装備されています。お使いのコンピュータで利用できるコネクタのタイプに関しては、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

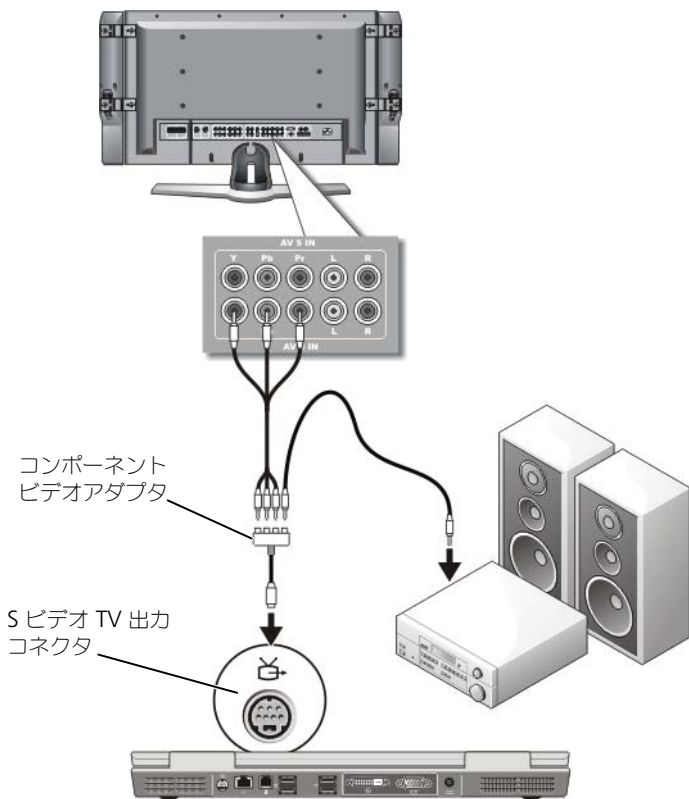
メモ：コンポジット S ビデオアダプタは、コンピュータによってシングルポート、またはマルチポートドングルのどちらかになります。詳細に関しては、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

1 コンポジットビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
2 コンポジットビデオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
3 コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
4 マルチチャネルアナログオーディオアダプタの一方の端を、コンピュータのオーディオコネクタに差し込みます。
5 マルチチャネルアナログオーディオアダプタケーブルのもう一方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

コンポーネント S ビデオおよび標準オーディオ

1 コンポーネント S ビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
2 コンポーネントビデオケーブルの 3 つの端すべてを、コンポーネントビデオアダプタのコンポーネントビデオ出力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤、緑、青）が対応するアダプタポートと一致していることを確認してください。
3 コンポーネントビデオケーブルのもう一方の端にある 3 つのコネクタすべてを、テレビのコンポーネントビデオ入力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤、緑、青）が、テレビの入力コネクタの色と一致していることを確認してください。

4 コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

5 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたはオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

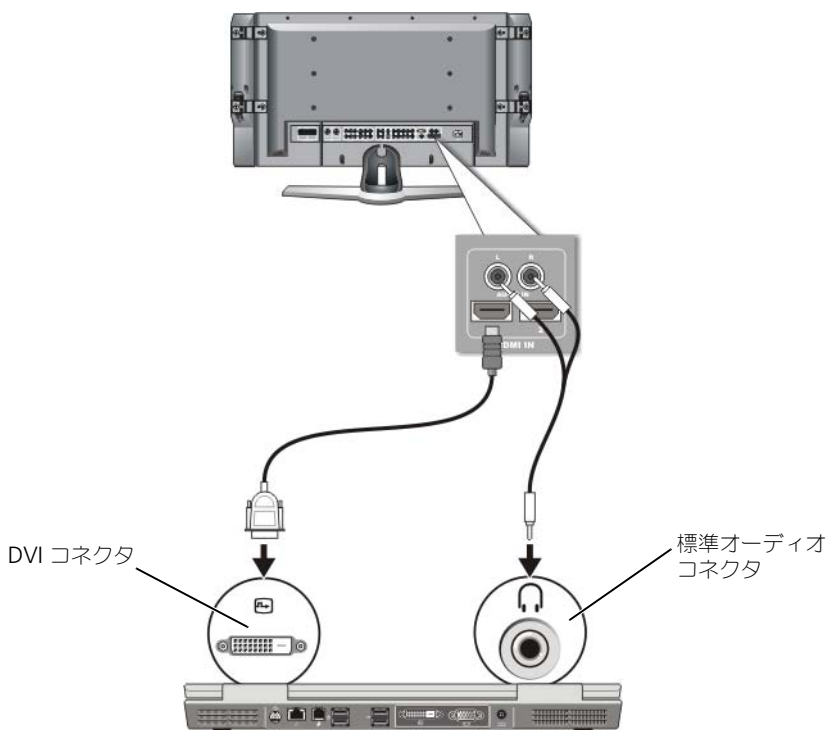
コンポーネントビデオと S/PDIF デジタルオーディオ

1 コンポーネントビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

2 コンポーネントビデオケーブルの 3 つの端すべてを、コンポーネントビデオアダプタのコンポーネントビデオ出力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤、緑、青）が対応するアダプタポートと一致していることを確認してください。

3 コンポーネントビデオケーブルのもう一方の端にある 3 つのコネクタすべてを、テレビのコンポーネントビデオ入力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤、緑、青）が、テレビの入力コネクタの色と一致していることを確認してください。

4 S/PDIF デジタルオーディオケーブルの一方の端を、コンポーネントビデオアダプタの S/PDIF オーディオコネクタに差し込みます。

5 デジタルオーディオケーブルのもう一方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスの S/PDIF 入力コネクタに差し込みます。

DVI コネクタ

1 DVI ビデオアダプタをコンピュータの DVI コネクタに接続します。

2 DVI ビデオケーブルのもう一方の端を、テレビの DVI ビデオ入力コネクタに差し込みます。

3 コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

4 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたはオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

コンピュータとテレビの画面表示の有効化

テレビへの接続の確認

画面オプションが適切に表示されていることを確認するには、TV をコンピュータに接続してから画面設定を有効にします。

物理的な接続の詳細については、215 ページの「テレビまたはオーディオデバイスへの コンピュータの物理的な接続」を参照してください。

テレビの入力信号の確認

テレビがコンピュータからの入力信号を認識しない場合、テレビメニューにアクセスして、正しい入力信号の設定を選択します。219 ページの「テレビメニューから正しい入力信号の選択」を参照してください。

ディスプレイデバイスとしてのテレビのセットアップ

テレビを次のように機能するモニタとして使用できます。

- 拡張デスクトップ
- デスクトップのクローン（プライマリディスプレイの完全コピー）
- プライマリディスプレイ

ディスプレイ表示の設定

お使いのコンピュータをテレビやプロジェクタに正確に接続したら、以下を使用してコンピュータやテレビまたはプロジェクタの表示を設定できます。

- Windows の **画面のプロパティの設定**
- ビデオカードの表示コントロールメニュー
- テレビやプロジェクタの表示コントロールウィザード

画面のプロパティメニューを使用して、テレビモニタをお使いのコンピュータのディスプレイデバイスとして有効にします。

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）をクリックします。
2 デザインとテーマのカテゴリをクリックします （このオプションの名前は、オペレーティングシステムのバージョンによって変化する場合があります）。
3 **Display**（画面）をダブルクリックします。**Display Properties**（画面のプロパティ）メニューが表示されます。

   このメニューに以下のタブが含まれていることを確認します。

   - Themes（テーマ）
   - Screen Saver（スクリーンセーバー）
   - Settings（設定）
   - Desktop（デスクトップ）
   - Design（デザイン）

4 **Settings**（設定）をクリックします。

Settings（設定）画面には、1 と 2 とラベルされた 2 つのディスプレイモニタが表示されます。テレビとコンピュータが正常に接続されていない場合は、一方のモニタはグレー表示され、選択することはできません。コンピュータとテレビの接続を再確認します。

5 **Display**（画面）**：**の項で、シングルディスプレイまたはマルチディスプレイのいずれを使用するか、該当するオプションを選択し、表示設定が選択内容に対して正しいことを確認します。

デュアルディスプレイモード

外付けモニタやプロジェクタは、コンピュータに取り付けたり、お使いのディスプレイの拡張として使用できます（「デュアディスプレイ」または「拡張デスクトップ」モードとも呼ばれます）。

このモードでは、両方の画面を独立して使用することができ、1 つの画面からもう一方の画面へオブジェクトをドラッグできます。視覚作業スペースが事実上二倍になります。

1 外付けモニター、TV、またはプロジェクタをコンピュータに接続します。

2 **Control Panel**（コントロールパネル）から **Display Properties**（画面のプロパティ）ウィンドウにアクセスします。

3 **Display Properties**（画面のプロパティ）ウィンドウで **Settings**（設定）タブをクリックします。

メモ：ディスプレイでサポートされる範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされている値の中で最も近いものに自動的に調整されます。詳細については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

4 モニタ 2 のアイコンをクリックし、**Extend my Windows desktop onto this monitor**（Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする）チェックボックスを選択し、**Apply**（適用）をクリックします。

5 両方の画面を適切なサイズにするために、**Screen Area**（画像の領域）を変更して、**Apply**（適用）をクリックします。

6 コンピュータを再起動するよう指示された場合、**Apply the new color setting without restarting**（再起動せずに新しい表示設定を適用する）をクリックし、**OK** をクリックします。

7 必要に応じて、**OK** をクリックし、デスクトップのサイズを変更します。

8 必要に応じて、**Yes**（はい）をクリックし、設定を保存します。

9 **OK** をクリックして、**Display Properties**（画面のプロパティ）ウィンドウを閉じます。

デュアルディスプレイモードを無効にする方法

1 **Display Properties**（画面のプロパティ）ウィンドウの **Settings**（設定）タブをクリックします。

2 モニタ 2 のアイコンをクリックし、**Extend my Windows desktop onto this monitor**（Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする）チェックボックスを選択し、**Apply**（適用）をクリックします。

必要に応じて <Fn><F8> を押し、コンピュータの元の画面に戻します。

プライマリディスプレイおよびセカンダリディスプレイの交換

プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの指定を入れ替えるには（たとえば、外付けモニタをドッキングした後にプライマリディスプレイとして使用する場合）、以下の手順を実行します。

1 **Display Properties**（画面のプロパティ）ウィンドウにアクセスし、**Settings**（設定）タブをクリックします。

2 **Advanced**（詳細設定）→ **Display**（モニタ）タブをクリックします。

詳細は、ビデオカードに付属のマニュアルか、235 ページの「ベンダーのビデオカードのコントロールパネルで表示設定を調整」を参照してください。

ディスプレイ画像の切り替え

外付けデバイス（外付けモニタまたはプロジェクタなど）でコンピュータを起動すると、設定に応じてコンピュータのディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

ディスプレイ画像の表示をディスプレイのみ、外付けデバイスのみ、またはディスプレイと外付けデバイスの同時表示に切り替えるには、<Fn> と <F8> を押します。

表示設定の変更

コンピュータをテレビに接続したら、Windows の **Display Properties**（画面のプロパティ）メニューを使用して、画面の設定をセットアップおよび表示設定を調整できます。

詳細情報：表示設定の詳細に関しては、233 ページの「Windows の画面のプロパティメニューを使用した画面解像度の設定」を参照してください。

ヒント：テレビを 2 台目のディスプレイデバイスとして使用する場合は、お使いのコンピュータに搭載されているビデオカードのコントロールパネルで画面解像度を設定する方法が最適です。

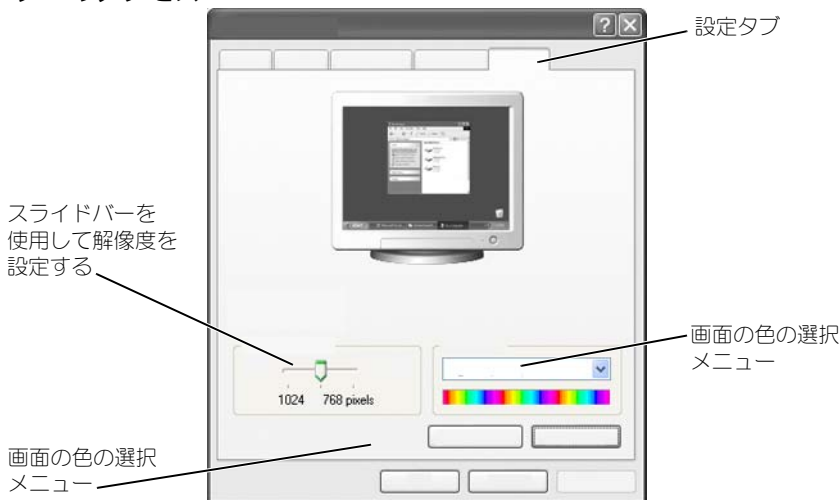
お使いのコンピュータには、搭載されているビデオカードによって、広範囲なヘルプ情報を備えた特殊なコントロールパネルを使用できる場合があります。また、ビデオカードのコントロールパネルによっては、テレビ表示オプションやカスタム表示設定を有効にする特殊なウィザードソフトウェアを利用できます。

Windows の画面のプロパティメニューを使用した画面解像度の設定

Windows の **Display Properties**（画面のプロパティ）メニューを使用して、コンピュータディスプレイの画面解像度を調整します。

メモ：また、Display Properties（**画面のプロパティ**）メニューで利用できるビデオカードのコントロールパネルを使用することもできます。**Display Properties**（画面のプロパティ）ウィンドウから、**Settings**（設定）→ **Advanced**（ 詳細設定 ）とクリックします。次に、ビデオカードベンダーのタブを選択します。詳細に関しては、235 ページの「ベンダーのビデオカードのコントロールパネルで表示設定を調整」を参照してください。

メモ：特定の解像度でプログラムを表示するには、ビデオカードとディスプレイデバイスの両方がプログラムをサポートしていて、必要なビデオドライバがインストールされている必要があります。

Display Properties（画面のプロパティ）メニューの Settings（設定）タブへのアクセス

Windows Vista

1 デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2 **Personalize**（カスタマイズ）をクリックします。**Personalize appearance and sounds**（デザインとサウンドのカスタマイズ）ウィンドウが表示されます。
3 **Display Settings**（表示設定）をクリックします。
4 **Display Settings**（表示設定）ウィンドウの **Resolution**（解像度）で、スライドバーを左右に移動して、画面の解像度を上げたり下げたりします。
5 **OK** をクリックします。

Windows XP

1 **コントロールパネル** から、**画面のプロパティ** メニューにアクセスします。
2 **画面のプロパティ** から、**設定** タブを選択します。**設定** タブでは、画面の解像度および画面の色を調整できます。また、**設定** タブでは、Windows ヘルプとサポートを起動する **トラブルシューティング** ボタンを利用できます。
3 **画面の色** および **画面の解像度** を別の設定にしてみます。

メモ：解像度を上げると、画面上でより小さくアイコンやテキストが表示されます。

ヒント：画面の解像度をどれだけ変更できるかは、お使いのディスプレイとビデオカードの処理能力によって決まります。特定のレベル以上は解像度を上げることはできない場合があります。推奨される画面の解像度のみが一覧で表示されます。

追加の設定については、**Settings**（設定）タブの **Advanced**（詳細設定）ボタンをクリックし、**Adapter**（アダプタ）タブをクリックしてから、**List of Modes**（モードの一覧）をクリックします。解像度、色のレベル、リフレッシュレートを選択します。

詳細設定ボタンを使用した追加機能へのアクセス

Display Properties（画面のプロパティ）ウィンドウの **Settings**（設定）タブにある **Advanced**（詳細設定）ボタンでは、コンピュータディスプレイを調整するさまざまな追加のコントロール機能にアクセスできます。また、**Troubleshoot**（トラブルシューティング）ボタンをクリックして、ディスプレイの特定の問題を解決することもできます。

ビデオカードのコントロール機能へのアクセス

その他の機能と設定については、**Advanced**（詳細設定）をクリックしてください。**Advanced**（詳細設定）タブから、お使いのコンピュータに搭載されているビデオカード固有のタブを選択します。

ビデオ解像度の設定が画面のサポートする範囲よりも高い場合、コンピュータはパンモードに入ります。パンモードでは、画面全体を一度に表示できません。たとえば、通常デスクトップの下に表示されているタスクバーが見えないことがあります。画面の見えない部分を表示するには、タッチパッドまたはトラックスティックを使用して、パンを上下左右に動かします。

 注意：外付けモニターでサポートされていないリフレッシュレートを使用すると、モニターに損傷を与える恐れがあります。外付けモニタのリフレッシュレートを調整する前に、モニタの『ユーザーズガイド』を参照してください。

ビデオの画面解像度の不具合に関するヘルプの表示

Windows の **Dispaly Properties**（画面のプロパティ）メニューの設定の詳細について は、Windows ヘルプとサポートを参照してください。

特定の不具合にヘルプを利用するには、**Settings**（設定）タブで **Troubleshoot**（トラブルシューティング ボタンをクリックします。これにより、Windows ヘルプとサポートのビデオディスプレイに関するトラブルシューティングにアクセスできます。

お使いのコンピュータには、搭載されているビデオカードによって、広範囲なヘルプ情報を備えた特殊なコントロールパネルを使用できる場合があります。また、ビデオカードのコントロールパネルによっては、テレビ表示オプションやカスタム表示設定を有効にする特殊なウィザードソフトウェアを利用できます。

ビデオカードベンダーによっては、以下の機能を利用できます。

- ビデオカードのコントロールパネル
- 詳細なヘルプガイド
- コンテキスト対応のヘルプ
- 表示設定のウィザード
- テレビ設定のウィザード

ベンダーのビデオカードのコントロールパネルで表示設定を調整

画面の解像度および色などのような表示設定を調整するには、ビデオカードのコントロールパネルで行うのが適切な方法です。コントロールパネルでは、ベンダーにより推奨されている設定を利用できます。

メモ：表示設定の調整に Windows の **Display Properties**（画面のプロパティ）メニューを使用すると、これら設定がベンダーのデフォルト設定とコンフリクトを起こし、予期しない結果を引き起こす可能性があります。

Windows Vista

1 デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2 **Personalize**（カスタマイズ）をクリックします。**Personalize appearance and sounds**（デザインとサウンドのカスタマイズ）ウィンドウが表示されます。
3 **Display Settings**（表示設定）→ **Advanced Settings**（詳細設定）の順にクリックします。
4 お使いのコンピュータに搭載されているビデオカードのタブをクリックします。このタブには、ビデオカードの製造元の名前が表示されます。

Windows XP

1 **コントロールパネル** から **画面のプロパティ** メニューにアクセスします。
2 **設定タブ** をクリックします。
3 **詳細** をクリックします。
4 お使いのコンピュータに搭載されているビデオカードのタブをクリックします。このタブには、ビデオカードの製造元の名前が表示されます。

詳細情報：お使いのコンピュータに搭載されているビデオカードの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）→ または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

特定のビデオカードのタブをクリックすると、該当のビデオカードのコントロールパネルが表示されます。たとえば、コンピュータに Nvidia ビデオカードが搭載されている場合は、Nvidia Control Panel（Nvidia コントロールパネル）が表示されます。

ビデオカードコントロールパネル 画面の左側には、コントロールパネルの機能の使い方に関する詳細なヘルプ情報が表示されます。

ウィザードの使い方

テレビまたはビデオカードのコントロールパネルでは、テレビをディスプレイデバイスとして有効にし、表示オプションを設定できる、次のような専用のウィザードを利用できます。

- テレビウィザード
- ビデオカードウィザード

ビデオカードウィザードを使用した表示設定

お使いのコンピュータに搭載されているビデオカードによっては、ビデオカードのコントロールパネルで、テレビ表示オプションやカスタム表示設定を有効にする専用のディスプレイウィザードを利用できます。たとえば、Nvidia の Multiple Displays Wizard（複数ディスプレイウィザード）にアクセスするには、次の手順を実行します。

Windows Vista

1. デスクトップの何もない領域で右クリックします。
2. **Personalize**（カスタマイズ）をクリックします。**Personalize appearance and sounds**（デザインとサウンドのカスタマイズ）ウィンドウが表示されます。
3. **Display Settings**（表示設定）→ **Advanced Settings**（詳細設定）の順にクリックします。
4. Navidia Video Card（Nvidia ビデオカード）のタブをクリックします。
5. Nvidia Control Panel（Nvidia コントロールパネル）が起動します。
6. **Select a Task**（タスクの選択）メニューから、**Display**（ディスプレイ）カテゴリを選択します。

Windows XP

1. **コントロールパネル**から画面の**ディスプレイプロパティ**メニューにアクセスします。
2. **設定** タブをクリックします。
3. **詳細設定** をクリックします。
4. Nvidia ビデオカードのタブをクリックします。
5. Nvidia コントロールパネルが起動します。
6. **タスクの選択** メニューから、**ディスプレイ** を選択します。

Nvidia コントロールパネル に **ディスプレイ** メニューが表示されます。テレビへ正常に接続している場合は、**複数ディスプレイ** のウィザードを利用できます。

複数ディスプレイ のウィザードを実行 オプションを選択し、希望するコンピュータとテレビの表示設定を行います。

ビデオカードのウィザードに関する詳細は、ビデオカードのコントロールパネルで利用できるヘルプ情報を参照してください。

例：Nvidia 複数ディスプレイセットアップウィザードでは、解像度とデスクトップのセットアップを選択できます。Nvidia コントロールパネルから利用できる詳細なヘルプ情報を参照してください。

テレビウィザードを使用した表示設定

ビデオカードのコントロールパネルでは、テレビを設定できるテレビウィザードを利用できる場合があります。

例：Nvidia コントロールパネルには、Television Setup Wizard（テレビセットアップウィザード）が提供されています。テレビセットアップウィザードの詳細については、コントロールパネルヘルプを参照してください。

多くのテレビでは、テレビが追加のディスプレイデバイスとして正しく検出されると自動的に実行するウィザードが提供されています。テレビウィザードの詳細については、テレビに付属のマニュアルを参照してください。

ビデオカードのコントロールパネルのヘルプを利用する

お使いのコンピュータには、搭載されているビデオカードによって、広範囲なヘルプ情報を備えた専用のコントロールパネルを使用できる場合があります。

例：Nvidia Control Panel（Nvidia コントロールパネル）では、利用できるヘルプの例が提供されています。表示されるトピックの詳細に関しては、画面の左に表示されている **Help Contents**（ヘルプ目次）をクリックします。また、カテゴリを選択して、そのカテゴリの **Help Contents**（ヘルプ目次）をクリックすることもできます。

詳細は、Windows ヘルプとサポートのセクションで、『ユーザーズガイド』および『デバイスガイド』を参照してください。

表示設定のトラブルシューティング

ヘルプの場所

コンピュータやテレビに何も表示されない、またはその他の表示の問題が発生した場合に、次のようなさまざまなソースからヘルプ情報を取得できます。

- テレビの『ユーザーズガイド』
- テレビメニューのヘルプ
- コンピュータに付属のマニュアル
- Display Properties（画面のプロパティ）に関する Microsoft Windows ヘルプとサポート
- ビデオカードのコントロールパネルのトラブルシューティング

  お使いのコンピュータには、搭載されているビデオカードによって、広範囲なヘルプ情報を備えた専用のコントロールパネルを使用できる場合があります。

一般的な不具合の解決

コンピュータがテレビをディスプレイデバイスとして認識しない

1. テレビの電源を切ります。
2. コンピュータの電源を切ります。
3. テレビおよびコンピュータからビデオケーブルを外します。
4. テレビとコンピュータの背面のコネクタが正確に配線されていることを確認したら、コンピュータおよびテレビにビデオケーブルを再び接続します。
5. テレビおよびコンピュータの電源を入れます。

Display Properties（画面のプロパティ）メニューで、テレビがディスプレイデバイスとして表示されます。

テレビの解像度がぼやける

ビデオカードベンダーのコントロールパネルを使用して、画面解像度を設定します。これは、ビデオカードやテレビの画面解像度の調整に最も良い方法です。

テレビの色が正確ではない

ビデオカードベンダーのコントロールパネルを使用して、カラー設定を調整します。これは、ビデオカードやテレビの画面の調整に最も良い方法です。

同じコントロールパネルを使用して、画面解像度を調整します。

17

セキュリティとプライバシー

コンピュータの保護 — システム管理者権限、ユーザーグループおよびパスワードの使い方

Microsoft® Windows® オペレーティングシステムには、お使いのコンピュータおよびそのコンピュータに保存されている情報へのアクセスを制御できるシステム管理者パスワードやユーザーパスワードなどのセキュリティ機能が備わっています。

システム管理者の権限

システム管理者は、コンピュータのシステム全体への変更や、セキュリティ設定の変更、ソフトウェアのインストール、コンピュータ上の全ファイルへのアクセスができます。コンピュータのシステム管理者アカウントを持つユーザーは、同じコンピュータ上のその他のユーザーアカウントすべてにアクセスできます。

例：オフィスのコンピュータを複数の人が使用する場合、システム管理者権限により、セキュリティとその他コンピュータの設定を同じ状態に保ち、機密のデータにアクセスさせないようにできます。

例：子供を含む家族で自宅のコンピュータを共有する場合は、システム管理者権限として、子供がアクセスできる情報および家族のメンバーがインストールできるプログラムを制限することができます。

詳細情報：管理者権限の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

フォルダやファイルへのアクセス許可の設定

1 お使いのコンピュータにシステム管理者としてログインします。
2 許可を設定するフォルダやファイルを検索して、そのフォルダやファイル上で右クリックします。
3 **Properties**（プロパティ）→ **Security**（セキュリティ）とクリックします。
4 **Security**（セキュリティ）タブで、グループやユーザーを追加するか、既存のグループから許可を変更、または削除します。

ユーザーグループ

システム管理者として、ユーザーのグループを制限付きのユーザーグループに変更することにより、お使いのコンピュータへのアクセスを制限できます。

制限付きユーザーグループの一員であるユーザーは、コンピュータの操作とドキュメントの保存は可能ですが、プログラムのインストールやシステム設定の変更を行うことはできません。

例：オフィスのコンピュータを複数の人が共有している場合は、ユーザー許可を持つアカウントを各ユーザーごとに割り当てることができます。

例：家族で自宅のコンピュータを共有している場合は、家族メンバーごとにアクセスできる情報を制限し、各自にアカウントを割り当てることができます。

ユーザーアカウントまたはグループの変更

ユーザーをグループに割り当てたり、ユーザーのグループを変更する場合は、システム管理者としてログインし、**Control Panel**（コントロールパネル）から **User Account**（ユーザーアカウント）にアクセスします。

詳細情報：ユーザーをグループに割り当てる方法の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

メモ：オペレーティングシステムによっては、曜日ごとに時間を設定し、それ以外はブロックすることによって、子供がコンピュータを使用できる時間を選択できるものもあります。また、各ユーザーのコンピュータの使用頻度を確認するために、活動レポートを参照することも可能です。お使いのオペレーティングシステムにペアレンタルコントロールデバイスが含まれているかを確認するには、Control Panel（コントロールパネル）でフォルダやリンクを確認するか、Windows ヘルプとサポートで検索を行います。

パスワード

パスワードでの保護を設定しないと、誰でもお使いのコンピュータにログオンして、ファイルにアクセスすることができます。システム管理者としてコンピュータにログオンすると、すべてのユーザーアカウントにパスワードを作成することができます。

パスワードを使用すると、さまざまな方法と保護レベルでお使いのコンピュータを保護できます。ファイルにパスワードを適用できるように、お使いのコンピュータにもパスワードを設定できます。

パスワードに、少なくとも 10 文字のアルファベット、数字および特殊文字の組み合わせを設定することで、お使いのコンピュータのセキュリティレベルが上昇します。

安全なパスワードの使い方

安全なパスワードは、悪意のあるソフトウェアをインストールしたり、お使いのコンピュータの機密ファイルにアクセスする可能性のある非認証ユーザーからコンピュータを保護する重要な方法です。パスワードが強いほど、お使いのコンピュータを攻撃から防ぎやすくなります。

強いパスワードとは、以下の条件を満たすパスワードです。

- 大文字と小文字の両方を含む
- 数字、用語、および記号の組み合わせを含む
- 定期的に変更される

詳細情報：安全なパスワードの作成の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

スマートカード

メモ：スマートカードの機能は、お使いのコンピュータで使用できない場合があります。

スマートカードは集積回路が内蔵され、持ち運びのできる、クレジットカード型のデバイスです。スマートカードを使って、ユーザーが持っているもの（スマートカード）とユーザーが知っているもの（暗証番号）を組み合わせて、パスワードだけの場合よりも確実なユーザー認証を提供し、システムの安全性を向上することができます。スマートカードには、大きく分けて次の 2 つがあります。

- **接触型スマートカード** — これらのカードには、多数の金メッキ接続パッドを備えた接触エリアがあります。カードリーダーに挿入すると、チップからの情報を読み書きできます。
- **非接触型スマートカード** — これらのカードは、リーダーとの物理的な接触は必要ありません。チップは、RFID 誘導テクノロジを使用してカードリーダーと通信します。これらのカードで取引を行うには、唯一、カードリーダーのアンテナの近くであることが必要です。

指紋リーダー

メモ：指紋リーダーは、お使いのコンピュータでは利用できない場合があります。

指紋リーダーは、ストリップセンサを使用するコンピュータの周辺デバイスです。指をリーダーに入れると、リーダーはその固有の指紋を使用してユーザー本人であることを確認します。これにより、Dell コンピュータの安全を確保できます。

顔認識ソフトウェア

メモ：顔認識ソフトウェアは、お使いのコンピュータでは使用できない場合があります。

カメラからのデジタル画像をコンピュータで使用することで、顔認識ソフトウェアはユーザーの顔を識別または検証できます。識別または検証は、画像から抜粋した顔の特徴と顔面データベースとの比較によって行われます。本人であることが実証されると、パスワードを入力せずにコンピュータにアクセスすることができます。

ファイアウォールを使用したコンピュータの保護

ファイアウォールを使用して、認証されていないユーザー（ハッカー）や、ウィルスやワームなどの悪意のあるプログラムから、コンピュータを保護します。また、ファイアウォールは、お使いのコンピュータからその他のコンピュータに悪意のあるプログラムを広めることも防ぎます。

Windows ファイアウォールの有効化

Windows Vista® の場合

1. **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Security**（セキュリティ）→ **Windows Firewall**（Windows ファイアウォール）の順にクリックします。

Windows® XP の場合

スタート → **コントロールパネル** → **セキュリティセンター** → **Windows ファイアウォール** の順にクリックします。

2. **Windows ファイアウォール**を有効または無効にします。管理者パスワードまたは確認を求められた場合は、パスワードを入力するか、確認に応じます。
3. **有効（推奨）**をクリックし、**OK** をクリックします。

ヒント：Windows ファイアウォールを有効にするには、お使いのコンピュータに管理者としてログオンする必要があります。

詳細情報：ファイアウォールの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート） または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。174 ページの「ファイアウォール」も参照してください。

ファイルとフォルダの暗号化

暗号化は、ファイルやフォルダを保護する方法の 1 つです。適切な権限を持つユーザーにのみが、暗号化されたファイルおよびフォルダの表示やアクセスが行えます。

1. 暗号化するファイルまたはフォルダを右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
2. **全般** タブで、**詳細設定** をクリックします。

3 **内容を暗号化してデータをセキュリティで保護する** チェックボックスをオンにし、**OK** をクリックします。

詳細情報：暗号化の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、「Encryption: recommended links」（暗号化の推奨リンク）を参照してください。

アンチウイルスソフトウェアの使い方

アンチウイルスソフトウェアを使うと、お使いのコンピュータをコンピュータウイルスから保護できます。コンピュータウイルスは、お使いのコンピュータに感染して、ファイルを壊したり、コンピュータをさらに攻撃されやすくしたり、他のコンピュータにウイルスをまき散らしたりします。コンピュータウイルスは、電子メールやダウンロードしたプログラムから送信される場合があります。

互換性のあるアンチウイルスソフトウェアプログラムの一覧は、Microsoft ウェブサイト（**microsoft.com/japan/**）で、「Microsoft Catalog」（Microsoft カタログ）を参照してください。

パブリックワイヤレスネットワーク使用時のセキュリティの保護

一般に、パブリックワイヤレスネットワークには、次の 2 種類のセキュリティが使用されます。

- Security-enabled（セキュリティ有効）— セキュリティ有効接続により、お使いのコンピュータとそのコンピュータに含まれている情報に対し、いくらかの保護が提供されます。
- Unsecured（保護なし）— ネットワークを保護しないでおくと、お使いのコンピュータは攻撃やその他セキュリティリスクにさらされます。

一般的に、保護されていないパブリックワイヤレスネットワークを使用することは避けるべきです。

選択したワイヤレスパブリックネットワークで、ネットワークキーを要求されれば、そのネットワークは保護されているといえます。選択したネットワークのセキュリティが、セキュリティ有効である場合、次のいずれかが発生します。

- システム管理者からネットワークキーが自動的に提供されている場合、自動接続が行われています。
- ネットワークキーが自動的に提供されなければ、キーを取得して、ネットワークキーデータボックスに入力します。

詳細情報：パブリックワイヤレスネットワークの使い方の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で、次のトピックを参照してください。

- 「To find a public wireless network location」（パブリックワイヤレスネットワークの場所を検索するには）
- 「Manually add a wireless network to the Preferred Networks list」（ワイヤレスネットワークを Preferred Networks（優先するネットワーク）リストに手動で追加する）
- 「Connect to an available wireless network」（利用できるワイヤレスネットワークに接続する）
- 「To determine if your computer has a firewall」（お使いのコンピュータでファイアウォールを利用できるか確認する）
- 「Help protect your computer」（コンピュータ保護のヘルプ）

コンピュータウイルス感染リスクの低減

- アンチウィルスプログラムをインストールする
- 疑いのある電子メール、または電子メールの添付ファイルを開かないようにする
- Windows のアップデートを定期的に行う
- ファイアウォールを使用する

詳細情報：ウィルスとウィルス対策の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で次のトピックを参照してください。

- How do I remove a computer virus?（コンピュータウィルスを削除するには）
- How can I tell if my computer has a virus?（コンピュータがウィルスに感染している症状について）

Cookie の対処

Cookie は、Web サイトに表示されるコンテンツや操作を、ユーザーごとにカスタマイズするために使用されます。たとえば、Web サイトに初めてアクセスしたときに入力したパスワード情報を保存して、次回からは入力を省略することができます。

一方で、Cookie を介して個人情報がその他の理由で利用され、ユーザーのプライバシーが侵害される可能性があります。

詳細情報：Cookie の詳細に関しては、183 ページの「Cookie のブロックおよび削除によるプライバシーの保護」を参照してください。

すべての Cookie のブロック

1 Internet Explorer® を開きます。
2 **Tools**（ツール）メニュー、**Internet Options**（インターネットオプション）の順にクリックします。
3 **プライバシー**タブをクリックしてから、**設定** で、スライドバーを目的のセキュリティ設定に移動し、**OK** をクリックします。

ヒント：Cookie をブロックすると、一部の Web ページが正しく表示されなくなる可能性があります。一部の Web サイトでは、ユーザー名、パスワードなどの情報が Cookie に格納されます。その Cookie を削除した場合、そのサイトに次回アクセスしたときに、個人情報を再入力する必要が生じます。

スパイウェアおよびマルウェアの回避

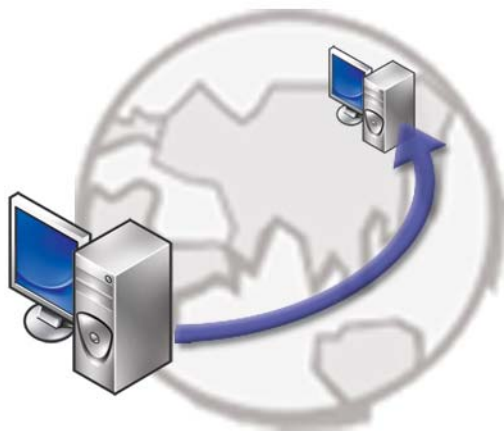
スパイウェアとマルウェアとは、コンピュータに損害を与えたり、含まれている情報のセキュリティリスクを大きくしたりする可能性があるコンピュータプログラムです。お使いのコンピュータがスパイウェアおよびマルウェアに感染しないようにする方法はたくさんあります。たとえば、アンチウィルスソフトウェアを使用して、これら悪意あるソフトウェアからコンピュータを保護し、検出および（または）駆除することができます。

互換性のあるアンチスパイウェアおよびアンチマルウェアソフトウェアプログラムの一覧は、Microsoft ウェブサイト（**microsoft.com/japan/**）で、「Microsoft Catalog」（Microsoft カタログ）を参照してください。

詳細情報：スパイウェアおよびマルウェアの詳細に関しては、176 ページの「スパイウェアおよびマルウェア」を参照してください。また、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）で次のトピックを参照してください。

- Remove spyware from your computer（コンピュータからスパイウェアを削除する）
- Using anti-malware software to help protect your computer（アンチマルウェアソフトを使用してコンピュータを保護する）
- When to trust a website（ウェブサイトの信用条件）

18

Microsoft® Windows® XP Pro リモートデスクトップ

リモートデスクトップでは、遠隔地から Microsoft Windows XP Professional オペレーティングシステムを実行するコンピュータへのアクセスを提供し、いつでもどこからでもお使いのコンピュータでの作業を行うことができます。

ホストコンピュータ上でのリモートデスクトップの有効化

リモートデスクトップを使用する前に、ホストコンピュータ上でリモートデスクトップ機能を有効にする必要があります。これにより、ホストコンピュータを他のコンピュータからリモートで制御することが可能になります。

リモートデスクトップを有効にするには、システム管理者としてログオンする必要があります。

ホストコンピュータをセットアップするには、以下が必要となります。

- リモートコンピュータからアクセスするファイルおよびプログラムを含むコンピュータ上に、Microsoft Windows XP Professional がインストールされている。
- ホストコンピュータがリモートデスクトップが許可されているネットワークの一部である。
- リモートコンピュータが Microsoft Windows の互換バージョンを実行し、インターネットやローカルエリアネットワークに接続している。
- リモートコンピュータに、リモートデスクトップ接続クライアントソフトウェアがインストールされている。リモートコンピュータはクライアントと呼ばれます。
- どちらのコンピュータも、Virtual Private Network（VPN）を介してインターネットに接続すること
- リモートアクセスを許可するために、リモート Windows XP Professional ホストに適切なユーザーアカウントおよび許可を設定する。

クライアントコンピュータが VPN 経由でホストコンピュータと接続されていない場合、コンピュータ名の代わりに、ホストコンピュータの実際の IP アドレスを使用する必要があります。

リモートデスクトップクライアントソフトウェアのインストール

リモートデスクトップクライアントソフトウェアは、Windows XP を実行するコンピュータ上にデフォルトでインストールされています。

リモートでの呼び出し

1. ISP により割り当てられているパブリック IP アドレスやコンピュータの完全修飾ドメイン名、またはルーター、NAT、ファイアウォールを使用します。

   ファイアウォール、NAT、ルーターを正しく設定すると、適切なコンピュータを呼び出すことができます。

2. ISP がダイナミック IP アドレスを割り当てている場合は、完全修飾ドメイン名を IP にマップする動的なネーミングサービスを利用して、アカウントをセットアップすることによっても、コンピュータを呼び出すことができます。

例：No-IP.com の無償サービスを利用するリモートユーザーもいます。

No-IP.com ソフトウェアは、クライアントコンピュータ上で動作し、タイムスケジュールを基にして No-IP.com サーバーとコンタクトをとります。No-IP.com サーバーでは、IP アドレスを認識して、そのアドレスを完全修飾ドメイン名にマップします。

この情報は、パブリックインターネットを介して伝達されます。その後で、リモートユーザーは、完全修飾ドメイン名を使って、リモートデスクトップホストコンピュータを呼び出します。

詳細情報：リモートデスクトップ機能の詳細に関しては、『Windows XP Professional リソースキット』で、「Windows XP Pro リモートデスクトップの設定、使用およびトラブルシューティングのヒント」を参照してください。

19

お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- システムの復元は、データファイルに影響を与えることなく、コンピュータを以前の動作状態に戻します。オペレーティングシステムを復元し、データファイルを保持する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- シマンテック製の Dell PC リストア（Windows XP で利用可能）および Dell Factory Image Restore（Windows Vista で利用可能）によって、お使いのハードディスクドライブはコンピュータの工場出荷時の動作状態に戻ります。どちらのアプリケーションでも、ハードディスクドライブ内の全データが永久に削除され、またコンピュータを受け取った後にインストールしたプログラムはすべて削除されます。Dell PC リストア または Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。
- コンピュータに『オペレーティングシステム』ディスクが付属している場合は、この CD を使用してオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム』ディスクを使用した場合も、ハードディスクドライブディスクドライブ上のデータはすべて削除されます。このディスクは、システムの復元を実行してもオペレーティングシステムの問題が解決しなかった場合に*のみ*使用してください。

Microsoft® Windows® システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合は、Windows オペレーティングシステムのシステムの復元オプションを使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元オプションによってコンピュータに行われる変更は、完全に元に戻すことが可能です。

注意 : データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの監視や、データファイルの復元は行いません。

メモ： このマニュアルの手順は、Windows のデフォルト表示用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると、動作しない場合があります。

システムの復元の開始

注意：コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

Windows Vista®

1 **Start**（スタート）をクリックします。
2 **Start Search**（検索の開始）ボックスに `System Restore`（システムの復元）と入力し、<Enter> を押します。

メモ：User Account Control（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータのシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。そうでない場合は、目的の操作を続行するためシステム管理者に連絡します。

3 **Next**（次へ）をクリックして、画面に表示される指示に従います。

システムの復元を実行しても問題が解決しなかった場合は、最後に行ったシステムの復元を取り消すことができます。

Windows® XP

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **システムの復元** の順にクリックします。
2 **コンピュータを以前の状態に復元する**、または **復元ポイントの作成** のいずれかをクリックします。
3 **次へ** をクリックし、その後の画面の指示に従います。

最後のシステムの復元を元に戻す

注意：以前のシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

Windows Vista

1 **Start**（スタート）をクリックします。
2 **Start Search**（検索の開始）ボックスに `System Restore`（システムの復元）と入力し、<Enter> を押します。
3 **Undo my last restoration**（以前の復元を取り消す）をクリックして、Next（次へ）をクリックします。

Windows XP

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **システムの復元** の順にクリックします。

2 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ**をクリックします。

システムの復元の有効化

メモ：Windows Vista では、ディスク領域が少ない場合でも、システムの復元は無効になりません。したがって、次の手順は Windows XP のみに適用されます。

空き容量が 200 MB 未満のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。

システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **System**（システム）の順にクリックします。

2 左側のペインで、**System Protection**（システムの保護）をクリックします。

3 **System Protection**（システムの保護）タブをクリックします。**Automatic restore points**（自動復元ポイント）で、ハードディスクに対する **System Protection**（システムの保護）チェックボックスがオフであることを確認してください。

Windows XP

1 **スタート** → コントロールパネル → パフォーマンスとメンテナンス → **システム** の順にクリックします。

2 **システムの復元** タブをクリックし、**システムの復元を無効にする** のチェックマークが付いていないことを確認します。

Dell™ PC リストアおよび Dell Factory Image Restore の使い方

注意：Dell PC リストア、Dell Factory Image Restore のいずれを使用しても、ハードディスクドライブ上の全データが永久に削除され、またコンピュータを受け取った後にインストールしたプログラムはすべて削除されます。Dell Factory Image Restore を使用する前にデータをバックアップしてください。Dell PC リストアまたは Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。

メモ：シマンテック製の Dell PC リストアおよび Dell Factory Image Restore は、国またはコンピュータによってはご利用になれない場合があります。

Dell Factory Image Restore（Windows Vista）または Dell PC Restore（Windows XP）は、オペレーティングシステムを復元する最後の手段としてのみ、ご利用ください。

これらのオプションにより、ハードディスクドライブはコンピュータの工場出荷時の動作状態に戻ります。コンピュータを受け取られてから追加された、データファイルを含むどのようなプログラムやファイルも永久にハードディスクドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。PC Restore または Factory Image Restore を使用する前にすべてのデータをバックアップするようにしてください。

Windows Vista：Dell Factory Image Restore

1 コンピュータの電源を入れます。Dell のロゴが表示されたら、<F8> を数回押して **Vista Advanced Boot Options**（詳細ブートオプション）ウィンドウにアクセスします。

2 **Repair Your Computer**（コンピュータの修復）を選択します。

   System Recovery Options（システム回復オプション）ウィンドウが表示されます。

3 キーボードレイアウトを選択して、**Next**（次へ）をクリックします。

4 回復オプションにアクセスするために、ローカルユーザーとしてログオンします。コマンドプロンプトにアクセスするために、ユーザー名フィールドで `administrator` と入力し、**OK** をクリックします。

5 **Dell Factory Image Restore** をクリックします。

   メモ： 使用する構成によっては、**Dell Factory Tools**、**Dell Factory Image Restore** の順序で選択しなければならない場合もあります。

   Dell Factory Image Restore（デル出荷時のイメージの復元）の初期画面が表示されます。

6 **Next**（次へ）をクリックします。

Confirm Data Deletion（データ削除の確認）画面が表示されます。

注意： Factory Image Restore をこれ以上進めたくない場合は、**Cancel**（キャンセル）をクリックします。

7 ハードディスクドライブの再フォーマットおよびシステムソフトウェアを工場出荷時の状態に復元する作業を続行することを確認するためのチェックボックスをオンにして、**Next**（次へ）をクリックします。

   復元処理が開始されます。復元処理が完了するまで 5 分以上かかる場合があります。OS および工場出荷時にインストールされたアプリケーションが工場出荷時の状態に戻ると、メッセージが表示されます。

8 **Finish**（完了）をクリックして、システムを再起動します。

オペレーティングシステムメディアの使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows オペレーティングシステムを再インストールする場合は、Windows のデバイスドライバのロールバックを試してみます。77 ページの「デバイスの不具合の原因がデバイスドライバであるかどうかの確認」を参照してください。その後で、Device Driver Rollback（デバイスドライバのロールバック）を試します（77 ページの「ドライバの以前のバージョンへの置き換え」を参照）。

デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合は、システムの復元（255 ページの「Microsoft® Windows® システムの復元の使い方」を参照）を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

注意 : インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードディスクドライブ上のすべてのデータファイルのバックアップを作成します。標準的なハードディスクドライブ構成において、コンピュータによって 1 番目に認識されるドライブがプライマリハードディスクドライブです。

Windows を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™『オペレーティングシステム』メディア
- Dell『Drivers and Utilities』メディア

メモ : Dell『Drivers and Utilities』メディアには、コンピュータの製造工程でプリインストールされたドライバが収録されています。Dell『Drivers and Utilities』メディアを使用して、必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータを購入した地域、またはメディアの注文の有無によっては、Dell『Drivers and Utilities』メディアおよび『オペレーティングシステム』メディアがコンピュータに付属していない場合があります。

Windows XP または Windows Vista の再インストール

再インストール処理を完了するには、1 〜 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

注意 :『オペレーティングシステム』メディアには、Windows XP の再インストール用のオプションが収録されています。オプションはファイルを上書きして、ハードディスクドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『オペレーティングシステム』ディスクを挿入します。

3 `Install Windows`（Windows のインストール）というメッセージが表示されたら、**Exit**（終了）をクリックします。

4 コンピュータを再起動します。

DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

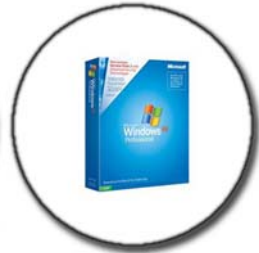
メモ：キーを押すタイミングが遅れて、OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして再度試します。

メモ：次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスから起動します。

5 起動デバイスの一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して <Enter> を押します。

6 **CD から起動** するには、いずれかのキーを押します。

7 画面の指示に従ってインストールを完了します。

20

トラブルシューティング

ヒント：お使いのコンピュータのトラブルシューティングを行う際は、これらの基本的なヒントに従い、時間を節約してください。

1 部品を追加したり取り外した後に問題が発生した場合は、取り付け手順を見直して、部品が正しく取り付けられているか確認します。

2 周辺機器が機能しない場合、デバイスが適切に接続されているか確認します。

3 画面にエラーメッセージが表示される場合は、メッセージを正確にメモします。このメッセージは、サポート担当者が問題を診断および解決するのに役立つ場合があります。

4 プログラムの実行中にエラーメッセージが表示される場合、そのプログラムのマニュアルを参照してください。

メモ：このマニュアルの手順は、Windows のデフォルト表示用に記載されていますので、お使いの Dell コンピュータを Windows クラシック表示に設定している場合には適用されない場合があります。

トラブルシューティングツール

お使いのコンピュータにおける問題の診断および解決に必要となるトラブルシューティングツールを以下に示します。

ツール	機能
電源ライト	電源ボタンのライトが点灯したり、点滅、または点灯したままになることで、電源が入っている、電源が切れている、またはスタンバイなどさまざまな電源状態を示します。また、このライトは、内部の電源の問題を示すこともあります。 電源ライトの詳細については、『サービスマニュアル』を参照してください。
デスクトップコンピュータの診断ライト	デスクトップコンピュータには、診断ライトが装備されているものがあります。これらのライトは、電源ライトと関連して機能します。これらのライトは、ステータスおよび問題を示すのに、特定の順番で点灯したり、消えたりします。 診断ライトの詳細については、『サービスマニュアル』を参照してください。
ノートブックコンピュータの診断ライト	キーボードのステータスライトにより、ステータスおよび問題が示されます。 診断ライトおよびステータスライトの詳細については、『サービスマニュアル』を参照してください。
システムメッセージ	お使いのデスクトップコンピュータやノートブックコンピュータでは、解決の必要があるエラーや問題を示すメッセージが表示されることがあります。画面に表示された情報を書き留め、「システムメッセージ」リストや、お使いの『サービスマニュアル』から、問題の解決方法について、該当するメッセージを検索します。
Windows ハードウェアのトラブルシューティング	ハードウェアのトラブルシューティングを使用して、デバイス構成、互換性の問題、または動作ステータスを解決します。

Dell Diagnostics（診断）プログラム	コンピュータでは、Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用して、起動前システムアセスメント（PSA）や、システム基板、キーボード、ディスプレイ、メモリ、ハードディスクドライブなどの一連の初期テストを実行します。また、Dell Diagnostics（診断）プログラムは、コンピュータの評価のため、さらに完全なシステムテストを実行するのに使用することも可能です。
デルサポートユーティリティ	このサポートユーティリティは、セルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、およびお使いのコンピュータ環境の状態をスキャンする場合に使用します。

デスクトップコンピュータの電源ライト

警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

コンピュータの前面にある電源ボタンライトは、点滅したり点灯することで以下のさまざまな動作状態を示します。

- 電源ライトが青色になっており、コンピュータが応答しない場合は、お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照してください。

メモ：一部のシステムでは、電源ライトは緑色です。

- 電源ライトが青色に点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

メモ：一部のシステムでは、電源ライトは緑色です。

- 電源ライトが消灯している場合は、コンピュータの電源が切れているか、電力が供給されていません。
  - 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。
  - コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続されていて電源が入っていることを確認します。
  - 電源保護デバイス、電源タップ、および電源延長ケーブルを動作状況の明らかな類似製品と交換し、コンピュータへの電源投入が正常に行われることを確認します。
  - 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。
  - 主電源ケーブルおよび前面パネルのケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照）。
- 電源ライトが橙色で点滅している場合は、コンピュータに電力は供給されていますが、内部で電源の問題が発生している可能性があります。
  - 該当する場合、電圧切り替えスイッチの設定が、ご使用の地域の AC 電源に一致しているか確認します。
  - プロセッサの電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているかを確認します（お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照）。
- 電源ライトが橙色に点灯している場合は、デバイスが誤動作しているか正しく取り付けられていない可能性があります。
  - メモリモジュールを取り外し、再び取り付けます（コンピュータ同梱のマニュアルを参照）。
  - すべてのカードを取り外し、再び取り付けます（コンピュータ同梱のマニュアルを参照）。
- 電気的な妨害を解消します。電気的な妨害の原因には、次のものがあります。
  - 電源、キーボード、およびマウスの延長ケーブルが使用されている
  - 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
  - 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

デスクトップコンピュータの診断ライト

デスクトップコンピュータの中には、前面パネルに番号のついたライトが装備されているものがあります。コンピュータが正常に起動している場合、ライトは点滅してから消灯します。

コンピュータが誤作動している場合、ライトの組み合わせ順によって問題を識別できます。

詳細情報：表示されるさまざまな診断ライトの意味に関しては、お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照するか、Dell サポートサイト（**support.jp.dell.com**）でトピックを検索してください。

ノートブックコンピュータの診断ライト

通常、ノートブックコンピュータには、キーボードの上部にキーボードステータスライトが装備されています。詳細に関しては、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

通常の操作を行っている間に、キーボードステータスライトでは、特定の機能についての現在のステータスを表示します。コンピュータが誤作動している場合、ライトのステータスで問題を識別することができます。

詳細情報：表示されるさまざまなキーボードステータスライトの意味に関しては、お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照するか、Dell サポートサイト（**support.jp.dell.com**）でトピックを検索してください。

デスクトップコンピュータのシステムメッセージ

メモ：受け取ったメッセージがリストにない場合は、メッセージが表示されたときに実行されていたオペレーティングシステムまたは、プログラムのマニュアルを参照してください。

警告！このシステムの前回の起動時に、チェックポイント [NNNN] で障害が発生しました。

この問題を解決するには、このチェックポイントをメモしてデルテクニカルサポートにお問い合わせください — 3 回連続して起動ルーチンを最後まで処理しようとしましたが、毎回同じエラーが発生して失敗しました（サポートに連絡する場合は 323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

CMOS チェックサムエラー — マザーボードに障害が発生しているか、または RTC バッテリの残量が低下している可能性があります。バッテリを交換します（詳細に関しては、コンピュータ同梱のマニュアルまたは 323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください）。

CPU ファン障害 — CPU ファン障害 CPU ファンを交換します（お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照）。

ハードディスクドライブ読み取り障害 — ハードディスクドライブ起動テスト中にハードディスクドライブ障害が発生した可能性があります（サポートを受けるには 323 ページ

の「デルへのお問い合わせ」を参照）。

キーボード障害 — キーボードに障害があるか、またはキーボードケーブルが緩んでいる可能性があります（281 ページの「外付けのキーボードにおけるキーボードの問題」を参照）。

起動デバイスがありません — システムが、起動可能なデバイスまたはパーティションを見つけられません。

- 光学ドライブが起動デバイスの場合、ケーブルが接続されていて、起動用光学メディアがドライブに挿入されていることを確認します。
- ハードディスクドライブが起動デバイスの場合、ケーブルがドライブに適切に取り付けられていて、起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。
- セットアップユーティリティを起動して、起動順序の情報が正しいか確認します（295 ページの「セットアップユーティリティ」を参照）。

タイマーチック割り込み信号がありません — システム基板上のチップが誤動作を起こしているか、システム基板そのものに障害が発生している可能性があります（サポートを受けるには、323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

注意 - ハードディスクドライブセルフモニタリングシステムで、パラメータが通常の動作範囲を超えていることが報告されました。定期的にデータのバックアップを行うことをお勧めします。範囲外のパラメータは、ハードディスクドライブに問題があることを示す場合、または示さない場合もあります — S.M.A.R.T エラーです。HDD に障害が発生している可能性があります。この障害により、BIOS 設定で有効とされたり無効とされたりする可能性があります。

ノートブックコンピュータのシステムメッセージ

メモ：受け取ったメッセージがリストにない場合は、メッセージが表示されたときに実行されていたオペレーティングシステムまたは、プログラムのマニュアルを参照してください。

使用可能メモリが減少しています — 281 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

エラー 8602 – 補助デバイス障害。マウスとキーボードが正しいコネクタにしっかりと取り付けられているか確認してください

フラッシュ部書き込み保護エラー — デルにお問い合わせください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

ゲート A20 障害 — 281 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

無効な設定情報 – セットアップユーティリティを実行してください — セットアップユーティリティを起動し（295 ページの「セットアップユーティリティの起動」を参照）、セットアップユーティリティオプションを変更して（296 ページの「セットアップユーティリティ画面のオプション操作」を参照）、設定エラーを修正します。

キーボード障害 — キーボードに障害があるか、またはキーボードケーブルが緩んでいる可能性があります（281 ページの「外付けのキーボードにおけるキーボードの問題」を参照）。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー — 281 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー — 281 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇数 / 偶数ロジックエラー — 281 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

アドレス、読み取り値の予想値におけるメモリ書き込み / 読み取りエラー — 281 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

CMOS のメモリサイズが無効です — 281 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

利用可能な起動デバイスがありません。F1 キーを押して起動を再試行するか、F2 キーを押してセットアップユーティリティを実行してください。オンボード診断を実行する場合は F5 キーを押します。 — システムが、起動可能なデバイスまたはパーティションを見つけられません。

- 光学ドライブが起動デバイスの場合、ケーブルが接続されていて、起動用光学メディアがドライブに挿入されていることを確認します。
- ハードディスクドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に取り付けられていて、起動デバイスとしてパーティション分割されているか確認します。
- セットアップユーティリティを起動して、起動順序の情報が正しいか確認します（295 ページの「セットアップユーティリティの起動」を参照）。

ハードディスクドライブに起動セクタがありません — セットアップユーティリティを起動し、ハードディスクドライブの設定情報が正しいか確認します（295 ページの「セットアップユーティリティの起動」を参照）。

タイマーチック割り込み信号がありません — Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照）。

電源の警告メッセージが無効になっています セットアップユーティリティを実行し、これらのメッセージを有効にしてください。 — 295 ページの「セットアップユーティリティの起動」を参照してください。

内蔵ハードディスクドライブの読み取り障害 — 276 ページの「ドライブの問題」を参照してください。

2 台目の内蔵ハードディスクドライブの読み取り障害 — このメッセージは、複数のハードディスクドライブをサポートするノートブックコンピュータに適用されます。276 ページの「ドライブの問題」を参照してください。

RTC モード修正 – 時間と日付が間違っています — セットアップユーティリティを起動し、日付や時刻を修正してください（295 ページの「セットアップユーティリティの起動」を参照）。問題が解決しない場合、CMOS バッテリを交換します。

シャットダウンエラー — Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照）。

内部時計が停止しました。
セットアップユーティリティを実行してください — セットアップユーティリティを起動し、日付や時刻を修正してください（295 ページの「セットアップユーティリティの起動」を参照）。問題が解決しない場合、CMOS バッテリを交換します。

時刻が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください — セットアップユーティリティを起動し、日付や時刻を修正してください（295 ページの「セットアップユーティリティの起動」を参照）。問題が解決しない場合、CMOS バッテリを交換します。

タイマーチップカウンタ 2 が失敗しました — Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照）。

AC 電源アダプタのタイプを決定できません。システムでは 130 ワット以上の電源アダプタのみを起動できます。シャットダウンするには F1 キーを押します — 130 ワット以上の AC アダプタをコンピュータかドッキングステーションに接続します。

メモ：130 ワット以上の AC 電源アダプタタイプの要件に関するこのメッセージは、130 ワット以上の AC アダプタを必要とするノートブックコンピュータに適用されます。

AC 電源アダプタのワット数およびタイプを決定できません。バッテリが充電されない場合があります。システムは利用可能な電源に適合するようにパフォーマンスを調整します。最善のシステムパフォーマンスが得られるように、デル xxx-W 以上の AC アダプタを接続してください。電源の警告メッセージを表示したくない場合は、（F1 キーまたは F2 キーの前に）F3 キーを押します。続行するには F1 キーを、セットアップユーティリティを実行するには F2 を押してください — 適切な AC アダプタをコンピュータまたはドッキングステーションに接続します。

コンピュータがドッキングされているが、バッテリ電源だけが検出される。これは、電源アダプタが見つからない場合、電源コードがコンセントから外れている場合、またはコンピュータがドッキングステーションに適切に接続されていない場合に起こる場合があります。アンドックしてからドッキングを行い、電源アダプタを接続するか、または電源コードをコンセントに接続してください。シャットダウンするには F1 キーを押します。

システムメモリの容量が変わりました。メモリを変更していない場合、この問題を解決するには、メモリを装着しなおします。続行するには F1 キーを、セットアップユーティリティを実行するには F2 を押してください。オンボード診断を実行する場合は F5 キーを押します —

- メモリを取り付けなおします（手順については、お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照）。
- メモリの取り外しまたは取り付けを行っていない場合、メモリモジュール障害またはシステム基板障害が発生している可能性があります。デルに連絡してサポートを受けてください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

サポートされていないメモリです。シャットダウンするには F1 キーを押します。 — 使用しているメモリが、お使いのコンピュータでサポートされているかを確認します（コンピュータに付属のマニュアルを参照）。

警告：xxx-W AC アダプタが検出されました。これはコンピュータ出荷時に同梱されていた推奨の xxx-W AC アダプタよりも容量が低いものです。これにより、バッテリの充電時間が長くなります。システムは利用可能な電源に適合するようにパフォーマンスを調整します。最善のシステムパフォーマンスが得られるように、デル xxx-W 以上の AC アダプタを接続してください。電源の警告メッセージを表示したくない場合は、（F1 キーまたは F2 キーの前に）F3 キーを押します。続行するには F1 キーを、セットアップユーティリティを実行するには F2 を押してください — 適切な AC アダプタをコンピュータまたはドッキングステーションに接続します。

警告：プライマリバッテリを識別できません。このバッテリを取り外すまで、このシステムではバッテリバッテリの充電ができません — 2 個のバッテリバッテリを装備したコンピュータの場合、プライマリバッテリバッテリが正しく取り付けられていないか、またはバッテリまたはシステム基板に欠陥がある可能性があります。

警告：セカンドバッテリを識別できません。このバッテリを取り外すまで、このシステムではバッテリの充電ができません — 2 個のバッテリを装備したコンピュータの場合、セカンドバッテリが正しく取り付けられていないか、またはバッテリまたはシステム基板に欠陥がある可能性があります。

警告：バッテリを識別できません。このバッテリを取り外すまで、このシステムではバッテリの充電ができません — 2 個のバッテリを装備したコンピュータの場合、いずれか 1 つまたは両方のバッテリが正しく取り付けられていないか、またはバッテリまたはシステム基板に欠陥がある可能性があります。

警告：バッテリを識別できません。このシステムではこのバッテリの充電ができません — バッテリが正しく取り付けられていないか、またはバッテリまたはシステム基板に欠陥がある可能性があります。

警告：取り付けられたバッテリはシステムに電源を供給できません。このバッテリが接続されている状態ではシステムは起動しません。システムをシャットダウンするには F1 キーを押します。

警告！バッテリの充電量が不足しています。続行するには F1 キーを押します。

警告：TPM が初期化されませんでした — システム基板のエラーが発生しました。デルに連絡してサポートを受けてください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

警告メッセージが無効になっています。セットアップユーティリティを実行し、これらのメッセージを有効にしてください — 295 ページの「セットアップユーティリティ」を参照してください。

警告：[プライマリ / セカンダリ] EIDE コントローラ上のドライブ [0/1] が、通常の仕様外の環境で動作していることを、デルのディスクモニタシステムが検知しました。すぐにデータをバックアップし、サポートデスクまたはデルに問い合わせてハードディスクドライブを交換することをお勧めします — デルに連絡してサポートを受けてください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

お使いの電源アダプタは、取り付けられたドッキングステーションを実行するだけの電力を供給できません。アンドックするか、または適切なアダプタを挿入してください。シャットダウンするには F1 キーを押します — 適切な AC アダプタを接続します。

お使いのシステムはドッキングされていますが、AC アダプタのタイプを決定できません。アンドックするか、または適切なアダプタを挿入してください。シャットダウンするには F1 キーを押します — AC アダプタが正しく取り付けられていないか、または AC アダプタまたはドッキングステーションに欠陥がある可能性があります。

システムは予想以上に熱くなっているため、システムの電源が自動的に切れます。このような事態が発生する要因としては次のことが考えられます。室内温度が過度に高い環境でシステムを動作または保管しているか、またはシステムの通気孔の通気を妨げている。この問題が繰り返し起こる場合は、デルに電話してエラーコード #M1004 でサポートを受けてください — デルに連絡してサポートを受けてください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

***** プロセッサ SSDT データが見つかりません *** マルチコアプロセッサに対するオペレーティングシステムの電力管理が無効になっています —**

*****UL 回路がトリップしました *** UL トリップ数は F3 キーメッセージの下に表示されます。UL カウンタをクリアするには F3 キーを押します。操作を続行するにはその他のキーを押します —** Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照）。

***** プロセッサマイクロコードの更新障害 *** このシステムではプロセッサのリビジョンはサポートされていません —** 使用しているプロセッサが、お使いのコンピュータでサポートされているか確認します（コンピュータのマニュアルを参照）。

Windows ハードウェアのトラブルシューティング

デバイスが OS のセットアップ中に検知されない、または、検知されても設定が正しくない場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを利用して OS とハードウェアの不適合の問題を解決できます。

1 **Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックします。

2 検索フィールドに `Hardware troubleshooter`（ハードウェアに関するトラブルシューティング）と入力し、<Enter> を押して検索を開始します。

3 ヘルプとサポートウィンドウに、**Fix a Problem**（問題の修正）セクションが表示されたら、**Hardware Troubleshooter**（ハードウェアのトラブルシューティング）をクリックします。次に、問題を最もうまく説明しているオプションを選択します。

   または

4 検索結果のうち、問題を最もよく表しているオプションを選択し、残りのトラブルシューティング手順に従います。

Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

注意 : Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell™ コンピュータ上でのみ機能します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルに連絡してテクニカルサポートを受ける前に、261 ページの「トラブルシューティング」を参照するか、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

295 ページの「セットアップユーティリティ」を参照して、コンピュータの設定情報を閲覧して、テストするデバイスがセットアップユーティリティに表示され、アクティブであることを確認します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードディスクドライブまたはお使いのコンピュータに付属する『Drivers and Utilities』メディアから起動します。

メモ：『Drivers and Utilities』メディアはオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのハードディスクドライブからの起動

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードディスクドライブの診断ユーティリティ用隠しパーティションに格納されています。

ノートブックコンピュータでの Dell Diagnostics（診断）の開始

メモ：コンピュータに画面イメージが表示されない場合は、コンピュータに付属のマニュアルで「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

メモ：コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

1 コンピュータが、正確に動作することが確認されているコンセントに接続されていることを確かめます。
2 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
3 Dell Diagnostics（診断）プログラムを次の 2 つの方法のいずれかで開始します。
   - DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。起動メニューから **Diagnostics**（診断）を選択し、<Enter> を押します。

     メモ：キーを押すタイミングが遅れて、OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして再度試します。

     または
   - コンピュータの電源が完全に切れた後で、コンピュータの起動中に、<Fn> キーを押し続けます。

     メモ：診断ユーティリィティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

   起動前システムアセスメント（PSA）が実行されます。PSA は、システム基板、キーボード、ディスプレイ、メモリ、ハードディスクドライブなどを対象とした初期テストを連続して実行します。

- 確認メッセージが表示されたら、応答を入力します。
- 問題が検出された場合は、エラーコードを書き留め、323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

PSA が正常に終了すると、`Booting Dell Diagnostic Utility Partition.Press any key to continue`（Dell 診断ユーティリティパーティションの起動中。いずれかのキーを押すと続行します）というメッセージが表示されます。

4 任意のキーを押すと、ハードディスクドライブ上の診断プログラムユーティリティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムが起動します。

5 Dell Diagnostics（診断）プログラムの Main Menu（メインメニュー）が表示されたら、実行するテストを選びます。

6 273 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニューの使い方」を参照して、作業を継続してください。

デスクトップコンピュータでの Dell Diagnostics（診断）の開始

メモ：コンピュータの画面に画像が表示されない場合は、323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

1 コンピュータが、正確に動作することが確認されているコンセントに接続されていることを確かめます。

2 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

3 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。起動メニューから **Diagnostics**（診断）を選択し、<Enter> を押します。

メモ：キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

メモ：診断ユーティリティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

4 任意のキーを押すと、ハードディスクドライブ上の診断プログラムユーティリティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムが起動します。

5 Dell Diagnostics（診断）プログラムの Main Menu（メインメニュー）が表示されたら、実行するテストを選びます。273 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニューの使い方」を参照してください。

6 273 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニューの使い方」を参照して、作業を継続してください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを『Drivers and Utilities』メディアから起動する場合

1 Drivers and Utilities メディアを挿入します。
2 コンピュータをシャットダウンして、再起動します。

   DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

    メモ：キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

    メモ：次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスから起動します。

3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW** をハイライト表示して <Enter> を押します。
4 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。
5 1 を入力して、CD のメニューを開始し、<Enter> を押して続行します。
6 番号の付いたリストから **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、お使いのコンピュータにとって適切なバージョンを選択します。
7 Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます。
8 273 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニューの使い方」を参照して、作業を継続してください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニューの使い方

1 Dell Diagnostics（診断）プログラムがロードされ **Main Menu** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

 メモ：お使いのコンピュータで完全なテストを実行するには、**Test System** を選択します。

オプション	機能
Test Memory	スタンドアロンメモリのテストを実行します。
Test System	システムの Diagnostics（診断）を実行
Exit	Diagnostics（診断）の終了

2 メインメニューから **Test System** オプションを選択すると、次のメニューが表示されます。

メモ：コンピュータのデバイスでさらに詳細なチェックを実行する場合は、以下のメニューから **Extended Test** を選択することをお勧めします。

オプション	機能
Express Test	システムデバイスのクイックテストを実行します。このテストは通常 10 〜 20 分かかります。
Extended Test	システムデバイスの完全なチェックを実行します。このテストは通常 1 時間以上かかる可能性があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストしたり、実行するテストをカスタマイズする場合に使用します。
Symptom Tree	問題の症状に基づいたテストを選択することができます。このオプションは、最も一般的な症状を一覧表示します。

3 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を書き留め、323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

メモ：お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の上部にあります。デルにお問い合わせになった際に、テクニカルサポート担当者がサービスタグをお伺いいたします。

4 **Custom Test または Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、適切なタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照）。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、およびさまざまな内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手し、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

5 テストが完了したら、テスト画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了しコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

6 必要に応じて、Dell『Drivers and Utilities』メディアを取り出します。

デルサポートセンター

Dell Support Center（デルサポートセンター）は、お使いのコンピュータにインストールされており、タスクバーの Dell Support Center（デルサポートセンター）アイコン または **Start**（スタート）ボタンから使用できます。

このソフトウェアは自動的にサービスタグ番号、PC モデル番号、エクスプレスサービスコード、保証情報を識別し、ドライバとダウンロード、トレーニング、チュートリアル、およびナレッジベース文書など、お使いのコンピュータのサポートオプションを提供します。また、ライブチャット、電話、および E- メールを含む、デルテクニカルサポートへの問い合わせのためのオプションを示します。

デルサポートセンターへのアクセス

デルサポートセンターは、タスクバーの アイコンまたは **Start**（スタート）メニューからアクセスできます。

メモ：デルサポートセンターが **Start**（スタート）メニューから利用できない場合は、**support.jp.dell.com** からソフトウェアをダウンロードしてください。

デルサポートセンターは、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされています。

タスクバーの アイコンは、アイコンをクリック、ダブルクリック、または右クリックする場合でそれぞれ機能が異なります。

デルサポートセンターアイコンのクリック

アイコンをクリックまたは右クリックして、次の機能にアクセスします。

- デルサポートセンター
- デルサポートセンターの警告
- デルサポートセンターのユーザー設定
- デルサポートセンターの詳細の表示

デルサポートセンターアイコンのダブルクリック

アイコンをダブルクリックすると、ホームページが開き、次の機能にアクセスできます。

- **ヘルプ** — クリックすると、お使いのコンピュータの問題を識別し、解決することができます。
- **デルによるサポート** — クリックすると、コンピュータの問題やオーダーステータスについてデルに問い合わせることができます。

- **警告** — クリックすると、お使いのコンピュータに関するデルからの警告を表示できます。
- **お使いのシステムについて** — クリックすると、お使いのコンピュータの情報およびマニュアルにアクセスできます。
- **ドライバ & ダウンロード** — クリックすると、お使いのコンピュータに適したドライバおよびダウンロードにアクセスできます。
- **Dell Datasafe™ Online Backup**（Dell Datasafe オンラインバックアップ）— クリックすると、お使いのコンピュータ用にデルが提供しているオンラインバックアップおよびリカバリサービスにアクセできます。
- **デルへのお問い合わせ** — クリックすると、デルに問い合わせるための複数のオプションにアクセスできます。
- **フィードバック** — クリックすると、Dell Support Center（デルサポートセンター）に対するフィードバックが表示されます。

問題の解決

バッテリの問題

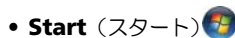
警告：新しいバッテリの取り付け方が間違っていると、破裂する危険があります。バッテリは、同じタイプ、または製造元が推奨する同等タイプのバッテリとのみ交換してください。使用済みのバッテリは、製造元の指示に従って廃棄してください。

警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

バッテリを交換します —コンピュータの電源を入れた後、時間と日付の情報を繰り返し再設定する必要があったり、起動時に間違った時間や日付が表示される場合は、バッテリを交換します（お使いのコンピュータに付属の手順を参照）。それでもバッテリバッテリが正常に機能しない場合は、デルにお問い合わせください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

ドライブの問題

警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているかを確認します —
Windows Vista®

- **Start**（スタート）→ **Computer**（コンピュータ）の順にクリックします。
  ドライブが一覧に表示されない場合は、『サービスマニュアル』を参照するか、デルにお問い合わせください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

Windows® XP の場合

- **スタート** → **マイコンピュータ** の順にクリックします。

ドライブをテストします —

- 元のドライブに欠陥がないことを確認するために、別のディスクを入れます。

ドライブまたはディスクをクリーニングします — 123 ページの「メンテナンスタスク（パフォーマンスの改善およびセキュリティ保護）」を参照してください。

ケーブルの接続を確認します

スピンドルおよび（または）トレイ付きのドライブの場合は、メディアがスピンドルにカチッとはまっているか確認します

スロットローディングタイプのドライブの場合は、メディアが完全にスロットに挿入されているか確認します

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します — お使いのコンピュータのマニュアルおよび 270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照してください。

光学ドライブの問題

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 270 ページの「Windows ハードウェアのトラブルシューティング」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します — 270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照してください。

光学ドライブの問題

メモ：高速光学ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともありますが、ドライブやメディアの異常ではありません。

メモ：国によってリージョンが違ったり、ディスクフォーマットにも各種あるため、DVD ドライブで再生できない DVD もあります。

WINDOWS の音量を調整します —

- 画面右下隅にあるスピーカのアイコンをクリックします。
- スライドバーをクリックして上にドラッグし、音量が上がることを確認します。
- チェックマークの付いたボックスをクリックして、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

スピーカとサブウーハーを確認します — 288 ページの「サウンドとスピーカの問題」を参照してください。

光学ドライブへの書き込みの問題

その他のプログラムを閉じます — 光学ドライブは、データの書き込み中、一定したデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。光学ドライブへの書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してください。

ディスクに書き込む前に、WINDOWS のスタンバイモードをオフにします — 省電力モードについては、135 ページの「電源設定の変更」を参照するか、Windows のヘルプとサポートで「スタンバイ」というキーワードで検索して該当するトピックを参照してください。

ハードディスクドライブの問題

チェックディスクを実行します —

Windows Vista

1 **Start**（スタート） をクリックして、Computer（コンピュータ）をクリックします。
2 **Local Disk C:**（ローカルディスク C:）を右クリックします。
3 **Properties**（プロパティ）→ **Tools**（ツール）→ **Check Now**（チェックする）をクリックします。
   User Account Control（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータのシステム管理者の場合は、**続行** をクリックします。そうでない場合は、目的の操作を続行するためシステム管理者に連絡します。
4 画面の指示に従います。

Windows XP

1 **スタート** をクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
2 **ローカルディスク（C:）** を右クリックします。
3 **プロパティ** → **ツール** → **チェックする** をクリックします。
4 **不良なセクタをスキャンし回復する** をクリックし、**スタート** をクリックします。

E- メール、モデム、およびインターネットの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

メモ：お使いのコンピュータにモデムが取り付けられている場合、モデムをアナログ電話ジャックのみに接続します。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

メモ：ネットワークアダプタコネクタに電話ケーブルを接続しないでください。コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します — E- メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

1 Outlook Express で **Tools**（ツール）→ **Options**（オプション）→ **Security**（セキュリティ）をクリックします。
2 必要に応じて **Do not allow attachments**（添付ファイルを許可しない）をクリックしてチェックマークを外します。

電話線の接続を確認します
電話ジャックを確認します
モデムを壁の電話ジャックに直接接続します
他の電話線を使用してみます —

- 電話回線ケーブルがモデムのジャックに接続されていることを確認します（ジャックには緑色のラベルが付いているか、または隣にコネクタ形のアイコンが付いています）。
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッと感触があることを確認します。

- モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話を使ってモデムを直接壁の電話ジャックに接続します。3 m 以内の電話線を使用します。

コンピュータにモデムが取り付けられている場合は、モデム診断ツールを実行します —

1 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Modem Helper**（モデムヘルパー）または **Modem Diagnostic Tool**（モデム診断ツール）とクリックします。
2 画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します 一部のコンピュータでは、Modem Helper を利用できない場合があります。

モデムが WINDOWS と通信しているか確認します —

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（プリンタとサウンド）→ **Phone and Modem Options**（電話とモデムのオプション）→ **Modem**（モデム）をクリックします。
2 Windows がモデムを検出したか確認するため、COM port for your modem（モデムの COM ポート）→ **Properties**（プロパティ）→ **Diagnostics**（診断）→ **Query Modem**（モデムの照会）をクリックします。

   すべてのコマンドに応答が表示されている場合、モデムに問題はありません。

Windows XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **電話とモデムのオプション** → **モデム** をクリックします。
2 Windows がモデムを検出したか確認するため、モデムの COM ポート → **プロパティ** → **診断** → **モデムの照会** をクリックします。

   すべてのコマンドに応答が表示されている場合、モデムに問題はありません。

インターネットへの接続を確認します — ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が済んでいることを確認します。E- メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の横にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックし、マークを外して、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

エラーメッセージ

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

該当するエラーメッセージの記述がない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

ファイル名には、¥ / : * ? “ < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

必要な .DLL ファイルが見つかりません — 実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。次の操作を行い、プログラムを削除して再インストールします。

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panle**（コントロール パネル）→ **Program**（プログラム）→ **Programs and Features**（プログラムと機能）をクリックします。
2 削除するプログラムを選択します。
3 **Uninstall**（アンインストール）をクリックします。
4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

Windows XP

1 **スタート** → **コントロール パネル** → **プログラムの追加と削除** → **プログラムと機能** をクリックします。
2 削除するプログラムを選択します。
3 **アンインストール** をクリックします。
4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

ドライブ文字 :¥ にアクセスできません。ドライブの準備ができていません — ドライブがディスクを読み取ることができません。ドライブにディスクを入れ、再試行してください。

起動可能なメディアを挿入してください — 起動可能な CD または DVD を挿入します。

メモリまたはリソースが不足しています。プログラムをいくつか閉じてから再試行してください — すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、コンピュータを再起動してコンピュータリソースを復元する必要があります。その場合、使用するプログラムを最初に開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — デルにお問い合わせください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

IEEE 1394 デバイスの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

メモ： お使いのコンピュータがサポートしているのは、IEEE 1394a 規格のみです。

デバイスおよびコンピュータのコネクタに IEEE 1394 デバイスのケーブルが適切に挿入されていることを確認します

セットアップユーティリティで IEEE 1394 デバイスが有効になっていることを確認します —

296 ページの「セットアップユーティリティ画面のオプション操作」を参照してください。

IEEE 1394 デバイスが WINDOWS によって認識されているか確認します —

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）をクリックします。
2 **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。

IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

Windows XP

1 **スタート** [start button] をクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** → **システム** → **システムのプロパティ** → **ハードウェア** → **デバイスマネージャ** とクリックします。

DELL IEEE 1394 デバイスに問題が発生している場合 — デルにお問い合わせください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

デル以外から購入した IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

外付けのキーボードにおけるキーボードの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

キーボードケーブルを確認します —

- キーボードケーブルがコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。
- コンピュータをシャットダウンし（コンピュータに付属のマニュアルを参照）、お使いのコンピュータのセットアップ図で示されているとおりにキーボードのケーブルを再接続してから、コンピュータを再起動します。
- ケーブルに損傷がないか、擦り切れていないか、ケーブルコネクタのピンが曲がったり壊れていたりしないかを確認します。曲がったピンがあれば、まっすぐにします。
- キーボード延長ケーブルがあればそれを外し、キーボードを直接コンピュータに接続します。

キーボードを確認します — 正常に機能している別のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 270 ページの「Windows ハードウェアのトラブルシューティング」を参照してください。

フリーズおよびソフトウェアの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

コンピュータが起動しない

診断ライトを確認します — 263 ページの「デスクトップコンピュータの電源ライト」、264 ページの「デスクトップコンピュータの診断ライト」または 265 ページの「ノートブックコンピュータの診断ライト」を参照してください。

電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

コンピュータが応答しない

注意：オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを再起動します。

プログラムが応答しない

プログラムを終了します —

1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押してタスクマネージャを開きます。
2 **アプリケーション** タブをクリックします。
3 応答しなくなったプログラムをクリックして選択します。
4 **タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返しクラッシュする

メモ：ほとんどのソフトウェアのインストールの手順は、ソフトウェアのマニュアルに記載されているか、CD または DVD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム向けに設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します —

Windows Vista

Windows Vista には、Windows Vista オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Programs**（プログラム）→ **Programs and Features**（プログラムと機能）→ **Use an older program with this version of Windows**（古いプログラムをこのバージョンの Windows で使用）の順にクリックします。
2 プログラム互換性ウィザードの開始 画面で、**Next**（次へ）をクリックします。
3 画面の指示に従います。

Windows XP

Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **プログラム互換性ウィザード** → **次へ** の順にクリックします。
2 画面の指示に従います。
3 画面が青色（ブルースクリーン）になります

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを再起動します。323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- プログラムがお使いのコンピュータにインストールされている OS と互換性があるか確認します。
- お使いのコンピュータがソフトウェアを実行するのに最低限度必要なハードウェア要件を満たしていることを確認します。情報に関しては、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムと競合していないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

ウイルススキャンプログラムを使用して、ハードディスクドライブ、CD、または DVD を調べます

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、スタート メニューからコンピュータをシャットダウンします

メモリの問題

 警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

メモリが不足しているというメッセージが表示される場合 —

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、追加のメモリを取り付けます（コンピュータに付属のマニュアルを参照）。
- メモリモジュールを取り付けなおし（コンピュータに付属のマニュアルを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照）。

メモリにその他の問題がある場合 —

- メモリモジュールを取り付けなおし（コンピュータに付属のマニュアルを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。

- メモリの取り付けのガイドラインに従っているか確認します（コンピュータに付属のマニュアルを参照）。
- 使用するメモリがお使いのコンピュータでサポートされていることを確認します。お使いのコンピュータでサポートされているメモリのタイプに関しては、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照）。

マウスの問題

警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

マウスケーブルを確認します —

- ケーブルに損傷がないか、擦り切れていないか、ケーブルコネクタのピンが曲がったり壊れていたりしないかを確認します。曲がったピンがあれば、まっすぐにします。
- 使用しているマウス延長ケーブルをすべて取り外し、マウスをコンピュータに直接接続します。
- マウスケーブルが、コンピュータに付属のセットアップ図のとおりに接続されていることを確認します。

コンピュータを再起動します —

1. <Ctrl><Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
2. <u> を押し、上下矢印キーを押して **シャットダウン** または **電源を切る** をハイライト表示し、<Enter> を押します。
3. コンピュータの電源を切った後、セットアップ図のとおりにマウスケーブルを接続しなおします。
4. コンピュータの電源を入れます。

マウスを確認します — 正常に機能している別のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。

マウスの設定を確認します —

Windows Vista

1. **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Mouse**（マウス）の順にクリックします。
2. 必要に応じて設定を調整します。

Windows XP

1. **スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **マウス** の順にクリックします。
2. 必要に応じて設定を調整します。

マウスドライバを再インストールします — 77 ページの「メディアドライブのドライバのインストール」を参照してください。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 270 ページの

「Windows ハードウェアのトラブルシューティング」を参照してください。

ネットワークの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

ネットワークケーブルのコネクタを確認します — ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。

コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します — リンク保全ライトが消灯している場合（お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』か 265 ページの「ノートブックコンピュータの診断ライト」を参照）、ネットワークと通信していません。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、ネットワークにログインしなおしてみます

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しくて、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 270 ページの「Windows ハードウェアのトラブルシューティング」を参照してください。

電源の問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

電源ライトが青色に点灯していて、コンピュータの応答が停止した場合 — 263 ページの「デスクトップコンピュータの電源ライト」または 265 ページの「ノートブックコンピュータの診断ライト」を参照してください。

メモ：一部のシステムでは、電源ライトは緑色です。

電源ライトが青色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードになっています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

メモ：一部のシステムでは、電源ライトは緑色です。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントに装着しなおします。
- 電源タップ、電源延長ケーブル、およびその他の電源保護装置を動作状況の明らかな類似製品と交換して、コンピュータへの電源投入が正常に行われることを確認します。
- 使用している電源タップがあれば、電源コンセントに接続され、オンになっていることを確認します。
- 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

- 主電源ケーブルおよび前面パネルのケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照）。

電源ライトが橙色に点滅している場合 — コンピュータに電力は供給されていますが、内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- 電圧切り替えスイッチの設定が、ご使用の地域の AC 電源に一致しているか確認します。
- コンポーネントおよびケーブルがすべて適切に取り付けられ、システム基板にしっかりと接続されているか確認します（お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照）。

電源ライトが橙色に点灯している場合 — デバイスが故障しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。

- プロセッサの電源ケーブルがシステム基板の電源コネクタにしっかりと接続されているか確認します（お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照）。
- メモリモジュールを取り外してから、再度取り付けます（コンピュータに付属のマニュアルを参照してください）。
- グラフィックスカードを含む拡張カードをすべて取り外してから、再度取り付けます（コンピュータに付属のマニュアルを参照）。

電気的な妨害を解消します — 電気的な妨害の原因には、次のものがあります。

- 電源、キーボード、およびマウスの延長ケーブルが使用されている
- 同じ電源タップに接続されているデバイスが多すぎる
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

プリンタの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

メモ：プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源が入っているかどうか確認します

プリンタケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

コンセントをテストします — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

WINDOWS でプリンタを検出します —

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Printers**（プリンタ）の順にクリックします。

2 プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
3 **Properties**（プロパティ）をクリックし、**Ports**（ポート）をクリックします。
4 必要に応じて設定を調整します。

Windows XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **プリンタとその他のハードウェア** の順にクリックします。
2 プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
3 **プロパティ** → **ポート**をクリックします。パラレルプリンタの場合、**印刷するポート**が **LPT1（プリンタポート）**に設定されているか確認します。USB プリンタの場合は、**印刷するポート**が **USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします —プリンタドライバを再インストールする手順については、プリンタのマニュアルを参照してください —

スキャナの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

メモ：スキャナのテクニカルサポートについては、スキャナの製造元にお問い合わせください。

スキャナのマニュアルを確認します — スキャナのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、スキャナのマニュアルを参照してください。

スキャナのロックを解除します — ロックが解除されているか確認します（スキャナにロックタブやボタンがある場合）。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャナを実行してみます

ケーブルの接続を確認します —

- ケーブルの接続については、スキャナのマニュアルを参照してください。
- スキャナのケーブルがスキャナとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

MICROSOFT WINDOWS がスキャナを認識しているか確認します —

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Scanners and Cameras**（スキャナとカメラ）の順にクリックします。
2 お使いのスキャナが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナを認識しています。

Windows XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハード** → **スキャナとカメラ** の順にクリックします。
2 お使いのスキャナが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナを認識しています。

スキャナドライバを再インストールします — 手順については、スキャナのマニュアルを参照してください。

サウンドとスピーカの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

スピーカから音が出ない

メモ：MP3 およびその他のメディアプレーヤーのボリューム調節が Windows のボリューム設定より優先されることがあります。メディアプレーヤーのボリュームが低く調節されていたり、オフになっていないかを常に確認してください。

スピーカケーブルの接続を確認します — スピーカスピーカのセットアップ図の指示通りにスピーカが接続されているか確認してください。サウンドカードをご購入された場合、スピーカがカードに接続されているか確認します。

サブウーハーおよびスピーカの電源が入っているか確認します — スピーカに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

WINDOWS の音量を調整します — 画面右下隅にあるスピーカのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — コンピュータの前面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカからの音声は聞こえなくなります。

コンセントをテストします — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

電気的な妨害を解消します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切ってみます。

スピーカの診断プログラムを実行します

サウンドドライバを再インストールします — 77 ページの「メディアドライブのドライバのインストール」を参照してください。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 270 ページの「Windows ハードウェアのトラブルシューティング」を参照してください。

ヘッドフォンから音が出ない

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（コンピュータに付属のマニュアルを参照）。

WINDOWS の音量を調整します — 画面右下隅にあるスピーカのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

ノートブックコンピュータのタッチパッドまたはマウスの問題

タッチパッドの設定を確認します —

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Printers and Otner Hardware**（プリンタとその他のハードウェア）→ **Mouse**（マウス）をクリックします。
2 設定を調整してみます。

マウスケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —

1 コンピュータをシャットダウンします。
2 マウスを外します。
3 コンピュータの電源を入れます。
4 Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。

   タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性があります。

セットアップユーティリティの設定をチェックします — セットアップユーティリティで、ポインティングデバイスオプションに正しいデバイスが表示されていることを確認します。（コンピュータは設定を調整しなくても自動的に USB マウスを認識します。）セットアップユーティリティの使い方については、295 ページの「セットアップユーティリティ」を参照してください。

マウスコントローラをテストします — マウスコントローラ（ポインタの動きに影響します）およびタッチパッドまたはマウスボタンの動作を確認するには、Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Pointing Devices** テストグループの **Mouse** テストを実行します（270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照）。

タッチパッドドライバを再インストールします — 77 ページの「メディアドライブのドライバのインストール」を参照してください。

ビデオおよびモニターの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

注意 : 工場出荷時に PCI グラフィックカードが取り付けられていた場合は、追加のグラフィックカードを取り付ける際にそのカードを取り外す必要はありません。そのカードはトラブルシューティングの際に必要になります。カードを取り外した場合は、安全な場所に保管してください。グラフィックカードの詳細については、**support.jp.dell.com** にアクセスしてください。

画面に何も表示されない

 メモ：トラブルシューティングの手順については、モニタのマニュアルを参照してください。

画面が見づらい

モニタのケーブル接続を確認します —

- モニタケーブルが正しいグラフィックカードに接続されていることを確認します（デュアルグラフィックカード構成の場合）。
- オプションの DVI-VGA アダプタを使用している場合は、アダプタがグラフィックカードとモニタに正しく接続されていることを確認します。
- モニタケーブルが、コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように接続されていることを確認します。
- ビデオ延長ケーブルがあればそれを外し、モニタを直接コンピュータに接続します。
- コンピュータおよびモニタの電源ケーブルを交換して、モニタの電源ケーブルに問題がないか確認します。
- コネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか確認します。モニタのケーブルコネクタは一部欠けていますが、これは破損ではありません。

モニタの電源ライトを確認します —

- 電源ライトが点灯または点滅している場合、モニタには電力が供給されています。
- 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかり押して、モニタの電源が入っているか確認します。
- 電源ライトが点滅している場合、キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたりすると、通常の動作が再開されます。

コンセントをテストします — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

診断ライトを確認します — 263 ページの「デスクトップコンピュータの電源ライト」を参照してください。

モニタの設定を確認します — モニタのコントラストと輝度の調整、モニタの消磁、およびモニタのセルフテストを実行する手順については、モニタのマニュアルを参照してください。

サブウーハーをモニタから離します — スピーカシステムにサブウーハーが含まれている場合は、サブウーハーがモニタから 60 cm 以上離れていることを確認します。

外部電源をモニタから離します — 扇風機、蛍光灯、ハロゲンライト、およびその他の電化製品によって画面が「ぶれる」ことがあります。近くのデバイスの電源を切って干渉が発生しているか調べます。

モニターを回転させ、直射日光や干渉を減らします

WINDOWS の画面設定を調整します —

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Personalization**（個人設定）→ **Display Settings**（表示設定）の順にクリックします。

2 必要に応じて **Resolution**（解像度）および **Color settings**（色の設定）を調整します。

3 3D イメージの品質が良くない場合

Windows XP

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **デスクトップの表示とテーマ** の順にクリックします。

2 実行するタスクを選択するか、**ディスプレイ** アイコンをクリックします。

3 **画面の色** および **画面の解像度** を別の設定にしてみます。

グラフィックカードの電源ケーブルの接続を確認します — グラフィックカードの電源ケーブルがカードに正しく接続されていることを確認します。

モニタの設定を確認します — モニタのコントラストと輝度の調整、モニタの消磁、およびモニタのセルフテストを実行する手順については、モニタのマニュアルを参照してください。

画面の一部しか表示されない

外付けモニタを接続します —

1 コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。

2 コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニタが動作する場合、コンピュータのモニタまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください（323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

電源ライト

警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

コンピュータの前面にある電源ボタンライトは、点滅したり点灯することで以下のさまざまな動作状態を示します。

- 電源ライトが青色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合は、263 ページの「デスクトップコンピュータの電源ライト」を参照してください。

メモ：一部のシステムでは、電源ライトは緑色です。

- 電源ライトが青色に点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

メモ : 一部のシステムでは、電源ライトは緑色です。

- 電源ライトが消灯している場合は、コンピュータの電源が切れているか、電力が供給されていません。
  - 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。
  - コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続されていて電源が入っていることを確認します。
  - 電源保護デバイス、電源タップ、および電源延長ケーブルを動作状況の明らかな類似製品と交換し、コンピュータへの電源投入が正常に行われることを確認します。
  - 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。
  - 主電源ケーブルおよび前面パネルのケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照）。
- 電源ライトが橙色に点灯している場合は、コンピュータに電力は供給されているが、内部電力に問題がある可能性があります。
  - 該当する場合、電圧切り替えスイッチの設定が、ご使用の地域の AC 電源に一致しているか確認します。
  - プロセッサの電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照）。
- 電源ライトが橙色に点灯している場合は、デバイスが誤動作しているか正しく取り付けられていない可能性があります。
  - メモリモジュールを取り外し、再度取り付けます（コンピュータに付属のマニュアルを参照してください）。
  - すべてのカードを取り外し、再度取り付けます（コンピュータのマニュアルを参照）。
- 電気的な妨害を解消します。電気的な妨害の原因には、次のものがあります。
  - 電源、キーボード、およびマウスの延長ケーブルが使用されている
  - 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
  - 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

デルテクニカルアップデートサービス

Dell テクニカル Update Service は、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E- メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知を受け取る頻度をカスタマイズすることができます。

Dell テクニカル Update Service に登録するには、**support.dell.com¥technicalupdate**（英語）にアクセスしてください。

21

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティを使用したシステム設定の表示

セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。

External Hot Key（外部ホットキー）オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。

詳細情報：オペレーティングシステムの機能（システム設定）を設定する方法の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）または → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）を参照してください。

セットアップユーティリティを使用すると、以下の操作を行うことができます。

- お使いのコンピュータにハードウェアの追加、変更、または取り外しを行った後のシステム設定情報の変更
- パスワードなどのユーザーが選択できるオプションの設定や変更
- システムメモリ容量など、コンピュータの現在の設定についての情報の確認

セットアップユーティリティを実行して、システム設定情報およびオプション設定を確認してください。その後の参照のために、情報を書き留めます。

メモ：熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティの起動

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。
3. ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

セットアップユーティリティ画面のオプション操作

詳細情報：セットアップユーティリティ画面上の特定のアイテムの詳細に関しては、そのアイテムをハイライト表示して、画面の **Help**（ヘルプ）領域を参照してください。

各画面では、セットアップユーティリティのオプションが左側に一覧表示されます。各オプションの右側には、そのオプションの設定状態または値が表示されます。

画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できないオプションまたは値は、明るさを抑えた色で表示されています。

画面の右上角には、現在ハイライト表示されているオプションのヘルプ情報が表示されます。画面の右下角には、コンピュータについての情報が表示されます。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動（スタートアップ）設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードディスクドライブのパスワード設定

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

メモ：一回のみ起動順序を変更するには、297 ページの「一回のみの起動の実行」を参照してください。

Boot Order ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの全般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Internal HDD**
- **USB Storage Device**

- **CD/DVD/CD-RW drive**
- **Modular Bay HDD**

 メモ：前に番号が付いているデバイスだけが起動可能です。

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示し）ます。これでデバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

1. セットアップユーティリティを起動します。
2. 左右矢印キーを押して、**Boot tab** をハイライト表示します。
3. 上下矢印キーを押して、**Boot Device Property** をハイライト表示してから、<Enter> を押します。
4. 上下矢印キーを押して、変更する起動デバイスを選択してから、<Enter> を押します。
5. <F10> を押してから、<Enter> を押し、セットアップユーティリティを終了して、起動プロセスを再開します。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回のみの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。

1. **Start**（スタート）メニューから、コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータの電源を入れます。DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   キーを押すタイミングが遅れて Windows のロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。
3. 起動デバイス一覧が表示された場合は、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter> を押します。

   コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

USB デバイスの起動順序の変更

1. USB デバイスを USB コネクタに接続します。
2. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
3. 画面の右上角に `F2 = Setup, F12 = Boot Menu` と表示されたら、<F12> を押します。

キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

4 使用可能な起動デバイスをすべて一覧表示した、**Boot Menu** が表示されます。

5 矢印キーを使用して、適切なデバイスを選択します（現在の起動用のみ）。

メモ：USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能でなければなりません。デバイスが起動可能であるかを確認するには、デバイスのマニュアルをチェックしてください。

BIOS 設定の変更

BIOS とは、コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。BIOS 設定は、特定のハードウェアを交換するとアップデートが必要になる場合があります。

セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。詳細に関しては、295 ページの「セットアップユーティリティを使用したシステム設定の表示」を参照してください。

メモ：設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

BIOS 設定の表示

1 **Start**（スタート）ボタンをクリックして、**All Programs**（すべてのプログラム）を選択し、**System Information**（システム情報）を開きます。

2 **Accessories**（アクセサリ）→ **System Tools**（システムツール）→ **System Information**（システム情報）とクリックします。

3 **System Summary**（システムの概要）で、**BIOS Version/Date**（BIOS バージョン / 日付）の項目を確認します。

この **BIOS Version/Date**（BIOS バージョン / 日付）の項目では、BIOS のバージョンと日付が表示されます。

BIOS のアップグレード（BIOS のフラッシュ）

BIOS は、アップデートが利用可能な場合やシステム基板を交換する場合にフラッシュを行う必要があります。

メモ：BIOS のアップデートがお使いのシステムに適用されるかどうかについては、BIOS のアップデートについての詳細を参照することをお勧めします。アップデートの中には、特定の設定にだけ影響を与えたり、お使いの環境に適用される（されない）新しい機能を提供する変更が含まれます。

1 コンピュータの電源を入れます。
2 お使いのコンピュータの BIOS アップデートファイルをデルサポートサイト **support.jp.dell.com** で検索してください。
3 **Download Now**（今すぐダウンロード）をクリックしてファイルをダウンロードします。
4 **Export Compliance Disclaimer**（輸出に関するコンプライアンスの免責事項）ウィンドウが表示されたら、**Yes, I Accept this Agreement**（同意します）をクリックします。

   File Download（ファイルのダウンロード）ウィンドウが表示されます。
5 **Save this program to disk**（このプログラムをディスクに保存します）をクリックし、**OK** をクリックします。

   Save In（保存先）ウィンドウが表示されます。
6 下矢印をクリックして **Save In**（保存先）メニューを表示し、**Desktop**（デスクトップ）を選択して **Save**（保存）をクリックします。

   ファイルがデスクトップにダウンロードされます。
7 **Download Complete**（ダウンロードの完了）ウィンドウが表示されたら、**Close**（閉じる）をクリックします。

   デスクトップにファイルのアイコンが表示され、ダウンロードした BIOS アップデートファイルと同じ名前が付いています。
8 デスクトップ上のファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

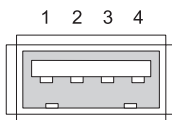
22

ポート

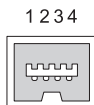
USB ポート

ユニバーサルシリアルバス（USB）は外付けバスの標準であり、USB 2.0 の場合 480 Mbps のデータ転送速度をサポートします。USB を利用することにより、1 つの標準化された方法で多数のデバイスをコンピュータに接続できます。また、USB は プラグアンドプレイ のインストールと ホットスワップ にも対応しています。

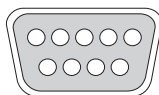
USB 標準では **A** コネクタと **B** コネクタを使用して混乱を回避します。

- コネクタ **A** はコンピュータへの アップストリーム コネクタです。
- コネクタ **B** は、個々のデバイスに接続する ダウンストリーム コネクタです。

ピン	信号
1	USB5V+
2	USBP–
3	USBP+
4	GND

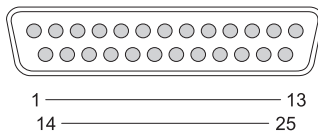
IEEE 1394 ポート

USB と同様に、IEEE 1394 はシリアルデータ転送プロトコルであり、ホットスワップをサポートしています。USB 2.0 テクノロジがサポートする速度が最大 480 Mbps であるのに対し、IEEE 1394b は最大 800 Mbps の速度をサポートします。IEEE 1394 は、デジタルビデオカメラや外付けハードディスクドライブの接続など、高帯域幅のアプリケーションに適しています。

ピン	信号
1	TPB–
2	TPB+
3	TPA–
4	TPA+

RS232 シリアルポート

シリアルポートは、一度に 1 ビットのデータが行き来するシリアル通信の物理インタフェースです。シリアルポートは通常、RS-232 標準準拠のハードウェアで使用されます。シリアルポートを一般に使用するデバイスには、ダイヤルアップモデム、プリンタ、およびシリアルマウスなどがあります。

ピン	信号
1	CD
2	RD
3	TD
4	DTR
5	SG
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	RI

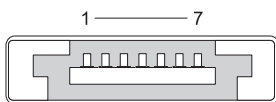
パラレルポート

パラレルポートは、一度に 8 ビットのデータ（1 バイト）が行き来するパラレル通信の物理インタフェースです。シリアルポートでは同じ 8 ビットがシリアル（すべて 1 行で）送信されるのに対し、パラレルポート経由の 8 ビットは互いに平行して送信されます。パラレルポートは、プリンタポートまたはセントロニクスポートとも呼ばれ、一般にプリンタの接続に使用されます。

ピン	信号	ピン	信号
1	/STROBE	14	/AUTOFD
2	D0	15	/ERROR
3	D1	16	/INIT
4	D2	17	/SELIN
5	D3	18	GND
6	D4	19	GND
7	D5	20	GND
8	D6	21	GND
9	D7	22	GND
10	/ACK	23	GND
11	BUSY	24	GND
12	PE	25	GND
13	SEL		

eSATA ポート

Serial Advanced Technology Attachment（SATA）は、主にコンピュータと、ハードディスクドライブや光学ドライブなどの大容量ストレージデバイスとの間のデータ送信用に設計されたコンピュータバスです。

外付けの SATA または eSATA のユーザーは、PC の外部に最長 2 メートルのシールド付きケーブルを利用して、ストレージに SATA インタフェースの利点を活かすことができます。eSATA は、既存のソリューションよりも高いパフォーマンス（既存のストレージソリューションの USB 2.0 や 1394 の最大 6 倍の速さ）を実現し、ホットプラグにも対応します。

eSATA は一般に、ノートブック、デスクトップ、家電製品、およびエントリサーバー用の外付けのダイレクトアタッチドストレージに使用されます。

ピン	信号
1	GND
2	DR+
3	DR-
4	GND
5	DT+
6	DT-
7	GND

モデム

モデムポートは、内蔵モデムを電話回線に接続します。モデムを使用し、電話回線でインターネットサービスプロバイダ（ISP）にデータコールを送ることで、コンピュータをインターネットに接続します。

通常、2 つのモデムポートが横並びに装備されています。line（回線）というマーク（または回線記号）が付いたポートは、電話回線コネクタに接続します。phone（電話）というマーク（または電話記号）が付いたポートは、同じコネクタで電話を使用したい場合にオプションで電話の送受器に接続できます。

コンピュータにモデムが内蔵されていない場合、これらのポートはありません。また、イーサネットポートが装備されている場合もあります。詳細は、307 ページの「イーサネットポート」を参照してください。イーサネットポートはモデムポートに似ていますが、幅が広くなっています。

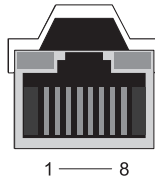
ピン	信号
1	R-
2	T+

イーサネットポート

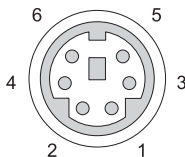
イーサネットポートでは、ネットワーキングや高速インターネット接続にツイストペア導体を使用します。

このポートにつないだケーブルは、ネットワークハブ（多数のネットワークケーブルを同時に配線できる中継ボックス）に接続することも、ケーブルモデムや DSL モデムに直接接続することも、またはコンピュータ間で高速インターネット接続を共有するインターネットゲートウェイに接続することもできます。

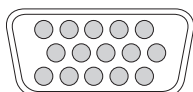
コンピュータ内のネットワークカードがサポートする速度によって、データはイーサネットポートを経由して 10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps の速度で移動します。使用中は、次のようにデバイスのライトが点滅します。

ACT ライトは、データがネットワークを介してポート上を行き来するときに点滅します。10 または 100 というライトはデータ速度を示します。10 は 1 秒当たり 10 メガビットのデータがネットワーク上を移動することを示し、100 は 1 秒当たり 100 メガビットのデータが移動することを示します。

ピン	イーサネット 10/100 Base -T 信号	ピン	ギガビットイーサネット信号
1	送信 +	1	送信 / 受信 0 +
2	送信	2	送信 / 受信 0 –
3	受信 +	3	送信 / 受信 1 +
4	NU	4	送信 / 受信 2 +
5	NU	5	送信 / 受信 2 –
6	受信 –	6	送信 / 受信 1 –
7	NU	7	送信 / 受信 3 +
8	NU	8	送信 / 受信 3 –

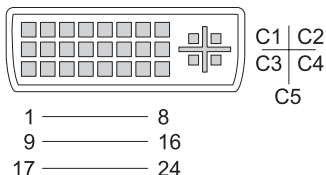
キーボードおよびマウスポート（PS2）

IBM が 1987 年に発表した PS/2 標準は、Personal System/2 の略です。PS/2 ポートは一般に、キーボードまたはマウスの接続に使用します。

ピン	信号
1	キーボード / マウスデータ
2	（予約済み）
3	アース
4	キーボード / マウス電源（+5 V）
5	キーボード / マウスクロック
6	（予約済み）

VGA ポート

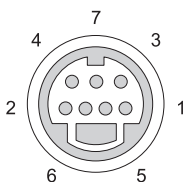
ビデオグラフィックアレイ（VGA）ポートは、デバイス固有のドライバがコンピュータにロードされる前に、基本的なグラフィックハードウェアをサポートします。

ピン	信号	ピン	信号
1	RED ビデオ	9	DDC 5V+
2	GREEN ビデオ	10	SYNC GND
3	BLUE ビデオ	11	MONITOR_DETECT–
4	NC	12	DDC_DATA（SDA）
5	GND	13	水平 SYNC
6	RED ビデオ GND	14	垂直 SYNC
7	GREEN ビデオ GND	15	DDC_CLK（SCL）
8	BLUE ビデオ GND		

DVI-I ポート

Digital Video Interface-Integrated（DVI-I）ポートは、アナログ信号とデジタル信号を 1 本のケーブルでサポートします。ケーブルは、デジタルからデジタルへ、またはアナログからアナログへ信号を送信できますが、デジタルからアナログやアナログからデジタルのように交差させて送信することはできません。ビデオカードに DVI-I ポートがある場合は、別個のアダプタを使用せずに、最大数の Digital Video Interface-Digital（DVI-D）または Digital Video Interface-Analogue（DVI-A）デバイスを接続できます。

ピン	信号	ピン	信号
1	TMDS DATA2–	13	TMDS DATA3+
2	TMDS DATA2+	14	+5V
3	TMDS DATA2/4 SHLD	15	GND (FOR +5V)
4	TMDS DATA4–	16	HOT PLUG DETECT
5	TMDS DATA4+	17	TMDS DATA0–
6	DDC CLK	18	TMDS DATA0+
7	DDC DATA	19	TMDS DATA0/5 SHLD
8	ANALOG VERT SYNC	20	TMDS DATA5–
9	TMDS DATA1–	21	TMDS DATA5+
10	TMDS DATA1+	22	TMDS CLK SHLD
11	TMDS DATA1/3 SHLD	23	TMDS CLK+
12	TMDS DATA3–	24	TMDS CLK–

S ビデオ TV 出力ポート

Y/C とも呼ばれるスーパービデオ（S ビデオ）は、LUMA（輝度）と CHROMA（色相）の 2 つの信号としてビデオデータを伝送するアナログビデオ信号です。S ビデオは標準精細のビデオをサポートしますが、同じケーブルでオーディオは伝送しません。クリーンな DVD ソースを使用すると、S ビデオは鮮明なイメージを提供します。S ビデオは一般に、消費者用のテレビ、DVD プレーヤー、高性能のビデオカセットレコーダ、デジタルテレビレシーバ、DVR、およびゲームコンソールに接続します。

コンポジットビデオは単一信号として（低品質の）ピクチャ情報を伝送します。

S ビデオ

ピン	信号
1	GND
2	GND
3	LUMA
4	CHROMA

コンポジットビデオ

ピン	信号
5	GND
6	CVBS
7	NC

コンポーネントビデオ

コンポーネントビデオは、3 つの信号で構成されます。

1 つ目は輝度信号で、元の RGB（赤緑青）信号に含まれる輝度または白黒情報を示します。この信号を Y コンポーネントといいます。

その他の信号は色差信号と呼ばれ、輝度に対する青と赤の信号の量を示します。青コンポーネントは Y-B、赤コンポーネントは Y-R です。緑は、Y、Y-B、および Y-R の組み合わせから推測できるので、別個の信号としては送信されません。

コンポーネントビデオ入力は、最新のハイエンドテレビセットや DVD プレーヤーで利用でき、RF や コンポジットなどの初期のシステムよりすぐれた信号品質を可能にします。

ピン	信号
赤色	Y-R（Pr）
点灯している場合	Y-B（Pb）
緑色	Y

コンポジットビデオ

コンポジットビデオは、アナログビデオ信号を送受信するためのインタフェースです。このビデオは LUMA（輝度）、CHROMA（色相）、および SYNC（同期）（すべて合わせて Composite Video Blanking and Sync（CVBS）と呼びます）の複数の信号で構成されます。LUMA は写真の輝度を表し、同期（SYNC）パルスを含みます。CHROMA は、色の情報を伝送します。

コンポジットビデオインタフェースは通常、VHS テーププレーヤー、DVD プレーヤー、またはゲームコンソールをテレビに接続します。

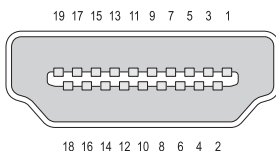
コンポジットビデオ

ピン	信号
1	GND
2	CVBS

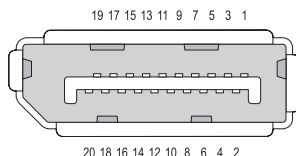
HDMI ポート

High-Definition Multimedia Interface（HDMI）ポートは、非圧縮のデジタルストリームを送信するためのコンパクトオーディオ / ビデオインタフェースです。

HDMI は、1 本のケーブルで標準、拡張、および高精細ビデオなどの PC またはテレビビデオ形式と、最大 8 チャネルのデジタルオーディオをサポートします。HDMI は、各種のデジタルテレビ標準とは無関係です。

HDMI は Blu-ray Disc プレーヤー、セットトップボックス、パーソナルコンピュータ、およびビデオゲームコンソールなどのデジタルオーディオ / ビデオソースを互換性のあるデジタルオーディオデバイス、コンピュータモニタ、およびデジタルテレビに接続します。

ピン	信号	ピン	信号
1	TMDS データ 2+	11	TMDS クロックシールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロック –
3	TMDS データ 2–	13	CEC
4	TMDS データ 1+	14	予約済み（ デバイス上で非接続）
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1–	16	SDA
7	TMDS データ 0+	17	DDC/CEC グランド
8	TMDS データ 0 シールド	18	+5 V 電源（最大 50 mA）
9	TMDS データ 0–	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック +		

DisplayPort™

DisplayPort は、Video Electronics Standards Association（VESA）が発表したデジタルディスプレイのインタフェース標準です。DisplayPort はライセンスや使用料の不要な新しいデジタルオーディオ / ビデオ相互接続を定義するもので、主にコンピュータとディスプレイモニタ、またはコンピュータとホームシアターシステムとの間で使用することを目的としています。詳細に関しては、53 ページの「DisplayPort™ - 機能および利点」を参照してください。

ピン	信号	ピン	信号
1	ML_Lane 0（p）	11	GND
2	GND	12	ML_Lane 3（n）
3	ML_Lane 0（n）	13	GND
4	ML_Lane 1（p）	14	GND
5	GND	15	AUX_CH（p）
6	ML_Lane 1（n）	16	GND
7	ML_Lane 2（p）	17	AUX_CH（n）
8	GND	18	ホットプラグ
9	ML_Lane 2（n）	19	DP_PWR リターン
10	ML_Lane 3（p）	20	DP_PWR

S/PDIF ポート（同軸 RCA）

Sony/**P**hilips **D**igital **I**nterconnect **F**ormat（S/PDIF）は、CD および DVD プレーヤーからアンプおよびテレビへデジタルオーディオを送信するためのシリアルインタフェースです。

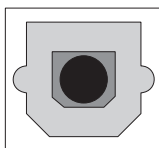
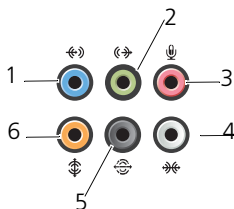
S/PDIF では、同軸 RCA コネクタ付きで最大 10 メートルの不平衡型 75 オームの同軸ケーブル、または終端が Toslink（東芝リンク）コネクタの光ファイバを使用します。

メモ：光または同軸の S/PDIF コネクタを介して送信される信号に違いはありません。両方ともまったく同じ情報を伝送します。

S/PDIF は一般に、PCM および Dolby Digital 5.1 の送信に使用されますが、いずれのサンプリングレートおよびオーディオ標準にも制限されていません。

S/PDIF ポート（Toslink）

Toslink は通常、S/PDIF の光学バージョンを表します。

メモ：光または同軸の S/PDIF コネクタを介して送信される信号に違いはありません。両方ともまったく同じ情報を伝送します。

オーディオポート

ポート	信号	接続
1	ライン入力コネクタ	ライン入力コネクタ（青色）には、カセットプレーヤー、CD プレーヤー、VCR（ビデオカセットレコーダー）などの録音 / 再生デバイスを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
2	ライン出力 / ヘッドフォンコネクタ	ライン出力コネクタ（緑色）には、ヘッドフォンおよびアンプ内蔵型スピーカを接続します。
3	マイク用コネクタ	マイクコネクタ（ピンク色）にパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。
4	サイドサラウンドサウンドコネクタ	サイドサラウンドコネクタ（銀色）には、追加のスピーカを取り付けます。
5	リアサラウンド出力	サラウンドサウンドコネクタ（黒色）には、マルチチャネル対応スピーカを接続します。
6	中央 /LFE サラウンド出力	サブウーハーコネクタ（橙色）には、シングルサブウーハーを接続します。

メモ：デジタルサラウンドサウンドオーディオ機構にある LFE（低周波エフェクト）オーディオチャネルは、80 Hz 以下の低周波情報のみを伝達します。LFE チャネルはサブウーハーを駆動し、極めて低い音域を拡張します。サブウーハーを使用しないシステムの場合は、サラウンドサウンドのセットアップで LFE の情報をメインスピーカに切り替えることができます。

23

困ったときは

テクニカルサポートを受けるには

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意を参照してください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

コンピュータに問題が発生した場合は、以下の手順でその不具合を診断し、問題解決します。

1 コンピュータで発生している問題に関する情報および手順については、261 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。

2 Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照）。

3 322 ページの「Diagnostics（診断）チェックリスト」に必要事項を記入してください。このチェックリストを使用すると、お使いのコンピュータのトラブルシューティングを行う際にデルサポートの担当者が必要とする情報を整理できます。

4 インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）をご覧ください。デルサポートオンラインサービスおよび機能についてのより詳細な一覧は、319 ページの「オンラインサービス」を参照してください。

5 これまでの手順で問題が解決されない場合、323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

メモ：デルサポートへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。サポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。エクスプレスサービスコードをお持ちでない場合は、**Dell Accessories** フォルダを開き、**エクスプレスサービスコード**アイコンをダブルクリックします。その後は、表示される指示に従ってください。

デルサポートの利用方法については、318 ページの「テクニカルサポートとカスタマーサービス」を参照してください。

デルサポートサービス

メモ：これらのサービスはアメリカ合衆国以外の地域では利用できない場合があります。サービスが利用可能かどうかに関しては、最寄りのデル担当者へお問い合わせください。

テクニカルサポートとカスタマーサービス

Dell™ ハードウェアに関するお問い合わせは、デルのテクニカルサポートをご利用ください。サポートスタッフは、特別な診断ユーティリティを使用して、正確な回答を迅速に提供します。

デルのテクニカルサポートへお問い合わせになるときは、まず 321 ページの「お問い合わせになる前に」を参照し、次に、お住まいの地域の連絡先を参照するか、**support.jp.dell.com** をご覧ください。

DellConnect™

DellConnect は簡単なオンラインアクセスツールで、このツールの使用により、デルのサービスおよびサポートは、お客様の監視の下でブロードバンド接続を通じてコンピュータにアクセスし、問題の診断と修復を行うことができるようになります。詳細については、**support.jp.dell.com** にアクセスし、**DellConnect** をクリックしてください。

オンラインサービス

Dell 製品およびサービスについては、次のウェブサイトをご覧ください。

www.dell.com

www.dell.com/ap（アジア / 太平洋諸国のみ）

www.dell.com/jp（日本）

www.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）

www.dell.com/la（ラテンアメリカおよびカリブ海諸国）

www.dell.ca（カナダのみ）

デルサポートへのアクセスには、次の Web サイトおよび E- メールアドレスをご利用ください。

- **デルサポートサイト**
  support.dell.com

  support.jp.dell.com（日本のみ）

  support.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）
- **デルサポートの E- メールアドレス**
  mobile_support@us.dell.com

  support@us.dell.com

  la-techsupport@dell.com（ラテンアメリカおよびカリブ海諸国）

  apsupport@dell.com（アジア / 太平洋諸国）
- **匿名ファイル転送プロトコル**（匿名 FTP）
  ftp.dell.com

  Log in as user: `anonymous`。パスワードには E- メールアドレスを入力してください。

24 時間納期案内電話サービス

注文したデル製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、24 時間納期案内電話サービスにお問い合わせください。音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。電話番号については、323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題がある場合は、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。お住まいの地域の電話番号については、323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

製品情報

デルのその他の製品に関する情報や、ご注文に関しては、デルウェブサイト **www.dell.com** をご覧ください。お住まいの地域または販売担当者の電話番号については、323 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

Dell の保証情報に関しては、「サービス & サポートのご案内」を参照してください。

1 納品書のコピーと返品理由を記入した書面を同梱してください。
2 実行したテストと Dell Diagnostics（診断）プログラム（270 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行」を参照）から出力されたエラーメッセージを記入した Diagnostics（診断）チェックリスト（322 ページの「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）のコピーを同梱してください。
3 クレジットで返品する場合には、返品される品目とともにすべてのアクセサリ（電源ケーブル、ソフトウェア、マニュアル等々）を含みます。
4 返却品一式を出荷時のシステム梱包箱か同等の箱に梱包してください。

販売店で購入された場合

販売店で購入したシステムには、その販売店の返品ポリシーが適用されます。

お問い合わせになる前に

メモ：お電話の際は、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードを利用すると、デルのオートテレフォンシステムによって、より迅速にサポートが受けられます。また、お客様のサービスタグをお尋ねする場合もございます（通常コンピュータの底部または背面にあります）。

診断チェックリストに前もってご記入ください（322 ページの「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからのコマンドの入力や、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意を参照してください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ（www.dell.com¥regulatory_compliance）をご覧ください。

Diagnostics（診断）チェックリスト

名前：

日付：

住所：

電話番号：

サービスタグ（コンピュータの底部または背面にあるバーコード）：

エクスプレスサービスコード：

返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）：

オペレーティングシステムとバージョン：

周辺機器：

拡張カード：

ネットワークに接続されていますか ? はい　いいえ

ネットワーク、バージョン、ネットワークアダプタ：

プログラムとバージョン：

オペレーティングシステムのマニュアルを参照して、システムの起動ファイルの内容を確認してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。

エラーメッセージ、ビープコード、または Diagnostics（診断）コード：

問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

デルへのお問い合わせ

米国にお住まいの方は、800-WWW-DELL（800-999-3355）までお電話ください。

メモ：インターネット接続の環境にない場合は、納品書、出荷伝票、請求書、または Dell 製品カタログに記載されている連絡先をご利用ください。

デルでは、複数のオンラインと、電話ベースのサポートおよびサービスオプションを用意しています。利用できる手段は国や製品により異なる場合があります。また地域によっては一部のサービスが受けられない場合もあります。セールス、テクニカルサポート、カスタマーサービスへのお問い合わせは、次の手順を実行してください。

1 **support.jp.dell.com** へアクセスします。
2 ページの下にある **Choose A Country/Region**（国 / 地域の選択）ドロップダウンメニューで、お住まいの国 / 地域を確認します。
3 ページの左側にある **Contact Us**（お問い合わせ）をクリックします。
4 目的のサービスまたはサポートを選択します。
5 ご自身に最適なデルへの問い合わせ方法を選んでください。

用語集

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current（交流）コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと供給される電気の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

AHCI — Advanced Host Controller Interface — SATA ハードディスクドライブホストコントローラのインタフェースです。ストレージドライバは、これによってネイティブコマンドキューイング（NCQ）やホットプラグのようなテクノロジを有効にできます。

ALS — 環境照明センサー — ディスプレイの輝度を調整する機能です。

ASF — alert standards format — 管理コンソールにハードウェアとソフトウェアの警告を報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるよう設計されています。

B

BIOS — basic input/output system （基本入出力システム）コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つプログラム（またはユーティリティ）です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。セットアップユーティリティとも呼ばれます。

Bit — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジ — 短距離（9 メートル）内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

bps — bits per second （ビット / 秒）データの転送速度を計測する標準単位です。

BTU — British thermal unit （英国熱量単位）発熱量の単位です。

C

C — 摂氏（Celsius）温度の測定単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。

CD-RW ドライブ — CD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW/DVD ドライブ — 「コンボドライブ」とも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

COA — Certificate of Authenticity（実物証明書）お使いのコンピュータのラベルに記載されている Windows の英数文字のコードです。Product Key（プロダクトキー）や Product ID（プロダクト ID）とも呼ばれます。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module（連続式 RIMM）メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM（ダブルデータ速度 SDRAM）データバーストサイクルを 2 倍にする SDRAM の一種です。システムの性能が向上します。

DDR2 SDRAM — double-data-rate 2 SDRAM（ダブルデータ速度 2 SDRAM）— 4 ビットプリフェッチおよびその他のアーキテクチャ上の変更により、メモリ速度を 400 MHｚ 以上にしたタイプの DDR SDRAM。

DIMM — dual in-line memory module — システム基板のメモリモジュールに接続されるメモリチップを搭載した回路基板です。

DIN コネクタ — 丸い 6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は PS/2 キーボードやマウスケーブルのコネクタに使用されます。

DMA — direct memory access — DMA チャネルを使うと、RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

DisplayPort — デジタルディスプレイに使用される Video Electronics Standards Association（VESA）のインタフェース標準です。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理標準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM — dynamic random-access memory — コンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line — アナログ電話回線を介して、安定した高速インターネット接続を提供するテクノロジです。

DVD-R — DVD recordable — 書き込み可能な DVD です。DVD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。(DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジとは異なります。）

DVD+RW ドライブ — DVD とほとんどの CD メディアを読み取ることができるドライブです。DVD+RW ディスクに書き込むこともできます。

DVI — digital video interface（デジタルビデオインタフェース）コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル転送用の標準です。

E

ECC — error checking and correction（エラーチェックおよび訂正）— メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取る際に、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタの拡張仕様の 1 つです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードディスクドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

EMI — electromagnetic interference（電磁波障害）電磁放射線が原因で起こる電気障害です。

EPP — enhanced parallel port — 双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタの仕様の 1 つです。

ESD — electrostatic discharge（静電気障害）静電気の急激な放出のことです。ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

ExpressCard — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。ExpressCard の一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。ExpressCard は、PCI Express と USB 2.0 の両規格をサポートします。

F

FBD — fully-buffered DIMM（完全バッファ型 DIMM）DDR2 SDRAM チップと、DDR2 SDRAM チップとシステムの間の通信を高速化する Advanced Memory Buffer（AMB）を搭載した DIMM です。

FCC — Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会）コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行する アメリカの機関。

FSB — front side bus — プロセッサと RAM の間のデータ経路および物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol（ファイル転送プロトコル）インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイルの交換に利用される標準のインターネットプロトコルです。

G

G — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1024 MB（1,073,741,824 バイト）です。ハードディスクドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 周波数の計測単位です。1 GHz は 10 億 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI — graphical user interface — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーとやり取りする対話型ソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイル交換用プロトコルです。

Hz — ヘルツ 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ (kHz)、メガヘルツ (MHz)、ギガヘルツ (GHz)、またはテラヘルツ (THz) 単位で計測される場合もあります。

I

IC — integrated circuit （集積回路）コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの極小電子コンポーネントが搭載されている半導体基板またはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードディスクドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IEEE 1394 — Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. — コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

I/O — input/output（入出力）コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力したりする動作またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス — 特定のデバイス（シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど）に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IrDA — Infrared Data Association（赤外線通信協会）赤外線通信の国際標準を作成する組織です。

IRQ — interrupt request （割り込み要求）デバイスがプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider （インターネットサービスプロバイダ）インターネットへの接続、E- メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスを行うためにホストサーバーへのアクセスを提供する機関です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料 (月払い) で提供します。

K

Kb — キロビット 1024 バイトに相当するデータの単位です。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト データの単位。1 KB は 1024 バイトです。または 1000 バイトとすることもあります。

kHz — キロヘルツ 1000 Hz に相当する周波数の単位です。

L

LAN — local area network （ローカルエリアネットワーク）— 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN（ワイドエリアネットワーク）を構成できます。

LCD — liquid crystal display （液晶ディスプレイ）— ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルのディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode（発光ダイオード）コンピュータのステータスを示す光を発する電子コンポーネントです。

LPT — Line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレル接続の指定先です。

M

Mb — メガビット 1024 KB に相当するメモリチップの容量の単位です。

Mbps — メガビット / 秒 （Mbps）— 1,000,000 ビット / 秒。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB — メガバイト データの単位です。1 MB は 1,048,576 バイトです。
1 MB は 1,024 KB です。ハードディスクドライブの記憶領域容量を示す場合に、
1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ 周波数の単位です。1,000,000 サイクル / 秒です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

MP — メガピクセル デジタルカメラに使用される画像解像度の単位です。

ms — ミリ秒 1000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC — ネットワークアダプタを参照してください。

ns — ナノ秒 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory（不揮発性ランダムアクセスメモリ）コンピュータの電源が切れたり、外部電源が停止したりした場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

P

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

PCI Express — PCI インタフェースの改良版で、プロセッサとそれに接続されているデバイスの間のデータ転送を高速化します。PCI Express は、250 MB/sec ～ 4 GB/sec の速度でデータを転送できます。PCI Express チップセットおよびデバイスが異なる速度で使用できる場合は、動作速度が遅くなります。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議する国際的組織です。

PIO — programmed input/output — データパスの一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test（電源投入時の自己テスト）— BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードディスクドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタです。

PXE — pre-boot execution environment — WfM (Wired for Management) 標準で、オペレーティングシステムがないネットワークコンピュータを設定し、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — データの冗長性を提供する方法です。RAID の実装レベルには、RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 などがあります。

RAM — random-access memory（ランダムアクセスメモリ）プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI — radio frequency interference（無線電波障害）— 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory（読み取り専用メモリ）コンピュータが削除したり書き込んだりできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードディスクドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock — システム基板上にあるバッテリで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCRST — real-time clock reset — 一部のコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

SAS — serial attached SCSI — 従来のパラレル SCSI に対し、より高速なシリアル形式の SCSI インタフェースです。

SATA — serial ATA — より高速なシリアル形式の ATA（IDE）インタフェースです。

SCSI — small computer system interface — ハードディスクドライブ、CD ドライブ、プリンタ、スキャナなどのデバイスをコンピュータに接続するのに使用される高速インタフェースです。SCSI では、単一のコントローラを使って多数のデバイスを接続できます。SCSI コントローラバスでは、個々の識別番号を使って各デバイスにアクセスします。

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ）— プロセッサの最適クロック速度と同期された DRAM の一種です。

SIM — Subscriber Identity Module — SIM カードには、音声およびデータの転送を暗号化するマイクロチップが搭載されています。SIM カードは電話やノートブックコンピュータに使用できます。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

Strike Zone™ — ハードディスクドライブを保護するために強化されたプラットフォームベース部分です。コンピュータの電源がオンのときでもオフのときでも、コンピュータを落としたとき、または振動などのショックが与えられたときに、衝撃吸収体として機能します。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準規格です。SVGA の通常の解像度は 800 x 600 および 1024 x 768 です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニター、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

SXGA — super-extended graphics array — 1280 x 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — 1400 x 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスを Windows のプログラムで使用できるようにするインタフェースです。

TPM — trusted platform module — ハードウェアベースのセキュリティ機能です。セキュリティソフトウェアと併用して、ファイルや E- メールの保護などの機能を有効にすることにより、ネットワークおよびコンピュータのセキュリティを強化します。

U

UMA — unified memory allocation — ビデオに動的に割り当てられるシステムメモリです。

UPS — uninterruptible power supply（無停電電源装置）— 電気的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus — USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカ、プリンタ、ブロードバンドデバイス（DSL およびケーブルモデム）、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットかコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair（シールドなしツイストペア）ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のコンピュータネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 x 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

WHr — ワット時 おおよそのバッテリ容量を示すのに通常利用される計測単位です。たとえば、66 WHr のバッテリは 66 W の電力を 1 時間、または 33 W を 2 時間供給できます。

WXGA — wide-aspect extended graphics array — 1280 × 800 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

X

XGA — extended graphics array — 1024 x 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできる、ソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が **.zip** となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** となります。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

ZIP ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバブルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約二倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア — コンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E- メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

エクスプレスサービスコード — Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。「サービスタグ」も参照してください。

か

カーソル — キーボード、タッチパッドまたはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタで印刷される画像や、モニタに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合です。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み不可に設定 — ファイルやメディアに、データの内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されることのないように保護します。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付けた時に PC カードスロットからカードの端がはみ出ています。

拡張スロット — 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上（コンピュータによって異なる場合もあります）のコネクタです。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニタを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

華氏 — Fahrenheit — 温度の測定単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

キーの組み合わせ — 同時に複数のキーを押してコンピュータを操作します。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動 CD — コンピュータを起動するために使用する CD です。ハードディスクドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD が必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities CD』または『Resource CD』は起動可能な CD です。

起動 CD — コンピュータを起動するために使用する CD です。ハードディスクドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD が必要になりますので、常備しておきます。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ — プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュ。

L2 キャッシュ — プロセッサに外付けされた、またはプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンダリキャッシュ。

休止状態モード — メモリ内のすべてをハードディスクドライブ上の特別な予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードディスクドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

グラフィックモード — x 水平画素数、y 垂直画素数および z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックスモードは、どんな形やフォントも表現できます。

クロック速度 — システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

光学ドライブ — CD、DVD または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。光学ドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

国際通行許可書 — 物品を外国に一時的に持ち込むことを許可する国際通関用文書です。商品パスポートとも呼ばれます。

コントローラ — プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

コントロールパネル — 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するための Windows ユーティリティです。

さ

サージプロテクタ — 雷などが原因で、コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動から、コンピュータを保護します。サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 % 以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護されません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ — コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポートの **support.jp.dell.com** にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話でお問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いてあります。
エクスプレスサービスコード も参照してください。

システム基板 — コンピュータに搭載されている主要回路基板です。
マザーボードとも呼ばれます。

指紋リーダー — コンピュータのセキュリティの一環としてユーザーの認証に指紋を使用するストリップセンサーです。

ショートカット — 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ — コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用される I/O ポートです。

スキャンディスク — ファイル、フォルダ、およびハードディスク上にエラーがないかどうかをチェックする Microsoft ユーティリティです。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード — コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして、電力を節約する省電力モードです。

スマートカード — プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

赤外線センサー — ケーブルを使用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定したりするのに使うプログラムです。ほとんどの Windows 用ソフトウェアパッケージには、**setup.exe** または **install.exe** というプログラムが付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティ。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

た

タスクトレイ — コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されている Windows タスクバーの領域です。システムトレイとも呼ばれます。

テキストエディタ — たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

ディスクのストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

デバイス — コンピュータ内部に取り付けられているか、またはコンピュータに接続されているディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどのハードウェアです。

デバイスドライバ — ドライバ を参照してください。

デュアルコア — 演算を行う物理ユニットを単一のプロセッサパッケージ内に搭載したテクノロジで、演算の効率とマルチタスク機能を向上させます。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニタを使えるようにするディスプレイの設定です。拡張ディスプレイモードとも呼ばれます。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスを、オペレーティングシステムが制御できるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

な

内蔵 — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、NIC（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

ハードディスクドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードディスクドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バッテリ駆動時間 — ノートブックコンピュータのバッテリがコンピュータに電源を供給する間、充電量を維持できる時間（分または時間数）です。

バッテリの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

パーティション — ハードディスクドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

ヒートシンク — 放熱を助けるプロセッサに付属する金属板です。

ビデオ解像度 — 解像度 を参照してください。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに（モニタの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供するビデオカードまたは（オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックをモニタに表示する際のモードです。グラフィックをベースにしたソフトウェア (Windows オペレーティングシステムなど) は、x 水平ピクセル数 X y 垂直ピクセル数 X z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア (テキストエディタなど) は、x 列 X y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

ピクセル — ディスプレイ画面のシングルポイントです。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度 (800 x 600 など) は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備する工程のことです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整頓したりグループ化したりするスペースを表す用語です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

プラグアンドプレイ — コンピュータがデバイスを自動的に設定できる機能。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

プロセッサ — プログラム命令を解析して実行するコンピュータチップです。プロセッサは、CPU（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

ま

ミニカード — 通信用 NIC など内蔵周辺機器用に設計された小型のカードです。ミニカードの機能は、標準の PCI 拡張カードと同等です。

ミニ PCI — モデムや NIC などの通信を重視した内蔵周辺機器の標準です。ミニ PCI カードは、標準の PCI 拡張カードと同等の機能を持つ小型の外付けカードです。

メディアベイ — 光学ドライブ、セカンドバッテリ、または Dell TravelLite™ モジュールなどのようなデバイスをサポートするベイです。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンするときもファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM、およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てるプロセスです。デバイスとソフトウェアが、プロセッサによりアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モジュールベイ — メディアベイを参照してください。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには、外付けモデム、PC カード、および内蔵モデムの 3 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や E- メールの交換に使用されます。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用に設定できます。

- ファイルが物理 CD または DVD に存在する場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

ら

リフレッシュレート — 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線 （または垂直周波数）が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

ローカルバス — デバイスにプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

わ

ワイヤレス LAN — wireless local area network（ワイヤレスローカルエリアネットワーク）。インターネットアクセスを可能にするアクセスポイントやワイヤレスルーターを使用し、電波を介して互いに通信する一連の相互接続コンピュータを指します。

ワイヤレス WAN — wireless wide area network（ワイヤレスワイドエリアネットワーク）。セルラーテクノロジを使用した、ワイヤレスの高速データネットワークで、ワイヤレス LAN よりもはるかに広い地域に対応します。